

平成27年度

事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

安曇野市

目	次
安曇野市の重点項目 1 頁
事業別予算概要説明 2
一般会計	
議会事務局 5
総務部	
総務管理課 8
職員課 15
危機管理課 16
人権男女共同参画課 21
政策部	
政策経営課 24
秘書広報課 28
情報統計課 30
財政部	
財政課 41
市民税課 47
資産税課 48
収納課 49
財産管理課 50
市民生活部	
地域づくり課 58
市民課 63
環境課 64
廃棄物対策課 69
豊科支所地域課 78
穂高支所地域課 82
三郷支所地域課 86
堀金支所地域課 90
明科支所地域課 94
福祉部	
長寿社会課 99
福祉課 107
子ども支援課 118
保健医療部	
健康推進課 148
介護保険課 161
国保年金課 163
農林部	
農政課 167
耕地林務課 186
商工観光部	
商工労政課 202
観光交流促進課 212
都市建設部	
監理課 223
建設課 231
都市計画課 240
建築住宅課 245
上下水道部	
営管理課 249
下水道課 250
会計課 252
教育部（教育委員会）	
学校教育課 255
生涯学習課 315
文化課 328
図書館交流課 336
監査委員事務局 341
選挙管理委員会事務局 343
農業委員会事務局 350
公平委員会事務局 353
特別会計	
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計 357
国民健康保険特別会計 361
後期高齢者医療特別会計 406
介護保険特別会計 413
下水道事業特別会計 433
農業集落排水事業特別会計 446
安曇野市上川手財産区特別会計 452
安曇野市北の沢財産区特別会計 458
安曇野市有明山財産区特別会計 463
安曇野市富士尾沢財産区特別会計 467
安曇野市穂高山林財産区特別会計 471
産業団地造成事業特別会計 475
観光宿泊施設特別会計 477

安曇野市の重点項目

1	活力あふれるまちづくり
1-1	市制施行10周年記念事業の実施に向けた取組み
1-2	企業誘致と産業振興による雇用の創出など「地域を元気にする」取組み
1-3	農業の担い手育成と特産品の販路拡大に向けた取組み
1-4	森林環境を守り、豊かな里山再生を目指す取組み
1-5	公共施設などを活用した健康増進と癒しの場を創出する取組み
1-6	オンリーワンの商品やサービスの開発を行うことによる地域ブランド化の取組み
2	健康長寿のまちづくり
2-1	生活習慣病の予防活動の充実と健康診断の受診率向上など、健康寿命延伸に向けた取組み
2-2	老若男女が個々の特性を生かした「生きがい」を創出する取組み
2-3	食の大切さを見直し、地産地消による安全・安心な食生活の取組み
3	豊かな人を育むまちづくり
3-1	出産前から就学までの「子育て支援策を強化」する取組み
3-2	郷土の伝統・文化などを継承する取組み
3-3	国際感覚豊かな人を育てる「子ども育成事業」の取組み
3-4	心身の健康増進と技術向上を目指した生涯スポーツの推進を図る取組み
4	環境を守り、安全・安心なまちづくり
4-1	環境にやさしい生活スタイルの創出に向けた取組み
4-2	地下水の保全・涵養など、適正利用に向けた取組み
4-3	自主防災組織などのすべての人が助け合える仕組みづくりに向けた取組み
4-4	誰もが安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりに向けた取組み
5	協働によるまちづくりと行政サービスの向上
5-1	自治組織との協働や連携の強化、及び自治組織の活用に対する支援の取組み
5-2	市民に近い行政運営を図り「地域と行政の連携を強化」する取組み
5-3	市民サービスの充実を基本に健全財政を維持するため、経費削減と事務事業の効率化に向けた取組み

事業別予算概要説明

一般会計

議会事務局

予算書ページ	52
--------	----

重点項目番号	5 - 3	コード	11101100
		部・課・係等	議会事務局 庶務係(議会)

予算	款	1	議会費	総合計画	基本方針	
	項	1	議会費		主要施策	
	目	1	議会費		基本施策	
	事業	0101010	議会費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	298,344					298,344
前年度	277,217					277,217
増減額	21,127	0	0	0	0	21,127

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市議会(本会議、常任委員会、特別委員会)の運営、議会改革の取組み、政務活動費の交付ほか

【効果】

・議会報告会を実施することにより、直接市民と対話ができ、議会活動への理解を得る場となる。
 ・議会改革の取組みとして、研修会等を通じ政策提言への取組みを一層推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・議会改革推進委員会を中心に、平成26年度開催した議会報告会の反省等を踏まえ、次年度の開催に向けてどのような論点で議会報告会を運営するか、また、そのための資料作成を行う。
 ・独自の議員研修会を開催し、議会としての政策提言の実現に向けて、積極的に取り組む。
 ・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・議会改革推進委員会のそれぞれの観点における視察研修を行い、先進地での取り組みなどを参考に政策提言などの議会活動の充実を図っていく。

【一般財源増加理由】 議員手当や議員共済給付金負担率の改正などによる増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	109,464	議員報酬	11	需用費	5,330	議会だより印刷費、追録代等
3	職員手当等	39,590	議員期末手当	12	役務費	50	FAX料金、新聞広告代
4	共済費	69,121	議員共済組合給付金	13	委託料	11,428	会議録調製業務、会議録配信業務、議長車運転業務等
7	賃金	77	本会議時における臨時受託保育士賃金	14	使用料及び賃借料	3,538	議場映像配信システム使用料、大型バス借上料等
8	報償費	452	講師謝礼、行政視察等土産	18	備品購入費	418	図書購入費、会議録音機器等
9	旅費	6,836	行政視察、議員研修、議長会総会等の旅費	19	負担金補助及び交付金	3,228	全国市議会議長会等負担金、政務活動費
10	交際費	180	議長交際費				
上記の合計		249,712	職員の人件費合計	48,632	事業費総合計	298,344	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・議会の傍聴席には、議長の許可なくしては児童や乳幼児は入れないことから、小さなお子さんをお連れの傍聴者が安心して傍聴できるように、新本庁舎内にお子さんを一時預けができる臨時的受託所を設けて対応していく。
 ・合併10周年を記念した事業や、市議会の議員や会派などをまとめた記念紙(A3二つ折り・カラー・37,000部)を作成する。
 ・本会議の映像について同時配信を行うとともに、テロップなどの情報を付加し、見やすさを考慮した録画映像の配信も開始する。議会の取り組みについて、多面的な情報発信に取り組み、議会活動への理解を高めていく。
 ・新本庁舎における委員会会議室の録音機器や、会議室内の傍聴席との仕切りなどを設け、会議室内を整備する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	77	本会議時における臨時受託保育士賃金及び一時金
11	需用費	905	市議会史作成や合併10周年記念事業
14	使用料及び賃借料	2,007	映像配信システム使用や合併10周年記念事業
18	備品購入費	353	録音用ICレコーダー、ベルトパーテーション、デジタルカメラ
合計		3,342	左記の特定財源

総務部

予算書ページ	56
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10101100
		部・課・係等	総務部 総務管理課 行政担当

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費	画	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102010	一般管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,004,557	15	1,100	0	64,000	939,442
前年度	1,041,057	15	1,500	0	60,002	979,540
増減額	36,500	0	400	0	3,998	40,098

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	自衛官募集事務委託金	15							
	15	特例処理事務交付金	1,100							
	20	派遣職員給与費負担金	64,000							
										65,115

【目的・効果】
【目的】
 ・総務部、政策部、財政部など市の総務部門に従事する職員の給与費等や行政運営経費を計上する。
【効果】
 ・儀礼や会議賄等、行政運営上必要な経費の計上による円滑な行政運営。
 ・市の平和行政(広島平和記念式典への市内中学生派遣、安曇野市平和のつどいの開催に係る費用等)の推進。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・固定資産評価審査委員報酬。
 ・特別職、一般職の人件費。
 ・議案書作成等に要する経費。
 ・中学生の広島平和記念式典参加、安曇野市平和のつどい開催経費。
 ・支出基準による食糧費予算の適正な執行。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
1	報酬	143	・固定資産評価審査委員報酬 3名分		14	使用料及び賃借料	699	・10周年記念平和のつどいパネル借上料20千円 ・10周年記念平和のつどい会場借上料679千円		
7	賃金	22	・広島平和記念式典随行者 保健師臨時職員1名		19	負担金及び交付金	52	・長野県暴力追放県民センター賛助金50千円 ・平和首長会議メンバー納付金2千円		
8	報償費	4,146	・広島平和記念式典参加生徒図書カード等61千円、・ふるさと寄附お礼品1,418千円他、・10周年記念ふるさと寄附お礼品2,667千円							
9	旅費	1,529	・広島平和記念式典随行者旅費 256千円、・記念式典参加生徒等旅費1,163千円、平和のつどい講師実費弁償110千円							
11	需用費	1,748	・消耗品費100千円 ・食糧費50千円 ・議案書、予算書印刷製本費1,149千円 ・10周年記念平和記念式典文集211千円							
12	役務費	322	・広告料166千円 ・ふるさと寄附クレジット決済手数料150千円							
13	委託料	3,308	・広島平和記念式典参加者保険料6千円 ・10周年記念アオギリ記念植樹68千円 ・新本庁舎オープニングイベント3,240千円							
上記の合計		11,969	職員の人件費合計	992,588	事業費総合計	1,004,557	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	82
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10101100
		部・課・係等	総務部 総務管理課 行政担当

予算	款	2	総務費	総合	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費	計	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費	画	基本施策	行政改革の推進
	事業	0102310	行政改革		具体的な施策	スリムで柔軟な組織・人事体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	438	0	0	0	0	438
前年度	788	0	0	0	0	788
増減額	350	0	0	0	0	350

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・第3次安曇野市行財政改革大綱に掲げた実施計画の進捗管理。
- ・平成27年度指定期間が終了する公の施設及び新規施設等の指定管理者の選定。

【効果】

- ・第3次大綱に掲げた実施計画の確実かつ着実な推進を図る。
- ・指定管理者の応募団体等の審査にあたり公正・公平な選定が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・第3次行財政改革大綱の実施計画について、「行政改革推進委員会」へ進捗状況等の報告を行い意見を求める。
- ・「公の施設指定管理者審査委員会」に、募集要項及び応募団体等審査を依頼する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	416	行政改革推進委員会14名及び指定管理者審査委員会委員5名委員報酬				
7	賃金	22	参考図書他				
上記の合計		438	職員の人件費合計	0	事業費総合計	438	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	96
--------	----

重点項目番号	5	コード	10101100
		部・課・係等	総務部 総務管理課 行政担当

予算	款	2	総務費	総合	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費	計	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	11	一般管理費	画	基本施策	行政改革の推進
	事業	0102310	諸費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,621	0	0	0	0	2,621
前年度	2,620	0	0	0	0	2,620
増減額	1	0	0	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

- ・市の行政運営における法的問題を適正且つ迅速に対応するため、市の考え方に対する助言と指導を受ける。
- ・市が被告とされる係争事件の口頭弁論対応と課題の早期解決を図るため、訴訟代理人弁護士委託を行う。

【効果】

- ・法的な問題を解決し、理解と協力が得られる行政運営の実現。
- ・職員負担の軽減と的確な裁判対応。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・行政運営上の法的問題等を早期解決するため、顧問弁護士を選任する。
- ・係争中の事件では、訴訟代理人弁護士の口頭弁論出廷に係る日当・旅費を支出する。
- ・弁護士への相談、助言を求める中で、書類の作成を委託した場合の委託費用。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報償費	1	・弁護士成功報酬				
13	委託料	2,620	・顧問弁護士の委託及び書類作成等 2,160千円 ・現在係争中の係る実費弁償、日当 460千円				
上記の合計		2,621	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,621	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	76
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	010101200
		部・課・係等	総務部総務管理課文書法規担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	文書広報費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102190	文書管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
88,676	92,587	3,911	0	0	0	400
						400
						3,911

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	コピー等サービス料	400							

【目的・効果】

【目的】

- ・文書事務、文書管理の適正化を図る。
- ・適正な例規の整備(制定、改廃)を図る。

【効果】

- ・市民サービスの公平性を図ることができる。
- ・ファイリングシステムの導入により、機能的で効率性の高い文書管理ができる。
- ・適正文書事務を図ることで、公文書の収受、作成、起案から、決裁、施行、整理保存、廃棄までの一連の事務の徹底が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・ファイリングシステム導入支援業務
平成26年度は主管課11課を対象に先行導入した。残り37課について、ファイリングシステムの構築、導入を行う。
- ・その他一般業務
文書の収受、発送、廃棄等の管理
例規の審査及び例規集の管理
行政手続制度の総合調整及び管理

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	4,335	郵便収受、発送、支所間文書記達ほか				
09	旅費	81	職員研修旅費				
11	需用費	5,986	ファイリングシステム用品、新本庁舎における郵便業務事務用品、法規集追録ほか				
12	役務費	64,879	郵便料、宅配料ほか				
13	委託料	13,000	例規システム維持更新、ファイリングシステム導入支援業務ほか				
14	使用料及び賃借料	324	判例体系利用料				
19	負担金補助及び交付金	71	職員研修受講料				
上記の合計		88,676	職員の人件費合計	0	事業費総合計	88,676	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

【コンシェルジュデスク業務】

- ・地方自治法等各法令等の解説情報を検索できるシステムの構築を行い、職員の法務能力向上支援ツールとして活用する。

【公文書廃棄業務】

- ・公文書等の機密文書の廃棄は、各課でそれぞれ持込み対応をしていたが、運搬途中の紛失等による情報漏えい等のリスクを考え、収集、運搬、溶解処理を一括委託する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	200	コンシェルジュデスク業務委託(5ID分) 15,400円×12月
13	委託料	623	公文書廃棄業務委託 廃棄文書の収集、運搬、溶解処理費 15円/kg×38,400kg/年間
合計		823	左記の特定財源

予算書ページ	76
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10101200
		部・課・係等	総務部総務管理課文書法規担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	文書広報費		基本施策	行財政改革の推進
	事業	0102200	公文書整理事業		具体的な施策	本庁舎等の建設

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,256					11,256
前年度	13,493					13,493
増減額	2,237	0	0	0	0	2,237

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

旧町村時代の文書と現用文書の整理と活用を図る。

【効果】

公文書を整理することにより、文書量の削減、検索システム化、歴史的な文書の保存につながり、今後の行政運営上でのメリットがある。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成26年度からは、堀金支所・三郷支所・穂高支所の書庫等にある現用文書の登録作業を行ってきた。
- ・平成27年度は引き続き旧明科法務局(教育部文書)、上川手分場(本庁・豊科支所から移動した文書)等にて現用文書登録作業を行いデータベース化していく。
- ・歴史資料とした公文書については、穂高会館等へ収蔵していくが、活用に向けてその取扱いを検討していく。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	8,833	非常勤職員賃金5名				
11	需用費	1,023	事務消耗品、暖房用灯油代、電気料金				
12	役務費	165	携帯電話料金、仮設トイレ運搬設置・撤去・汲取り料金				
13	委託料	1,074	警備委託料(公文書整理室、旧豊科法務局書庫、豊科社会就労センター上川手分場、旧明科法務局)				
14	使用料及び賃借料	150	コピー機リース料及び保守料				
15	工事請負	11	警備機器設置工事(旧豊科法務局2F書庫)				
上記の合計		11,256	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,256	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・旧明科法務局、上川手分場内の文書登録作業を行うため、仮設トイレを設置等の費用
- ・文書保管場所となる旧豊科、旧明科法務局、上川手分場のセキュリティ向上を図るための警備委託料

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	132	仮設トイレ運搬設置・撤去・汲取り料
13	委託料	585	警備委託料(旧豊科法務局・上川手分場・旧明科法務局)、上川手分場消防用設備等点検業務委託
合計		717	左記の特定財源

予算書ページ	100
--------	-----

重点項目番号	5-2	コード	10101200
		部・課・係等	総務部総務管理課文書法規担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	12	情報公開管理費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102450	情報公開管理費		具体的な施策	行政資料の公表・情報提供の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	237				100	137
前年度	231				100	131
増減額	6	0	0	0	0	6

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	コピー等サービス料	100							

【目的・効果】

【目的】

・情報公開事務の適正化を図り、情報公開制度の適切な運用を推進する。

【効果】

・市民の市政に対する理解と信頼を深めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・情報公開事務の適正化を図り、情報公開制度の適切な運用を推進する。

・個人情報取扱事務の適正化を図り、個人情報の適切な取扱いと保護を両立する。

・情報公開又は個人情報開示に係る異議申立てに対する、情報公開・個人情報保護審査委員会への諮問、答申事務を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	101	情報公開・個人情報保護審査会委員報酬				
08	報償費	30	不服申し立てに対する答申書作成謝礼				
09	旅費	45	委員旅費				
11	需用費	61	目隠しテープ、法規追録ほか				
13	委託料						
14	使用料及び賃借料						
19	負担金補助及び交付金						
上記の合計		237	職員の人件費合計	0	事業費総合計	237	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	58
--------	----

重点項目番号	5	コード	10101300
		部・課・係等	総務部検査室

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経済的視点にたった行政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経済的視点の行政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102180	検査管理費		具体的な施策	健全な自治体経営の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
267	258	9	0	0	0	0
						267
						258
						9

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・的確な検査実施の為に技術指針等の図書の充実を図り、また実務研修へ参加する。
- ・工事検査においては技術検査を実施し、評価対象工事においては技術検査結果に基づき評価者が公正かつ的確に評価できるようにする。
- ・安曇野市建設工事請負人等選定委員会の審査資料等を作成する。

【効果】

- ・職員の検査、評定技術向上が見込める。
- ・請負業者の指導育成に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・請負契約又は物の買入れ等について契約書、仕様書等に基づいて、適切に履行されているか確認する。
- ・公共建設工事の評定を公正かつ的確に行い、優良工事の表彰を行うと共に職員及び業者の技術向上に寄与する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	13	優良工事表彰記念品(賞状、額、手提げ袋他) 5件				
9	旅費	79	NOMA検査実務研修の交通費(名古屋2回、東京1回)、宿泊費、日当 3回				
11	需用費	60	参考図書、表彰用生花、事務用品				
12	役務費	15	優良工事表彰の表彰状筆耕料 5件				
19	負担金補助及び交付金	100	NOMA検査実務研修の参加費 3回				
上記の合計		267	職員の人件費合計	0	事業費総合計	267	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	58
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10102100
		部・課・係等	総務部 職員課 職員担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102030	職員管理費		具体的な施策	スリムで柔軟な組織・人事体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	911,702	国支出金	県支出金	市債	その他	905,237
前年度	833,365				709	832,656
増減額	78,337	0	0	0	5,756	72,581

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	職員健康診断共済組合補助	272	20	共済組合研修会助成	100				6,465
	20	市職員互助会非常勤職員社会保険等事業主負担金	8	20	職員駐車場利用料	5,962				
	20	団体定期保険事務費外	123							

【目的・効果】

【目的】

・市民と協働し市民に信頼される市政、市民志向の質の高いサービスを提供する市政の実現のため、スリムで柔軟な組織・人事制度の構築と職員管理を行う。

【効果】

・効率的かつ弾力的な人員配置を行うとともに、定員適正化計画に基づく適正な管理を行う。
 ・人材育成システムの中心となる人事評価制度及び職員研修の実施により、職員の意識改革及び職務遂行能力の向上を図り、組織力の強化と拡充を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・人事評価結果の全職員への反映を平成28年度に予定しており、職員の意識の醸成、管理監督職の評価スキルの向上を図るために、職員研修を実施する。また、人材育成、職員の処遇等の反映に向け、人事評価結果を運用及び活用する。
 ・人事評価制度を根幹とした複線型人事制度の構築を行う。
 ・職場内研修(OJT)の充実と職務階層別の内部研修・外部研修の計画的な実施により、職員の意識開発・組織的人材育成の風土づくりなどを行う。
 ・職員の定員適正化計画に基づき、適正な定員管理及び職員採用を行う。
 ・職員が心身ともに健康で、安心して働ける職場にするため、健康診断・カウンセリング事業等を実施する。
 ・新本庁舎の職員駐車場の管理(舗装工事、借地料)

【一般財源増加理由】 新庁舎職員駐車場借地料の新規増(11,924千円増)及び舗装工事請負費(24,516千円の増)、賃金(正職不在時対応分)の増(12,914千円増)、賃金改定による社会保険料(25,079千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	1,080	産業医報酬(2人分)	14	使用料及び賃借料	14,432	人事評価システム借上料、職員駐車場借地料
7	賃金	19,636	正職員不在時対応分(一般事務10人分)、職員課配置分(2名分)	15	工事請負費(単独)	24,516	職員駐車場舗装工事
8	報償費	661	研修講師謝礼、職員提案制度基調講演会講師謝礼、退職者記念品、研修等土産	18	備品購入費	38	ICカード読み取り装置他
9	旅費	12,030	職員研修旅費、先進地視察日当、派遣職員日額旅費	19	負担金補助及び交付金	467,112	職員研修負担金、安全運転管理者協会負担金、退職手当負担金、職員互助会負担金、職員自主研修助成金
11	需用費	3,941	職員管理事務用品、職員作業服外(ヘルメット・作業服)				
12	役務費	361	職員採用広報活動(学生向け就職サイト利用料、就職合同説明会参加手数料)、安全運転管理者運転記録証明料				
13	委託料	21,167	職員採用試験(一次試験・二次試験)、職員研修、人事評価制度構築・研修・システム保守運用業務)、職員健康診断				
上記の合計		564,974	職員の件数費合計	346,728	事業費総合計	911,702	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・新庁舎職員駐車場の借地料、除雪委託料及び工事請負費(工事請負費は庁舎建設推進課からの引継事業)
 ・安全運転管理事務の移管に伴う「0102010一般管理費」からの予算組替

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	22	運転記録証明料、運転適性検査料
13	委託料	100	新庁舎の職員駐車場除雪委託料
14	借地料	11,924	新庁舎の職員駐車場借地料
15	工事請負費	24,516	新庁舎職員駐車場の舗装工事(庁舎建設推進課からの引継事業)
18	備品購入費	38	ICカード読み取り装置他
19	負担金補助及び交付金	168	安全運転管理者協会費、自家用自動車協会費、安全運転管理者協会講習受講料
合計		36,768	左記の特定財源

予算書ページ	282
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	10103100
		部・課・係等	総務部 危機管理課 危機管理担当

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	4	災害対策費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109050	災害対策費		具体的な施策	危機管理体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	79,352	国支出金	県支出金	市債	その他	79,352
前年度	411,667			324,800		86,867
増減額	332,315	0	0	324,800	0	7,515

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・市民の生命及び財産への被害に直結する事態に迅速かつ的確に対処するため、危機管理体制の充実・強化、防災施設の整備、自主防災組織の充実・強化、防災意識の高揚を図り、防災・減災に取り組むことを目的とする。

【効果】

・自然災害などから市民の身体・生命・財産を守る災害に強いまちづくりのための態勢が確立される。
 ・自主防災組織の充実・強化、防災意識の高揚を図ることにより、防災減災社会が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

長野県地震対策基礎調査結果に基づき、地域の実情に応じた食糧、飲料水、生活必需品、災害対策用資機材の備蓄を推進する。併せて、必要量を備蓄できる備蓄倉庫の整備を推進する。
 自主防災組織の充実・強化を図るため、資機材整備、訓練を実施する際の補助金制度を実施し、県より任命された自主防災アドバイザーの指導により、95ある自主防災会の代表が替わっても組織に支障がないように地域防災リーダーの養成を図り自主防災組織連絡協議会を立ち上げることを図る。
 昨年7月から防災情報の伝達手段の一つとして、火災・気象・地震などの防災情報を配信する事前登録制の「安曇野市メール配信サービス」の運用を開始しました。より一層の登録促進を目指し、広報紙やホームページのほか、市内の携帯電話販売店にチラシを置いて呼びかけ等を実施する。また、デジタル移動系防災行政無線を補完するため、衛星携帯電話を本庁舎及び各支所等に配備する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	98	防災会議委員の報酬(3,500円×14名×2回分)	15	工事請負費	20,444	防災倉庫設置工事、避難標識看板取替工事外
8	報償費	200	防災講演会講師謝礼	18	備品購入費	5,872	災害用救助用品、衛星携帯可搬端末4台・車載1台外
9	旅費	77	職員研修、防災講演会講師旅費実費弁償	19	負担金補助及び交付金	6,438	自主防災組織資機材整備、防災訓練補助、防災用品購入助成事業補助金
11	需用費	31,204	災害対策備蓄品、防災訓練食糧費外				
12	役務費	74	自主防災アドバイザー(5名)保険料外				
13	委託料	11,076	事前登録制メール配信システム保守委託、防災広場清掃委託、防災・ハザードマップ改訂版委託外				
14	使用料及び賃借料	3,869	事前登録制メール配信システム借上、衛星電話使用料外				
上記の合計		79,352	職員の人件費合計	0	事業費総合計	79,352	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

本市では、糸魚川-静岡構造線断層帯を震源とする直下型大規模地震の発生が最も懸念されており、地震発生時の各種対策を充実・強化することが急務である。防災倉庫は、大規模災害発生時に迅速な避難施設の開設を可能とするため、避難施設開設に資する資機材(発電機、投光器、パーテーション、担架、寝具等)を主に備蓄するもので、講堂、体育館等比較的広いスペースを確保できる小中学校を中心に整備するものです。平成27年度は豊科東小学校、明北小学校、明科中学校の3小中学校に備蓄倉庫(面積:約14.5㎡)を整備します。上記3校を選定した理由は、大規模地震発生時において橋梁が落橋した場合、犀川東岸の地域が孤立することが懸念されるためです。

節	金額(千円)	主な内容
12	72	防災倉庫建築確認申請手数料,完了検査手数料
13	1,383	防災倉庫設計管理業務委託
15	10,981	防災倉庫設置工事一式
18	554	防災倉庫保管棚、作業踏み台
合計	12,990	左記の特定財源

重点項目番号	4-4		コード	10103200		予算書ページ	278
			部・課・係等	総務部 危機管理課 消防防災係			
予算	款	9	消防費		総合計画	基本方針 安全・安心・快適なまちの形成	
	項	1	消防費			主要施策 災害に強いまち	
	目	1	常備消防費			基本施策 防災対策の充実	
	事業	0109010	常備消防負担金			具体的な施策 消防体制の充実	

当初予算額		特定財源				単位:千円	
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
本年度	973,659				5,160	968,499	
前年度	949,566					943,067	
増減額	24,093	0	0	0	5,160	25,432	
特定財源の内訳	款	20	高速自動車道救急支弁金	金額	5,160	合計金額	5,160
	金額						

【目的・効果】
【目的】
 ・常備消防の松本広域消防局が行う消防、救急業務が、効率的、効果的に行われるよう必要経費(人件費・消防設備費・消防業務費・救急業務費)について構成団体として応分の負担をする。
【効果】
 ・松本広域消防局が行う消防・救急業務が的確に実施され、市民の安全と安心の確保が図れる。

当年度の一般財源額が前年度を上回った理由： 実施内容、これまでの経過等
 ・常備消防分負担金が前年度より25,058千円の増。
 ・県消防防災航空隊の負担金が前年度より375千円の増。
 ・「高速自動車国道における救急業務に関する覚書」に基づき、東日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として支出する。 H26年度実績額は4,129,350円(当初予算額; 6,499千円)

[一般財源増加理由] 県消防防災航空隊負担金の増額によるもの。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	2,485	県消防防災航空隊負担金				
19	負担金補助及び交付金	966,014	松本広域連合負担金(常備消防分)				
19	負担金補助及び交付金	5,160	高速自動車道救急事業に対する支弁金				
上記の合計		973,659	職員の人件費合計	0	事業費総合計	973,659	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	278
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	10103200
		部・課・係等	総務部 危機管理課 消防防災係

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	2	非常備消防費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109020	非常備消防費		具体的な施策	消防体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
256,289	227,898	28,391	0	0	19,800	30,444
					6,300	25,324
					13,500	5,120
						206,045
						196,274
						9,771

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	20	消防団員退職報償金	24,986	21	防災基盤整備事業	19,800				50,244
	20	消防団員等公務災害補償給付金	5,220							
	20	消防団員福祉共済	238							

【目的・効果】

【目的】

・火災時における初期消火活動の充実、強化。多数の人数を必要とする大火、林野火災、地震、風水害等の大規模災害時における消防対応力の強化。

【効果】

・火災予防や防火意識の高揚や消防施設等の整備・充実など消防対応力の強化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・消防組織法第9条に定める消防団の運営
 ・消防団の任務を遂行する為の人員費、物件費等
 ・地域密着性、要員動力及び即時対応力の面で優れた組織である消防団が、大規模災害時の対応や身近な災害への取り組み等、地域の安心、安全を確保するための活動を行う。

【一般財源増加理由】可搬ポンプ積載車の更新台数の増、救助用半長靴の購入によるもの外

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	26,437	消防団員報酬、消防委員報酬	13	委託料	460	運転代行委託
5	災害補償費	5,221	消防団員公務災害補償	14	使用料及び賃借料	868	ポンプ操法会場・簡易トイレ等借り上げ料外
7	賃金	1,720	臨時職員賃金	18	備品購入費	27,151	可搬ポンプ積載車3台、四つ折り担架、ソフト吸管外
8	報償費	53,509	災害・訓練等出勤・出席謝礼 退団者退職報奨金外	19	負担金補助及び交付金	43,687	消防団員退職報償金掛金、消防団運営費補助金外
9	旅費	353	消防団幹部視察研修外	27	公課費	993	自動車重量税
11	需用費	22,251	救助用半長靴、防塵マスク、ポンプ用ホース、法被、活動服、車両・可搬ポンプ燃料、ポンプ等修繕外				
12	役務費	2,641	消防車輛検査登録				
上記の合計	185,291	職員の人員費合計	70,998	事業費総合計	256,289	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

平成25年12月に施行された『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律』において、消防団員の処遇の改善が規定されています。これは、東日本大震災において、多数の消防団員が犠牲となったことを踏まえ、「救助用半長靴」や「救命胴衣」等の消防団員の安全確保のための装備を充実すること目的に平成26年2月、国が定める消防団の装備と服制の基準が初めて大幅に改善されました。

今後は、消防団員の安全確保のための救助用半長靴、救命胴衣等の基本的な装備、情報を共有するための無線機、救助活動用の機材等を整備するものです。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	7,347	救助用半長靴 956足 × 7,560円、防塵マスク(20枚入) 50箱 × 2,376円
合計	7,347	左記の特定財源	

予算書ページ	280
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	10103200
		部・課・係等	総務部 危機管理課 消防防災係

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	3	消防施設費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109030	消防施設維持整備事業		具体的な施策	消防体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
122,603	65,839	56,764	5,386	0	0	0
						117,217
						65,839
						51,378

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	消防防災施設整備費補助金	5,386							5,386

【目的・効果】

【目的】

- ・地域防災の中心的な役割を果たす消防団活動に対し、初動活動体制の拡充のため、施設等の環境整備を行う。
- ・火災発生時の水利確保のため、防火水槽・消火栓の整備を計画的に行う。

【効果】

- ・火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・本市に望ましい消防水利の基準数は、10,370メッシュ(1メッシュ:140m×140m:1基の消火栓が防火水槽)であり、現状として約4,075メッシュが不足している。充足率は約46.6%であるため、継続的に消防水利施設を設置する。
 ・当年度に新設する消防水利は、防火水槽2基と消火栓13基である。新設については、区等の要望を聴取するとともに、現有消防水利施設の設置場所の確認、メッシュとの整合性を図り推進する。

【一般財源増加理由】 防火水槽新設工事、消防団詰所耐震改修工事及び分団の再編に伴う第7分団統合詰所用地取得費外によるものです。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	9,372	消火栓用ホース、消防団詰所修繕費、消防団詰所光熱水費外	19	負担金補助及び交付金	23,122	消火栓維持修繕13基、新設13基外
12	役務費	73	消防団詰所浄化槽検査手数料、建築確認申請手数料	27	公課費	20	詰所敷地用地取得印紙税
13	委託料	10,680	消防団詰所耐震化整備工事実施設計委託料、防火水槽撤去工事設計監理委託料外				
14	使用料及び賃借料	381	消防設備用地(詰所・警鐘楼敷地外)借地料				
15	工事請負費	63,168	防火水槽撤去工事(3基)、詰所耐震改修工事(2棟)外				
17	公有財産購入費	14,966	第7分団詰所敷地用地取得費				
18	備品購入費	821	消火栓ホース格納箱				
上記の合計		122,603	職員の人件費合計	0	事業費総合計	122,603	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

消防団分団の再編に伴い、第7分団の第1・2・3部を一つの部に纏める。平成27年度は第7分団統合詰所建設に向けて用地取得と実施設計を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	26	建築確認申請手数料
13	委託料	4,456	測量業務550,000円、新築工事実施設計委託料2,800,980円、不動産鑑定業務500,000円、用地地質調査業務604,800円
17	公有財産購入費	14,966	用地取得費
27	公課費	20	印紙税
合計		19,468	左記の特定財源

予算書ページ	282
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	10103200
		部・課・係等	総務部 危機管理課 消防防災係

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	3	消防施設費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109040	防災無線維持管理費		具体的な施策	防災施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
87,085	477,441	390,356	0	0	50,200	20
					387,200	20
					337,000	0
						36,865
						90,221
						53,356

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	戸別受信機設置負担金	20							50,220
	21	防災行政無線設備整備事業	50,200							

【目的・効果】

【目的】

・防災行政無線を適切に管理し、災害時の緊急連絡に万全を期して、市民の安全確保に資するもの。

【効果】

・アナログ波からデジタル波への移行が図られ、電波の質の向上、多重チャンネルによる相互通信等が可能となる。老朽化した設備を更新することにより、故障等の不具合を解消でき、修理・維持管理費の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・災害時の連絡体制を確保するため、現在運用中の2系統(アナログ同報系・デジタル移動系)の防災行政無線のうち、デジタル移動系防災行政無線の定期的な保守・点検を実施する。なお、アナログ同報系防災行政無線については今年度が最終運用であるため、オンコール修理対応とする。デジタル同報系防災行政無線システム確立までの運用を担保するとともに、これらの防災行政無線システムに付随する電気・電話回線・電波使用料を賄う。

【一般財源増加倍理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	6,081	防災無線屋外受信機電気料、戸別受信機修繕他				
12	役務費	319	防災行政無線資格取得手数料、電気工作物保安規定変更届出作成手数料				
13	委託料	15,500	移動系防災行政無線設備保守点検、デジタル同報系防災行政無線施工監理業務委託				
14	使用料及び賃借料	4,863	電波利用料、NTT回線使用料他				
15	工事請負費	54,591	デジタル同報系防災行政無線整備工事、デジタル移動系半固定局設置工事外				
18	備品購入費	4,002	デジタル同報系戸別受信機、ダイポールアンテナ外				
19	負担金補助及び交付金	1,729	県防災無線設備保守管理経費(豊科・穂高・堀金支所)、県衛星系防災行政無線更新等負担金外				
上記の合計		87,085	職員の人件費合計	0	事業費総合計	87,085	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

デジタル同報系防災行政無線が平成27年5月7日に開局する予定です。これに伴い、デジタル同報系防災行政無線に係る電気料・電波利用料・NTT回線使用料・戸別受信機購入費等が新規に発生します。なお、一般世帯への屋内戸別受信機貸与の廃止に向けた周知を行うため、平成27年度未までは既存のアナログ同報系とデジタル同報系の併用放送をいたします。

デジタル同報系防災行政無線の整備内容

- ・親局設備 ……1局(新本庁舎無線室に設置)・遠隔制御設備…6台(新本庁舎警備室、4支所、松本広域消防局)
- ・中継局設備 ……1局(押野山)・再送信子局…3局(豊科1、明科2) 屋外拡声子局を兼ねる
- ・屋外拡声子局…236局(豊科51、穂高81、三郷43、堀金26、明科35)・屋内戸別受信機…250台(市施設、地区公民館、学校、防災関連施設等)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	1,463	240子局及び押野山中継所
14	使用料	1,636	NTT回線(専用回線)・デジタル同報系無線連携フリーダイヤル1,431,194円及び電波利用料204,350円
15	工事請負費	1,685	戸別受信機等取り付け50台分
18	備品購入費	4,002	戸別受信機50台外
合計		8,786	左記の特定財源

予算書ページ	94
--------	----

重点項目番号	5	コード	010104100			
		部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係			
予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	1	総務管理費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	10	人権啓発費		基本施策	人権の尊重
	事業	0102410	人権啓発費		具体的な施策	人権教育・啓発の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
2,261	2,564				133	2,128
増減額	303	0	0	0	0	303

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	厚生住宅使用料	132							133
	13	厚生住宅使用料滞納繰越分	1							

【目的・効果】

【目的】

・人権意識の高揚のため、学校・地域・職場などのあらゆる場や機会を通じて周知・啓発活動を推進し、いかなる差別も許さない社会の実現を目指す。

【効果】

・人権に対する啓発・広報活動を進めることで人権に対する市民の意識の高揚を図り、正しい理解を促進することができる。
・人権擁護団体の育成を図ることにより、支援・連携しながら啓発や相談活動を促進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・地域イベント等、市民が多く参加する場において、関連団体と協働して人権啓発活動を行う。
・成人式において新成人に対し啓発を行い、人権意識の高揚を図る。
・法務局、人権擁護委員による「人権特設相談所」を支援し、人権に関する市民相談の機会を設ける。
・同和対策推進団体と共に同和対策事業を推進する。
・法務局、保護司会と共に「社会を明るくする運動」に参加・支援する。
・社会教育担当と連携し「企業人権啓発事業」を推進する。
・警察や支援団体が実施する「犯罪被害者支援事業」に参加・協力する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	53	人権擁護審議会委員報酬				
8	報償費	62	「人権のつどい」託児サービス、可会謝礼 「中学生人権作文コンテスト」入選者受賞記念品 ほか				
9	旅費	26	人権施策関連集会参加職員旅費				
11	需用費	524	「人権のつどい」他の人権啓発用品、人権特設相談所 贈り、広報チラシ印刷 ほか				
12	役務費	29	「人権のつどい」託児サービス保険料、手話通訳料金				
19	負担金補助 及び交付金	1,567	人権擁護委員ほか人権擁護推進団体負担金 同和対策推進団体、社会を明るくする運動実施団体補助 金				
上記の合計		2,261	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,261	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	140
--------	-----

重点項目番号	5	コード	010104100
		部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	1	社会福祉費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	4	男女共同施策費		基本施策	男女共同参画の推進
	事業	0103220	男女共同施策費		具体的な施策	女性の社会活動参画推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
893	951	58	0	0	0	0
						893
						951
						58

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・男女が互いにその人権を尊重し責任を分かち合い、性別によって制約されることがなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画の実現を目指す。

【効果】

・国県市の施策を事業者や推進関係団体と連携・協働することで、市民の男女共同参画の意識を高めることができる。
 ・女性の社会活動を推進するため、啓発や学習を展開することで自らの意識改革に向けた機会を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・「第2次男女共同参画計画」の実施状況等の審議のため、男女共同参画推進審議会を開催する。
 ・男女共同参画推進関係者による「男女共同参画フォーラム」を開催する。
 ・自治会や地域公民館等の地域活動の中において、男女共同参画コミュニケーターによる啓発活動を行う。
 ・男女共同参画推進団体・男女共同参画コミュニケーターと連携して「男女共同参画講座」を開催し、推進団体会員や市民に学習の機会を提供する。
 ・企業人権啓発事業とタイアップし、事業者に男女共同参画の推進を啓発する。
 ・各種研修会や国・県主催の事業に参加し、男女共同参画推進のリーダー的人材の育成を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	119	男女共同参画推進審議会委員報酬				
8	報償費	18	フォーラム託児サービス謝礼				
9	旅費	56	男女共同参画推進団体視察研修、大会参加随行職員旅費				
11	需用費	40	啓発用チラシ用紙、会議資料、啓発用品作成消耗品他				
12	役務費	17	フォーラム託児サービス、コミュニケーター傷害保険料				
13	委託料	89	大会・研修会・視察研修 バス運転委託料				
19	負担金補助及び交付金	554	研修会負担金、男女共同参画推進団体補助金				
上記の合計		893	職員の人件費合計	0	事業費総合計	893	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

政策部

予算書ページ	84
--------	----

重点項目番号	1-1	コード	10201100
		部・課・係等	政策部 政策経営課・企画担当
予算	款	2	総務費
	項	1	総務管理費
	目	6	企画費
	事業	0102320	企画総務費
		総合計画	基本方針 経営的視点にたった行財政運営の推進 主要施策 経営的視点の行財政運営がなされるまち 基本施策 行政改革の推進 具体的な施策 業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	60,328	国支出金	県支出金	市債	その他	30,621
前年度	31,620		1,320			30,300
増減額	28,708	0	1,300	0	29,687	321

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 1 行政評価:行政運営の透明性、信頼性の向上、総合計画の適正な進行管理、行政資源の効率的な活用及び職員の意識改革
- 2 移住等促進
- 3 市制施行10周年記念事業と市歌制定: 冠事業、市民提案事業(補助、協働)、特別事業を開催する。市歌は歌詞に曲をつけ市制施行10周年祝賀記念式典にて発表する

【効果】

- 1 行政評価:市民への説明責任の一手段として活用するとともに、実施計画、予算査定に反映させる
- 2 移住希望者を支援することにより、人口増加が見込まれる
- 3 市制施行10周年記念事業と市歌制定:市民の一体感の更なる醸成や市内外への情報発信、未来へ向けた新たな出発点となる

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【行政評価関係】

行政評価に基づき、事務事業評価 外部評価 施策評価 部局の経営方針 外部評価の事後検証のサイクルによる取り組みを引き続き行う

【移住等促進関係】

都市圏での「安曇野暮らしセミナー」開催(市主催3回・県等主催2回程度)
移住ガイドブック「安曇野暮らしのススメ」改訂再版(2,000部 主に都市圏へ設置)

【市制施行10周年記念事業と市歌の制定】

企画担当で実施する市制施行10周年記念事業は、「記念グッズの作製」、「(仮称)市民パレード」、「(仮称)山岳フェス」、「ストライダー大会」、「市民提案事業(13事業の補助金交付と1つの協働事業)」、「記念事業全体の総括と広告宣伝」
市歌については、作曲及び音源等の作成を専門家へ依頼し、市制施行10周年祝賀記念式典等で披露したい

【一般財源増加理由】 主には、AED機器更新(備品購入費)の台数が増となったため(H26は3台で1,037千円、H27は28台で6,094千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	8,636	・市制施行10周年関係(4,430千円)・市歌関係(3,879千円)・行政評価関係(255千円)	19	負担金補助及び交付金	21,305	・市制施行10周年関係(5,359千円)・松本広域連合総務費負担金(13,345千円)
9	旅費	1,287	・市制施行10周年関係(709千円)・市歌関係(268千円)				
11	需用費	4,167	・市制施行10周年関係(2,258千円)・市歌関係(50千円)・AED関係(939千円)・移住ガイドブック(566千円)				
12	役務費	108	・市制施行10周年関係(108千円)				
13	委託料	18,625	・市制施行10周年関係(16,773千円)・市歌関係(880千円)・行政評価関係(700千円)				
14	使用料及び賃借料	106	・移住セミナー駐車場代(56千円)・市制施行10周年関係(50千円)				
18	備品購入費	6,094	・AED機器更新(6,094千円)				
上記の合計		60,328	職員の人件費合計	0	事業費総合計	60,328	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・市制施行10年という大きな節目を迎えることから、記念事業などを通じ市民の皆さまの更なる一体感を醸成すると共に未来に向け新たな出発点とし、加えて、県内外へ安曇野市を情報発信する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	4,430	10周年関係:実行委員会(350千円)、記念事業(3,950千円)、市民提案協働事業(130千円)
9	旅費	709	10周年関係:記念事業(709千円)
11	需用費	2,258	10周年関係:記念事業(2,225千円)、市民提案協働事業(33千円)
12	役務費	108	10周年関係:記念事業(108千円)
13	委託料	16,773	10周年関係:記念事業(16,773千円)
その他		5,409	10周年関係: 使用料・市民提案協働事業(50千円) 補助金・市民提案補助事業(5,359千円)
合計		29,687	左記の特定財源 地域振興基金(29,687千円)

予算書ページ	86
--------	----

重点項目番号	2	コード	10201100
		部・課・係等	政策部 政策経営課 企画担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	社会性を増進させる交通環境の整備
	項	1	総務管理費		主要施策	公共交通体系の充実
	目	6	企画費		基本施策	生活交通としての利用促進
	事業	0102330	新公共交通構築運行事業		具体的な施策	デマンド交通等の運行の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	80,566					80,566
前年度	81,331					81,331
増減額	765	0	0	0	0	765

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 1 市民の移動手段の確保・維持

【効果】

- 1 市民生活の質的向上
- 2 地域間交流の促進による市域全体の活性化

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1 大幅な財政負担増を招かないような「あづみん」、「定時定路線」の利便性向上策の検討
- 2 「あづみん」等に係る市内タクシー事業者4社への運行委託単価の見直しとして、1時間当りの単価を2,000円(税抜)から2,200円(税抜)へ上げる。
- 3 「あづみん」等に係る運行車両の更新に伴い、市内タクシー事業者4社が購入する車両の費用の一部を助成する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
14	使用料及び賃借料	13	田沢駅構内使用料				
19	負担金補助及び交付金	80,553	・市地域公共交通協議会負担金(71,978千円) ・運行車両購入費補助(8,575千円)				
上記の合計		80,566	職員の人件費合計 0	事業費総合計	80,566	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・公共交通という性質から、市民等の利用者が安全に利用いただくことを目的として、一定の基準(走行距離、耐用年数)を超えた車両について、タクシー事業者の買い替えを促進するため、購入費の一部助成を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	8,575	運行車両購入費補助
合計		8,575	左記の特定財源

予算書ページ	96
--------	----

重点項目番号	3	コード	10201200
		部・課・係等	政策部・政策経営課・都市交流係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102430	国内友好交流事業		具体的な施策	都市間の連携と交流の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
9,090	5,731	3,359				345
						655
						310
						8,745
						5,076
						3,669

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

友好提携都市との連携・交流を深め、市民や地域などが主体となる多様な交流の展開を図り、文化交流と人材育成を推進する。

【効果】

友好提携を結んでいる国内都市との交流事業を通して、安曇野市の特産品ならびに安曇野市自体を発信することができる。安曇野市の特産品ならびに安曇野市の発信により、各都市住民への周知を図り、市内観光事業へつなげることができる。青少年同士の交流を通して、息の長い人的交流を期待できるとともに、様々な経験を通しての人材形成に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

友好提携を結んでいる各都市へのイベントへ26年度同様参加するとともに、市制施行10周年記念式典に際して、各都市の首長、議会議長、教育長を招待し、都市間の友好を深める事業を開催する。さらに、
 武蔵野市...隔年で実施している武蔵野市の「安曇野ツアー」の開催年度に当たるため、受入れを行う。
 江戸川区...江戸川区の花火大会への招待いただくため、参加者を募集の上実施する。
 福岡市東区...例年実施している青少年交流事業で東区へ訪問する年度となるため、参加者を募集の上実施する。
 三郷市・三郷町...三郷市・安曇野(みさとさんごうあづみの)住民ふれあい事業が、三郷町の幹事で実施される。当市が会場となるため、計画立案、参加者募集の上実施する。
 真鶴町との青少年交流事業で真鶴町へ訪問する年度となるため、参加者募集の上実施する。
 市制施行10周年記念事業に際して、友好都市よりお引きする首長等に安曇野の魅力を味わっていただけるおもてなしの場を設定する。

【一般財源増加理由】 市制施行10周年記念友好交流都市関係(3,515千円)、安曇野ハーフマラソンへの友好都市招待(731千円)。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	89	福岡市東区、江戸川区、真鶴町訪問時の随行看護師賃金	18	備品購入費	551	10周年記念事業における交流都市市旗作成購入費
8	報償費	1,037	イベント時の友好都市土産及び江戸川区民祭りステージ発表、10周年記念事業演奏謝礼	19	負担金補助及び交付金	1,240	10周年記念「あづみのハーフマラソン」友好都市招待負担金及び、市民交流補助金
9	旅費	1,962	イベント参加旅費及び福岡市東区交流に係る参加者実費弁償				
11	需用費	1,024	武蔵野市「安曇野ツアー」交流会、10周年記念事業関係				
12	役務費	175	法被クリーニング代及び、友好都市イベント出展者保険料				
13	委託料	274	友好交流事業におけるバス運転業務委託料				
14	使用料及び賃借料	2,738	10周年記念事業交流会会場使用料等				
上記の合計		9,090	職員の人件費合計 0	事業費総合計		9,090	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・市制施行10周年記念事業に関わる友好交流都市からの来賓の宿泊費及び記念演奏会謝礼、友好交流都市の市旗の作成購入費を予算化。
- ・各友好都市より「第1回あづみのハーフマラソン」へ選手を招待するため、宿泊費と参加料を予算化。
- ・福岡市東区、真鶴町を青少年交流で訪問するため必要な実費弁償、負担金を予算化。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	410	市制施行10周年記念事業(友好都市参加者への土産、演奏会奏者謝礼)
9	旅費	646	東区交流事業等参加者旅費
11	需用費	324	市制施行10周年記念事業
14	使用料及び賃借料	2,671	市制施行10周年記念事業、安曇野ハーフマラソン友好都市招待者宿泊料
18	備品購入費	551	市制施行10周年記念式典友好交流都市市旗製作購入費
19	負担金補助及び交付金	375	真鶴青少年交流負担金、友好都市安曇野ハーフマラソン参加料負担金
合計		4,977	左記の特定財源 345

予算書ページ	98
--------	----

重点項目番号	3	コード	10201200
		部・課・係等	政策部・政策経営課・都市交流係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102440	国際友好交流事業		具体的な施策	国際交流の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
4,663	3,229	1,434	0	0	0	954
						1,004
						2,225
						1,484

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	利子及び配当金	70							954
	18	国際交流基金繰入金	884							

【目的・効果】

【目的】

広い視野と国際感覚を身に付けた人材を育成する。

【効果】

国外姉妹都市であるクラムザッハとの交流事業を通して、安曇野市ならびに日本文化を広く発信できる。クラムザッハの青少年と安曇野市の青少年が交流することにより、広い視野と国際感覚豊かな青少年の育成を行うことができる。青少年が生きた外国語に触れることにより、英語等の外国語を身近なものとして捉え、外国文化に通じた青少年の育成を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

国外姉妹都市であるクラムザッハとの交流事業を進める。

平成24年3月に青少年交流で安曇野市の青少年がクラムザッハを訪問し、同年6月に市長はじめクラムザッハ友好会の公式訪問が行われている。これを受け26年度7月にクラムザッハより青少年が訪日する予定で計画を進めていたが、先方の都合により、26年度の訪日は27年度5月に延期となった。27年度は青少年並びに民俗音楽を演奏する音楽団も訪日を予定しているとのことであり、予算の増額分は音楽団の人数の増員分と、民俗音楽のコンサートを開催した時の謝礼に係る予算である。また、市内で活動している国際交流団体の上部団体への負担金補助とともに、活動補助金を交付し民間の国際交流事業の促進を図り、国際化を担う市民の育成に努める。

【一般財源増加理由】 音楽団訪日が見込まれるため、訪日団人員増員分の予算が増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	1,087	青少年ホームステイ受け入れ謝礼及び音楽団演奏謝礼	25	積立金	17	青少年交流事業支援基金利子
9	旅費	47	訪日団受け入れに係る東京送迎旅費				
11	需用費	1,237	訪日団滞在時食糧費				
12	役務費	12	訪日団通訳及び交流学生保険料				
13	委託料	205	訪日団移動に係るバス運転業務委託料				
14	使用料及び賃借料	1,164	訪日団宿泊料、交流会会場使用料、見学場所入場料等				
19	負担金補助及び交付金	894	日中友好協会の上部団体への負担金並びに民間交流団体への事業補助金				
上記の合計		4,663	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,663	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・クラムザッハより民俗音楽団が訪日団として訪日する予定である。地元の青少年との交流も兼ねて、コンサートの開催を計画している。

コンサートにおける演奏謝礼を報償費として予算化。また、音楽団訪日により訪日団の総人数が前回よりも多くなると見込まれるので、全体に係る費用を増員分予算化している。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	600	クラムザッハ音楽団演奏謝礼
11	需用費	400	クラムザッハ訪日団増員分食糧費等
14	使用料及び賃借料	453	クラムザッハ訪日団増員分宿泊料等
合計		1,453	左記の特定財源

予算書ページ	60
--------	----

重点項目番号	5	コード	10202100
		部・課・係等	政策部秘書広報課秘書広報担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102060	秘書・渉外		具体的な施策	-

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
9,892	5,454	4,438	0	0	0	4,209
						300
						5,154
						529

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	地域振興基金	3,909							
20	新年祝賀会会費	300								

【目的・効果】

【目的】

・市長及び副市長の交際、並びに渉外に関する事業を適正に執行し、開かれた市政を進める。

【効果】

・交際費を中心に、透明性ある行政の推進が図れる。
 ・市制施行10周年祝賀記念式典、新年祝賀会及び功労表彰により、市の更なる一体感の醸成が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市長日程・交際費等を情報公開し、開かれた市政を進める。
 ・市功労表彰式を開催し、功労者に対して感謝と敬意を表する。
 ・市制施行10周年を契機に、市の一体感の醸成をさらに進めるため、「安曇野市制施行10周年祝賀記念式典」を開催する。
 ・市長・市議ほか、市民が一堂に会し、年頭のあいさつを交わすとともに、新年の抱負を語り合い、市のより一層の発展を目指す。
 ・県市長会等を通じ、各市と連携のもとに、政策要望を行う。

【一般財源増加理由】 市制施行10周年祝賀記念式典事業費用の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	1,474	市制施行10周年祝賀記念式典出演者謝礼、功労表彰記念品等	19	負担金補助及び交	1,785	県、北信越、全国市長会負担金
09	旅費	1,236	市長・副市長、随員職員旅費及び市制施行10周年記念式典出演者実費弁償				
10	交際費	960	市長・副市長交際費				
11	需用費	1,297	事務消耗品、新年祝賀会会費、名刺印刷代他				
12	役務費	200	表彰状等筆耕料他				
13	委託料	2,490	市制施行10周年祝賀記念式典会場準備等委託料				
14	材料及び賃借料	450	新年祝賀会会場使用料				
上記の合計		9,892	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,892	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・市制施行10周年を市民と祝い、市の一体感の醸成をさらに進めるとともに、安曇野をより一層全国へ向けて発信するため、「安曇野市制施行10周年祝賀記念式典」を開催する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	1,030	市制施行10周年祝賀記念式典 アトラクション出演者謝礼、式典出席者記念品代等
9	旅費	160	市制施行10周年祝賀記念式典 アトラクション出演者実費弁償
11	需用費	229	市制施行10周年祝賀記念式典 パンフレット印刷代
13	委託料	2,490	市制施行10周年祝賀記念式典 会場準備等委託料
合計		3,909	左記の特定財源

予算書ページ	78
--------	----

重点項目番号	5	コード	10202100
		部・課・係等	政策部秘書広報課秘書広報担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	文書広報費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102210	広報費		具体的な施策	広報制度の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
46,389	40,595	5,794	0	0	0	5,183
						2,880
						3,491

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18		地域振興基金	2,303							5,183
	20	広告料収入	2,880							

【目的・効果】

【目的】

・広報紙やホームページ、防災行政無線などの広報媒体を活用し、市民に迅速かつ分かりやすい市政情報を提供する。

【効果】

- ・市の事業にかかわるさまざまな情報を市民に知ってもらうことができる。
- ・市政への関心、参画意識が高まる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市発行の全市民向け広報紙を作成配布する。発行部数 37,000部
(発行 月の第1水曜日 お知らせ版 第3水曜日 通常版 年21回発行)
- ・市ホームページで市政情報を広く発信する。(ホームページの更新)
広報紙は新聞販売店を通じて、全世帯に迅速に届ける。
広報紙とホームページに有料広告を掲載し、自主財源を確保する。
ホームページのお問い合わせフォーム等で市民意見をお寄せいただき広聴の充実にも努める。
- ・市制施行10周年記念事業として広報特別記念号を発行(市民・招待者へ配布)する。
- ・防災行政無線で広く市政情報を発信する。(アナログ放送への対応)

【一般財源増加理由】 広報印刷費、市制施行10周年記念事業費用、防災行政無線放送臨時職員賃金の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,552	防災行政無線放送臨時職員賃金				
9	旅費	112	広報セミナー、基礎セミナー、ホームページセミナー参加旅費				
11	需用費	18,699	広報紙印刷費(10周年記念号含む)、広報あづみの縮刷版				
12	役務費	83	市長と語る会手話通訳料				
13	委託料	23,714	広報紙配布委託料、ホームページ自動翻訳料 記者会見ボード作成				
18	備品購入費	127	カメラ三脚、スピードライト(フラッシュ)				
19	負担金	102	日本広報協会負担金、広報研修会参加負担金				
上記の合計		46,389	職員の人件費合計 0	事業費総合計	46,389	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

市制施行10周年記念事業として、広報特別記念号を発行する。また、広報あづみの発行200号となり、この縮刷版を作成し、市の歴史資料として図書館に備える。
防災行政無線のアナログ放送を行うための体制を整備する。(平成28年度3月31日でアナログ放送は廃止予定)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	3,552	防災行政無線アナログ放送による市政情報発信に関わる臨時職員賃金
11	需用費	2,303	市制施行10周年広報特別記念号発行 1,763千円、広報あづみの縮刷版の発行 540千円
13	委託料	165	市長記者会見バックボード作成 165千円
合計		6,020	左記の特定財源 2,303

予算書ページ	90
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10203100
		部・課・係等	政策部情報統計課情報政策係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	7	情報施策費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102370	電算管理業務		具体的な施策	情報化の推進と活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	443,318	国支出金	県支出金	市債	その他	415,424
前年度	507,656				662	507,012
増減額	64,338	27,232	0	0	18	91,588

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	14	社会保障・税番号制度システム整備費		27,232					27,894
	20	財務会計処理実費徴収		662					

【目的・効果】

【目的】

・行政情報システムの適正な管理・運用を行い、市民に対する行政サービスの継続性を確保する。

【効果】

・情報システムのセキュリティを確保することにより、市民から預かっている個人情報データを不正漏えいから守る。
 ・行政情報システムを適正に管理・運用することにより各種証明書発行、窓口相談支援等市民サービスを向上させ、継続性を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・情報システムや庁内パソコン・プリンタの保守及びトナーの在庫を一括管理し、老朽化した機器の入れ替えを行う。
- ・情報システムの動作状況の監視、職員のシステム操作支援を行う。
- ・情報システムの障害発生時、障害現象・範囲等の切り分け、保守委託会社との連絡・調整、庁内への周知等を行う。
- ・情報システムのライセンス、バージョン、システム更新情報を適切に管理しセキュリティ対策を行う。
- ・平成27年度の共通番号制度開始に向けて、現行システムの改修を行う。
- ・新庁舎開庁に合わせ支所間、学校系等のネットワークを整理する。
- ・平成27年度にリース満了を迎える一部システム(基幹業務系、戸籍、図書館の各システム)について、システムの更新を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	156	情報システム研修や先進地視察に係る旅費	19	負担金補助及び交付金	6,626	地方自治情報センター会費
11	需用費	34,494	プリンタのトナー代、納付書等帳票用紙代、パソコン・プリンタ等修繕費				
12	役務費	35,640	支所、出先、インターネットへの接続に係るネットワーク通信料				
13	委託料	162,031	各種情報システム保守料、総合窓口支援システム導入委託料、新本庁舎への移設委託料				
14	使用料及び賃借料	204,171	パソコン、プリンタ、各種情報システムリース料、ケーブルテレビ・各種情報システム使用料				
15	工事請負費	100	電柱移設に伴う通信ケーブル移設工事費				
18	備品購入費	100	リース満了機器の買い取り				
上記の合計		443,318	職員の人件費合計	0	事業費総合計	443,318	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・更新を迎える基幹系業務端末への生体認証システムの構築

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	14,134	生体認証システム導入委託費
13	委託料	706	生体認証システム保守委託費
合計		14,840	左記の特定財源

予算書ページ	92
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10203100
		部・課・係等	政策部情報統計課情報政策係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	7	情報施策費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102380	地域・行政情報化推進事業		具体的な施策	情報化の推進と活用
	単位:千円					

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,140					3,140
前年度	8,969					8,969
増減額	5,829	0	0	0	0	5,829

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・電子申請・公的個人認証等情報化による市民生活の利便性向上や防災・減災システムを構築し、安心して暮らせるまちづくりに寄与する。

【効果】

・公的個人認証により、税務署等に出向がなくても所得税還付・確定申告ができる。
 ・LGWAN(総合行政ネットワーク)からの、給与支払報告書や確定申告書等のデータ受信を行うことにより、迅速・正確に市税の課税事務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・LGWAN(総合行政ネットワーク)機器の管理・運用を行う。
 ・ながの電子申請の利用促進、庁内各部署からの手続き追加依頼に伴う設定情報の追加・修正を行う。
 ・前年度に行政ネットワーク強じん化環境構築費を計上したが保留とし、本年度において引き続き検討を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	1,647	LGWAN等情報システム保守				
14	使用料及び賃借料	764	LGWAN等情報システムリース料				
19	負担金補助及び交付金	729	情報ブロードウェイながのの利用負担金、ながの電子申請利用負担金				
上記の合計		3,140	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,140	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	112
--------	-----

重点項目番号	5	コード	10203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	1	統計調査総務費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102570	統計調査総務費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	322		19			303
前年度	322		19			303
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額		細節名称	金額	
	15	統計調査員確保対策事業委託金	19							19

【目的・効果】

【目的】

・「安曇野市の統計」の冊子の作成及びホームページへ統計データを掲載し、各種施策に役立てることを目的としています。
 ・国が行う統計調査の実施にあたり県からの委託により調査員の推薦を行い、調査を円滑に実施するために登録調査員の確保を行います。

【効果】市の人口・経済など市勢の現況やその推移を明らかにした統計資料を公表し、これらの調査結果は、行政等の各種計画策定に活用されています。また、調査員の確保対策事業を行うことにより、円滑・正確な統計調査を推進します。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・「安曇野市の統計」の製本・印刷・配布及びホームページへの統計データを掲載します。
 ・統計登録調査員の確保、統計調査員・指導員台帳の作成整備を行います。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	30	統計調査関係資料の整理等				
11	需用費	264	「安曇野市の統計」冊子の印刷製本				
12	役務費	10	統計調査員諸連絡郵便料				
13	委託料	18	県統計調査員表彰式参加のためのマイクロバス運行委託				
上記の合計		322	職員の人件費合計	0	事業費総合計	322	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	5	コード	10203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102580	学校基本調査費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18		17			1
前年度	18		17			1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	学校基本調査委託金	17							

【目的・効果】

【目的】 学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に行われます。

【効果】 学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料として活用されます。また、地方交付税の算定の基礎としても利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する下記の調査実施にあたって、調査関係資料の配布、調査票内容の点検等を行う。

【調査の概要】

- ・所管省庁 文部科学省
- ・調査周期 毎年
- ・調査対象 市内の小学校(10校)、中学校(7校)、幼稚園(2園)と安曇野市教育委員会
- ・調査方法 教育委員会を通じて、調査協力依頼及び関係書類配布(調査は全てオンライン調査による)
- ・調査基準日 平成27年5月1日現在

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	18	統計調査関係の消耗品の購入						
上記の合計				18	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	114
--------	-----

重点項目番号	5	コード	10203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102590	工業統計調査費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
18	589	571	0	571	0	0
						10
						10
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	工業統計調査委託金	8							

【目的・効果】

【目的】 製造業を営む経営の態様、製品出荷額等について調査を実施し、工業の実態を明らかにすることを目的に行われます。
 【効果】 調査結果は、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となります。また、国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータが提供され利活用されます。なお、平成28年6月1日に経済センサス-基礎調査が行われるため、前年度にあたる平成27年は調査は行われませんが、事務管理費が計上してあります。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【調査の概要】

- ・所管省庁 経済産業省
- ・対象区域 市内92調査区
- ・事業内容 調査対象事業所の確認、修正等を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	15	事務用品				
12	役務費	3	通信費				
上記の合計	18	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計	0	左記の特定財源	

予算書ページ	114
--------	-----

重点項目番号	5	コード	10203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102600	農林業センサス		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	218		208			10
前年度	10,667		10,657			10
増減額	10,449	0	10,449	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	農林業センサス委託金	208							

【目的・効果】

【目的】 農林業センサスは、農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料を作成し、提供することを目的に行われます。

【効果】 調査結果は、地方交付税法に基づく交付金の算定、農業関係の交付金の要件の判定資料、地域資源の保全管理政策の検討・推進資料外、各種統計調査の母集団情報として利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する下記の調査実施にあたって、調査関係資料の配布、調査票内容の点検等を行う。

【調査の概要】

・4月から6月にかけて市内の169の農業集落を対象に、農山村地域調査(農業集落調査)として農地の状況、地域資源の確保・活用状況農業集落の立地条件等を調査します。

・所管省庁 農林水産省 ・調査周期 5年周期

・調査対象 農業集落

・調査方法 国が任命する調査員が集落に精通されている方たちへ調査票配布、回収を実施します。

・主な調査事項 立地条件、総戸数、総土地面積、寄り合いの開催状況、地域保全、地域の活性化状況

・調査基準日 平成27年2月1日現在

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	178	事務用品				
12	役務費	40	通信費				
上記の合計		218	職員の人件費合計	0	事業費総合計	218	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	114
--------	-----

重点項目番号	5	コード	10203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102700	国勢調査費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,700		35,600			100
前年度	0		0			0
増減額	35,700	0	35,600	0	0	100

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	15	国勢調査委託金		35,600					35,600

【目的・効果】

【目的】平成27年10月1日を基準日として行われる、平成27年国勢調査の実施にあたり、国勢調査員の担当区域を明確にし、調査の重複・脱漏を防ぎ、調査の正確性を期するとともに、調査結果の集計及び各種統計調査の実施の基礎資料を得ることを目的に行われます。
 【効果】国勢調査の調査結果は、衆議院の小選挙区の画定基準、地方交付税の算定基準等、多くの法令でその利用が明記されています。また、国や地方公共団体における各種施策の立案・推進に利用されるのみならず、学術、教育、民間等各方面で広く利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

下記の調査実施にあたって調査員指導員の推薦、説明会の開催、調査関係資料の配布、問合せ対応、調査票内容の点検等を行う。

【調査の概要】

- ・所管省庁 総務省 ・調査周期 5年周期
- ・調査対象 日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象とし調査を実施する。(市内635調査区)
- ・調査方法 調査員による調査客体への調査票等の配布、回収を行います。(平成27年国勢調査では、インターネット回答(オンライン回答)推進するため、調査員がインターネット回答に必要な紙の「調査票」に先行してインターネット回答を回答期間を設定する方式で調査を実施し、回答のなかった世帯のみに「調査票」を配布し、合理的・効率的な調査方法で実施します。)
- ・調査基準日 平成27年10月1日現在

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	27,917	統計調査 指導員、調査員 報酬	13	委託料	11	調査業務委託
3	職員手当等	552	時間外勤務	14	使用料及び賃借料	1,957	統計業務支援システム、複写機使用料等レンタル
7	賃金	2,403	調査票等整理等				
8	報償費	183	調査協力者記念品等				
9	旅費	315	統計調査 指導員、調査員 交通費				
11	需用費	848	調査事務用品				
12	役務費	1,514	指導員、調査員 通信費				
上記の合計		35,700	職員の人件費合計	0	事業費総合計	35,700	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	116
--------	-----

重点項目番号	5	コード	10203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102710	経済センサス-活動調査準備費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
356	0	356	0	346	0	10

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	合計金額
	15	経済センサス-調査準備委託金	346	346

【目的・効果】

【目的】 経済センサス-活動調査は、事業所の経済活動及び企業の経済活動の状態を調査し、全ての産業分野における事業所及び企業の活動からなる経済の構造を全国的及び地域別に明らかにする基幹統計を作成すること並びに各種統計調査実施のための事業所及び企業の名簿を得ることを目的とします。

【効果】 調査結果は、行政施策への利用、(経済、環境、雇用、中小企業、男女共同参画、振興施策、交通計画策定、地域災害対策)や国民経済計算の推計への利用、各種白書における分析で利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する下記の調査実施にあたって調査員指導員の推薦、用品購入等の準備を行う。

【調査の概要】

- 平成28年経済センサス-活動調査が行われる前年度の準備経費等
- ・所管省庁 総務省・経済産業省 ・調査周期 5年周期
- ・調査対象 市内の事業所及び企業
- ・調査方法 調査員の調査客体への調査票配布、回収を実施
- ・主な調査事項 経営組織、事業所の開設時期、従業員数、事業所の主な事業内容、売上及び費用の金額、事業別売上金額等
- ・調査基準日 平成28年6月1日

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
3	職員手当等	51	時間外勤務				
7	賃金	51	調査票等整理等				
8	報償費	11	調査協力者記念品等				
11	需用費	233	調査事務用品				
12	役務費	10	通信費				
上記の合計		356	職員の人件費合計	0	事業費総合計	356	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	116
--------	-----

重点項目番号	5	コード	10203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102720	経済センサス調査区管理費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20		10			10
前年度	0		0			0
増減額	20	0	10	0	0	10

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	経済センサス調査区管理委託金	10							

【目的・効果】

【目的】 経済センサスをはじめ、事業所又は企業を対象とする各種統計調査実施に当たり、調査区管理により調査区が変更になった事業所及び登記簿等の行政記録から追加された事業所について、調査区台帳等の管理を行う。

【効果】 追加された事業所等について、調査区台帳を用いた効率的な調査区等の同定を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【調査の概要】

- ・所管省庁 総務省
- ・対象 市内92調査区
- ・事業内容 調査区境界や調査対象の確認、修正等を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	10	事務用品				
12	役務費	10	通信費				
上記の合計		20	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	116
--------	-----

重点項目番号	5	コード	10203200
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行政運営の推進
	項	5	統計総務費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102730	商業統計調査費		具体的な施策	地域情報ネットワークの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
56	0	56	0	46	0	10

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	商業統計調査費	46							46

【目的・効果】
 【目的・効果】
 商業統計調査に係る確認作業等(継続事務)を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 商業統計調査に係る商業集積地区、大規模店舗マスターデータ等の確認作業等を行う。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
7	賃金	17	台帳整理等								
11	需用費	22	調査事務用品								
12	役務費	17	通信費								
上記の合計		56	職員の人件費合計	0	事業費総合計	56	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

財政部

予算書ページ	78
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10301100
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	3	財政管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102230	財政管理費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	134					134
前年度	134					134
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
													0

【目的・効果】

【目的】

財政事務に必要な職員の実務能力の向上、情報収集、物品の購入。

【効果】

知識の習得や継続的な学習・情報収集等を通じ、適正で健全な計画性のある財政運営につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
9	旅費	35	公会計制度研修、財政研修						
11	需要費	99	決算統計ハンドブック、地方財務実務提要の追録、その他参考図書						
上記の合計		134	職員の人件費合計			0	事業費総合計	134	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	80
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10301100
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	5	財産管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102250	基金積立金		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
28,947	42,556	13,609	0	0	0	0
						28,947
						42,556
						13,609

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	財政調整基金利子	13,244							
16	減債基金利子	5,665								
16	公共施設整備基金利子	10,035								

【目的・効果】

【目的】

条例の定めにより、特定の目的のために財産を維持するとともに、資金を積み立てる。

【効果】

市の健全な財政運営に資する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・財政調整基金条例の定めにより、26年度決算剰余金からH27年度に繰り越す歳出予算の財源に充てるべき金額(継続費の支出財源として通次繰り越した金額を含む。)を控除した額の2分の1を下らない額を財政調整基金に積み立てる。
- ・財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金の3基金の運用で生じた利子を、当該基金へ積立てる。

【参考:基金残高(H26年度末見込額)】

財政調整基金 5,099,621,918円 / 減債基金 1,696,552,819円 / 公共施設整備基金 3,412,352,559円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	積立金	28,947	財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金への利子積立				
上記の合計						28,947	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	388
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	10301100
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当

予算	款	12	公債費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
	項	1	公債費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち	
	目	1	元金		基本施策	健全な自治体経営の推進	
	事業		0112010		長期借入金償還元金	具体的な施策	健全な財政運営
	単位:千円						

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,176,591				216,230	3,960,361
前年度	3,994,264				400,212	3,594,052
増減額	182,327	0	0	0	183,982	366,309

特定財源の内訳	款	18	減債基金繰入金	金額	210,000	合計金額
		20	地域総合整備資金貸付金元金収入	金額	6,230	
					216,230	

【目的・効果】
【目的】
 地方債元金を償還する。
【効果】
 将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 H26年度までの借入に対し元金を償還する。
 (地方債現在高のH26年度末見込額 41,945,535千円)
 (内、H25借入までの分33,708,835千円、H26借入見込額8,236,700千円)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子および割引料	4,176,591	H26までの借入に対する償還元金				
上記の合計		4,176,591	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,176,591	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	388
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	10301100
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当

予算	款	12	公債費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	公債費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	利子		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0112020	長期借入金償還利子		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	372,215				0	372,215
前年度	417,577				36,000	381,577
増減額	45,362	0	0	0	36,000	9,362

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・地方債利子を償還する。
- ・一時借入のための利子を確保する。

【効果】

将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
H26年度までの借入に対し利子を償還。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子および割引料	372,215	H26までの借入に対する償還金利子				
上記の合計		372,215	職員の人件費合計	0	事業費総合計	372,215	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	390
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	10301100
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当

予算	款	14	予備費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	予備費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	予備費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0114010	予備費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,000					50,000
前年度	50,000					50,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 地方自治法217条により予備費を設ける。
 【効果】
 当初予期しなかった予算外の支出が生じた場合及び歳出予算計上額に不足が生じた場合、これに充てることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 予備費として50,000千円を計上

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	50,000					
上記の合計	50,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	50,000	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計	0	左記の特定財源	

予算書ページ	80
--------	----

重点項目番号	5	コード	10301200
		部・課・係等	財政部 財政課 契約係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	5	財産管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102260	契約管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

	金額	特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,071	0	0	0	0	4,071
前年度	5,314	0	0	0	0	5,314
増減額	1,243	0	0	0	0	1,243

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・競争性、透明性、公平性が確保されて契約事務を執行する。

【効果】

・予算の効率的執行を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

一般競争入札を基本とした契約の執行

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	360	契約事務及び入札参加資格申請定期受付業務賃金				
09	旅費	53	工事及びリース契約の実務研修				
11	需用費	44	事務用品外				
13	委託料	1,167	電子入札システム保守				
14	使用料及び賃借料	1,994	落札業者データ検索システム・電子入札システム・契約システム				
18	備品購入費	40	ソフトウェア購入(アクロバット11)				
19	負担金補助及び交付金	413	電子コアシステム負担金・契約研修負担金				
上記の合計		4,071	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,071	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	100
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	10302100
		部・課・係等	財政部 市民税課 諸税係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	2	徴税費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	税務総務費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102460	税務総務費		具体的な施策	安定した財政基盤の確保

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	413,008	国支出金	県支出金	市債	その他	303,847
前年度	415,745		107,000		1	308,744
増減額	2,737	0	0	0	2,160	4,897

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	県民税徴収事務委託金	107,000							
18	地域振興基金	2,160								
20	その他税関係雑入	1								

【目的・効果】

【目的】

市町村税体系における基幹的な税であり、納税者にとって公平・公正・的確な賦課に努める。広報活動の充実等により収入率の向上を図り、安定した財政基盤を確保する。

【効果】

安定した財政基盤の確保。
適正な課税客体の捕捉による不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

公平・公正・的確な賦課と捕捉率の向上に向け
未申告者の解消。
庁内各種資料せん、国、県資料による課税の是認、否認。
訪問指導等を行う。
納税意識の高揚(関心の増加)を図るため
租税教育の実施。
広報紙・ホームページ・新聞等を活用した税務広報。
口座振替の推進。
特別徴収事業所の推進を図る。

【一般財源増加理由】 主に、軽自動車オリジナルナンバープレート作成で2,160千円増、納税通知書封入作業委託・軽自納税証明書プリント委託で2,456千円増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	8,073	通年雇用臨時職員、申告相談対応臨時職員賃金	18	備品	69	税証明手数料管理用レジスター
8	報償費	606	租税教育推進協議会で実施する税に関する作文等募集に係る記念品	19	負担金補助及び交付金	2,128	地方税電子化協会負担金
9	旅費	81	地方電子化協議会全国説明会旅費(東京)	23	償還金、利子及び割引料	56,300	市税の還付金及び還付加算金
11	需用費	3,986	事務用品、図書、印刷製本及び物品修繕				
12	役務費	2,386	税のPR用広告料及び軽自動車申告書取扱手数料				
13	委託料	8,439	課税原票管理システム保守、税制改正に伴うシステム改修				
14	使用料及び賃借料	9,385	課税原票管理システム及びeL-TAX使用料				
上記の合計		91,453	職員の人件費合計 321,555	事業費総合計		413,008	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

安曇野市制施行10周年記念事業の一環として軽自動車オリジナルナンバープレートの作成。
市県民税(普通徴収)・軽自動車税納税通知書封入作業委託、シーリングはがきによる軽自動車税納税証明書発行。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	1,134	軽自動車オリジナルナンバープレート作製
13	委託料	3,482	市県民税(普通徴収)・軽自動車税納税通知書封入作業委託、軽自納税証明書プリント委託、軽自オリジナルナンバープレート金型作製
合計		4,616	左記の特定財源 なし

予算書ページ	102
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	10303100
		部・課・係等	財政部 資産税課 家屋担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	2	徴税費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	賦課徴収費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102470	資産税費		具体的な施策	安定した財政基盤の確保

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
21,769	73,516	51,747	0	0	0	0
						1
						1
						1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他税務関係雑入	1							1

【目的・効果】

【目的】

市町村税体系における基幹的な税であり、納税者にとって身近な税である固定資産税の公平・公正、適正な賦課。

【効果】

- ・財政基盤の安定。
- ・市民への「受益と負担」の関係における、負担についての不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- ・H30年度の評価替えに向けて市内の均衡を図り公正な評価を行うため、路線図、状況類似ブロック図、標準宅地位置図を更新する。
- ・地方税法第343条第2項に基づき、相続人等の調査を実施し納税義務者を死亡者から相続人等に訂正し、改めて課税に係る手続きを行い適正な賦課に努める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	29	・固定資産評価員報酬	19	負担金補助及び交付金	301	・各課税客体の賦課に係る基礎知識を会得するための研修参加費
07	賃金	5,788	・一般事務補助、相続人調査 ・納税通知書封入・発送事務				
09	旅費	403	・各課税客体の賦課に係る基礎知識を会得するための研修旅費				
11	需用費	1,403	・当初納税通知書へ同封する課税案内の印刷製本 ・賦課資料の保管用ファイル				
12	役務費	56	・公用車点検費用				
13	委託料	12,828	・GIS更新 ・評価体系集約化事業				
14	使用料及び賃借料	961	・税務地図情報システム使用料 ・課税資料電子化ファイリング機器のリース・保守料				
上記の合計		21,769	職員の人件費合計	0	事業費総合計	21,769	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	104
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	10304100
		部・課・係等	財政部 収納課 管理係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	2	徴税费		主要施策	経営的視点にたった行財政がなされるまち
	目	2	賦課徴収費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102480	収納費		具体的な施策	安定した財政基盤の確保

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
54,874	68,584	13,710	0	40,000	0	2,500
			0	0	0	0
						12,374
						26,084
						13,710

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	督促手数料	2,500							42,500
	15	県民税徴収事務委託金	40,000							

【目的・効果】

【目的】

・市税納期内納付の勧奨及び滞納整理を実施することにより未納額の縮減、財政基盤の安定化を図る。

【効果】

・滞納整理業務を執行することにより納税義務の公平性の確保と貴重な自主財源としての市税を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・当初納付書発送時に口座振替勧奨チラシを同封、また放送スポット及びポスターなどにより口座振替の啓発活動をおこなう。
 ・新規滞納者を増やさないようにコールセンターから初期未納者に対して架電をおこない自主納付を促す。納付がない場合には、財産予告及び差押予告書を送り強く納付を促す。
 ・催告に応じない滞納者に対して実態調査及び財産調査をおこなったうえで差押処分を執行する。
 ・長野県地方税滞納整理機構へ大口案件、困難案件を徴収移管する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,061	滞納整理顧問報酬	14	使用料及び賃借料	1,459	コピー機リース料、パフォーマンスチャージ料、コンビニ収納システム使用料
07	賃金	15,477	収納嘱託員3名・非常勤嘱託職員4名(日給者4名)	18	備品購入費	162	エンジンstarter
08	報償費	540	収納員車借上げ料	19	負担金補助及び交付金	9,155	日本経営協会等研修負担金、長野県地方税滞納整理機構負担金
09	旅費	478	日本経営協会・東京税務協会研修、県外臨戸(関東方面、長野県周辺)	27	公課費	9	重量税
11	需要費	3,491	口座振替依頼書外印刷、事務用品、公用車等修繕				
12	役務費	17,937	コールセンター等電話料、窓口収納外金融機関手数料、車検、滞納処分手数料、不動産鑑定手数料、広告料				
13	委託料	5,105	コールセンター、コンビニ収納プリンター保守、県外滞納者実態調査				
上記の合計		54,874	職員の人件費合計	0	事業費総合計	54,874	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・差押物件(不動産)の換価手続きとしてインターネット公売を実施するための手数料を計上する。
 ・差押動産(自動車等)の移動を迅速化するためエンジンstarterを購入する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	役務費	1,364	インターネット公売手数料
12	備品購入費	162	エンジンstarter
13			
18			
合計		1,526	左記の特定財源

予算書ページ	82
--------	----

重点項目番号	1	コード	10305100
		部・課・係等	財政部財産管理課管財係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	5	財産管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102270	財産管理費		具体的な施策	公共施設の効果的利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	55,213				490	54,723
前年度	25,040				479	24,561
増減額	30,173	0	0	0	11	30,162

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	20	総合賠償補償等保険金		1					490
	20	安曇野市土地開発公社臨時職員人件費負担金		489					

【目的・効果】

- 【目的】・低、未利用地及び低、未利用施設を処分して維持管理費の低減を図るとともに、自主財源を確保する。
 ・建築工事等を競争入札にかけられるため、他部署からの依頼を受けて適正な設計積算を行う。
 ・公会計移行による固定資産台帳の整備と、公会計に連動した台帳システムの構築に取り組む。
- 【効果】・遊休資産の処分を行い、効率的な財源管理を行うとともに、宅地の供給により、定住人口の増加を促す。
 ・建築コストの透明性・客観性を確保し、予算の効率的執行を図る。
 ・公会計移行により全国統一的な財務書類が整備できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

公共施設等固定資産台帳システム整備事業

- ・平成27年度に固定資産台帳整備業務委託を発注。
- ・平成27年度と28年度の2年で固定資産データ収集と調査、資産評価、システム構築を行う。
- ・平成27年度は、庁内の協力体制を整え、データ収集と調査を進める。

【一般財源増加理由】 公会計移行新規事業分(17,027千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	4,110	臨時職員(建築)、臨時職員賃金(一般)		15	工事請負費	445	未利用施設不要物撤去工事等	
08	報償費	1,000	設計謝礼		19	負担金補助及び交付金	251	建築構造研修会負担金・公有財産管理の法律実務研修	
09	旅費	186	建築構造別設計及び積算講習・公有財産管理の法律実務研修		22	補償補填及び賠償金	917	財産管理地電気工作物移転補償	
11	需用費	392	設計積算書籍及びテキスト代・市有財産管理用除草剤・草刈り刃・安全帯・事務用品						
12	役務費	16,972	管理地支障木伐採・建物災害共済保険・総合賠償補償保険						
13	委託料	30,815	未利用地測量業務・市有地維持管理業務・公共施設等固定資産台帳システム整備業務、設計監理委託						
14	使用料及び賃借料	125	刊行物掲載情報利用料						
上記の合計		55,213	職員の人件費合計	0	事業費総合計		55,213	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・公共施設等固定資産台帳システム整備事業は、総務省より平成27年度から平成29年度の3年間で、公会計移行への財務書類として固定資産台帳整備を求められているため、統一的な財務書類として固定資産台帳の整備と、公会計連動も考慮した台帳システム構築に取り組む必要がある。
 ・安曇野市が発注する一定金額以上、全ての建築工事において、計画段階の設計から入札、工事着手届等の関係書類・工事監督・変更設計・竣工届等の書類、そして引渡しに至るまで、一連の工事に関する設計積算及び監督監理を一定の責任と権限により、現在の職員数でスムーズに進め、さらに専門性を保つのは難しいため、専門的な知識を有する非常勤職員(一級建築士・二級建築士)を募集する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	17,878	固定資産データ収集・調査、資産評価、システム構築(H27年度 17,878千円・H28年度 21,734千円)	
合計		17,878	左記の特定財源	

予算書ページ	86
--------	----

重点項目番号	1	コード	10305100
		部・課・係等	財政部財産管理課管財係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	6	財産管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102340	土地開発基金費		具体的な施策	公共施設の効果的利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
565	43,683	43,118	0	0	0	520
						45
						858
						42,825
						338
						42,780

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	土地開発基金利子	520							

【目的・効果】

【目的】

・土地開発基金の財産の管理、運営を行い、最終的に土地開発基金の整理を行う。

【効果】

・土地開発基金運営により、市事業の円滑な展開が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・土地開発基金で事業目的に沿って購入した土地で、各所管課に所有が移っていない物件は所管課と協議し適正な管理運営をしていく。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金及び交付金	44	土地改良区負担金				
28	繰出金	521	基金運用益				
上記の合計		565	職員の人件費合計	0	事業費総合計	565	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	82
--------	----

重点項目番号	1	コード	10305200
		部・課・係等	財政部財産管理課施設経営担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	5	財産管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102300	公共施設再配置計画		具体的な施策	公共施設の効果的利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	282				0	282
前年度	668				0	668
増減額	386	0	0	0	0	386

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
									0

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市が所有する公共施設等の全体の状況と将来見通しを把握し、公共施設管理の基本的な方針を定め、市が進めるファシリティマネジメントの上位計画とする。

【効果】

・公共施設の効果的・効率的な施設経営の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

総務省より、インフラを含めた「公共施設等総合管理計画」の策定を求められている。
市ではこれまで、建築物に関する再配置計画を進めてきたが、平成27年度は、国の要請に合わせ、インフラを含めた計画策定を進める。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	220	公認会計士相談							
09	旅費	51	公共施設等総合管理計画研修会							
11	需用費	11	参考図書							
上記の合計		282	職員の人件費合計	0	事業費総合計	282	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	62
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10305300
		部・課・係等	財政部財産管理課庁舎管理係

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点にたった行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102020	新本庁舎管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	274,659				1,595	273,064
前年度	18,636					18,636
増減額	256,023	0	0	0	1,595	254,428

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	20	庁舎等自動販売機設置		252					1,595
	20	公衆電話料		1					
	20	その他雑入		1,342					

【目的・効果】

【目的】

・新本庁舎の維持管理を行う。大規模な施設であるため、専門的な管理運営が必要であることから、総合管理による設備管理、警備(宿日直)、受付、電話交換、清掃、敷地管理等を行う。

【効果】

・総合管理により専門的な施設管理ができることから、施設の長寿命化や将来的に維持管理コストの低減が図れる。これにより庁舎利用者の利便性及び安全が確保でき、住民サービスの向上に繋がられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・5月7日の新本庁舎開庁に向け、移転作業等を行い本稼働に備えるとともに、主に移転後の総合管理による、きめ細やかな施設の維持管理を行う。

・本年度は本庁舎への移転及び本稼働に係わる経費が必要となる。

【一般財源増加理由】 新本庁舎移転及び本庁舎の本稼働による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	75,171	コピー用紙7,729千円・印刷機インク等1,591千円・暖房灯油等6,808千円・光熱水費57,163千円・印刷製本費1,113千円	22	補償補填及び賠償費	30,110	・本庁舎用地取得に伴う物件移転補償費
12	役務費	11,816	NTT電話料等10,965千円・複合機移設費481千円・危険物取扱者保安講習会受講59千円・家電リサイクル料278千円				
13	委託料	99,159	総合管理業務委託(79,690千円)・引越し業務委託14,580千円・印刷機保守料1,271千円・環境MS委託料324千円				
14	使用料及び賃借料	47,185	複合機一元管理システム料4,178千円・印刷機リース料2,673千円・テレビ受信料2,043千円・複合機使用料35,824千円				
15	工事請負費	2,198	・本庁舎敷地造成工事2,198千円				
17	公有財産購入費	8,856	・本庁舎敷地購入費8,856千円				
19	負担金補助及び交付金	164	・危険物取扱等負担金				
上記の合計		274,659	職員の人件費合計 0	事業費総合計		274,659	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・新本庁舎の日常の維持管理を行う。安曇野市庁舎は大規模な施設であるため、専門的な知識を必要とすることから、総合管理による設備管理、警備(宿日直)、受付、電話交換、清掃、敷地管理を行う。これにより施設の長寿命化や維持管理コストの低減が図れ、庁舎利用者の利便性及び安全が確保でき、住民サービスの向上に繋がられる。

・平成27年5月7日新本庁舎開庁にあたり引越しに係る費用が必要となる。また、複合機を統合し、一元管理システムの導入によりプリントアウト時の混乱解消と情報漏えいの防止が図れる。

・本庁舎への環境マネジメントシステム導入により、省エネ、省資源、廃棄物減量等の環境活動の取組みを行い、市の行政経営計画に連帯させ効果的、効率的な事務の運用を図っていく。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	759	複合機移設費481千円・家電リサイクル料278千円
13	委託料	94,594	総合管理業務79,690千円・本庁舎引越し業務委託14,580千円・環境マネジメントシステム導入324千円
14	使用料及び賃借料	4,178	複合機一元管理システム料4,178千円
合計		99,531	左記の特定財源

予算書ページ	62
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10305300
		部・課・係等	財政部財産管理課庁舎管理係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点にたった行政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102070	本庁舎管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	31,446				1	31,445
前年度	25,861				94	25,767
増減額	5,585	0	0	0	93	5,678

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	20	電報電話料(本庁舎)		1					1

【目的・効果】

【目的】

- ・新本庁舎移転までの現本庁舎及び県安曇野庁舎の維持管理を行う。
- ・移転後は現本庁舎を取り壊し駐車場として整備する。

【効果】

- ・新庁舎移転までの本庁機能を確保する。
- ・老朽化した現本庁舎を解体することにより安全が確保でき維持管理の軽減が図れ、不足する駐車場が増設できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・新本庁舎移転までの本庁事務に必要な光熱水費、コピー機等事務機器の使用料等を計上する。
- ・新本庁舎移転までの政策部・財政部等の事務所としている県安曇野庁舎の使用料、負担金(共益費)を計上。
- ・現本庁舎は昭和40年度築、鉄筋コンクリート2階建て(714㎡)で古く、耐震強度が不足していることから本年度取り壊しをし、不足している駐車場として整備する。これに伴い、現本庁舎内、県安曇野庁舎内、その他豊科支所の不要物を処分する。

【一般財源増加理由】 新本庁舎移転後の維持管理費は軽減するが、新たに現本庁舎の解体費及び敷地整備費が増額するため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	495	・新聞等消耗品27千円 ・電気、ガス、水道等の光熱水費468千円				
12	役務費	467	・NTT電話料等341千円・印刷機等引揚げ手数料126千円				
13	委託料	5,025	・庁舎管理委託58千円・清掃業務41千円 ・不要物廃棄処分4,080千円・解体監理委託料681千円				
14	使用料及び賃借料	395	・テレビ受信料16千円・コピー機使用料33千円 ・県庁舎使用料346千円				
15	工事請負費	24,851	・本庁舎解体費22,770千円・駐車場整備工事費856千円 ・電気設備撤去1,225千円				
19	負担金補助及び交付金	213	・県安曇野庁舎共益費213千円				
	上記の合計	31,446	職員の人件費合計 0		事業費総合計	31,446	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・引越しに伴う、本庁舎内、県安曇野庁舎内、その他豊科支所で不要となった什器等を処分する。
- ・現在使用している本庁舎は、昭和40年度築鉄筋コンクリート造2階建て(714㎡)で古く、耐震強度が不足していることから本年度取り壊しをし、不足している駐車場として整備する。

節	金額(千円)	主な内容
13	4,728	現本庁舎解体工事監理委託料648千円、現本庁舎解体工事及び支所建替えに伴う不要委託料4,080千円
15	22,592	現本庁舎解体工事、駐車場整備工事ほか
合計	27,320	左記の特定財源

予算書ページ	64
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10305300
		部・課・係等	財政部財産管理課庁舎管理係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点にたった行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102080	公用車管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
48,849	43,728	5,121	0	0	0	1,500
						47,349
						42,228
						5,121

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公有自動車損害共済金	1,500							

【目的・効果】

【目的】

・新本庁舎開庁により、各支所等で管理していた共用車両を集中管理することにより、効率的な利用と運用を図る。
 ・公用車の削減を進めるとともに20年経過の車両は修繕費等の費用が高むことから、実施計画に基づき共用車両の順次更新等を行う。

【効果】

・本庁集約に伴い車両の共用化が図れ、より効率的な利用と配車により維持管理経費の節減ができる。
 ・老朽車両の更新・小型化により、維持管理経費が節減できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・本庁集約により共用車両を一元管理する。このことにより共用車両が18台から市所有バスを含め56台となるため管理経費が増額となる。

・実施計画に基づき公用車更新時の導入規格を統一をし、小型化(軽自動車)・共通化(仕様・形状)を進める。

更新購入予定 軽箱バン10台

・削減車両 20台 (対象は初年度登録後20年以上の経過車両や過走行車両とし、車検代等を予算から削減)

【参考】

公用車管理台数 369台 (危機管理課消防車4台、分団消防車45台・建設課ほか特殊車両38台・市バス6台を含む。)

【一般財源増加理由】 共用車両の一元管理による管理車両の増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	普通旅費	13	自動車事故をめぐる自治体の対応実務研修13千円	27	公課費	1,000	更新車両 継続車検車両の自動車重量税
11	需用費	13,958	タイヤ等消耗品 2,195千円、燃料6,551千円、物品修繕費5,212千円				
12	役務費	12,852	車検等手数料3,773千円、自賠責1,082千円、公用車損害賠償任意保険7,997千円、				
14	使用料賃借料	7,235	公用車リース料 2,241千円 高速道路使用料 4,994千円				
18	備品購入費	12,868	公用車更新 10台 12,661千円				
19	負担金補助及び交付金	23	自動車事故をめぐる自治体の対応実務研修に伴う負担金23千円				
22	補償補填及び賠償金	900	公用車事故発生時の損害賠償金(保険金を充当)				
上記の合計		48,849	職員の人件費合計 0	事業費総合計		48,849	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・公用車の事故後処理は平成26年度から担当している業務であり、専門知識を必要とする業務である。
 「自動車事故をめぐる自治体の対応実務研修会」に参加して、自治体における事故処理について専門的な知識を養う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
9	普通旅費	13	自動車事故をめぐる自治体の対応実務研修
19	負担金補助及び交付金	23	自動車事故をめぐる自治体の対応実務研修に伴う負担金
合計		36	左記の特定財源

重点項目番号	5-3	コード	10305300
		部・課・係等	財政部 財産管理課 庁舎管理係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102090	豊科庁舎管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,453	0	0	0	173	7,280
前年度	47,655	0	0	0	2,191	45,464
増減額	40,202	0	0	0	2,018	38,184

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	自動販売機設置(本庁舎)	13							
	20	その他雑入(庁舎管理係)	160							

【目的・効果】

【目的】

・閉庁前及び閉庁後の豊科庁舎並びに敷地内を、適正に維持管理する。

【効果】

・適正な管理を行うことにより、一部を除き空家となる豊科庁舎の安全性が保たれ、また、市民の皆様に対し、前庭等の敷地を有効に提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

新本庁舎開庁(豊科支所閉庁)までの約1ヵ月間及び閉庁後も必要な維持管理経費を、必要最小限に抑え経費削減に努める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	4,670	暖房用灯油代及び光熱水費等				
12	役務費	820	庭木手入れ等の手数料及び閉庁までの電話料等				
13	委託料	547	電気保安管理委託、消防設備点検委託等				
14	使用料及び賃借料	1,416	公用車駐車場借地料等				
上記の合計		7,453	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,453	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

市民生活部

予算書ページ	86
--------	----

重点項目番号	5-1・5-2	コード	10401100
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 まちづくり推進係

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	協働のまちづくりの推進
	項	1	総務管理費	画	主要施策	協働で築かれるまち
	目	6	企画費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102350	まちづくり推進事業		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	146,848		3,900		127,924	15,024
前年度	143,609		460		124,933	18,216
増減額	3,042	0	3,440	0	2,991	3,192

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	その他手数料	1	17	指定寄付金	1				131,824
	15	元気づくり支援金	3,900	18	地域振興基金繰入金	74,814				
	16	西穂高会館維持運営基金 利息	8	20	コミュニティ助成事業助成 金	53,100				

【目的・効果】

【目的】

・まちづくりに全ての市民が関わり、対等な役割分担と相互の連携・協力による具体的な活動を活発化する。

【効果】

・市民による主体的なまちづくりを支援する行政の体制と仕組みが確立できる。

・市民に近い行政運営を図ることで、市民との協働が推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・「協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」により、協働推進事業等の具現化を計画的に進める。
- ・地域づくりを自ら企画し実践できる「地域リーダー」の養成講座を開催する。また、様々な協働事業と人材をマッチングさせることで、多様な活動を牽引する「協働コーディネーター」養成講座を開催する。修了者には市民活動センターの運営支援をする市民サポーターとして活躍の場を提供する。
- ・市民活動センターの機能をより充実させ、情報共有化及び団体相互の交流会等を企画し協働コーディネートを行う。
- ・市が市民との協働事業を公表し、市民活動団体等に提案をしていただく「市民協働提案制度」を実施し、市民主体の協働のまちづくりの推進を図る。
- ・「協働」を一層進めていくため、区は市と対等なパートナーという位置づけのもと、地域が抱える様々な課題を区全体で解決できる仕組みづくりを通じた地域力の向上が重要であることから、「地域力向上」に取り組む「区」に対して交付金による支援を行う。
- ・市からの依頼事項の増加と多種多様化による区の負担増に対し、区交付金を見直し交付する。
- ・平成26年度に作成した「区マニュアル」の活用を図り、区への未加入、役員の成り手不足など様々な区の課題解決に向けた仕組みづくりを構築する。
- ・自治基本条例の平成28年度制定に向けて、市民ワークショップを開催し、また、検討会議(仮称)を設置して検討する。庁内検討委員会、職員研修等を実施し協議を進める。
- ・有明会館・西穂高会館・離山会館の3施設について、指定管理制度による維持管理を行う。
- ・市制施行10周年記念事業として「光城山1000人SAKURAプロジェクト」を中心に桜を植樹する。
- ・市制施行10周年記念事業の一環として「協働のまちづくりフォーラム」を開催する。
- ・市制施行10周年記念事業として、市民提案「ふるさと再発見リレーウォーク」を開催する。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	84	自治基本条例制定検討会議委員報酬	14	使用料及び賃借料	156	市民活動センターコピー機
7	賃金	2,180	市民活動コーディネーター賃金	15	工事請負費	2,725	SAKURAプロジェクト光城山桜植樹作業道整備他
8	報償費	4,024	フォーラム、地域リーダー・コーディネーター養成講座等講師謝礼、SAKURAp協力者謝礼、中学生議会記念品他	16	原材料費	486	SAKURAプロジェクト桜苗木、リレーウォーク昼食材料
9	旅費	79	協働のまちづくり、自治基本条例、市区長会先進事例等の視察研修同行職員旅費	19	負担金補助及び交付金	128,968	コミュニティ助成、つながりひろがる事業補助金、市区長会補助金、地域力向上事業、集施設建設、区等交付金
11	需用費	2,997	事務用品、市民活動センター事務用品、桜植樹消耗品、ふるさと再発見リレーウォーク消耗品他	25	積立金	9	西穂高会館維持運営基金利息
12	役務費	1,351	市民活動センター事務用品、桜植樹消耗品、ふるさと再発見リレーウォーク消耗品他				
13	委託料	3,789	桜管理委託、光城山樹木伐採委託、大学連携研究委託、バス運転委託、西穂高会館・有明会館・離山会館指定管理委託他				
上記の合計		144,668	職員の人件費合計	2,180	事業費総合計	146,848	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・市制施行10周年記念事業「光城山1000人SAKURAプロジェクト」桜植樹に関わる、桜苗木、報償費、消耗品、作業道整備と掘穴に関わる工事費を計上した。
- ・市制施行10周年記念事業の一環として「協働のまちづくりフォーラム」を開催するための講師、PDバネラー等の謝礼を計上した。
- ・市制施行10周年記念事業として、市民提案「ふるさと再発見リレーウォーク」開催に関わる消耗品、委託料等の経費を計上した。
- ・自治基本条例制定に向け、検討会議(仮称)の設置による委員報酬、研究者謝礼、アンケート郵便料、先進地視察職員旅費を計上した。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
1	報酬	84	自治基本条例に関わる委員会委員報酬84千円
8	報償費	2,632	フォーラム講師謝礼720千円、SAKURAp講師謝礼380千円・記念品432千円、桜植樹謝礼800千円、自治基本条例研究者謝礼300千円
9	旅費	20	自治基本条例先進地視察旅費20千円
11	消耗品費	2,439	SAKURAp植樹消耗品1,706千円、植樹参加者飲料113千円、リレーウォーク参加者資料他620千円
12	役務費	504	自治基本条例アンケート郵便料338千円、ボランティア・イベント保険料166千円
13	委託料	1,296	光城山桜管理300千円、樹木伐採763千円、植樹参加者送迎バス運転54千円、リレーウォークバス運転179千円
15	工事請負費	2,725	光城山植栽用運搬道整備991千円、丸土階段撤去・復旧903千円、植栽用穴掘り苗木等運搬831千円
16	原材料	486	桜苗木300本486千円
合計		10,186	左記の特定財源 元気づくり支援金 3,900千円

予算書ページ	92
--------	----

重点項目番号	4-3	コード	10401200
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 生活安全係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	8	交通安全対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102390	交通安全対策費		具体的な施策	交通安全対策の強化 / 防犯・交通安全施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
12,785	13,004	219	0	0	0	0
						12,785
						13,004
						219

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

交通安全の推進、交通安全体制の強化を図るとともに、地域ぐるみの活動を推進し、交通事故のない安全な地域社会の実現を目指す。

総合的な交通安全対策に取り組む組織の充実を図り、子どもから高齢者までの体系的かつ参加・体験・実践型の交通安全教育を推進するとともに、交通事故防止を図るため、交通安全思想の普及促進に努める。

【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 「高齢者の交通事故防止」を重点課題とし、関係機関、団体と連携した広報啓発活動、交通安全運動を推進する。
- 体験型の高齢者交通安全教室では、自動車学校の場内コースを利用した夕暮れ時の教習体験や夜光反射材の効果を実証する交通安全教室を通して薄暮時や夜間の交通安全対策に必要な知識を習得するとともに、運転に不安を持つ高齢者の交通事故防止とデマンド交通の利用を促す「運転免許証自主返納支援事業」に継続して取り組む。
- 保育園、幼稚園では理解力に応じた段階的な交通安全教室を実施、小中学校ではスケアード・ストレイト方式(恐怖を実感することにより危険行為を未然に防ぐ教育手法)による交通安全教育を取り入れることにより、事故再現等による疑似体験を通して実践的な自転車教育指導に取り組む。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	525	交通指導員報酬	14	使用料及び賃借料	1,131	高齢者交通安全教室会場使用料、デマンド交通割引回数券の購入
7	賃金	1,688	交通安全協会育成事業関連事務補助員	18	備品購入費	152	交通安全教室の指導用DVDソフト
8	報償費	295	交通安全推進協議会委員、高齢者交通安全教室関係役員出席謝礼	19	負担金補助及び交付金	4,734	安曇野交通安全協会負担金、交通安全普及協会研修負担金、交通安全協会支部補助金
9	旅費	52	交通安全教育指導者研修会旅費	27	公課費	8	公用車自動車重量税
11	需用費	1,733	交通安全用品外				
12	役務費	72	公用車車検点検外				
13	委託料	2,395	運転業務委託、スケアード・ストレイト方式による交通安全教室の委託、園外一般道路での歩行指導				
上記の合計		12,785	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,785	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・高齢者宅を中心に夜間、自身の存在を知らせる自発光式LEDライトの頒布や靴用反射シール等を配布する家庭訪問を実施し、交通事故防止のための注意喚起と夜光反射材、自発光材の普及促進を図る。

・保育園、幼稚園では、年長児童を対象とした園外一般道路での歩行訓練により幼児期からの交通安全意識の定着を図るとともに、保護者への指導を促す交通安全講話により園児の安全を守る交通安全教育の促進とチャイルドシートの正しい着用の徹底を図る。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	247	自発光式LEDライト(1,200個)
13	委託料	1,653	交通安全ミュージカル、保護者向け講話、園内模擬道路での歩行訓練、チャイルドゲーム実験、年長児童を対象とした園外一般道路での歩行指導
合計		1,900	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	コード	10401200
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 生活安全係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	9	防犯対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102400	防犯対策費		具体的な施策	防犯体制の充実 / 防犯・交通安全施設の整備
	単位:千円					

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	115,243	1,650			50,200	63,393
前年度	85,608	1,650			30,240	53,718
増減額	29,635	0	0	0	19,960	9,675

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	12	地区防犯灯新設分担金	200								51,850
	14	道路改良費補助金	1,650								
	18	公共施設整備基金繰入金	50,000								

【目的・効果】

【目的】

・犯罪や夜間の交通事故を未然に防ぐ防犯灯を計画的に整備することで、地域の安全活動を推進し、犯罪のない安全な地域社会の実現を目指す。
 ・市民が安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現を目指すため、関係機関との連携のもと、市民参加による防犯運動や広報活動を通じて、防犯意識の高揚を図る。
 ・地域ぐるみの防犯活動を展開するため、関係機関との連携を強化し、地域防犯活動を支援する。

【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

1.防犯灯設置事業については、社会資本整備総合交付金(所管/建設課)を活用して通学路等への防犯灯の新設を進めるとともに、区等から寄せられる設置拡充の要望に対しても広域的な対応を強化し、積極的な事業推進を図る(補助対象事業費300万円/補助率55%)。
 また、市内全域を対象とするLED化更新工事を推進し、環境負荷の低減と経費削減に取り組む。
 2.地域の安全を確保する為、関係機関、団体と連携し、啓発活動、防犯対策を推進する。

【一般財源増加理由】 主に、防犯灯LED化更新事業に伴う工事請負費分(29,611千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	756	防犯指導員等謝礼				
11	需用費	41,627	防犯灯施設修繕費、防犯灯電気料				
13	委託料	1,248	防犯灯LED化工事監理業務委託				
15	工事請負費	68,396	防犯灯新設、防犯灯LED化更新工事				
19	負担金補助及び交付金	3,216	安曇野防犯協会連合会負担金、地域防犯協会支部補助金				
上記の合計		115,243	職員の人件費合計 0	事業費総合計		115,243	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・市内全域に設置されている電球や蛍光灯等の防犯灯をLED防犯灯に更新することにより、環境負荷の低減と経費削減を図るとともに、防犯灯としての適正な明るさを確保し、安全で安心なまちづくりの形成を進める。
 防犯灯設置事業 三郷地区LED化更新工事
 防犯灯設置事業 明科地区LED化更新工事
 防犯灯設置事業三郷・明科地区LED化更新工事監理業務委託

節	節名称	金額(千円)	主な内容
	一式	62,644	防犯灯LED化更新事業
合計		62,644	左記の特定財源 公共施設整備基金繰入金(50,000)

予算書ページ	78
--------	----

重点項目番号	4-4
コード	10401300
部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 市民相談室

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	2	文書広報費		基本施策	消費者保護の推進
	事業		0102220	市民相談事業		具体的な施策

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	870	0	0	0	0	870
前年度	856	0	0	0	0	856
増減額	14	0	0	0	0	14

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

〔目的〕

- ・市民生活での一般相談(電話、来訪)、外国人相談、行政相談委員による相談、法的な解釈などを解決するため、弁護士との無料法律相談、司法書士との登記相談の機会を設け問題解決を図る。

〔効果〕

- ・不動産、相続、金銭トラブルなどについて弁護士、司法書士が面接し、法的な助言を直接的に得られる。
- ・法律の専門家が対応することで、早期の問題解決や疑問解消が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・弁護士会松本在住会と法律相談担当弁護士派遣契約を行い、相談会場へ弁護士の派遣を委託する。
- ・相談は月2回開催する。(但し8月1回)
- ・相談日は第2、第4木曜日とし、相談日の1週間前に電話予約を受けつける。
- ・1回の相談者数は8名とし、相談時間は20分とする。
- ・司法書士安曇野区会との協議調整による登記・法律無料相談相談を3ヶ月毎に開催。
- ・相談実施日、時間、会場は広報あづみの及び市のHPで市民の皆さまにお知らせする。

【参考:弁護士法律相談者数】

H21年度89名、H22年度92名、H23年度91名、H24年度93名、H25年度155名、H26年度(11月末現在) 97名

〔一般財源増加理由〕 前年度総務管理課で計上分が主な増分。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
09	旅費	4	くらしのサポーター運営委員会参加(2回)						
11	需用費	16	事務用品、消耗品費、各種相談費、						
13	委託料	820	長野県弁護士会松本在住会との弁護士派遣委託契約						
19	負担金補助及び交付金	30	行政相談連絡会負担金						
上記の合計		870	職員の人件費合計	0	事業費総合計	870	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	252
--------	-----

重点項目番号	4-3	コード	10401300
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 市民相談室

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	4	消費者行政対策費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0107180	消費者行政対策費		具体的な施策	市民生活相談の充実 / 消費者教育の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
3,284	3,013	271	0	408	0	0
						2,876
						3,013
						137

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	15	地方消費者行政活性化事業		408									408

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市消費生活センターの市民への周知を行うとともに、消費者問題に関する相談への対応や悪徳商法や架空請求などによる被害に遭わないために消費者への啓発を行う。
 ・消費生活講座や各種広報により、自主的で合理的な消費行動がとれる消費者意識の啓発や正しい知識の普及に努めるとともに、消費者教育・啓発活動団体の育成を図る。
 【効果】 消費者トラブルに関する情報を迅速かつ広範囲に共有できる被害が起こりにくい消費生活社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1.「安曇野市消費生活センター」の周知と消費者教育を推進し、相談体制の充実に取り組む。
- 2.法律専門家との連携を図るとともに、弁護士による無料相談会の実施。
- 3.高齢者の消費者被害を未然に防止するため、地域包括支援センター等での出前講座を積極的に開催し、ヘルパーやケアマネージャー等高齢者に身近な介護支援専門員の方々を対象とした消費者被害の早期発見と具体的な対応に関する学習機会の充実に図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	2,446	消費生活相談員賃金						
8	報償費	143	弁護士による法律相談、詐欺被害研修講師謝礼						
11	需用費	551	消費生活啓発用品・資料						
12	役務費	84	消費生活センター携帯電話料 センター端末機器移設						
19	負担金補助及び交付金	60	消費者の会活動補助金						
上記の合計		3,284	職員の人件費合計	0	事業費総合計		3,284	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・特殊詐欺が増加傾向にあるため自治会、民生委員、福祉関係者、10地区にて研修を行うため寸劇講師謝礼。
- ・庁舎移転に伴う消費生活センター端末機器移設。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
8	報償費	100	詐欺被害研修講師謝礼	
12	役務費	60	庁舎移転に伴うセンター端末機器移設	
合計		160	左記の特定財源	地方消費者行政活性化事業100,000円

予算書ページ	106
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	10402100
		部・課・係等	市民生活部 市民課 市民担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	3	戸籍住民基本台帳費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	戸籍住民基本台帳費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0108510	戸籍住民基本台帳費		具体的な施策	スリムで柔軟な組織・人事体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
235,490	131,281	104,209	34,559	78		44,000
			383	79		44,500
			34,176	1	0	500
						156,853
						86,319
						70,534

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	13	戸籍住民基本台帳手数料	44,000	15	人口動態調査委託金	78				78,637
	14	個人番号カード交付事業費補助金	34,195							
	14	中長期在留者居住地届出事務委託金	364							

【目的・効果】

【目的】

行政事務の基礎となる戸籍、住民基本台帳の整備を行う。・戸籍事務関係:[平成26年3月末現在]・本籍数 40,038戸籍・本籍人口 99,044人・住民基本台帳事務関係:[平成26年3月末日現在]・人口 98,959人 世帯数 38,074世帯・住民票、印鑑証明は発行用自動交付機(豊科・穂高・三郷の各支所設置)利用率[平成26年3月末日現在]24.90%

【効果】

・住民に関する基礎資料を正確且つ統一的に整備することにより、住民の利便の増進、行政の合理化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成28年度に導入する証明書のコンビニ交付に向け、システムの構築を行う
- ・平成27年10月の戸籍システム機器更改に伴う予算計上
- ・番号制度導入に係る、通知カード・個人番号カード関連事務の地方公共団体情報システム機構への委託に係る交付金を計上

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,232	戸籍等郵送請求事務・個人番号制度事務	19	負担金補助及び交付金	34,232	県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金・通知カード個人番号カード関連事務委託交付金
9	旅費	187	住民基本台帳法外改正に係る研修会出席旅費及び証明書コンビニ交付接続試験(試験環境での試験)旅費				
11	需用費	3,323	事務用品・印刷製本費・物品修繕費				
12	役務費	83	戸籍住民基本台帳関係送達確認用はがき代				
13	委託料	38,418	戸籍システム保守業務委託・証明書コンビニ交付システム構築委託				
14	使用料及び賃借料	4,213	戸籍システム借上料・使用料				
18	備品購入費	54	窓口用備品				
上記の合計		83,742	職員の人件費合計	151,748	事業費総合計	235,490	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・番号制度の導入の一環として平成28年1月に個人番号カードの交付が開始される。この個人番号カードを利用して、証明書のコンビニ交付を平成28年度に導入するため、平成27年度にデータベース外、システム構築予算を計上。
- ・平成27年10月の戸籍システム機器更改に伴う予算計上
- ・番号制度導入に係る通知カード・個人番号カード関連事務の地方公共団体情報システム機構への委任に係る交付金を計上。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	36,682	証明書コンビニ交付システム構築委託
13	委託料	1,264	戸籍システム保守業務委託
14	使用料及び賃借料	4,044	戸籍システム借上料・使用料
19	負担金補助及び交付金	34,195	通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る交付金
合計		76,185	左記の特定財源 国庫補助金(34,195)

予算書ページ	190
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10403100
		部・課・係等	市民生活部環境課環境政策係

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	自然と共生するまち
	目	5	環境衛生費		基本施策	自然環境の保全
	事業	0104150	環境基本計画推進事業		具体的な施策	自然環境の保全と再生

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
46,391	14,345	32,046	0	0	0	115
						150
						35
						46,276
						14,195
						32,081

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他刊行物頒布代	115							

【目的・効果】

【目的】

・環境基本計画及び環境行動計画に基づき、市の環境をよりよくするための検討、施策実行、点検評価を行う。

【効果】

・自然と人々が共存・共栄する持続可能な社会を築き、市民の健康で豊かな生活を実現するとともに、将来の世代に良好な環境を引き継ぐ。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・「環境基本計画推進会議」「環境市民ネットワーク」の運営
- ・市民啓発環境イベント事業(環境フェア)の開催
- ・第二次環境行動計画の推進
- ・生物多様性安曇野市戦略の検討(アレチウリ駆除等)
- ・庁舎内省エネ実践事業(省エネのための緑のカーテンの普及等)

【一般財源増加理由】太陽光発電設置補助金(36,000千円)及び太陽熱高度利用システム設置補助金(1,000千円)の環境衛生総務費事業からの移行新設

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	2,020	環境フェア講師謝礼 環境基本計画委員出席謝礼				
09	旅費	147	エネルギー管理講習 環境フェア講演会講師旅費				
11	需用費	1,133	環境行動プログラム消耗品 環境フェア印刷製本費				
12	役務費	182	環境フェア広告料 環境フェア傷害保険				
13	委託料	5,141	地球温暖化対策実行計画サポートコンサル 環境フェアサポートコンサル				
14	使用料及び賃借料	703	電気自動車借り上げ料				
19	負担金補助及び交付金	37,065	太陽光発電システム設置補助金 太陽熱高度利用システム設置補助金				
上記の合計		46,391	職員の人件費合計	0	事業費総合計	46,391	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

地球温暖化対策実行計画のアクションプランの策定

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	767	地球温暖化対策実行計画のアクションプラン策定
合計		767	左記の特定財源

予算書ページ	90
--------	----

重点項目番号	4-2	コード	10403200
		部・課・係等	市民生活部環境課環境保全係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	6	企画費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0102360	水資源対策費		具体的な施策	地下水の保全・涵養・適正利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,736					23,736
前年度	20,412					20,412
増減額	3,324	0	0	0	0	3,324

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・地下水の保全、涵養及び適正利用を図る。

【効果】

・地下水涵養により、安曇野地域の重要な資源を維持できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成26年度に立ち上げた水環境基本計画策定委員会において、涵養事業の運営と資金管理を含めた水環境基本計画の策定の検討を行う。
 ・転作田湛水の涵養モデル事業を推進し、涵養面積の拡大を図る。
 ・地下水位測定を実施する。
 ・水環境の保護の推進と水質保全意識の高揚を図る「全国名水サミット」を安曇野市で開催する。

【一般財源増加理由】 地下水涵養(麦後湛水)面積増加に伴う負担金の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	84	地下水採取審査委員会委員報酬				
7	賃金	1,688	地下水保全条例施行に伴う届出事務及び涵養事務の臨時職員賃金				
8	報償費	512	水環境基本計画策定委員会委員報酬				
9	旅費	284	環境省事務打合せ、水環境基本計画策定委員会委員実費弁償				
13	委託料	9,844	地下水位観測調査業務委託、水環境基本計画策定コンサル業務委託				
19	負担金補助及び交付金	11,324	安曇野市水資源対策協議負担金、涵養負担金、全国名水サミット開催市負担金				
上記の合計		23,736	職員の人件費合計	0	事業費総合計	23,736	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・アルプス地域地下水保全対策協議会(会長:大町市 構成:11市町村及び長野県)による地下水の水位・水質調査実施に係る負担金。
 ・全国名水サミット開催市負担金として計上。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金及び交付金	224	アルプス地域地下水保全対策協議会による地下水の水位・水質調査実施に係る負担金。
19	負担金及び交付金	2,500	全国名水サミット開催市負担金。
合計		2,724	左記の特定財源

予算書ページ	190
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10403200
		部・課・係等	市民生活部環境課環境保全係

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	4	霊園管理費		基本施策	住環境の整備
	事業	0104140	霊園管理費		具体的な施策	市営霊園の管理と計画的整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
15,511	14,840	671	0	0	0	671

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	霊園管理料	9,618	13	霊園事務手数料	6				
12	霊園管理料滞納繰越分	16	16	霊園施設整備基金利子	312					
13	霊園使用料	4,950	18	霊園整備基金繰入金	607					

【目的・効果】

【目的】

・市内10ヶ所の市営霊園の管理と経過的な整備を行い、住環境を充実させる。

【効果】

・核家族化、少子高齢化等により霊園の需要が増加する中、市民ニーズに応えられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市営霊園(市内10箇所、3,670区画)の維持管理を実施する。
 ・明科荻原公園墓地第2期造成工事分116区画の販売を開始する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,893	市営霊園の除草剤、小破修理、光熱水費他				
12	役務費	463	市営霊園のし尿汲取料、浄化槽法定検査手数料				
13	委託料	6,197	市営10霊園の管理清掃委託				
15	工事請負費	608	市営霊園補修工事等				
16	原材料費	87	市営10霊園の植木、肥料代				
23	償還金、利子及び割引料	1,100	返還聖地の使用料還付金				
25	積立金	4,163	霊園整備基金積立金及び基金利子				
上記の合計		15,511	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,511	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	192
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10403200
		部・課・係等	市民生活部環境課環境保全係

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	自然と共生するまち
	目	5	環境衛生費		基本施策	快適な生活環境の整備
	事業	0104160	環境衛生総務費		具体的な施策	快適な安曇野らしい田園都市生活環境の創造

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
250,731	336,518	85,787	0	68	0	5,376
						245,287
						328,927
						83,640

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	霊園管理料	838	15	公衆浴場経営安定化事業補助金	68				
13	狂犬病予防注射済票交付手数料	3,342								
13	犬の登録手数料	1,196								

【目的・効果】

【目的】

- ・環境に優しく、快適な住環境を創出する。
- ・公衆浴場、安曇野松筑広域環境施設組合の運営に補助・負担等を行い、公衆衛生の向上を図る。

【効果】

- ・快適な住環境を確保することができる。
- ・公衆浴場及び安曇野松筑広域環境施設組合の経営の安定化を図ることで、公衆衛生の向上を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・環境審議会の開催。
- ・犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、注射済票を交付する。
- ・アメリカシロヒトリ駆除の薬剤を配布する。
- ・豊科駅前、新田公衆便所の管理を行う。
- ・公衆浴場経営安定化事業の補助金を交付する。
- ・安曇野松筑広域環境施設組合の広域豊科葬祭センター施設運営の負担を行う。
- ・市民の火葬料無料化により、市民負担の軽減を図る。
- ・雨水貯留施設設置補助金を交付する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	238	環境審議会委員報酬	19	負担金補助及び交付金	86,622	雨水貯留施設設置補助金、公衆浴場経営安定化助成金、安曇野松筑広域環境施設組合負担金
8	報償費	150	空き家等対策庁内会議アドバイザー謝礼	20	扶助費	350	火葬料
9	旅費	9	犬管理対策協議会研修会	27	公課費	33	公用車自動車重量税
11	需用費	1,789	アメシロ防除薬剤等、豊科駅前、新田公衆便所の光熱水費等				
12	役務費	141	保護犬等の治療代、公用車車検手数料等				
13	委託料	2,267	豊科駅前、新田公衆便所清掃委託、犬の登録管理狂犬病予防委託、休日等保護犬搬送業務委託				
15	工事請負費	486	公共施設への雨水貯留槽設置工事				
上記の合計		92,085	職員の人件費合計	158,646	事業費総合計	250,731	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

平日及び祝休日の保護犬搬送業務委託。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	642	平日、祝休日の保護犬搬送業務委託
合計		642	左記の特定財源

予算書ページ	194
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10403200
		部・課・係等	市民生活部環境課環境保全係

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	自然と共生するまち
	目	6	公害対策費		基本施策	快適な生活環境の整備
	事業	0104180	公害対策費		具体的な施策	公害対策の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
16,128	14,791	1,337	0	0	0	0
						16,128
						14,791
						1,337

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・各種検査、測定を実施することで公害監視体制の強化を図り、健康で快適な市民生活の保持を目指す。

【効果】

・公害測定により公害に対する企業・市民意識の高揚を図るとともに、公害対策を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・公害調査測定、畜産臭気測定、自動車騒音常時監視等の各種測定を実施する。
 ・悪臭防止法に基づく臭気指数規制に係る臭気指数調査と、臭気対策技術支援業務を行う。

【一般財源増加理由】 悪臭防止法に基づく臭気指数規制導入に係る臭気指数調査及び臭気対策技術支援業務委託料の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	252	三郷臭気モニター謝礼				
9	旅費	54	公害対策研修会旅費				
11	需用費	188	水質汚濁事故防止用油吸着マット・処理剤外				
12	役務費	464	公害苦情処理検査外、公害測定機器保守点検				
13	委託料	15,170	公害調査定期測定、畜産臭気測定、臭気指数調査業務、臭気対策技術支援業務				
上記の合計		16,128	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,128	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・悪臭防止法に基づく臭気指数規制を平成27年10月1日から施行を予定している。
 施行後の改善指導等の場合、事業所等に対して臭気指数測定を行う。
 ・小規模事業者に対して改善指導等を行う場合は、臭気対策技術支援業務によりアドバイスを行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	1,080	臭気指数調査業務
13	委託料	1,080	臭気対策技術支援業務
合計		2,160	左記の特定財源

予算書ページ	198
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	清掃総務費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104210	清掃費		具体的な施策	排出抑制

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	874,831				93,000	781,831
前年度	855,613				93,000	762,613
増減額	19,218	0	0	0	0	19,218

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	可燃ごみ処理手数料	93,000							

【目的・効果】

【目的】

・市内から排出されるごみの処理を行い、市民の清潔で快適な生活環境を確保する。

【効果】

・ごみの適正な処理を行うにより、清潔で快適な生活環境を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・不法投棄防止及び早期撤去を行う。
- ・可燃ごみ証紙の管理事務
- ・可燃ごみ・不燃ごみ収集運搬業務を委託する。
- ・粗大ごみ等の収集・運搬・処理業務を委託する。
- ・市内一斉清掃を実施する。
- ・指定集積所の施設整備に対し補助を行う。
- ・穂高広域施設組合の運営に対し負担する。

【一般財源増加理由】 可燃ごみ収集車両の積載量制限による所要台数の増加(18,197千円)、燃料高騰臨時対応(4,776千円)を計上。 公用車管理費用の増加がある。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	2,394	不法投棄監視連絡員出席謝礼				
11	需用費	1,228	一斉清掃用消耗品、不法投棄防止看板、清掃作業用品、可燃ごみ袋出荷管理票印刷、管理集積所修繕、公用車修繕				
12	役務費	8,115	可燃ごみ証紙売り捌き手数料、公用車点検・車検				
13	委託料	202,497	可燃・不燃ごみ収集運搬、不法投棄・一斉清掃粗大ごみ収集運搬、直営集積所管理、水質検査、犬猫回収処理				
19	負担金補助及び交付金	660,551	穂高広域施設組合負担金、指定集積所施設整備補助金				
27	公課費	46	公用車重量税				
上記の合計		874,831	職員の人件費合計	0	事業費総合計	874,831	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・支所に配置してあった公用車を集中管理するため、公用車3台の管理経費について計上している。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	150	公用車修繕
12	役務費	174	公用車点検・車検手数料、自賠責保険料
27	公課費	46	公用車重量税
合計		370	左記の特定財源

予算書ページ	198
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104220	ごみ減量化再利用対策事業		具体的な施策	再生利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	159,947	国支出金	県支出金	市債	その他	141,809
前年度	156,730				19,820	136,910
増減額	3,217	0	0	0	1,682	4,899

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
内訳	20	資源売却代	15,278							18,138
	20	手作り石けん・BDF販売代	220							
	20	再商品化合理化拠出金配分金	2,640							

【目的・効果】

【目的】

・市内から排出されるごみの分別・資源化を進め、ごみの減量化と市民の住環境の向上を図る。

【効果】

・ごみの減量化による行政経費の軽減と、資源化再利用により環境負荷が軽減される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・資源物収集運搬・保管・処理業務の委託
- ・ごみ減量化、資源化、分別指導事業
- ・ごみ・資源物収集カレンダーの全戸配布
- ・緑のリサイクル事業の委託
- ・廃食用油回収と石けん等への加工業務委託
- ・生ごみ処理機等の導入補助事業
- ・廃棄公文書の資源化
- ・不用陶磁器再資源化業務委託

【一般財源増加理由】 燃料高騰臨時対応(2,722千円)を計上。廃棄公文書資源化処理委託(907千円)を計上。不用陶磁器再資源化関連(813千円)を計上。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	23	講習会講師謝礼	27	公課費	52	公用車重量税
9	旅費	14	職員旅費				
11	需用費	3,494	資源物分別用品、廃食用油精製用品、公用車燃料、電気料、ごみカレンダー印刷、物品・公用車修繕費				
12	役務費	724	ごみフリーダイヤル電話料、タウンピーパー・公用車車検・自賠責保険				
13	委託料	152,670	資源物収集運搬・保管・中間処理、容リ協負担金、剪定枝破砕業務、廃棄文書資源化、不用食器資源化				
14	使用料及び賃借料	70	重機借上げ料				
19	負担金補助及び交付金	2,900	生ごみ処理機器等購入補助金				
上記の合計		159,947	職員の人件費合計 0	事業費総合計		159,947	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・支所に配置してあった公用車を集中管理するため、管理経費について増額している。
- ・焼却処分していた廃棄公文書をシュレッダー処理に転換し、資源としてシュレッダー紙を売却する資源化事業を拡大する。
- ・不用食器(陶磁器)の回収と再資源化事業を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	651	公用車燃料費、修繕費
12	役務費	204	公用車点検・車検手数料、自賠責保険料
13	委託料	1,720	廃棄公文書シュレッダー処理、不用陶磁器再資源化、運搬委託
27	公課費	23	公用車重量税
合計		2,598	左記の特定財源

予算書ページ	200
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104230	三郷最終処分場		具体的な施策	中間処理施設や最終処分場への支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,511					14,511
前年度	14,188					14,188
増減額	323	0	0	0	0	323

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【施設の概要】 名称:三郷一般廃棄物最終処分場 竣工:平成9年3月 施設構成:埋立処分地4,000㎡(埋立面積)、23,000m³(埋立容量)・浸出水処理施設
 【目的】 一般廃棄物の自区内処理の原則から、市内から排出されるガラス・陶器・家庭焼却灰を埋立て処分する。
 【効果】 ごみ処理の適正な処分を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内から排出されるガラス・陶器・家庭焼却灰を埋立て処分する。(32年度中に埋立完了予定)
 ・地元区との協議が整い、埋立て有効期間が平成28年9月30日まで2年間延長となったが、地元区との協定条項に基づく黒沢川等周辺環境の整備事業を新たに盛り込んでいる。

【一般財源増加理由】 黒沢川法面除草ほか周辺環境整備委託料(3,456千円)他を新規に計上している。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	2,279	施設機械老朽化による施設修繕、薬剤・除草剤等消耗品						
12	役務費	221	電話料						
13	委託料	12,009	不燃物等埋立作業委託、周辺環境整備委託料、水質検査委託費、受入業務委託						
14	使用料及び賃借料	2	監視井戸借地料						
上記の合計		14,511	職員の人件費合計	0	事業費総合計		14,511	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・地元区との使用延長の協議において要望事項として協定条項に盛り込んだ、黒沢川等周辺環境の整備関係を新たに計上している。
 ・職員を配置して対応してきた受入業務を、シルバー人材センター委託に変更した。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
11	需用費	173	法面管理用除草剤	
13	委託料	3,814	黒沢川法面除草等周辺環境の整備(3,456千円)、受入業務シルバー委託(358千円)	
合計		3,987	左記の特定財源	

予算書ページ	200
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計 画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業		具体的な施策	再生利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
19,458	17,989	1,469	0	0	0	5,215
						14,243
						17,804
						3,561

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	資源売却代	5,000							5,215
	20	リサイクルセンター再生品販売	215							

【目的・効果】

【施設の概要】 豊科RC H17年 S造平屋 937㎡ 穂高RC S54 S造平屋 252㎡ 明科SY H11 木造平屋 66㎡
 【目的】 市内3箇所(豊科・穂高・明科)のリサイクルセンターの管理・運営を行い、資源物回収の拠点として廃棄物の資源化の促進を図る。
 【効果】 ・指定集積所での収集に加え、休日等に拠点施設での資源物の受け入れを行うことにより、市民が分別排出する機会を増やし、リサイクル事業の進展が図れる。
 ・市民のライフスタイルの多様化に対応することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・3箇所の施設に受入指導員を配置し、管理運営を行う。
- ・受け入れた資源物の運搬業務を委託する。
- ・26年度から、豊科・穂高リサイクルセンターで使用済小型家電の拠点回収を始めている。(新たな経費負担なく実施)
- ・豊科・穂高リサイクルセンターの開場日を拡大(毎週土日を開場)し、利便の向上を図っていく。
- ・豊科リサイクルセンターの門扉を改修する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	1,006	環境学習会講師謝礼 受け入れ指導員・リサイクル工房指導員謝礼				
11	需用費	1,124	自転車修理消耗品 灯油代 施設修繕費 光熱水費				
12	役務費	296	電話料 フォークリフト特定検査 指導員傷害保険料				
13	委託料	14,405	受け入れ指導業務委託 受け入れ資源物運搬業務				
15	工事請負費	2,592	豊科リサイクルセンター門扉改修工事				
18	備品購入費	35	高圧洗浄機				
	上記の合計	19,458	職員の人件費合計 0		事業費総合計	19,458	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・豊科リサイクルセンターの門扉が破損しているため、改修工事を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	2,592	豊科リサイクルセンター門扉改修工事
	合計	2,592	左記の特定財源

予算書ページ	202
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100		
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当		

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104250	穂高じんかい処理場		具体的な施策	中間処理施設や最終処分場への支援

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	785					785
前年度	758					758
増減額	27	0	0	0	0	27

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【施設の概要】 名称:小岩岳不燃物処理場 埋立開始:昭和63年1月 埋立地面積:2,350㎡ 埋立容量: 11,750m³
【目的】 一般廃棄物の自区内処理の原則から、市内から排出されるブロック・コンクリート・土砂等を埋立て処分する。
【効果】 ごみ処理の適正な処理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内から排出されるブロック・コンクリート・土砂等を埋立て処分する。
 ・周辺環境に配慮し、場内外の適切な施設管理を行う。

[一般財源増加理由] 管理用消耗品として、除草剤の購入費を計上した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	48	処分場管理用品(除草剤他)				
13	委託料	545	処分場内、周辺の地下水水質検査				
14	使用料及び賃借料	135	ごみ埋立整地用の重機借上料				
16	原材料費	57	ごみ埋立整地用土砂				

上記の合計 785 職員の人件費合計 0 事業費総合計 785 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	202
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	雑排水処理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104260	雑排水処理事業		具体的な施策	河川・用水環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
32,140	23,052	9,088	0	0	0	1,466
						30,674
						21,586
						9,088

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	雑排水処理場敷地使用料	1,466							

【目的・効果】

【目的】

・家庭雑排水沈殿槽の清掃を奨励し適正に処分することで、生活排水による河川等の汚濁を防止する。

【効果】

・汲取り助成により定期的な清掃を確保し、汚泥の適正な処理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・家庭雑排水沈殿槽の清掃と汚泥収集運搬業務を委託する。
- ・生活雑排水汚泥の処理を委託する。
- ・湯浅産業の撤退に向けた準備を進めるため、湯浅産業建物等の解体撤去に係る設計業務を委託する。
- ・調停条項に基づく解決金(10,000千円)を湯浅産業に支払う。

【一般財源増加理由】 湯浅産業建物等解体撤去に係る設計業務委託(2,204千円)。調停条項に基づく解決金(10,000千円)の支払い。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	20,672	雑排汚泥保管・運搬業務、雑排汚泥処理委託、雑排水汚泥汲取り業務、建物等解体撤去設計業務				
14	使用料及び賃借料	4	借地料				
22	補償補填及び賠償金	11,464	湯浅産業敷地賃料相当使用損害金 湯浅産業に対する解決金				
上記の合計		32,140	職員の人件費合計	0	事業費総合計	32,140	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・湯浅産業の撤退(H28年3月)に向けた準備を進めるため、湯浅産業建物等の解体撤去に係る設計業務を委託する。
- ・調停条項に基づく解決金(10,000千円)を湯浅産業に支払う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	2,204	建物等解体撤去設計業務委託
22	保障補填及び賠償金	10,000	調停条項に基づく解決金
合計		12,204	左記の特定財源

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	雑排水処理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104270	穂高雑排水処理場		具体的な施策	河川・用水環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,005				70	18,935
前年度	13,145				70	13,075
増減額	5,860	0	0	0	0	5,860

特定財源の内訳	款	20	穂高生活雑排水浄化処理場水道使用料	金額	70	合計金額		
								70

【目的・効果】
【施設の概要】 穂高有明4878-1 S54年建築 RC造 2階建 1,441㎡
【目的】
 ・市内(穂高地域)から収集される生活雑排水汚泥を受け入れ、処理を行う。(希釈後に下水道に放流している。)
【効果】
 ・市内(穂高地域)から収集される生活雑排水汚泥の適正な処理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・処理場の管理・運営を委託する。
 ・定期的に処理槽の清掃を行う。
 ・施設の計画的な修繕を行う。
 ・遊休化した施設部分を他の用途(リサイクルセンター)に転用するため、建物の耐震診断と施設改修実施設計業務を委託する。

[一般財源増加理由] 耐震診断と実施設計業務の委託(5,426千円)を新規に計上した。トラックスケールの定期検査(2年に1度)費用(125千円)の増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	6,239	管理用消耗品 灯油代 光熱水費 スクリーンポンプ他施設修繕費				
12	役務費	181	電話料、トラックスケール定期検査				
13	委託料	12,550	ばっ気槽・貯留槽・沈殿槽の清掃業務委託、管理作業委託、施設改修耐震診断・実施設計業務委託				
14	使用料及び賃借料	35	除雪機械借上げ				
上記の合計		19,005	職員の人件費合計	0	事業費総合計	19,005	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・遊休化した施設部分を他の用途(リサイクルセンター)に転用するため、建物の耐震診断と施設改修実施設計業務を委託する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	5,698	施設改修耐震診断・実施設計業務委託
合計		5,698	左記の特定財源

予算書ページ	202
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計 画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	雑排水処理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104280	柏原団地浄化槽施設管理		具体的な施策	河川・用水環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,305					2,305
前年度	2,872					2,872
増減額	567	0	0	0	0	567

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【施設の概要】 穂高柏原2806-40 S53年建設 RC造 2階建 126㎡

【目的】

・柏原団地の生活雑排水浄化施設の維持管理を行い、排水水質の浄化安定を図る。

【効果】

・施設の適正な管理を行うことで、放流先の農業用灌漑水に影響のない安定した水質の排水が確保ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・槽の清掃を行う。
- ・設備機器の修繕を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,458	消耗品 光熱水費 施設修繕費(調整槽ポンプ交換他)						
13	委託料	754	槽清掃業務 機械設備維持管理						
19	負担金補助 及び交付金	93	水質検査負担金						
上記の合計		2,305	職員の人件費合計	0	事業費総合計		2,305	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	204
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	4	廃棄物対策費		基本施策	快適な生活環境の整備
	事業	0104290	廃棄物対策費		具体的な施策	環境美化運動の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
39,440	23,771	15,669	0	0	0	129
						20,017
						4,219
						15,798

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
		13	16			20	18		
		一般廃棄物許可申請等手数料		13		資源売却代		4,000	19,423
		地域振興基金利子		7,260					
		地域振興基金繰入金		8,150					

【目的・効果】

【目的】

- ・市内各自治会が組織する環境部の活動を支援し、住民協働による生活環境の保全を図る。
- ・廃棄物処理施設等の環境調査を実施し、生活環境の保全を図る。

【効果】

- ・環境部を中心とした市民活動を支援することにより、住民協働の進展と、ごみの減量化や生活環境の保全が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・5地域ごとに環境部長会議を開催し、必要な研修機会を設けることで、地域活動を支援する。
- ・各自治会環境部に交付金を交付し、指定集積所の管理や、ごみ分別の適正化推進、地域一斉清掃などの地域活動を支援する。
- ・廃棄物処理施設の環境調査を実施し、生活環境の保全を図る。
- ・事業を縮小する生活雑排水汲み取り業者の転廃業に対する資金援助を行う。

【一般財源増加理由】生活雑排水汲み取り業者の転廃業に対する交付金(15,357千円)の交付

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	605	環境部長会議出席謝礼						
9	旅費	128	職員旅費 弁護士相談 廃棄物処理施設技術管理者講習						
11	需用費	284	環境調査用品 物品修繕費						
12	役務費	801	環境調査・検査料 測定機器定期検査料						
13	委託料	2,847	環境調査委託料 運転代行						
19	負担金補助及び交付金	34,767	環境活動交付金 生活雑排水転廃交付金						
27	公課費	8	重量税						
上記の合計		39,440	職員の人件費合計	0	事業費総合計		39,440	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・車両1台を廃車し、事業を縮小する生活雑排水汲み取り業者に対し、市との協定に基づき転廃交付金を交付する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	15,357	生活雑排水転廃交付金	
合計		15,357	左記の特定財源	

重点項目番号	5-1	コード	10405100
		部・課・係等	市民生活部 豊科支所地域課 地域担当

予算書ページ	66
--------	----

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	1	総務管理費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102095	豊科支所費		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,345	0	0	0	1,524	5,821
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	7,345	0	0	0	1,524	5,821

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	ふるさとづくり基金利子	24							1,524
	18	ふるさとづくり基金繰入金	1,500							

【目的・効果】
【目的】
 ・地域自治会活動運営及び各団体の支援を行い、地域の活性化、市民と行政との協働推進を図る。
【効果】
 ・地域の活性化及び市民との協働の推進が図れる。
 ・市民主体のまちづくりとなる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・豊科地域区長会を通じ、地域の意見を吸い上げ施策に反映していく。また、地域課題について、自治会及び行政で情報を共有し、解決方法を検討する。
 ・あづみの祭り実行委員会への補助及び実行委員の一員として運営を支援する。
 ・アルプス花街道実行委員会に花の植栽事業等を委託するとともに委員会の運営を支援する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
7	賃金	742	電話交換・税務会計窓口臨時職員賃金(4月分)			19	負担金補助及び交付金	4,000	あづみ野祭り補助(あづみ野祭り実行委員会)		
8	報償費	414	豊科地域区長会区長出席謝礼・支所等整備検討市民会議委員出席謝礼			25	積立金	25	ふるさとづくり事業基金利子		
9	旅費	9	豊科地域区長会研修同行職員旅費			27	公課費	7	公用車重量税		
11	需用費	444	消耗品・公用車燃料費及び物品修繕費・区長会と市長との懇談会贈い								
12	役務費	98	公用車車検、自賠責保険料ほか								
13	委託料	1,541	アルプス花街道事業業務委託(アルプス花街道実行委員会)・区長会視察研修バス運転業務委託								
14	使用料及び賃借料	65	コピー機使用料(2台・4月分)								
上記の合計		7,345	職員の人件費合計	0	事業費総合計			7,345	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	5-3		コード	10405100		予算書ページ	66	
			部・課・係等	市民生活部豊科支所地域課地域担当				
予算	款	2	総務費		総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
	項	1	総務管理費			主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち	
	目	1	一般管理費			基本施策	行政改革の推進	
	事業	0102100	豊科支所等整備事業			具体的な施策	本庁舎等の建設	

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	12,531	0	0	0	0	12,531
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	12,531	0	0	0	0	12,531

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・平成27年度新本庁舎開庁後、豊科支所庁舎等を解体し、跡地を豊科公民館ホール等の駐車場として整備する。(安曇野市支所等整備基本計画に基づく。)
【効果】
 ・駐車場を整備することにより、豊科公民館ホール等への来客者の駐車場不足が解消される。
 ・豊科地域の中心市街地に駐車場を整備することにより、地域商店街のイベント会場としても利用ができて地域の活性化に繋がります。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・豊科支所敷地の境界測量
 ・豊科支所解体後の駐車場等整備の実施設計
 ・豊科支所庁舎解体設計

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
13	委託料	12,531	豊科支所庁舎跡地整備の実施設計、境界測量							
上記の合計	12,531	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,531	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・平成28年度の豊科支所庁舎解体、跡地の駐車場整備のための、平成27年度に実施設計、境界測量、解体設計を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	12,531	豊科支所庁舎跡地整備の実施設計、境界測量	
合計	12,531	左記の特定財源		

重点項目番号		3-2		コード	10405100			予算書ページ	362	
				部・課・係等	市民生活部豊科支所地域課地域担当					
予算	款	10	教育費		基本方針	人と文化を育むまちの形成				
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち				
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進				
	事業	0110385	豊科公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備				
				単位:千円						
当初予算額				特定財源				一般財源		
				国支出金	県支出金	市債	その他			
本年度	9,664						137	9,527		
前年度	431,520					368,400	777	62,343		
増減額	421,856			0	0	368,400	640	52,816		
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科公民館使用料	100							
	20	豊科公民館雑入	37							
<p>【目的・効果】 【目的】 ・公民館が多くの方が利用する生涯学習の場として、利用者が使い易く、安全・快適に利用できるよう維持管理を行う。 【効果】 ・学ぶ環境の整備により市民の学習活動を支援する中で様々な交流や連携が生れ、併せてその成果を活かすことで活力あるまちづくり、誰もが住みたいまちづくりの建設に資することが期待できる。</p>										
<p>【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する ・平成26・27年度豊科公民館耐震補強・大規模改修工事については、業者と定期的に意見交換を行い進捗状況の把握に努めながら、工事完成・引渡し後の円滑な管理、運営に向けた取組みを図る。</p>										
【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	55	ホール貸館業務			18	備品購入費	3,729	会議室テーブル・イス、ホールスタッキングチェア等施設利用者用備品、清掃用具	
08	報償費	84	楽器使用準備謝礼			19	負担金補助・交付金	4	防火管理者協議会	
09	旅費	30	楽器購入選定用務			27	公課費	9	公用車重量税	
11	需用費	1,497	公民館光熱水費ほか							
12	役務費	408	電話料ほか							
13	委託料	3,740	ホール吊物保守点検・シルバー人材貸館・清掃業務委託、備品等移設業務ほか							
14	使用料・賃借料	108	コピー使用料ほか							
上記の合計		9,664	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,664	OK			
【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】										
節	節名称	金額(千円)	主な内容							
合計		0	左記の特定財源							

重点項目番号	3-2		コード	10405100		予算書ページ	364
			部・課・係等	市民生活部豊科支所地域課地域担当			
予算	款	10	教育費		基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち	
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110390	豊科公民館事業		具体的な施策	生涯学習機会の充実	

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,781					6,781
前年度	5,253				24	5,229
増減額	1,528	0	0	0	24	1,552

単位:千円

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・地域住民が主体的かつ積極的に生涯学習活動に関わる機会を設けることで、様々な触れ合いとともに交流や連携を図る。
【効果】
 ・多くの市民が公民館事業に参加することで地域のつながりが深まり、地域間交流も活発化する。
 ・文化祭、芸能発表会等、学びの成果などを発表する場を提供することで、生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・文化祭、芸能発表会、運動会等、それぞれの催事における開催の意義とともに、市民と行政が進める協働のまちづくりにも資するものとしていく。
 ・球技大会、運動会、文化祭など多くのスタッフや動員を要する催事については、安全運営にも配慮しながらその当事者である参加者や出展者が主体的に運営する仕組みを引き続き推進していく。
 ・地区公民館の役員との定期的な交流の場や研修会等を開催することで、事業内容の理解を深めながら情報の提供やその共有化を図る。

【一般財源増加理由】 主に、体育大会における競技用品(972千円増)、体育大会・文化祭等パイプtent、楽器運搬車両借上料(467千円増)など

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,478	館長報酬				
08	報償費	1,682	地区公民館対抗球技大会運営協力者謝礼、記念品・参加賞ほか				
11	需用費	1,429	運動会、文化祭プログラム用紙、競技用品ほか				
12	役務費	194	公民館総合補償保険掛金				
13	委託料	270	文化祭・菊花展会場設営・撤去業務委託ほか				
14	使用料・賃借料	467	体育大会、菊花展運営tent・車両等				
18	備品購入費	261	公民館事業・展示用備品				
上記の合計		6,781	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,781	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 運動会、球技大会開催において、安全性とともに健康管理にも配慮するため、ゼッケンの購入とパイプtentの借上げを行う。
 公民館改修工事完成・引渡しを受けて、竣工式開催における出演者への謝礼、楽器運搬車両の借上げを行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
14	使用料・賃借料	467	パイプtent及び競技用品・楽器運搬車両の借上げ
合計		467	左記の特定財源

予算書ページ	66
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10406100
		部・課・係等	市民生活部 穂高支所地域課 地域担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102110	穂高支所費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	30,991	国支出金	県支出金	市債	その他	30,970
前年度	51,091				241	50,850
増減額	20,100	0	0	0	220	19,880

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	穂高支所雑入	21							21

【目的・効果】

【目的】

穂高庁舎維持管理に伴う総括管理費
市民が快適に利用できる環境を維持する。

【効果】

光熱水費の削減による経費節減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・穂高支所、市民活動センター、及び所管施設(豊里・宮城土地・福武書庫)の維持管理、公用車の維持管理(3台)を行う。
- ・本庁部局との連絡調整
- ・借地等 庁舎敷地935.39㎡(地権者1名)、 来庁者駐車場1777.34㎡(地権者1名) 公用車駐車場4,324㎡(地権者2名) 職員駐車場7112.64㎡(地権者6名)

【参考:管理施設概要】

穂高支所・・・昭和47年築 / 鉄筋コンクリート4階建て 3,087㎡ / 所属部署:穂高支所

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	331	臨時職員賃金	18	備品購入費	293	税務会計用金庫購入
8	報償費	359	支所等整備検討市民会議出席謝礼・地区行事関係	27	公課費	14	公用車重量税
9	旅費	46	区長会視察関係				
11	需用費	11,707	消耗品費・燃料費・灯油・施設物品修繕費・光熱水費				
12	役務費	1,734	電話料・公用車車検手数料・自賠責保険料				
13	委託料	3,229	各種庁舎管理委託・福武書庫警備				
14	使用料及び賃借料	13,278	コピー機借上げ及び使用料・公用車等駐車場借地料				
上記の合計		30,991	職員の人件費合計	0	事業費総合計	30,991	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

地域区長会運営関連費用が「まちづくり推進事業」より移管となった。(事業内容は従前より行っていたが、予算計上を各支所へ移管)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	322	区長会出席謝礼
9	旅費	46	区長会視察同行
11	需用費	115	区長会賄
13	委託料	67	区長会視察バス運転業務
合計		550	左記の特定財源

予算書ページ	68
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10406100
		部・課・係等	市民生活部 穂高支所地域課 地域担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102120	穂高支所等整備事業		具体的な施策	本庁舎等の建設

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
291,402	20,831	270,571	0	0	248,800	28,848
					13,500	719
					235,300	28,129
						13,754
						6,612
						7,142

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	庁舎建設基金利子	259							
18	庁舎建設基金繰入金	28,589								
21	庁舎建設事業	248,800								

【目的・効果】

【目的】

新本庁舎供用開始に合わせ、老朽化した現穂高支所庁舎を適正規模の建物に改築する。

【効果】

- ・市民が安全安心に利用できる施設となる。
- ・庁舎の規模縮小改築により、借り上げている3ヶ所の駐車場を返却できる(削減経費...年間10,715千円)

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

解体工事(100%)及び改築工事(30%)を行う。
 事業の実施にあたっては、合併特例債を活用することにより一般財源の負担軽減が可能となる。
 借地駐車場を平成27年度末に一部返還をする。
 庁舎建設基金利子の積立

【支所整備関係】

- ・委託料 事務事業委託料 9,879千円(サーバー等移転・移設業務)・不用品撤去処分業務12,960千円・解体施工監理2,506千円・改築工事施工監理1,147千円(30%)
- ・工事請負費 改築工事 154,872千円(30%) 解体工事 103,400千円(100%)

【一般財源増加理由】 H27年度は整備が本格化し解体工事・本体工事に着手するための増

節	節名称	金額(千円)	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	66	建築基準法関係検査・申請手数料			702	上水道等仮設配管工事
13	委託料	9,879	事務事業委託(サーバー等移転・移設業務)	25	積立金	260	庁舎建設基金利子
		12,960	庁舎内不用品撤去・処分作業委託				
		3,653	解体施工監理業務委託 改築 " (30%)				
15	工事請負費	154,872	改築工事(30%)				
		103,400	解体工事(100%)				
		5,610	仮電源設備工事				
上記の合計		291,402	職員の人件費合計 0	事業費総合計		291,402	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

全事業対象

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	66	建築基準法関係検査・申請手数料
13	委託料	26,492	サーバー等移転・移設業務 庁舎内不用品撤去・処分作業委託 解体施工監理業務委託 改築施工監理業務委託(30%)
15	工事請負費	264,584	改築工事(30%) 解体工事(100%) 仮電源設備工事
25	積立金	260	庁舎建設基金利子積立
合計		291,402	左記の特定財源 市債(旧合併特例債 248,800千円)、その他(庁舎建設基金繰入金 28,589千円、同基金利子 259千円)

予算書ページ	366
--------	-----

重点項目番号	3-2	コード	10406100
		部・課・係等	市民生活部 穂高支所地域課 地域担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110395	穂高公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
16,752	1,106,487	1,089,735	0	0	1,025,200	52,378
					1,025,200	51,528
						13,007

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公民館使用料	550							
20	公民館雑入	300								

【目的・効果】

【目的】

- ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。
- ・穂高会館の耐震補強改修工事が終了し、市民が安全・安心して利用できる施設整備が図られ、更なる利用の促進を図る。

【効果】

- ・リニューアルされた穂高会館の一層の利活用を図り教育・文化の振興に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・施設・備品等の点検を行い、市民が安全・安心して利用できる環境整備を図る。
- ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
- ・利用者の意向・要望に沿えるよう案内及び情報提供を行う。
- ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
- ・貸館等事務(昼夜間)の業務委託

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	6,690	管理用消耗品、燃料費、光熱水費、施設修繕費、物品修繕費					
12	役務費	1,406	電話料、防火対象物定期点検費、レンタルマット、各種検査手数料他					
13	委託料	7,540	会館管理・受付業務、日常清掃業務、各種機器保守点検業務、他					
14	使用料及び賃借料	1,098	コピー機借上げ料及び使用料、会館駐車場借地料他					
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会					
23	償還金、利子及び割引料	5	施設使用料還付金					
27	公課費	9	公用車重量税					
上記の合計		16,752	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,752	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

特にありません。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	366
--------	-----

重点項目番号	3-2	コード	10406100
		部・課・係等	市民生活部 穂高支所地域課 地域担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110400	穂高公民館事業費		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
4,954	4,470	484	0	0	0	30
						4,924
						4,440
						484

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公民館雑入		30						

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・各種公民館講座、球技大会、運動会等の開催により、子どもから高齢者まで生涯を通じて学びあえる機会を提供する。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭、スポーツ大会、及び運動会を開催する。
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的に開催し情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【一般財源増加理由】 運動会景品分増(H26はH25雨天中止分を使用する。)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	公民館長報酬				
8	報償費	1,440	球技大会運営協力者謝礼、文化祭出展、球技大会・運動会景品他				
11	需用費	462	研修会資料代、消耗品費、球技大会用品、文化祭パンフレット他				
12	役務費	194	公民館総合保障掛け金				
13	委託料	361	文化祭設営・撤去業務、公民館講座マイクロ運転業務他				
14	使用料及び賃借料	19	公民館講座用				
上記の合計		4,954	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,954	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

特にありません。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	70
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10407100
		部・課・係等	市民生活部 三郷支所地域課 地域担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102130	三郷支所費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
39,639	40,848	1,209	0	0	0	237
						293
						56
						1,153

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	三郷支所雑入		237						

【目的・効果】

【目的】

・三郷庁舎の維持管理、運用及び地域振興事業の補助を行う。

【効果】

- ・市民及び職員が安心して快適に利用できる施設となる。
- ・三郷地域の行政の拠点施設としての機能を維持する。
- ・地域の活性化につながると共に、市民のふれあいの場をつくることできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・三郷支所庁舎を維持・管理し、市民サービス提供の場にふさわしい環境を整える。
 - ・三郷区長会、三郷支所等整備検討市民会議を開催する。
 - ・公民館棟の増改築期間中、生涯学習活動団体の活動支援として、支所3階会議室を開放する。
 - ・地域の活性化と市民のふれあいの場として開催される、「ふるさと夏祭り」について補助を行う。
- 【参考:管理施設概要】
三郷支所...昭和55年築 / 3階建て4,318㎡ / 所属部署:農政課(10人)、統計係(3人)、支所(17人)、公民館(6人)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	4,002	窓口業務・ボイラー運転等臨時賃金	15	工事請負費	4,600	公民館仮移転に伴う改修
8	報償費	286	区長会、支所等整備検討市民会議謝礼・地区行事関係	19	負担金補助及び交付金	1,500	ふるさと夏祭り補助金
9	旅費	31	区長会研修旅費	27	公課費	21	公用車重量税
11	需用費	15,140	庁舎管理用品・消耗品・庁舎暖房用燃料代・公用車燃料代・修繕費・光熱水費				
12	役務費	1,197	電話料・公用車車検手数料・公用車自賠責保険				
13	委託料	8,150	庁舎清掃・各種設備等保守・ごみ処理・除雪				
14	使用料及び賃借料	4,712	印刷機等・除雪用車両・テレビ受信料・庁舎敷地借地料				
上記の合計		39,639	職員の人件費合計	0	事業費総合計	39,639	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・まちづくり推進事業から区長会研修旅費として移管
- ・三郷公民館、保健センター耐震補強及び改修工事に伴い公民館が三郷支所へ仮移転するため事務室等を改修する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
9	旅費	31	区長会研修旅費
15	工事請負費	4,600	公民館仮移転に伴う改修
合計		4,631	左記の特定財源

予算書ページ	72
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10407100
		部・課・係等	市民生活部 三郷支所地域課 地域担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102140	三郷支所等整備事業		具体的な施策	本庁舎等の建設

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
575,593	12,820	562,773	16,529		497,000	44,579
				0	497,000	44,579
						17,485
						10,214
						7,271

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	16,529							558,108
	18	庁舎建設基金繰入金	44,579							
	21	庁舎建設事業	497,000							

【目的・効果】

【目的】

・三郷公民館、保健センター耐震補強及び改修工事を行い、公民館を支所との複合施設として整備する。

【効果】

・複合施設とすることにより施設の有効活用が可能となり、公民館と支所が連携した住民サービスを提供することができる。
 ・耐震補強及び改修により、利用者の安全安心と快適な利用につなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 三郷公民館及び保健センター棟について耐震補強並びに改修工事を施工し、三郷支所の増築工を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	2,700	建築確認申請、震度計移設手数料				
13	委託料	17,527	ネットワーク機器等移設、支所等整備工事施工監理委託料				
15	工事請負費	528,379	三郷公民館、保健センター耐震補強及び改修工事 三郷支所増築工事				
18	備品購入費	26,987	三郷公民館備品				
上記の合計		575,593	職員の人件費合計	0	事業費総合計	575,593	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

平成25年11月28日 12月議会定例会の市長所信表明で、三郷支所を三郷公民館棟へ移し、公民館と保健センターが入る複合施設として整備する方針を公表。
 平成26年2月には、「安曇野市支所等整備基本計画」が策定され、三郷地域では、3月29日の市民説明会をはじめ、3回のワークショップ開催による意見集約を行い、また、三郷支所等整備検討市民会議を3回開催する中で、三郷公民館棟の増改築の方向性及び現在の三郷支所跡地に建設が計画されております交流学習センターの構想をまとめ、市長へ報告書として提出されました。平成26年度では実施設計を行い、平成27年度には工事を実施する予定です。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	2,700	支所等建築確認申請、震度計等移設
13	委託料	17,527	三郷支所等整備工事施工監理、ネットワーク機器等移設
15	工事請負費	528,379	三郷公民館、保健センター耐震補強及び改修工事 三郷支所増築工事
18	備品購入費	26,987	三郷公民館等備品
合計		575,593	左記の特定財源 市債(旧合併特例債 497,000)、住宅・建築物安全ストック形成事業補助金(16,529)、その他(庁舎建設基金繰入金 44,579)

予算書ページ	368
--------	-----

重点項目番号	3-2	コード	10407100
		部・課・係等	市民生活部三郷市支所地域課地域担当

予算	款	5	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学び合うまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110405	三郷公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
10,220	11,104	884	0	0	0	97
						526
						429
						455

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公民館使用料	60							97
	20	公民館雑入	37							

【目的・効果】

【目的】

・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。

【効果】

・学ぶ環境が整備されることにより市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

公共施設が集中している地帯に位置する特色から、大人から子どもまで多くの市民が利用する生涯学習施設の拠点として、安心して使いやすい清潔な施設の維持管理を行う。

- ・施設・備品等の点検修理を行い、利用環境の整備を図る。
- ・貸館等事務(昼夜間)の業務委託
- ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
- ・利用者の意向・要望に沿えるよう案内及び情報提供を行う。
- ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
- ・公民館耐震改修工事による利用団体への影響を軽減するため、代替施設の管理運営を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,645	光熱水費、修繕等費				
12	役務費	249	電話料、防火対象物点検、車検手数料				
13	委託料	5,468	シルバー人材センター公民館管理・清掃、備品等移設業務				
14	使用料及び賃借料	2,810	コピー機使用料、公民館敷地借地料				
19	負担金補助金及び交付金	4	防火管理者協議会				
27	公課費	44	自動車重量税				
上記の合計		10,220	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,220	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

公民館備品等移設業務委託
平成27年8月(予定)から始まる三郷公民館耐震改修工事に伴い、利用可能な備品等の有効利用を図るため、7月に三郷支所へ移設・一時保管し、工事完了後の平成28年3月に三郷公民館へ移設する業務を委託する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	2,456	公民館備品等移設業務
合計		2,456	左記の特定財源

予算書ページ	368
--------	-----

重点項目番号	3-2	コード	10407100
		部・課・係等	市民生活部三郷市支所地域課地域担当

予算	款	5	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学び合うまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110410	三郷公民館事業		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,186	5,129	1,057	0	0	0	60
						60
						5,069
						1,057

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公民館雑入	60							60

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで、生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「三郷祭」を冠する文化産業展・運動会等の行事開催や講座・教室を開講し、地域文化の振興や地域住民の交流を図る。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭、スポーツ大会、及び運動会を開催する。
 ・公民館サポート会議委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的開催し、情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【増額理由】

・人件費の高騰により、文化産業展のパネル運搬設営委託料及び机等借上(運搬費)料の増
 ・三郷公民館の耐震改修工事に伴う芸能発表会の会場(三郷文化公園体育館)設営及び器具等借上料の増

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	公民館長報酬				
8	報償費	1,671	地区公民館対抗スポーツ大会協力者謝礼、三郷祭記念品、運動会景品、三郷祭協賛謝礼				
11	需用費	431	事務用品、三郷祭プログラム印刷				
12	役務費	194	公民館総合補償制度掛金				
13	委託料	674	文化産業展・芸能発表会会場パネル運搬設営委託				
14	使用料及び賃借料	738	文化産業展机等、芸能発表会照明借上				
上記の合計		6,186	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,186	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

平成27年11月に開催する市民芸能発表会について、会場となる三郷公民館講堂が耐震改修工事で使用できないため、代替施設として使用する三郷文化公園体育館アリーナへ、出演者と観覧者を区分けするためのパネルの運搬・設営と演出用の照明器具等の借上をいたします。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	197	芸能発表会会場パネル運搬設営委託
14	使用料及び賃借料	200	芸能発表会照明器具等借上料
合計		397	左記の特定財源

重点項目番号	5-3		コード	10408100	
	款	2	部・課・係等	市民生活部 堀金支所地域課 地域担当	
予算	項	1	総務費	基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	総務管理費	主要施策	業務の効率化
			一般管理費	基本施策	行政改革の推進
	事業	0102150	堀金支所費	具体的な施策	業務の効率化

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	18,893				192	18,701
前年度	25,977				162	25,815
増減額	7,084				30	7,114

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
		庁舎等自動販売機設置(支所過年度分)	46							
		堀金支所雑入	146							

【目的・効果】
 【目的】支所庁舎の改修を踏まえながら、市民が利用しやすく、職員も気持ちよく効率的に働けるよう維持管理を行う。
 【効果】市民から見て分かりやすく、無駄なく良く管理され、満足した対応ができる場所と感じてもらえる庁舎となるようにする。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・庁舎の改修と市民が利用しやすく、職員も気持ちよく働ける職場環境の両立を目指す。
 ・可能な範囲において民間委託を行う。
 ・クールビズ・ウォームビズを徹底し来庁者にも呼びかけをする。
 ・夏は自然の空気をとりいれるなどしてエアコンの利用を減らす。
 ・ゴミの分別を徹底し環境負荷を減らす。
 ・不要な電気消費を減らすため照明、冷暖房、パソコン等の機器の電源をこまめに切る。
 ・宿日直業務の廃止に伴い夜間・休日の庁舎全館の警備を専門業者に委託する。

[一般財源増加理由]											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
8	報償費	146	区長会出席謝礼・各種行事報償物品			27	公課費	26	公用車重量税		
9	旅費	9	区長会研修同行								
11	需用費	8,164	事務用品・公用車燃料・来客用茶葉・庁舎修繕費・電気料・上下水道料・物品修繕								
12	役務費	1,654	庁舎電話料・公用車検手数料・法定点検手数料・タイヤ交換手数料・マットモップレンタル料								
13	委託料	6,176	庁舎内設備点検委託料・清掃業務委託料・除雪業務委託料								
14	使用料及び賃借料	1,818	印刷機借り上げ料・庁内便器洗浄器具レンタル料・コピー機使用料								
19	負担金補助及び交付金	900	堀金地域振興事業(ほりがね特産祭り)補助金								
上記の合計		18,893	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,893	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 堀金地域振興事業(ほりがね特産祭り)補助金について、堀金地域の総合的な振興事業であるとの観点から堀金支所として予算を計上し事業を継続する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
19	負担金補助	900	堀金地域振興事業(ほりがね特産祭り)補助金	
合計		900	左記の特定財源	

重点項目番号	5-3		コード	10408100			
			部・課・係等	市民生活部 堀金地域課 地域担当			
予算	款	2	総務費		総 合 計 画	基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	項	1	総務管理費			主要施策	業務の効率化
	目	1	一般管理費			基本施策	行政改革の推進
	事業	0102160	堀金支所等整備事業			具体的な施策	本庁舎等の建設

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	544,036	0	51,200	466,900	24,600	1,336
前年度	19,085	233				18,852
増減額	524,951	233	51,200	466,900	24,600	17,516

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額	
	15	市町村合併特例交付金	51,200					542,700
	18	庁舎建設基金繰入金	24,600					
	21	合併特例債	466,900					

【目的・効果】
【目的】
 市本庁舎完成後の堀金支所等庁舎の後利用については、「支所等整備基本計画」に基づき支所・公民館・図書館等を備えた地域住民の交流学習等の拠点となる複合施設として改修を行なう。支所別館の利用については、調理実習室として整備する。
【効果】
 市本庁舎完成後の支所等庁舎については、経済的視点にたった行財政運営が推進される。堀金支所等庁舎については、公民館および図書館機能を集約する複合施設とすることで、それぞれの施設の相乗効果が得られる。このことにより、世代を超え多くの市民に長く親しまれ、快適に利用していただける施設となることが期待される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・堀金支所等改修工事費 531,036千円
 ・支所等整備施工監理委託 11,737千円
 ・調理実習室消耗品・備品購入 1,263千円

[一般財源増加理由]							
節	節名称	金額	主な内容		節	金額	主な内容
11	需用費(消)	200	調理実習室消耗品外				
13	委託料	11,737	堀金支所等整備施工監理委託				
15	工事請負費	531,036	堀金支所等改修工事費				
18	備品購入費	1,063	調理実習室備品費				
上記の合計		544,036	職員の人件費合計	0	事業費総合計	544,036	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

全事業対象

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費(消)	200	調理実習室消耗品外
13	委託料	11,737	堀金支所等整備施工監理委託
15	工事請負費	531,036	堀金支所等改修工事費
18	備品購入費	1,063	調理実習室備品費
合計		544,036	左記の特定財源 県支出金(市町村合併特例交付金51,200千円)、市債(合併特例債466,900千円) その他(庁舎建設基金繰入金24,600千円)

予算書ページ	370
--------	-----

重点項目番号	3-2	コード	10408100
		部・課・係等	市民生活部 堀金地域課 地域担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通して学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110415	堀金公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
7,573	8,014	441	0	0	0	60
						481
						7,092
						7,593
						501

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	13	公民館使用料	360	20	公民館コピーサービス料	84				481
	20	公民館自動販売機電気料	36							
	20	公民館公衆電話料	1							

【目的・効果】

【目的】

・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。

【効果】

・学ぶ環境が整備されることにより市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・施設・備品等の点検修理を行い環境整備を図る。
- ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
- ・利用者の意向・要望に沿えるよう案内及び情報提供を行う。
- ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
- ・貸館等事務(昼夜間)の業務委託

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	3,182	管理消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	500	電話料、モップクリーニング、防火対象物定期点検他				
13	委託料	3,427	警備業務、自動ドア保守点検業務、消防用設備等点検業務、清掃業務、受付業務、印刷機保守他				
14	使用料及び賃借料	451	印刷機・複合機借上料及び使用料				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会会費				
27	公課費	9	公用車自動車重量税				
上記の合計		7,573	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,573	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

特にありません。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	370
--------	-----

重点項目番号	3-2		コード	10408100					
			部・課・係等	市民生活部 堀金地域課 地域担当					
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成			
	項	5	社会教育費	画	主要施策	生涯を通して学びあうまち			
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進			
	事業	0110420	堀金公民館事業		具体的な施策	生涯学習機会の充実			
単位:千円									
当初予算額		特定財源				一般財源			
		国支出金	県支出金	市債	その他				
本年度	4,903				12	4,891			
前年度	4,673				30	4,643			
増減額	230	0	0	0	18	248			
特定財源の内訳	款	20	公民館講座受講料	金額	12	合計金額 12			
【目的・効果】									
【目的】									
・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。									
【効果】									
・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。									
・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲が生まれる。									
【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する									
・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭、スポーツ大会、及び運動会を開催する。									
・公民館サポート委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。									
・地区公民館役員会議を定期的開催し情報の提供及び共有を図る。									
・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。									
【一般財源増加理由】 運動会景品分増(H26はH25雨天中止分を使用したため)									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	2,478	堀金公民館長報酬						
8	報償費	1,692	文化祭・スポーツ大会協力者謝礼、公民館講座講師謝礼、文化祭・スポーツ大会記念品、運動会景品他						
11	需用費	456	公民館事業消耗品、スポーツ大会用品他						
12	役務費	216	公民館総合保障制度掛金、クリーニング代						
13	委託料	61	一周駅伝大会等バス運転業務、スポーツ大会花火打ち上げ						
上記の合計	4,903	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,903	OK			
【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】									
節	節名称	金額(千円)	主な内容						
合計	0	左記の特定財源							

予算書ページ	74
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	10409100
		部・課・係等	市民生活部 明科支所地域課

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102170	明科支所費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
17,760	38,413	20,653	0	0	0	121
						8,314
						12,460

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	電報・電話料	1							121
	20	庁舎等自動販売機設置	120							

【目的・効果】

【目的】

- ・経費削減と事務事業の効率化を図り健全財政を維持するとともに、市民から信頼される質の高いサービスの提供を目指す。
- ・市民と協働し市民に信頼される市政の実現を図る。

【効果】

- ・行政財産等適切な維持管理を図ることができる。
- ・市民の意向を踏まえたサービスの充実と提供。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・支所・公民館の複合施設及び行政財産を維持管理し、市民が利用しやすい環境を整える。
- ・職員の働きやすい環境を整えることで事務の効率化を図り、お待たせしない市民サービスを提供する。
- ・地域課題を解決するための対等なパートナーである地域区長会の活動を支援し、協働のまちづくりを推進する。
- ・支所配置公用車の管理(台数:3台)。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	206	各種行事祝い、区長会出席謝礼				
9	旅費	46	区長会視察研修同行職員旅費				
11	需用費	9,077	事務用消耗品外、公用車燃料代、来客等お茶、施設・公用車修繕、光熱水費				
12	役務費	1,183	電話料、手数料(庁舎管理、公用車法定点検)				
13	委託料	6,996	庁舎保守点検等(空調、清掃、設備等)、宿日直、大型バス運転業務				
14	使用料及び賃借料	252	庁舎内機器等借上料、コピー機使用料、テレビ受信料				
上記の合計		17,760	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,760	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4
--------	---

コード	10409100
部・課・係等	市民生活部 明科支所地域課

予算書ページ	196
--------	-----

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	7	飲料水供給費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104190	飲料水供給費		具体的な施策	上水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,654				154	1,500
前年度	1,773				154	1,619
増減額	119	0	0	0	0	119

特定財源の内訳	款	13	飲料水供給施設使用料	金額	154	合計金額	154

【目的・効果】

【目的】

・明科南陸郷区内の山間集落(金井沢地区)では、安曇野市明科飲料水供給施設(以下「飲料水供給施設」という。)により飲料水を確保している。
 ・その飲料水を安定的に供給できるよう施設の維持管理の事務事業を行う。

【効果】

・安全で安心な飲料水の供給。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・飲料水供給施設として整備されている配水施設の維持管理を、安曇野市水道事業の管理を行う者(安曇野市長)に委託する。
 ・浄水ろ過施設の洗浄点検を専門業者に委託し、安定した水質を確保する。
 ・各受益世帯の水道使用量を検針し、使用料金を徴収する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	389	飲料水供給施設光熱水費				
12	役務費	39	テレメーター電話回線使用料				
13	委託料	1,226	飲料水供給施設維持管理委託料				
上記の合計		1,654	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,654	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	372
--------	-----

重点項目番号	3-2	コード	10409100
		部・課・係等	市民生活部 明科支所地域課 地域担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	110425	明科公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
3,300	3,517				851	2,449
増減額	217	0	0	0	96	313

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公民館使用料	550							
20	公民館雑入	301								

【目的・効果】

【目的】

- ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行なう。
- ・新施設の良さを活かし、市民へ気持ちの良いサービスを提供し、情報発信の拠点となるように心がける。

【効果】

- ・情報発信の拠点となることにより、多くの利用者、参加者が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・施設の使用規定(内規)に沿った利用方法の周知を徹底し、破損個所を発生させないよう管理する。
- ・施設・備品等の点検修理を行い環境整備を図る。
- ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
- ・利用者の意向・要望に沿えるよう、案内及び情報提供を行う。
- ・利用者の使用日誌の記帳を徹底させ、光熱水費の経費節減に努める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	475	管理用消耗品、施設修繕費、物品修繕費				
12	役務費	183	電話料、ピアノ調律、車検手数料				
13	委託料	2,167	公民館管理・受付業務				
14	使用料及び賃借料	475	コピー機借上げ料及び使用料				
上記の合計		3,300	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,300	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
特になし。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	372
--------	-----

重点項目番号	3-2	コード	10409100
		部・課・係等	市民生活部 明科支所地域課 地域担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	110430	明科公民館事業費		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,847				60	3,787
前年度	3,899				40	3,859
増減額	52	0	0	0	20	72

特定財源の内訳	款	20	公民館雑入	金額	60	合計金額		
								60

【目的・効果】

【目的】

・市制施行10周年記念で冠事業として開催する事業を中心とし、開催方法や内容などに多くの市民の意見を取り入れ、趣向をこらした年度とする。

【効果】

・より多くの市民が興味を持って公民館事業に積極的に参加することにより、一層の地域の繋がりや交流が活発化すると思われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・「明科いいまちつくりかい!!(市民有志と地域課・公民館で組織する会)の活動の中で、10周年記念を意識した内容での企画、運営を展開する。
 ・スポーツ大会等の企画、立案には早期からスポーツ推進委員と連携し、10周年に向けた体制を作る。
 ・地区公民館役員を対象に、定期会議の他、「協働のまちづくり」に向けた研修会等を開催し、さらなる地域づくりを図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	公民館長報酬				
8	報償費	916	球技大会運営協力者謝礼、文化祭出展、球技大会・運動会景品他				
11	需用費	186	研修会資料代、公民館事業用消耗品他				
12	役務費	194	公民館総合保障制度加入掛金				
13	委託料	73	公民館講座マイクロ運転業務				
上記の合計		3,847	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,847	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
特になし。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

福祉部

予算書ページ	120
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10501100
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費	画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103010	社会福祉総務費		具体的な施策	地域福祉活動の強化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	434,363	国支出金	県支出金	市債	その他	419,080
前年度	478,890		13,837		2,521	462,532
増減額	44,527	0	0	0	1,075	43,452

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	民生委員活動委託金	12,630	20	社会福祉雑入	60				
15	民生委員協議会委託金	1,207								
16	福祉基金利子	1,386								

【目的・効果】

【目的】

- ・民生委員活動、災害時避難行動要支援者名簿の作成と提供といった法令の定めに従い、市民生活を守るための事業を実施する。
- ・地域福祉の推進、心配ごと相談などといった、市民の日常的な問題、課題を解決する事業を実施する。
- ・戦没者追悼式を行い、戦争で尊い命を失った先人のことを後世に伝えていく事業を実施する。

【効果】

- ・こういった事業を実施することで、いわゆる現代社会の弱者の立場にある人の安全や安心を確保し、これらの人たちが生活しやすい安曇野市を形成する効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・本事業は上記目的を達成するため、以下各節の主な内容に記載するとおり多岐にわたっている。具体的な事業内容は各節の内容のとおり。
- ・新規事業として、特別甲慰金給付申請受付事務、生活困窮者自立相談事業を実施するため支出額が増加している。
- ・機構改革として、前年度まで穂高健康支援センター管理費に計上していた需用費を当事業に計上したため支出額が増加している。

【一般財源増加理由】 全国一斉に実施される特別甲慰金事務のための臨時職員賃金及び福祉部全体で使用する窓あき封筒作成費用の計上により増加した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	308	民生委員推薦会委員報酬	14	使用料及び賃借料	945	災害時要援護者台帳保守
7	賃金	787	特別甲慰金申請受付事務非常勤職員	19	負担金補助及び交付金	126,586	民児協負担金、補助及び交付金、社会福祉主事資格認定講座受講料、社会福祉協議会地域福祉推進事業補助
8	報償費	18,927	福祉委員報償	25	積立金	1,387	福祉基金積立金利子
9	旅費	285	社会福祉主事資格認定講座、民児協視察研修				
11	需用費	1,120	消耗品、福祉事務所封筒印刷				
12	役務費	522	F Mラジオ広告料、クリーニング代				
13	委託料	13,034	心配ごと相談、戦没者追悼式会場設営、婚活事業、大型バス運行				
上記の合計		163,901	職員の人件費合計	270,462	事業費総合計	434,363	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・10年に一度全国一斉に実施される「特別甲慰金」申請受付事務を平成27年度に実施する。
- ・生活困窮者自立相談事業に従事する職員の0.5人分の賃金を、単独事業分の日常生活自立支援事業に従事することとし補助する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	787	特別甲慰金申請受付事務のための臨時職員賃金
11	需用費	41	特別甲慰金申請受付事務のための需用費
19	負担金補助及び交付金	3,141	生活困窮者自立相談事業人件費補助金(0.5人分)
合計		3,969	左記の特定財源 0

予算書ページ	122
--------	-----

重点項目番号	2
コード	10501100
部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当

予算 目録	款	3	民生費	総合 計	基本方針	穏やかに暮らせる街の形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合いえるまち
	目	1	社会福祉総務費	基本施策	地域福祉の推進	
	事業	0103020	福祉医療費給付事業	具体的な施策	地域福祉体制の充実	

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	611,121	国支出金	県支出金	市債	その他	382,705
前年度	589,894		215,495		2,040	372,359
増減額	21,227	0	7,641	0	3,240	10,346

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	福祉医療費給付事業補助金	223,136							228,416
	20	福祉医療費貸付金元金収入	5,280							
		(一般財源の内、消費税増税分)	100,000							

【目的・効果】

【目的】

- ・乳幼児等、障害者、母子・父子家庭に医療費を給付する。
- ・低所得者で医療費の負担が大きい方のために貸付制度がある。

【効果】

- ・子育て世帯、障害児者、1人親世帯の経済的負担を軽減することにより、福祉の増進をはかる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・受給資格者に対し、保険診療(調剤を含む)に係る自己負担額について助成する。
- ・受給資格者が支払った自己負担額から、1レセプト毎500円の負担金を控除した額を受給資格者に給付金として支給する。(償還払い)
- ・医療機関での一時的な支払いが困難な受給資格者に対し医療費を貸し付ける。

【一般財源増加理由】 貸付金を利用した受診が増加していることから、貸付金の予算額を増額した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	43	事務用消耗品				
12	役務費	47,385	医療機関事務手数料				
13	委託料	5,382	国保連合会審査集計事務委託料				
20	扶助費	553,031	受給者に対する給付金				
21	貸付金	5,280	貸付制度利用者貸付金				
上記の合計		611,121	職員の人件費合計	0	事業費総合計	611,121	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

新規事業はありません

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	122
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10501100
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせる街の形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合いえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0117060	臨時福祉給付金給付事業		具体的な施策	地域福祉体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
113,389	272,024	158,635	113,389	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	臨時福祉給付金給付事業補助金	96,000							
14	臨時福祉給付金給付事業事務費補助金	17,389								

【目的・効果】
【目的】
 ・消費税率の引上げに際し、低所得者に対し臨時的な給付措置を行う。
【効果】
 ・低所得者への影響を緩和し、影響の低減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・対象世帯からの申請に対し、審査決定し、給付金を支払う。[全額国庫負担]
 基本分対象者数 16,000人
 支給額 基本分1人当たり 6,000円
 (今年度加算はなし。)

[一般財源増加理由] 貸付金を利用した受診が増加していることから、貸付金の予算額を増額した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,171	申請受付・処理事務臨時職員賃金(6か月の短期雇用)				
11	需用費	1,064	事務用品、リーフレット等印刷費				
12	役務費	6,352	申請書等郵送料、口座振込手数料				
13	委託料	4,752	電子システム構築業務委託料				
14	使用料及び賃借料	325	コピー機借上、使用料				
20	扶助費	96,000	給付金				
上記の合計		111,664	職員の人件費合計	1,725	事業費総合計	113,389	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 新規事業はありません。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	176
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10501100
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせる街の形成
	項	4	災害救助費		主要施策	認め合い支え合いえるまち
	目	1	災害救助費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103570	災害救助費		具体的な施策	地域福祉体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
500	500	0	0	0	0	0
						500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・自己の居住の用に供する家屋における火災の罹災者に対し、見舞金及び弔慰金を支給する。

【効果】

・罹災者の福祉の向上に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・火災により死亡した者に対する弔慰金 100千円
- ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね70パーセント以上に達したとき 50千円
- ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね20パーセント以上に達したとき 30千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
20	扶助費	500	火災の罹災者に対する見舞金及び弔慰金				
上記の合計		500	職員の人件費合計	0	事業費総合計	500	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

新規事業はありません

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	132
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10401100
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 長寿福祉係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103130	老人福祉総務費		具体的な施策	生きがいづくりと社会参加の促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
251,388	255,111	3,723	0	2,345	0	3,974
			0	2,345	0	3,974
			0	0	0	3,723

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	市町村特別対策広報等補助金	3,974								6,319

【目的・効果】

【目的】

高齢者福祉事業を実施する上での総務的な人件費等の費用の他、高齢者福祉充実のために連携が必要な各団体等への支援。

【効果】

各団体の運営が安定化することにより、高齢者に提供されるサービスの向上が見込まれ、高齢者福祉の増進につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・職員の人件費
- ・シルバー人材センター、老人クラブ連合会への運営補助金交付。
- ・社会福祉協議会が運営する老人福祉センターへの運営補助金交付。
- ・養護老人ホームを運営する一部事務組合への負担金支出。
- ・老人大学の委託方式による開催。
- ・福祉バスの運行委託。
- ・70歳以上の在宅高齢者に対し、市内7か所の保養施設の無料入浴券を4枚交付。
- ・一定の要件を満たす在宅で介護を行う家族に対し、年額50,000円の介護慰労金を支給。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	147	各地区敬老会御祝。福祉有償運送協議会出席謝礼。				
9	旅費	26	研修会参加用旅費。				
11	需用費	673	事務用品。参考図書費。ガイドブック印刷費。保養施設無料入浴券印刷。				
12	役務費	8	賞状筆耕料。				
13	委託料	9,828	老人大学開催委託費。福祉バス運行委託費。				
19	負担金補助及び交付金	45,255	シルバー人材センター、老人クラブ連合会、福祉センター運営補助。松塩安策一部事務組合負担金。				
20	扶助費	48,139	保養施設入浴券交付事業。介護慰労金支給。高齢者敬老祝い品。				
上記の合計		104,076	職員の人件費合計	147,312	事業費総合計	251,388	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	134
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10401100
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 長寿福祉係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103140	在宅福祉事業		具体的な施策	在宅福祉サービスの充実
	単位:千円					

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	45,615		1,619		10,750	33,246
前年度	45,519		1,619		10,750	33,150
増減額	96	0	0	0	0	96

特定財源の内訳	款	15	高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金	金額	1,575	款	20	配食サービス利用料	金額	8,440	款	20	軽度生活援助利用料	金額	248	合計金額
		15	緊急宿泊事業補助金	金額	44		20	生活管理指導利用料	金額	240				12,369		
		20	緊急通報システム利用料	金額	1,698		20	生活管理短期宿泊利用料	金額	124						

【目的・効果】

【目的】

各種サービスを活用して高齢者の在宅生活を支援することを目的とした事業。

【効果】

在宅高齢者の健康増進につながることで、施設に頼らない在宅生活での継続が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活支援サービス等高齢者の在宅生活を支援する各種サービスを業者に委託し実施。

- ・高齢者の生きがいづくり、健康づくりに寄与する事業に対するの補助金交付。
- ・所得、介護認定等一定の要件を満たし、段差解消等の住宅改良工事を実施した場合に費用の一部を補助。
- ・要介護3以上の認定を受けている高齢者に対して、500円分のタクシー利用券を年間で最大30枚交付。

【一般財源増加理由】 軽度生活援助事業の件数増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	600	健康体操指導員派遣事業の講師謝礼。				
11	需用費	326	事務消耗用品。返信用封筒印刷代。				
13	委託料	30,184	配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活支援サービス事業他各種在宅福祉サービス事業委託料。				
19	負担金補助及び交付金	9,350	高齢者生きがいと健康づくり事業、健康長寿のまちづくり推進事業、高齢者にやさしい住宅改良事業補助金				
20	扶助費	5,155	緊急宿泊支援事業、通院等外出支援事業、訪問理美容事業扶助費。				
上記の合計		45,615	職員の人件費合計	0	事業費総合計	45,615	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	134
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10401100
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 長寿福祉係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103150	老人福祉施設入所措置事業		具体的な施策	地域福祉体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
87,448	87,448				12,800	74,648
増減額	0	0	0	0	128	128

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	老人入所措置費個人負担金	12,800							

【目的・効果】

【目的】心身及び経済的な理由から在宅生活が困難な高齢者を施設に入所させ、養護するとともに、自立した日常生活が営めるよう援助することを目的とする。

【効果】施設入所により施設内での自立した生活や社会活動に参加するための訓練、支援が受けられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・養護が必要な高齢者を、市が措置費を支払い養護老人ホームに入所措置を行う。また利用者及び扶養義務者からは、所得に応じて負担金を徴収する。
- ・入所に際しての判定会議を開催する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	68	老人ホーム入所判定委員会出席謝礼。				
11	需用費	5	ケースファイル購入費。				
20	扶助費	87,375	養護老人ホーム措置費用。				
上記の合計		87,448	職員の人件費合計	0	事業費総合計	87,448	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	136
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10401100
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 長寿福祉係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業		具体的な施策	福祉施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
134,632	65,274	69,358	0	0	0	38,302
						96,330
						46,886
						49,444

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	豊科ふれあいホール使用料	250	20	高齢者福祉施設自販機電気料	157	20	総合福祉センター管理費等徴収金	18,323		
13	総合福祉センター使用料	1	20	高齢者福祉施設公衆電話料	1					

【目的・効果】

【目的】

高齢者の健康・福祉増進や要介護者の在宅生活を支援するため、各種施設を管理、運営する。

【効果】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができ、健康・福祉増進が図られることにより、健康長寿が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

各種高齢者福祉施設の管理運営

・介護保険施設であるデイサービスセンター5施設(豊科、穂高、三郷、堀金、明科)は、指定管理者制度により管理運営。

・穂高地域福祉センター、三郷福祉センター(三郷屋内ゲートボール場を含む)は、指定管理者制度により管理運営。

・日帰り入浴施設である穂高老人保健センターは、指定管理者制度により管理運営。

・高齢者集会施設(ふれあいホール)は、受付等の業務を一部委託しての管理運営。

・明科総合福祉センターの地下ビッド地下水漏水防止及び地盤沈下防止のための工事。堀金福祉センター積雪落下防止のための玄関置き屋根設置工事。

・デイサービスセンターバスリフト老朽化による取替。

明科福祉センター、堀金福祉センターの施設管理部署所管替えによる施設管理費増。明科福祉センター地下水ビッド漏水防止工事の実施に

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	20	ふれあいホール駐車場除草謝礼。	18	備品購入費	103	堀金福祉センター用脚立、明科福祉センター用掃除機、ふれあいホール用ワイヤレスマイク。
11	需用費	29,991	各施設光熱水費。小破修繕。施設管理用消耗品他。	19	負担金補助及び交付金	3,649	穂高老人保健センター温泉使用負担金他。
12	役務費	141	ふれあいホールピアノ調律。各施設玄関マット交換手数料。明科福祉センター汚泥汲み取り料他。				
13	委託料	62,936	各施設設備等管理委託料。施設指定管理委託料。明科福祉センター修繕工事設計委託及び工事監理委託他。				
14	使用料及び賃借料	6,697	穂高老人保健センター、三郷福祉センター用地借地料。穂高老人保健センター排水処理施設使用料他。				
15	工事請負費	27,309	明科福祉センター地下ビッド地下水漏水修繕工事。堀金福祉センター玄関置き屋根設置工事。				
17	公有財産購入費	3,786	デイサービスセンターバスリフト入替。				
上記の合計		134,632	職員の人件費合計	0	事業費総合計	134,632	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・明科福祉センター地下ビッドに地下水が漏水しており、配管設備の一部が錆び、劣化により破損するおそれがあるため防水

工事を行う。併せて施設外溝を覆う耕土が軟弱であり、地盤沈下のおそれもあるため地盤改良を行う。

・堀金福祉センター屋根に積雪した雪が玄関に落下することがあり、危険であるため置き屋根を設置する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	1,793	工事設計委託料及び工事設計監理委託料。
15	工事請負費	27,309	明科福祉センター地下ビッド地下水漏水修繕工事。堀金福祉センター玄関置き屋根設置工事。
合計		29,102	左記の特定財源

予算書ページ	122
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103040	障がい者支援センター費		具体的な施策	自立と就労への支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	57,831	国支出金	県支出金	市債	その他	50,186
前年度	57,168	2,963	3,031		1,410	49,764
増減額	663	161	80	0	0	422

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	3,124	20	障害者活動支援センター指定管理者納付金	510	7,645
	15	地域福祉総合助成金	1,549	20	障害者就労支援センター指定管理者納付金	900	
	15	地域生活支援事業補助金	1,562				

【目的・効果】

【目的】

- ・障害者活動支援センター:食事や入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援、生産活動等の機会を提供する。
- ・B型事業所:就労や生産活動の機会を提供する。一般就労への移行に向けた必要な支援・指導等を行う。
- ・地域活動支援センター:社会交流の促進等の便宜を供与することで、障がい者等の地域生活支援の促進を図る。

【効果】

- ・障がい児者のニーズに即した適切なサービスが提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・障害者活動支援センターでのベッドでのおむつ交換のための寝台仕切カーテンの設置を行う。

【一般財源が前年度を上回った理由】

- ・穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家の指定管理委託料の合計がH26年度より約80万増加したため。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	918	施設修繕費				
13	委託料	56,913	穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家の指定管理委託料				
上記の合計		57,831	職員の人件費合計	0	事業費総合計	57,831	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	124
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費	計画	主要施策	認め合い支え合えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103050	障がい者支援事業		具体的な施策	障害福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1,232,020	1,145,591	86,429	612,531	306,266		450
			568,496	283,676		293,419
			44,035	22,590	0	450
						19,354

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	障がい者入所措置個人負担金	450	14	障害児施設措置費(給付費)負担金	18,286	15	自立支援医療負担金	11,921	919,247
	14	自立支援給付費負担金	570,403	15	自立支援給付費負担金	285,202		(一般財源の内、消費税増税分)	100,000	
	14	自立支援医療負担金	23,842	15	障害児施設措置費(給付費)負担金	9,143				

【目的・効果】

【目的】

障がい者・障がい児が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者総合支援法等に基づき、障害福祉サービス等の利用者に対して必要な給付を行う。

【効果】

障がい者・障がい児の自立した日常生活及び社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【給付内容】

- ・介護給付費(居宅介護、行動援護、同行援護、短期入所、施設入所等)
- ・訓練等給付費(共同生活、就労移行支援、自立訓練等)
- ・補装具費
- ・自立支援医療(更生・育成・療養介護)

【費用負担】

基準額に対して 国:1/2、県:1/4、市:1/4

【一般財源増加理由】 障がい者の個々のニーズに合わせた相談支援の充実や、利用者の増加により、サービス提供等の費用が増加している。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	2,920	相談支援専門員				
8	報償費	563	育成医療の審査に係る医師に支払う謝礼 障害福祉運営委員会の出席者の謝礼				
11	需用費	151	ケースファイル、参考図書、 利用者向けパンフレット、書籍追録				
12	役務費	2,213	給付費の審査に係る国保連の手数料				
14	使用料及び賃借料	648	障害福祉サービス請求内容チェックシステム借上料				
19	負担金補助及び交付金	81	障害者相談支援従事者現任及び新任研修負担金				
20	扶助費	1,225,444	更生、育成、療養介護医療の給付費 障害福祉サービスの給付費				
上記の合計		1,232,020	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,232,020	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	124
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103060	児童発達支援事業		具体的な施策	相談支援体制の強化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,346					6,346
前年度	3,336					3,336
増減額	3,010	0	0	0	0	3,010

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

- ・障がい有する(疑われる)子どもの早期発見・早期支援。
- ・乳幼児期から途切れることのない子どものライフステージに応じた一貫した支援と情報管理。
- ・支援に必要な情報が共有できるネットワークの構築

【効果】

- ・障がいの早期発見により、適切なサービスが提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・保護者、本人、関係機関からの個別相談に継続した支援を実施する。
 - ・保護者を対象とした研修会(ペアレントトレーニング)の実施。
 - ・作業療法士による、「遊びの教室」への協力。
 - ・ネットワーク構築に向けた他部署との調整
- 【一般財源が前年度を上回った理由】
- ・H26年度での再任用職員分を、H27年度で非常勤職員に振り替えたため賃金が増加した。
 - ・所管している車両についてその経費を原課で計上する必要があったためその費用が増加した。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	4,972	子ども相談員賃金	27	公課費	8	自動車重量税
08	報償費	100	研修会講師謝礼				
09	旅費	107	研修旅費				
11	需用費	655	消耗品費:療育検査用紙他 車両燃料代及び車両修繕費				
12	役務費	228	電話料 車両に係る手数料及び自賠責保険料				
18	備品購入費	261	検査対象となる子どもの児童遊具等				
19	負担金補助 及び交付金	15	研修参加負担金				
上記の合計		6,346	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,346	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	126
--------	-----

重点項目番号	2-2	コード	10502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103070	地域生活支援事業		具体的な施策	障害福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	86,355	国支出金	県支出金	市債	その他	46,849
前年度	77,808	24,424	12,212			41,172
増減額	8,547	1,913	957	0	0	5,677

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	26,337							39,506
	15	地域生活支援事業補助金	13,169							

【目的・効果】

【目的】

障害者総合支援法に基づき、障がい者、障がい児が基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を総合的に実施する。

【効果】

障がい者、障がい児の基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業内容】

・理解促進研修・啓発事業・自発的活動支援事業・相談支援事業・成年後見制度利用支援事業・成年後見制度法人後見支援事業
 ・意思疎通支援事業・日常生活用具給付等事業・手話奉仕員養成研修事業・移動支援事業・地域活動支援センター機能強化事業
 ・訪問入浴事業・日中一時支援事業・巡回専門員整備事業・スポーツレクリエーション教室、文化芸術活動振興事業・自動車運転免許取得、改造助成・障害支援区分認定等事業

【費用負担】

基準額に対して国:1/2、県:1/4、市:1/4

(総合補助金として位置づけられており、国の予算額を人口及び事業実施割合等で市町村に配分する)

【その他】

障害者支援区分認定調査予算分を、障がい者支援事業より、地域生活支援事業へ移行した。(補助金の一本化)

s 障がい者の個々のニーズに合わせた相談支援の充実や、利用者の増加により、サービス提供等の費用が増加している。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,395	障害支援区分認定調査員	20	扶助費	24,499	日常生活用具の給付・成年後見制度利用に係る費用の給付・地域活動支援センター利用に係る給付
8	報償費	89	障害者週間講演会講師謝礼 障害者週間講演会手話・要約筆記講師謝礼				
9	旅費	46	手話通訳士特殊健康診断旅費(穂高 東京区内) 県内施設入所者認定調査				
11	需用費	16	障害者週間講演会消耗品 医師意見書返信用封筒				
12	役務費	2,660	障害支援区分認定申請に係る医師意見書・手話通訳者等損害保険料・筆耕翻訳速記料				
13	委託料	50,106	障害者相談支援事業・移動支援事業・日中一時支援事業・訪問入浴事業・手話通訳奉仕員養成講座事業				
19	負担金補助及び交付金	7,544	スポーツレクリエーション教室、文化芸術活動・自動車運転免許取得、改造助成・自発的活動支援事業・成年後見支援センター事業				
上記の合計		86,355	職員の人件費合計	0	事業費総合計	86,355	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	128
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	010380	精神障がい者居宅生活支援事業		具体的な施策	障害福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	10,447	国支出金	県支出金	市債	その他	9,912
前年度	9,997	357	178			9,462
増減額	450	0	0	0	0	450

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	357							
15	地域生活支援事業補助金	178								

【目的・効果】

【目的】

在宅の精神障がい者の社会復帰の促進及び精神障がい者を抱える家族の精神的負担を目的とする。

【効果】

在宅の精神障がい者の社会復帰及び家族の精神的負担の軽減に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業内容】

- ・地域活動支援センター「ひめこぶしの家」の指定管理委託
回復途上にある精神障がい者に対し、地域や仲間との交流及び創作活動の場の提供により自立した社会生活の促進を図る。
- ・「ひめこぶしの家」の敷地内整備の実施
- ・精神障がい者家族教室の開催
精神障がい者を抱える家族に対し、情報の提供や対応のスキルアップ、同じ悩みを持つ家族の意見交換等により家族の精神的負担の軽減や精神障がい者が回復を促す暮らしやすい環境作りに寄与する。

一般財源増加理由「ひめこぶしの家」敷地内整備。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	65	精神障がい者家族教室講師謝礼				
9	旅費	56	全国精神保健福祉相談員研修会旅費				
11	需用費	110	精神障がい者家族教室に係る消耗品 ひめこぶしの家施設修繕費				
13	委託料	10,209	ひめこぶしの家指定管理委託及び施設内整備委託 精神障がい者家族教室視察に係るバス運行委託				
19	負担金補助及び交付金	7	全国精神保健福祉相談員研修会負担金				

上記の合計	10,447	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,447	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	128
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10502100
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障害福祉担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103090	障がい者福祉総務費		具体的な施策	障害者福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	138,780	国支出金	県支出金	市債	その他	93,737
前年度	136,843	40,407	3,970			91,093
増減額	1,937	666	1,373	0	0	2,644

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	特別障害者手当負担金	41,073							45,043
	15	地域福祉総合助成金	3,452							
	15	特別児童扶養手当事務委託費	518							

【目的・効果】

【目的】

・障がい者等の誰もが生きがいをもって生き生きと暮らせる安全で安心な社会づくりの実現に向けて、様々な補助事業及び扶助を総合的・一体的に実施すること。

【効果】

・団体に補助する事により、障がい者が個人活動だけでなく、目的を共にした団体にその活動を通じて社会参加できる環境創りができる。
・自分らしく心豊かな生活を送るための福祉サービス(タイムケア事業、外出支援事業、透析通院支援等)ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・れんげの家、やまびこ学園への運営補助の為に委託。
・障がい者団体(身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、聴覚障害者協会等)への補助金の交付。
・障がい者の外出を支援する、外出支援事業、ふれあいバスの旅事業への補助。
・障がい者の生活に扶助する、タイムケア事業、特別障害者・児福祉手当、重度心身障害者・児福祉金、透析通院支援の実施。
【一般財源が前年度を上回った理由】
・特定疾患見舞金において、難病医療法の改正により特定疾患の範囲が56疾患から300疾患に拡大されることの伴い見舞金受給者の増加として約500万の予算増を見込んだ為。
・豊科支所において所管していた福祉車両(松本880あ257)を本庁舎移転に伴い福祉課で所管する為の経費増。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,494	一般事務非常勤職員賃金	20	扶助費	108,311	特別障害者・障害児福祉手当、重度心身障害児・者福祉金、透析患者通院支援
08	報償費	253	登録手話通訳者・要約筆記者現任研修会講師謝礼 特別障害者手当審査謝礼				
09	旅費	44	県外研修会旅費				
11	需用費	636	消耗品費:特別児童扶養手当事務消耗品 施設修繕費:身体障害者会館修理費				
12	役務費	234	市が行う講演会などへの手話通訳等派遣費				
13	委託料	14,942	れんげの家運営委託料、やまびこ学園運営委託料、豊科身体障害者会館指定管理委託料				
19	負担金補助及び交付金	10,866	身体障害者療護施設ささらの里建設負担金、障害者住宅等整備補助金、重症心身障害児者支援事業補助金				
上記の合計		138,780	職員の人件費合計	0	事業費総合計	138,780	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	130
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10502200
		部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業		具体的な施策	相談業務などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,489	7,034	0	0	0	2,455
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	9,489	7,034	0	0	0	2,455

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14		生活困窮者自立相談支援事業負担金	6,310						
14		生活困窮者住居確保給付金負担金	564							
14		子ども学習支援事業補助金	160							

【目的・効果】

【目的】

平成27年4月1日から施行される生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある者に対し、生活困窮状態からの自立を支援する。

【効果】

個別に具体的な支援プランを作成することで、提供するサービス(事業)が明確になり自立支援につなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・自立相談支援機関を設置(委託)し、相談支援、支援調整会議開催、支援プランの作成を行い、サービス(事業)の提供を行う。
- ・離職者に対し、住居確保給付金の支給を行い求職活動を支援する。
- ・子ども学習支援事業を行い、将来において最低限度の生活を維持できることを目指す。

【一般財源増加理由】 新規事業のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	8,735	生活困窮者自立相談支援事業委託、子ども学習支援事業委託				
20	扶助費	754	住居確保給付金				
上記の合計		9,489	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,489	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

生活困窮者自立支援法に基づく事業

- ・自立相談支援機関を設置(委託)し、相談支援、支援調整会議開催、支援プランの作成を行い、サービス(事業)の提供を行う。
- ・離職者に対し、住居確保給付金の支給を行い求職活動を支援する。
- ・子ども学習支援事業を行い、将来において最低限度の生活を維持できることを目指す。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	8,735	生活困窮者自立相談支援事業委託、子ども学習支援事業委託
20	扶助費	754	住居確保給付金
合計		9,489	左記の特定財源 生活困窮者自立相談支援事業負担金(6,310) 子ども学習支援事業補助金(160) 生活困窮者住居確保給付金(564)

予算書ページ	170
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10502200
		部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	生活保護総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103510	生活保護総務費		具体的な施策	生活保護制度の適用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	917,026	国支出金	県支出金	市債	その他	271,011
前年度	991,173	681,554	11,317	0	7,800	290,502
増減額	74,147	56,179	2,377	0	3,900	19,491

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額		細節名称	金額	
	14	生活保護費国庫負担金	623,504	15	生活保護費県負担金	8,750	20	返還金及び徴収金	10,500	646,015
	14	被保護者就労支援事業負担金	1,378	15	住宅支援給付事業補助金	190				
	14	生活保護適正実施推進事業補助金	493	20	生活保護支援貸付金元金収入	1,200				

【目的・効果】

【目的】

・要保護者の生活維持と自立支援を図るため、生活扶助、医療扶助等を給付する。

【効果】

- ・保護費の支給により、最低限度の生活が維持できる。
- ・生活環境を整え、就労へつなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・生活保護受給者に対し、生活保護費(扶助費)を支給する。
- ・レセプト点検により、適正な医療扶助費の支給に努める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	5,141	非常勤職員賃金 3人分	21	貸付金	1,200	生活保護支援貸付金
8	報償費	558	嘱託医手当 2人分				
9	旅費	94	職員研修等旅費				
11	需用費	1,450	参考図書、緊急避難所修繕、公用車燃料・修繕				
12	役務費	1,278	郵便料、電話料、審査手数料、車検外手数料				
13	委託料	1,054	レセプト点検委託、システム改修委託				
20	扶助費	842,131	生活保護扶助費、就労自立給付金				
上記の合計		852,906	職員の人件費合計 64,120	事業費総合計		917,026	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

13委託料:システム改修委託

医療連名簿機能追加: 医療券を単票での発行以外に、連名簿での発行を可能にし、発行枚数を減らし業務の効率化を図る。

単票 一人に対し、同一月に利用した医療機関利用回数分の医療券を医療機関別に発行する。

連名簿: 同一月の医療機関利用者を一覧表形式にし、医療機関別に発行する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	411	生活保護システム改修委託
合計		411	左記の特定財源

予算書ページ	170
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10502200
		部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103520	社会就労センター管理費		具体的な施策	生活保護制度の適用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	94,879	国支出金	県支出金	市債	その他	44,350
前年度	78,595	41,327	2,358	0	1,136	33,774
増減額	16,284	5,186	423	0	99	10,576

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
		金額	金額			金額	金額						
	13	社会就労施設使用料	426	15	自立支援給付費負担金	2,781	20	就労継続支援利用者負担金	93				50,529
	14	自立支援給付費負担金	5,563	20	障害者就労支援センター電気料	500							
	14	生活保護費国庫負担金	40,950	20	社会就労センター自販機電気料	216							

【目的・効果】

【目的】

・身体上若しくは精神上の理由または世帯の事情により就業能力の限られている者に対して、就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜を与えて、その自立の助長を図る。(主として利用者の就労支援と福利厚生費用)

【効果】

・就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜(就労場所=社会就労センター)を与えることができる。
・生活保護法に規定する要保護者や身体上若しくは精神上の理由による者に就労意欲と工賃が生じる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・(株)日本エフディ、安曇野本多、穂高観光食品、小宮山製菓の4社から1年を通して安定的な仕事を確保する。
- ・利用者の確保(定員:30名)と一般就労への支援を行う。(H26.12月現在の利用者:29名)(三郷)
- ・利用者の確保(定員:40名)と一般就労への支援を行う。(H26.12現在の利用者:37名)(明科)
- ・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設=社会就労センター)を提供する。
- ・施設(社会就労センター)の維持管理及び施設運営等を行う。
- ・豊科社会就労センターの業務を民間事業者へ委託する。
- ・穂高社会就労センターの業務委託を継続する。

【一般財源増加理由】 事業費増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	24,085	指導員、事務員賃金、一時金、通勤手当	15	工事請負費	776	防火設備工事
8	報償費	45	取引企業お礼	19	負担金補助及び交付金	376	県及び中信地区協議会負担金
9	旅費	231	所長研修旅費、福利厚生事業視察研修旅費	27	公課費	185	自動車重量税
11	需用費	13,683	消耗品費、灯油・ガソリン代、光熱水費(電気代他)、施設修繕費、物品修繕費				
12	役務費	2,258	電話料、公用車法定点検、車検代、施設賠償責任保険料				
13	委託料	32,607	穂高・豊科社会就労センター業務委託、施設警備委託				
14	使用料及び賃借料	711	フォークリフト借上げ、コピー機借上げ、借地料				
上記の合計		74,957	職員の人件費合計	19,922	事業費総合計	94,879	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・豊科社会就労センター業務の委託を行う。
・三郷社会就労センター防火設備工事を行う。(消防署による立入検査の結果、火災通報装置の設置、誘導灯設置等が指導された。)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	13,450	豊科社会就労センター業務委託
15	工事請負費	776	三郷社会就労センター防火設備工事
合計		14,226	左記の特定財源

重点項目番号	4	コード	10502200			
		部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当			
予算	款	3	民生費	総合 計画 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103550	三郷社会就労センター事業費		具体的な施策	生活保護制度の適用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
16,848	12,655	4,193	0	0	0	16,200
			0	0	0	12,000
			0	0	0	4,200
						648
						655
						7

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額		細節名称	金額	
	20	社会就労センター作業工賃	16,200							16,200

【目的・効果】

【目的】

・身体上若しくは精神上の理由または世帯の事情により就業能力の限られている者に対して、就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜を与えて、その自立の助長を図る。(主として利用者の就労支援と福利厚生費用)

【効果】

・就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜(就労場所 = 社会就労センター)を与えることができる。
 ・生活保護法に規定する要保護者や身体上若しくは精神上の理由による者に就労意欲と工賃が生じる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・(株)日本エフディ、安曇野本多、穂高観光食品、小宮山製菓の4社から1年を通して安定的な仕事を確保する。
 「安定した仕事の確保 = 安定した工賃の確保」を目指して、取引企業と連絡を密にして情報を得る。
 ・利用者の確保(定員:30名)と一般就労への支援を行う。(H26.12月現在の利用者:29名)
 ・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設 = 社会就労センター)を提供する。
 ・生活弱者の福利厚生事業(旅行・懇親会・昼食会等)を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	79	作業用消耗品(手袋・マスク・エプロン・テープほか)洗剤・消毒液・うがい薬ほか				
12	役員費	16,260	利用者工賃及び受託金				
13	委託料	59	荷物運搬業務ほか委託料 大型バス運行業務委託料				
19	負担金補助及び交付金	450	利用者福利厚生事業補助金				
上記の合計		16,848	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,848	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	174
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10502200							
		部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当							
予算	款	3	民生費		総合	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成			
	項	3	生活保護費		計画	主要施策	安心を支えるまち			
	目	2	社会就労センター費		画	基本施策	生活困窮者への支援			
	事業	0103560	明料社会就労センター事業費			具体的な施策	生活保護制度の適用			
単位:千円										
当初予算額		特定財源				一般財源				
		国支出金	県支出金	市債	その他					
本年度	16,727	0	0	0	12,960	3,767				
前年度	16,300	0	0	0	12,600	3,700				
増減額	427	0	0	0	360	67				
特定財源の内訳	款	20	社会就労センター作業工賃	金額	12,960	款		金額		合計金額 12,960
【目的・効果】										
【目的】										
・身体上若しくは精神上の理由または世帯の事情により就業能力の限られている者に対して、就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜を与えて、その自立の助長を図る。(主として利用者の就労支援と福利厚生費用)										
【効果】										
・就労または技能の習得のために必要な機会及び便宜(就労場所=社会就労センター)を与えることができる。										
・生活保護法に規定する要保護者や身体上若しくは精神上の理由による者に就労意欲と工賃が生じる。										
【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する										
・フジゲン(株)、サンエパー、草深製作所、穂高観光食品ほか取引企業7社から1年を通して安定的な仕事を確保する。 「安定した仕事の確保=安定した工賃の確保」を目指して、取引企業と連絡を密にして情報を得る。										
・利用者の確保(定員:40名)と一般就労への支援を行う。(H26.12月現在の利用者:37名)										
・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設=社会就労センター)を提供する。										
・生活弱者の福利厚生事業(旅行、暑気払い会、クリスマス会ほか)を行う。										
【一般財源増加理由】 備品(電動テーブカッター)購入費(100千円増)										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	115	作業用消耗品(手袋・マスク・エプロンほか) 洗剤・消毒液・うがい薬・業務用ガムテープほか							
12	役務費	12,960	利用者作業工賃及び作業工賃受託金							
13	委託料	1,806	荷物運搬業務ほかシルバー委託料 大型バス運行業務委託料							
14	使用料及び賃借料	972	荷物運搬用自動車借上げ料							
18	備品購入費	274	作業台用ゴムシート(特注) 作業用電動テーブカッター							
19	負担金補助及び交付金	600	利用者福利厚生事業補助金							
上記の合計		16,727	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,727	OK			
【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】										
・作業用電動テーブカッター購入										
・作業の中に、決められた長さのテープを張る仕事があります。ハサミだと時間と手間がかかり効率が悪く、利用者によっては同じ長さうまく切れない人がいます。作業効率を高め、工賃の上昇につなげるため購入する。										
節	節名称	金額(千円)	主な内容							
18	備品購入費	100	作業用電動テーブカッター:2台							
合計		100	左記の特定財源							

予算書ページ	130
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503100
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 児童係

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103100	母子福祉事業		具体的な施策	相談事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
29,212	28,752	460	14,967	5,546	0	2
			0	0	0	2
						458

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	母子生活支援施設入所者負担金	2	14	児童虐待・DV対策総合支援事業補助金	665				
14	母子生活支援施設入所国庫負担金	11,050	15	母子生活支援施設入所県費負担金	5,525					
14	母子家庭自立支援給付金事業補助金	3,252	15	母子家庭等日常生活支援事業補助金	21					

【目的・効果】

【目的】

・DV被害者及びひとり親家庭への相談及び支援を行うことにより、安心して安全な生活ができる環境づくりを行う。

【効果】

・相談を行うことにより、重篤な事件を未然に防ぐ。
 ・安心して安全な生活環境を提供することにより、母子家庭等のひとり親家庭の早期自立ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・配偶者からの暴力に関するDV相談及び保護、自立に向けての支援
 ・ひとり親家庭の自立に関する相談及び支援

【一般財源増加理由】 啓発用リーフレット等の作成配布、緊急避難施設の光熱水費増のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,913	女性相談・母子自立支援員賃金				
09	旅費	88	内閣府主催研修会参加旅費、県外DV避難移送支援旅費、女性相談員研修参加旅費				
11	需用費	521	事務用品、緊急避難施設光熱水費				
12	役務費	157	携帯電話料				
19	負担金補助及び交付金	15	母子自立支援員及び婦人相談員連絡協議会負担金 母子福祉会主催事業参加負担金				
20	扶助費	26,518	母子自立支援施設入所措置費、母子家庭高等技能訓練促進費、DV避難時緊急対策費用				
上記の合計		29,212	職員の人件費合計	0	事業費総合計	29,212	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・内閣府主催配偶者暴力相談支援センター設置市町村向け研修会への参加(H26年度流用対応)
 ・配偶者からの暴力防止及び相談に関するリーフレットと啓発用カードの作成配布

節	節名称	金額(千円)	主な内容
9	旅費	29	内閣府主催 官官・官民ワークショップ参加旅費(東京都 一泊二日 1名)
11	需用費	138	DV防止啓発リーフレット A6・12P 1,000部、相談計克カード 名刺サイズ 1,000枚
合計		167	左記の特定財源

重点項目番号	3-1		コード	10503100		予算書ページ	142									
			部・課・係等	福祉部 子ども支援課 児童係												
予算	款	3	民生費		総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成									
	項	2	児童福祉費			主要施策	安心を支えるまち									
	目	1	児童福祉総務費			基本施策	子育て支援の充実									
	事業	0103230	児童福祉総務費			具体的な施策	児童福祉サービスの充実									
単位:千円																
当初予算額			特定財源				一般財源									
本年度	2,005,944	1,203,360	245,274			993	556,317									
前年度	2,102,957	1,259,053	255,014			66	588,824									
増減額	97,013	55,693	9,740	0		927	32,507									
特定財源の内訳	款	14	児童扶養手当国庫負担金	金額	99,217	款	14	子ども子育て支援交付金	金額	3,008	款	20	児童手当過年度精算金	金額	5	合計金額
		14	児童扶養手当国庫負担金精算分	1			15	児童手当県費負担金	242,260		20	児童扶養手当過年度返納金	988			
		14	児童手当国庫負担金	1,101,133			15	子ども子育て支援交付金	3,008				(一般財源の内、消費税増税分)	70,000	1,449,627	
		14	児童手当国庫負担金前年度精算分	1			15	児童福祉施設入所負担金判定委託金	6							
	【目的・効果】 【目的】 ・児童虐待防止、虐待の早期発見と要保護児童対策の強化をはかる。 ・児童手当、児童扶養手当を支給することにより子育て世代への経済的支援を行う。 【効果】 ・虐待防止及び虐待を早期に発見することにより、要保護児童の安全確保ができる。 ・児童手当等の支給により経済的支援が充実され、よりよい子育て環境が維持できる。															
【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する ・児童相談所等の関係機関と連携した家庭児童相談事業の実施。 ・児童手当法及び児童扶養手当法に基づく手当の支給。 ・子ども子育て新制度施行に向けての、事業計画の策定。																
【一般財源増加理由】																
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容						
07	賃金	8,467	家庭児童相談員、児童係事務非常勤職員賃金				20	扶助費	1,883,857	児童手当、児童扶養手当、子育て支援ショートステイ						
08	報償費	126	子ども、子育て会議 出席謝礼				27	公課費	71	公用車重量税						
09	旅費	51	要保護児童県外移送支援旅費 家庭指導相談員研修参加旅費													
11	需用費	2,214	事務用品、参考図書、子育て支援ガイドブック印刷製本 公用車修繕費													
12	役務費	356	公用車車検、点検手数料													
13	委託料	4,904	ファミリーサポート事業委託料													
19	負担金補助及び交付金	56	虐待防止研修会参加負担金 家庭児童相談員連絡協議会負担金													
上記の合計	1,900,102	職員の人件費合計	105,842	事業費総合計	2,005,944	OK										
【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】 ・公用車管理を課単位で行うことによる、燃料費、車検費用等の追加																
節	節名称	金額(千円)	主な内容													
11	需用費	1,388	公用車ガソリン代、公用車車検・点検時修繕費8台分													
12	役務費	247	公用車車検・点検手数料 8台分、自賠責保険料 4台分													
27	公課費	71	公用車重量税 4台分													
合計	1,706	左記の特定財源														

予算書ページ	142
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503100
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 児童係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	児童福祉総務費		基本施策	基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103240	児童遊園管理費		具体的な施策	具体的な施策	児童福祉サービスの充実
	単位:千円						

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,330					11,330
前年度	11,175					11,175
増減額	155	0	0	0	0	155

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 小規模公園の整備を行うことにより、児童の安全な遊び場の確保を図る。
- 小規模公園の整備方針を策定し、公園管理の一元化を図る。

【効果】

- 危険遊具の計画的な更新により、児童の遊び場としての安全なが確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 平成24年度からの6カ年計画により、安全点検の結果危険な遊具の更新工事を実施する。

[一般財源増加理由] 真々部児童遊園のトイレ修繕の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	980	小規模公園利用状況調査用消耗品				
13	委託料	350	更新工事設計管理委託料				
15	工事請負費	10,000	小規模公園遊具更新工事				
上記の合計		11,330	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,330	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- 真々部児童遊園のトイレ修繕

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	980	真々部児童遊園のトイレ修繕
合計		980	左記の特定財源

予算書ページ	144
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503100
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 児童係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	児童福祉総務費		基本施策	基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103250	子育て世帯臨時特例給付金事業		具体的な施策	具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
44,901	138,286	93,385	44,899	138,286	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	子育て世帯臨時特例給付金事業補助金	38,934							
14	子育て世帯臨時特例給付金給付事務費補助金	5,965								

【目的・効果】

【目的】

・H26年度消費税率の引上げに際し、臨時的な給付措置として実施した支給を継続して行う。

【効果】

・子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・対象世帯からの申請に対し、審査決定し、給付金を支払う。【全額国庫負担】

対象世帯 7,862世帯
 対象児童数 12,978人
 支給額 児童1人当たり 3,000円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
03	職員手当	552	職員4名分 時間外手当				
07	賃金	831	申請受付・処理事務臨時職員賃金(6か月の短期雇用)				
11	需用費	456	事務用品、リーフレット等印刷費				
12	役務費	1,816	申請書等郵送料、口座振込手数料				
13	委託料	2,312	電子システム改修委託料、申請書作成・封入作業委託料				
20	扶助費	38,934	臨時特例給付金				
上記の合計		44,901	職員の人件費合計	0	事業費総合計	44,901	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	144
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503100
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 児童係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	児童福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103260	児童館運営費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	172,825	国支出金	県支出金	市債	その他	119,883
前年度	169,496	18,015	2,651		32,412	116,418
増減額	3,329	48	16	0	72	3,465

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	児童クラブ負担金	32,338	14	保育緊急確保事業国庫補助金	2,635				
12	児童クラブ負担金滞納繰越分	1	14	児童健全育成事業補助金	15,332					
13	児童クラブ利用者負担金督促手数料	1	15	保育緊急確保事業県費補助金	2,635					

【目的・効果】

【目的】

・児童館、児童クラブ事業を行うことによる子育て支援の充実と、放課後の児童の安全な居場所の確保を図る。

【効果】

- ・児童館事業として子育て支援事業を広く展開することにより、子どもの健全な発達と子育て世代の母親の交流が図れる。
- ・児童クラブ事業を充実することにより、安心して働ける環境づくりができる。
- ・全館指定管理を行うことにより、提供するサービスの均一化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市内9児童館、10児童クラブを指定管理制度による指定管理委託。

【一般財源増加理由】 報償費及び臨時職員賃金を児童福祉総務費より移動計上、児童館施設修繕及び児童館屋内遊具購入費の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,669	臨時職員賃金 1名分				
08	報償費	408	研修会講師謝礼				
11	需用費	981	プール用消毒剤、事務用品、施設修繕費				
12	役務費	244	指定管理委託料				
13	委託料	168,575	指定管理委託料				
14	使用料及び賃借料	478	児童館用地及び案内看板設置用地借地料				
18	備品購入費	470	児童館屋内遊具 他				
上記の合計		172,825	職員の人件費合計 0	事業費総合計	172,825	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・児童館・児童クラブ運営委員会及び建設検討会出席謝礼を児童福祉総務費より移動計上
- ・児童クラブ関係事務にかかる臨時職員賃金を児童福祉総務費より移動計上
- ・南穂高児童館庭木剪定の実施
- ・南穂高児童館フェンス修繕費の計上
- ・児童館屋内遊具等の備品購入費の計上

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	1,669	児童クラブ関係事務臨時職員賃金
8	報償費	378	児童館・児童クラブ運営委員会、児童館建設検討会出席謝礼
11	需用費	935	児童クラブ関係事務用品、児童館施設修繕(畳替え、プールサイド修繕)
12	役務費	244	南穂高児童館ヒマラヤスギ選定
18	備品購入費	470	児童館屋内遊具、物置購入
合計		3,696	左記の特定財源

予算書ページ	146
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	2	児童館費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103270	児童館整備事業		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	126,105	国支出金	県支出金	市債	その他	16,105
前年度	101,547					101,547
増減額	24,558	0	0	0	110,000	85,442

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	公共施設整備基金繰入金	60,000							
18	福祉基金繰入金	50,000								

【目的・効果】

【目的】

・子育て支援の充実を図るために児童館を整備し、より効率化した施設になるよう環境整備を行う。

【効果】

・施設増築により、分散していた児童クラブを集約でき、長期預かりの要望にも対応が可能となる。
 ・駐車場配置を見直し、余剰財産を処分することでより効果的な施設運営ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

三郷児童館増築工事
 ・既存児童館に児童クラブ室棟(現予定:255㎡ 児童クラブ室3・トイレ・玄関)を増築する。年度前半から工事発注に併せて施工監理業務を委託する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	144	児童館教材費等				
12	役務費	141	建築確認手数料、中間検査手数料、完了検査手数料				
13	委託料	1,701	三郷児童館工事監理業務				
15	工事請負費	122,210	三郷児童館建設工事				
18	備品購入費	1,909	三郷児童館施設備品購入				
上記の合計		126,105	職員の人件費合計	0	事業費総合計	126,105	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・三郷児童館増築工事 A = 255㎡
 三郷児童館増築については、平成26年度に実施予定であったが1回目入札不調、2回目入札不調となったため積算見直しを行い、平成27年度に改めて入札、増築工事に着手する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	122,210	
合計		122,210	左記の特定財源 福祉基金繰入金、公共施設整備基金繰入金

予算書ページ	146
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103280	公立保育園総務費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	1,317,877	国支出金	県支出金	市債	その他	719,192
前年度	1,205,374	3,286	21,876		654,753	525,459
増減額	112,503	2,394	2,016	0	85,640	193,733

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	保育児童保育料他	5,587,095	15	電源立地地域対策交付金他	20,868	
13	保育料督促手数料	37		その他	15,005		
14	子ども子育て支援交付金他	5,680					

【目的・効果】

【目的】

- ・安心安全の育児ができる環境を整えるため、保育所の適正管理運営を行う。
- ・保育士研修の実施と適正配置を行う。

【効果】

- ・未満児保育、時間外保育、障害児保育等の特殊保育を行い、またそれに適した施設等保育環境を整備することで、多様化する保育ニーズに対応することができる。
- ・研修により保育士の資質を向上させ、さらに適正数の保育士配置を行うことで安心して安全な保育を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・18保育園の保育運営事務を行う。
- ・18保育園の保育施設管理を行う。
- ・未満児保育、延長保育、障害児保育、一時預かり保育、病児病後児保育などの特別保育事業を実施する。
- ・保育所勤務の非常勤職員管理事務を行う。
- ・よりよい保育サービスを提供するため、保育士資質向上事業を行う。
- ・認可外保育施設児童処遇向上事業を行う。

非常勤職員(保育士)の賃金改定、保育料第3子無料化による歳入減

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,320	校医報酬	14	使用料及び賃借料	11,507	コピー機外借上料、印刷機外借上料、園児送迎タクシー外、保育園用地
07	賃金	645,415	臨時職員賃金、臨時賃金(保育園代替職員)	19	負担金補助及び交付金	26,079	職員研修外、保育対策等促進事業、病児病後児保育事業認可外保育所等処遇向上事業、保育料第3子無料化事業
08	報償費	9,757	子育て講演会、保育士資質向上研修会、歯科衛生士検診謝礼、保育協力員、保育に関する審議会、保育所入所支援委員会、給食委託業務審査委員会謝礼				
09	旅費	833	職員旅費、非常勤職員自家用車公務使用料、保育士資質向上研修会、保育に関する審議会				
11	需用費	1,292	参考図書代、保育士被服代、保育園ガイド外				
12	役務費	751	電話代、ぎょう虫検査、ピアノ調律、賠償、賠償保険料以下				
13	委託料	19,204	子ども子育て支援新制度管理システム構築業務、				
上記の合計		717,158	職員の人件費合計			600,719	事業費総合計
						1,317,877	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・新年度から実施される子ども子育て支援新制度に位置付けられた病児病後児保育事業を医療機関に委託して実施する
- ・認可外保育所等に通所する子どもたちの処遇向上を図るため、現行の市の補助対象を拡大する。
- ・保育料第3子無料化事業の実施にあたり、認可外保育所や私立幼稚園等に通園する者について、減免の代わりに補助金を交付する

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	9,332	病児病後児保育事業の実施に係る医療機関への事業委託料
19	補助金	1,322	病児病後児保育事業を実施するための施設整備に対する補助金
19	補助金	14,837	認可外保育所等の児童の処遇向上に要する経費に対する補助金
19	補助金	7,092	保育料第3子無料化事業の認可外保育所・私立幼稚園等通園者に対する補助金
合計		32,583	左記の特定財源・子ども子育て支援交付金【国庫・県費】(5,344)・認可外保育施設児童処遇向上事業補助金【県費】(4,429)

予算書ページ	148
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103290	公立保育園整備費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	515,670	国支出金	県支出金	市債	その他	51,370
前年度	936,390			813,700	80,000	42,690
増減額	420,720	0	0	452,400	23,000	8,680

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	18	福祉基金繰入金	13,000	18	公共施設整備基金繰入金	90,000				464,300
	21	保育所建設事業	240,400							
	21	施設整備事業債	120,900							

【目的・効果】

【目的】

・子育て支援の充実を図るため老朽・狭隘化した園舎を改築し、未満児室・延長保育室を設置充実して保育環境整備を行う。

【効果】

・施設更新により、保育環境と耐震性能、防犯性能の向上が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- アルプス保育園建設事業
 - 園舎本体工事は平成28年4月末、竣工予定。
- 明科南保育園建設事業
 - 移転新築に向け用地交渉、敷地造成・道路等の測量設計業務を実施。
- 旧明科公民館解体設計業務を実施。
- 三郷北部保育園建設事業
 - 移転新築に向け用地購入、造成工事、実施設計業務を行う。
- 豊科保育園大規模改修事業
 - 本体改修工事を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,766	保育園建設関係事務補助	17	公有財産購入費	70,090	用地購入費
11	需用費	147	保育園建設関係事務用品	22	補償補填及び賠償金	2,720	電柱移転補償
12	役務費	191	中間検査手数料、土壌診断手数料 開発行為許可手数料等				
13	委託料	22,048	用地・敷地造成、周辺道路測量設計委託料 開発申請作成業務、不動産鑑定等				
13	委託料	32,672	工事管理業務、実施設計業務等				
14	使用料及び賃借料	888	仮設駐車場、土砂仮置場借地料				
15	工事請負費	385,148	園舎建設工事費、農地復旧工事費、敷地造成・周辺道路工事費等				
上記の合計		515,670	職員の人件費合計 0	事業費総合計	515,670	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- 明科南保育園建設事業 敷地造成・測量設計業務・用地交渉・旧明科公民館解体設計業務
- 三郷北部保育園建設事業 用地購入・敷地造成工事・実施設計
- 豊科保育園大規模改修事業 改修工事

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	21,515	用地造成・地形測量設計業務、開発申請作成業務等
13	委託料	23,327	実施設計、工事監理業務等
15	工事費	138,410	園舎改築工事、敷地造成工事等
17	公有財産購入費	70,090	用地購入
22	補償補填及び賠償金	2,720	電柱移転補償費
合計		256,062	左記の特定財源 合併特例債・施設整備事業債・福祉基金繰入金・公共施設整備基金

予算書ページ	150
--------	-----

重点項目番号	3 - 1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103300	私立保育園費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
168,271	70,648	97,623	79,139	8,623		26,562
			16,976	8,438		26,562
			62,163	185	0	0
						53,947
						18,672
						35,275

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	保育料	26,562							
14	保育所運営費負担金他	79,139								
15	低年齢児保育支援事業補助金他	8,623								

【目的・効果】

【目的】

・年々保育需要が増えているため、保育事業継続のため民間保育所(細萱保育園)の運営費を負担する。

【効果】

・増加する保育ニーズ(未満児保育・土曜保育等)に対応した場の提供を拡大することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・民間保育所への保育所運営費負担金の交付事業
- ・民間保育所への特別保育事業に対する補助金交付事業(障害児保育・1歳児保育・長時間保育)
- ・民間認定こども園への施設整備費補助

新規に民間の認定こども園施設整備費補助金を予算計上したため

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	168,271	細萱保育園児童保育負担金、私立保育所特別保育事業補助金、認定こども園施設整備費補助金				
上記の合計							
		168,271	職員の人件費合計			0	事業費総合計
						168,271	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・民間の認定こども園の施設整備について補助金を交付する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	93,600	認定こども園施設整備費補助金
合計			
		93,600	左記の特定財源 保育所等整備交付金(62,400)

予算書ページ	150
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103310	公立保育園施設管理費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,070					30,070
前年度	25,039					25,039
増減額	5,031	0	0	0	0	5,031

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・18保育園の保育施設管理(施設修繕、遊具修繕、エアコン等器具点検調整、緊急非常通報警備、消防設備点検、電気工作物点検、除雪、遊具更新、必要工事等)を保育担当が把握することで、統一した管理が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・18保育園の保育施設管理(施設修繕、遊具修繕、エアコン等器具点検調整、緊急非常通報警備、消防設備点検、電気工作物点検、除雪、遊具更新、必要工事等)を行っているが、施設の老朽化等で修繕費に多くの金額がかかること、また、園児の安全や増加する未満児用の施設への対応に伴う工事等が必要となっている。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	5,152	施設修繕費、物品修繕費				
12	役務費	1,707	手数料等				
13	委託料	10,952	施設の管理委託料、事務事業委託料(除雪業務等)				
15	工事請負費	12,259	工事請負費				
上記の合計		30,070	職員の人件費合計	0	事業費総合計	30,070	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費	基本施策	安心を支えるまち	
事業	0103320	公立保育園給食施設費	具体的な施策	子育て支援の充実		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	340,304				22,809	317,495
前年度	302,918				18,672	284,246
増減額	37,386	0	0	0	4,137	33,249

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	保育園職員給食代	22,809							22,809

【目的・効果】

【目的】

- ・ 児童に安心安全な給食を提供する。
- ・ 給食施設の衛生・安全点検を行う。

【効果】

- ・ 保育園給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。
- ・ ウィルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・ 保育園給食調理業務委託を以下の区分に分け、業者に委託している。
- Aグループ 西穂高保育園・北穂高保育園・穂高保育園
- Bグループ 有明の森保育園・有明あおぞら保育園・堀金保育園
- Cグループ 三郷東部保育園・三郷西部保育園・三郷南部保育園・三郷北部保育園
- Dグループ 豊科保育園・豊科南部保育園・たつみ保育園・アルプス保育園
- Eグループ 南穂高保育園・上川手保育園・明科南保育園・明科北保育園
- ・ 食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。
- ・ 職員保菌検査、ノロウイルス検査等の実施。
- ・ 老朽化した備品の整備

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	177,660	食器、調理用品購入 器具修理 給食材料購入 施設・物品修繕、賄材料費等						
12	役務費	1,808	衛生検査等						
13	委託料	157,728	給食調理業務委託、給食室消毒委託						
14	使用料及び賃借料	65	給食調理器具レンタル料						
18	備品購入費	3,043	給食調理器具の購入						
	上記の合計	340,304	職員の人件費合計	0	事業費総合計	340,304	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
	合計	0	左記の特定財源	

予算書ページ	152
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103330	豊科保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,047					7,047
前年度	7,189					7,189
増減額	142	0	0	0	0	142

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	6,122	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	266	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	282	産廃収集運搬処理、昇降機メンテナンス				
14	使用料及び賃借料	77	コピー使用料				
18	備品購入費	270	ロッカー、ワイアレスマイク等				
	上記の合計	7,047	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,047	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	152
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103340	豊科南部保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
5,799	6,239	440	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
・産業廃棄物処理業務等
・コピー機使用料
・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	5,144	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	166	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	183	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	152	コピー使用料				
18	備品購入費	124	机、イス				
上記の合計		5,799	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,799	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	154
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103350	南穂高保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,829	5,898	931	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

H27年度より園児数が増加するため机・イス等が必要となるためH26年度より予算増。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	5,552	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	217	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	23	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	62	コピー使用料				
18	備品購入費	945	机、イス				
上記の合計		6,829	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,829	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	154
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103360	たつみ保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
4,041	4,801	760	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	3,710	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	126	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	91	産廃収集運搬処理				
14	30	コピー使用料				
18	54	とび箱				
上記の合計	4,041	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,041	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	156
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103370	アルプス保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
4,434	4,725	291	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	4,038	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	98	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	234	産廃収集運搬処理				
14	34	コピー使用料				
上記の合計	4,434	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,434	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	156
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103380	上川手保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
4,125	4,413	288	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	3,758	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	147	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	26	産廃収集運搬処理				
14	24	コピー使用料				
18	140	イス、ベビーカー等				
上記の合計	4,125	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,125	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	158
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103390	有明の森保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,178	6,487	309	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼			
11	需用費	5,712	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等			
12	役務費	249	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料			
13	委託料	35	産廃収集運搬処理			
14	使用料及び賃借料	20	コピー使用料			
18	備品購入費	132	大型積木			
上記の合計		6,178	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,178

OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	158
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103400	有明あおぞら保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,334	6,292	42	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

必要備品等の増額

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	5,812	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	274	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	39	産廃収集運搬処理				
14	112	コピー使用料				
18	67	掃除機等				
上記の合計	6,334	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,334	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	160
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103410	西穂高保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
8,786	8,700	86	0	0	0	0
						8,786
						8,700
						86

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

光熱水費等の増額

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	8,345	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	190	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	18	産廃収集運搬処理				
14	40	コピー使用料				
18	163	ピアノ用イス、整理棚				
上記の合計	8,786	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,786	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	160
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103420	北穂高保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
3,805	3,673	132	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

光熱水費等の増額

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	3,534	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	129	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	13	産廃収集運搬処理				
14	14	コピー使用料				
18	85	4人乗ベビーカー				
上記の合計	3,805	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,805	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	162
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103430	穂高保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
8,308	8,359					8,308
増減額	51	0	0	0	0	51

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	7,375	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	280	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	20	産廃収集運搬処理				
14	29	コピー使用料				
18	574	園児イス、身長計、CDプレーヤー				
上記の合計	8,308	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,308	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	162
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103440	三郷西部保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,245					4,245
前年度	3,569					3,569
増減額	676	0	0	0	0	676

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

光熱水費の増額と必要備品の補充等

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	36	子育て講演会等講師謝礼				
11	3,525	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	121	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	39	産廃収集運搬処理				
14	45	コピー使用料				
18	479	机、イス等				
上記の合計	4,245	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,245	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	164
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103450	三郷南部保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,513					5,513
前年度	5,575					5,575
増減額	62	0	0	0	0	62

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼			
11	需用費	5,085	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等			
12	役務費	119	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料			
13	委託料	78	産廃収集運搬処理			
14	使用料及び賃借料	60	コピー使用料			
18	備品購入費	141	イス等			
上記の合計		5,513	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,513 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	164
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103460	三郷東部保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
7,057	6,551	506	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

光熱水費等の増額

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	6,709	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	173	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	39	産廃収集運搬処理				
14	106	コピー使用料				
上記の合計	7,057	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,057	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	166
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103470	三郷北部保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
5,210	5,997	787	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	4,935	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	116	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	78	産廃収集運搬処理				
14	18	コピー使用料				
18	33	ワイアレスマイク				
上記の合計	5,210	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,210	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	166
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103480	堀金保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,599					9,599
前年度	9,724					9,724
増減額	125	0	0	0	0	125

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼			
11	需用費	8,675	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等			
12	役務費	490	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料			
13	委託料	94	産廃収集運搬処理			
14	使用料及び賃借料	172	コピー使用料			
18	備品購入費	138	身長計、イス等			
上記の合計		9,599	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,599 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	168
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103490	明科南保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
5,175	6,122	947	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	4,765	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	193	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	77	産廃収集運搬処理				
14	110	コピー使用料				
上記の合計	5,175	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,175	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	168
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課 保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	健康長寿のまちづくり
	項	2	児童福祉費		主要施策	穏やかに暮らせるまちの形成
	目	3	保育所費		基本施策	安心を支えるまち
	事業	0103500	明科北保育園費		具体的な施策	子育て支援の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
5,424	5,295	129	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

光熱水費増額及び手数料(漏水箇所の調査)増額等

【一般財源増加理由】

節	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	4,670	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	292	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	124	産廃収集運搬処理				
14	70	コピー使用料				
18	238	高圧洗浄機等				
上記の合計	5,424	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,424	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

保健医療部

予算書ページ	178
--------	-----

重点項目番号	2-1	コード	10701100
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康推進係

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	健やかに暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	医療環境の充実
	事業	0104010	保健衛生総務費		具体的な施策	地域医療体制・救急医療体制・産期医療の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
296,397	296,574	177	0	0	0	275
						275
						98

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

休日、および、夜間の地域医療の体制を充実させる。
松本地域における出産子育て安心ネットワークを維持する。
災害時医療救護所装備品の整備を進める。

【効果】

地域医療、救急医療の体制整備を進めることができる。
災害時医療体制の整備を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

在宅(休日)当番医制事業を安曇野市医師会へ委託する。
在宅(休日)歯科当番医制事業を安曇野市歯科医師会へ委託する。
病院群輪番制病院運営事業について、負担金を支払う。
安曇総合病院建設費の一部を負担金として支払う。
松本地域出産子育て安心ネットワーク事業について、同協議会へ負担金を支払う。
災害時医療救護活動にかかわる事業の実施(医療救護所装備品等の購入など)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	196	新型インフルエンザ、医療救護活動マニュアル委員会委員の出席謝礼				
11	需用費	888	医療救護所医薬品・装備品、新興感染症備蓄品、医療救護活動マニュアルアクションカード印刷など				
12	役務費	327	保健福祉事業等総合賠償保険				
13	委託料	6,747	在宅(休日)当番医制事業委託、安定ヨウ素剤管理委託				
14	使用料及び賃借料	100	旧小倉診療所の借地代金				
18	備品購入費	1,359	災害時医療救護所装備品を購入				
19	負担金補助及び交付金	56,751	病院群輪番制負担金、安曇総合病院建設費一部負担金等、および、不妊・不育症治療助成				
上記の合計		66,368	職員の人件費合計	230,029	事業費総合計	296,397	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

安曇総合病院建設費の一部負担

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	28,000	安曇総合病院建設費の一部を2年間かけて負担金として支援する。
合計		28,000	左記の特定財源

予算書ページ	188
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10701100
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康推進係

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104130	未熟児養育医療事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
4,406	4,406	1,700	850		1,000	856
0	0	0	0	0	200	200

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	養育医療国庫補助金	1,700							
15	養育医療県補助金	850								
20	未熟児養育医療費徴収金	1,000								

【目的・効果】

【目的】

未熟児の養育医療費を給付する

【効果】

未熟児の保護者の経済的負担が軽減される

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

おおむね出生児体重が2000g以下で、医師が入院による養育が必要であると認められた乳児の保護者に対し、医療費の給付を行い、経済的負担の軽減を図る。(25年度より県から移譲された事業)

具体的手法...対象となった乳児の保護者は市の窓口にて医師の意見書や世帯所得状況などを提出する。市は世帯の所得状況や診療報酬支払基金から提出された内容を確認し、所得に応じて保護者に自己負担を徴収するとともに、基金等に支払する。自己負担額を除いて国1/2、県市1/4の事業。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	6	養育医療審査支払事務手数料				
20	扶助費	4,400	保険診療報酬による医療給付費				
上記の合計		4,406	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,406	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	196
--------	-----

重点項目番号	2-1	コード	10701100
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康推進係

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	08	診療所費		基本施策	医療環境の充実
	事業	0104200	夜間急病センター運営費		具体的な施策	地域医療体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
22,282	21,952	330	0	1,454	0	10,405
				1,513		11,019
				59	0	614
						1,003

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	夜間急病センター診療手数料	10,255							11,859
	13	夜間急病センター-その他手数料	150							
	15	小児初期救急医療体制整備補助金	1,454							

【目的・効果】

【目的】

地域医療体制充実のために、夜間における一次医療体制を担い市民の安心意識の向上を目指す。

【効果】

二次救急医療への負担軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 医師報酬、看護師・医療事務者賃金の休日勤務単価の増額を計上。
 医薬品等消費税加算分計上

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	12,474	診療医報酬	18	備品購入費	111	診療情報取得用パソコン
07	賃金	4,860	看護師ほか				
08	報償費	63	運営委員会				
11	需用費	1,443	医薬品ほか運営雑品				
12	役務費	436	クリーニング代ほか				
13	委託料	1,613	医療事務ほか				
14	使用料及び賃借料	1,282	医師会館借り上げ				
上記の合計		22,282	職員の人件費合計	0	事業費総合計	22,282	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 診療情報取得用パソコンの設置

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	備品購入費	111	ノートパソコン購入、無線LAN中継器購入
合計		111	左記の特定財源

予算書ページ	178
--------	-----

重点項目番号	2-1	コード	10701200
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 保健予防係

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健やかにくらするまち
	目	1	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104015	予防総務費		具体的な施策	各種検診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
46,413	0	46,413	0	0	0	100
						46,313

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他衛生費雑入(健康推進課)	100							

【目的・効果】

健康長寿の実現に向けて、健康づくりに関係する各種計画の策定、事業評価を行う。また、事業推進に向けて、関係機関との調整会議を開催する。
 ・実務にあたる専門職員の人材確保と資質向上のための研修会の開催する。
 ・市民に啓発するための講演会開催や組織活動の推進を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・関係機関との調整会議(食育推進会議、健康づくり推進協議会、歯科口腔保健部会、市内関係医療機関)
 ・講演会開催(食育、健康づくり、精神保健)
 ・食改伝達講習会委託
 ・松本地域出産子育て安心ネットワーク協議会

【一般財源増加理由】 組織変更により新設された事業名。以前の保健衛生総務費や保健事業の一部を含んでいる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	382	食育推進会議、健康づくり推進協議会出席謝礼				
7	賃金	41,891	健康推進課全体の臨時職員賃金				
8	報償費	366	講演会講師謝礼、市内医師打ち合わせ会議謝礼				
9	旅費	208	職員研修会旅費				
11	需用費	542	参考図書、保健事業報告書作成、事務用品				
13	委託料	776	食改伝達講習会委託等				
19	負担金補助及び交付金	2,248	保健師研修会負担金、出産子育て安心ネットワーク負担金				
上記の合計		46,413	職員の人件費合計	0	事業費総合計	46,413	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	188
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10701200
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 保健予防係

予算	款	4	衛生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104110	妊婦・乳児一般健康診査事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	81,559					81,559
前年度	91,405					91,405
増減額	9,846	0	0	0	0	9,846

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・妊娠中、医療機関での継続した健康管理を行う。(妊婦健診・歯科健診)
 ・医療機関での乳児健診を行い、発達発育のチェックを行う。
【効果】
 ・妊婦が安心して安全な出産ができるようにするとともに、経済的な負担を軽減する。
 ・乳児疾病異常を早期発見し、早期治療に結びつける。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診券を発行し、出産に向けての経済的負担を軽減する
 (妊婦一般健康診査受診券...妊娠届時に計23枚発行する妊婦健診用のクーポン券。妊婦健診時に受診券を使用し、医療機関は補助以外を本人に請求する。国保連合会では医療機関から提出された受診券をもとに各自自治体へ請求する。この事業は長野県内で行われているため、里帰り分娩等で県外で受診した場合は、対象者は一旦支払をしてもらい、補助対象となる金額を償還払いしている。)
 ・妊娠中に歯科健診が受診できるように、母子手帳交付時に歯科健診受診券を発行する。

【一般財源増加理由】						
節	節名称	金額	主な内容	節	金額	主な内容
11	需用費	233	健康診査の受診券印刷費等			
13	委託料	79,310	妊婦・乳児一般健康診査の事務委託、医師等による検診委託料(歯科も含む)			
20	扶助費	2,016	里帰り出産等、県外での受診に対する助成			
上記の合計			職員の人件費合計	0	事業費総合計	81,559 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
【妊婦歯科健診】
 目的:妊婦の歯周疾患による低体重出生を予防するため、歯科健診受診を勧奨する。
 対象者:市内在住の妊婦 350人想定(40%受診見込)
 方法:市内歯科医院での個別検診
 内容:歯及び歯肉の検査・結果説明、ブラッシング指導を含む歯科指導

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	147	医療機関請求書・健診受診券
13	委託料	1,050	歯科検診委託料 3000円/1件
合計		1,197	左記の特定財源

予算書ページ	180
--------	-----

重点項目番号	2-1	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	健やかに暮らせるまち
	目	08	診療所費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104020	健康づくり推進員費		具体的な施策	予防活動の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,274					2,274
前年度	2,273					2,273
増減額	1	0	0	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

健康づくり推進員は担当地区内における健康増進の推進者として活動を推進する。

【効果】

地域レベルで、健康づくりのための知識の普及・啓発に関わる者の育成が進む。
検診受診率の向上が望める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
地域活動時の講師謝礼、大会・研修会参加推進員出席謝礼の支給。
他市町村への研修会実施のためバス運行委託料を一日分増額。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	2,145	講師、推進員出席謝礼				
11	需用費	35	地区活動材料費				
13	委託料	94	研修会参加バス運行運転手委託				
上記の合計		2,274	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,274	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	180
--------	-----

重点項目番号	2-1	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	1	保健衛生費総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104025	穂高健康支援センター管理費		具体的な施策	各種健診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
34,674	33,186	1,488	0	0	0	259
						172
						87
						1,401

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
内訳	13	公共施設目的外使用料	8	20	穂高保健センター外部団体光熱水費	160				259
	13	保健センター使用料	19							
	20	保健センター自販機電気料	72							

【目的・効果】

【目的】

・地域住民の健康づくり事業を行う場所としての施設の効率的な維持管理を行う。

【効果】

・各種検診及び予防活動時に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・施設利用者の安全を確保するため、施設・設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。
- ・修繕箇所を的確に把握し早期に対処する。
- ・施設及び設備の計画的な更新を検討する。
- ・配置された公用車を適正に管理する。
- ・本庁舎供用に伴い、大多数の福祉部職員と保健医療部職員が本庁へ移動し、入れ替わりに全保健センター職員が集結する。また、外部団体も入居する予定である。

【一般財源増加理由】 本庁舎供用に伴う職員の大幅な入れ替えにより生じる施設改修費及び備品更新等が、職員の減少及び公用車の減車による経費減を上回った

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	16,468	事務用品、公用車用品、公用車燃料費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費、公用車修繕費		27	公課費	146	公用車重量税	
12	役務費	3,711	電話料、光専用回線使用料、公用車車検手数料、計量検定手数料、公用車自賠責保険料						
13	委託料	4,872	施設清掃、消防用設備点検、警備、自家用電気工作物安全管理、自動ドア保守点検、除雪等業務委託料 設計監理委託料						
14	使用料及び賃借料	2,562	コピー機・印刷機借上料及び使用料						
15	工事請負費	6,063	施設改修工事(事務室・外構他)						
18	備品購入費	848	医療器具、施設管理用備品						
19	負担金及び交付金	4	防火管理者協議会負担金						
上記の合計		34,674	職員の人件費合計	0	事業費総合計		34,674	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・本庁舎供用に伴い職員の大幅な入れ替えが行われる。これを機に、事務スペースとして使用してきた部分を本来の用途に戻す等、施設改修を行う。併せて経年劣化による修繕を行う。
- ・故障した自動尿分析装置を買い替える。
- ・本庁とセンターの業務分担により、健診こよみを当事業で作成する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
11	需用費	1,836	健診こよみ印刷代 1,836,000円	
13	委託料	246	施設改修工事管理委託料 245,851円	
15	工事請負費	6,063	施設改修工事 5,738,688円、事務室電話設備工事 324,000円	
18	備品購入費	648	自動尿分析装置 648,000円	
合計		8,793	左記の特定財源	

予算書ページ	182
--------	-----

重点項目番号	2-1	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	1	保健衛生費総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104030	地域保健センター管理費		具体的な施策	各種健診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,037				305	6,732
前年度	38,713				11,779	26,934
増減額	31,676	0	0	0	11,474	20,202

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	保健センター使用料	26							
20	保健センター外部団体光熱水費	40								
20	保健センターコピー機借上料徴収金	239								

【目的・効果】
【目的】
 ・地域住民の健康づくり事業を行う場所としての施設の効率的な維持管理を行う。
【効果】
 ・各種検診及び予防活動時に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設利用者の安全を確保するため、施設設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。
 ・建物検査等で修繕箇所を的確に把握し早期に対処する。
 ・施設及び設備の計画的な更新を検討する。
 ・施設の軽微な管理を支所、社会福祉協議会等に依頼して実施する。

当該年度から、この事業は、豊科、三郷、堀金の各保健センター管理費と明科総合福祉センター管理費をまとめたものとなった。前年度事業費はその合計である。その中で、豊科ふれあいホール及びサントピアの構内全体の管理と、堀金・明科の総合福祉センター管理(一部、保健センター部分を含む)については長寿社会課へ移管となったため、主な管理経費も長寿社会課へ移った。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,574	施設管理用品、灯油代(豊科・三郷)、施設修繕費、光熱水費(三郷)、物品修繕費				
12	役務費	511	電話料、リサイクル処分料				
13	委託料	3,322	施設清掃、消防用設備点検、警備、自動ドア保守点検、エレベーター保守管理(豊科)等業務委託料 廃棄物処分料				
14	使用料及び賃借料	562	コピー機借上料及び使用料				
15	工事請負費	68	施設改修工事(堀金)				
上記の合計		7,037	職員の人件費合計 0	事業費総合計	7,037	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 堀金保健センターの計測室・問診室等4室は仕切壁に開口部があるため冷暖房効率が低い。それを解消するため、開口部にカーテンを設置する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	68	堀金保健センター改修工事 67,746円
合計		68	左記の特定財源

予算書ページ	182
--------	-----

重点項目番号	2-1	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健やかにくらするまち
	目	1	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104070	保健事業		具体的な施策	各種検診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	71,739	国支出金	県支出金	市債	その他	64,289
前年度	86,642	970	3,795		7,200	74,677
増減額	14,903	470	3,795	0	250	10,388

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	がん検診推進事業補助金	500							
20	成人検診徴収金	6,950								

【目的・効果】

- ・壮年期死亡の減少や健康寿命の延伸に向け、がん検診やその他の検診を行う。
- ・特にがん検診の受診率を目指して検診体制の検討や個別案内通知等を行う。
- ・精神保健で支援が必要なケースが増えているため、自殺予防も含め、市民への啓発強化、関連機関と連携しての相談・個別対応を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・がん検診(胃、大腸、乳房超音波、マンモグラフィ、子宮頸部、肺がんCT)
- ・その他の検診(結核、骨、歯科検診)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	711	成人検診時の看護師・歯科衛生士等賃金				
8	報償費	850	歯科検診歯科医師謝礼等				
11	需用費	1,948	検診用封筒、チラシ等作成費、医薬材料、検診用消耗品等				
12	役務費	177	検診クーポン券、結果等郵送料				
13	委託料	67,870	検診通知作成費、検診委託料				
18	備品購入費	63	女性がん検診クーポン券作成システム				
20	扶助費	120	女性がん検診助成				
上記の合計		71,739	職員の人件費合計	0	事業費総合計	71,739	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2-1	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健康やかにくらするまち
	目	1	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104075	健康増進事業		具体的な施策	各種検診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,219		3,795		307	7,117
前年度	0					0
増減額	11,219	0	3,795	0	307	7,117

特定財源の内訳	款	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	3,795							
	20	307							
									4,102

【目的・効果】

・健診の実施とその結果に基づく保健指導等を行い、生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組み、健康増進を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・健康増進法に基づく事業を行う。
 - 健康手帳の交付
 - 健康相談
 - 健康教育
 - 保健指導
 - 肝炎ウイルス検診等
- ・国保特定健診、特定保健指導
- ・若年者健診(新設)

【一般財源増加理由】 組織変更に伴い、「健康増進事業」を新設し、26年度まで保健事業に入っていた、健康増進補助事業に該当する業務を分離した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	211	健康体操看護師、若年者健診歯科衛生士				
8	報償費	290	運動指導講師、歯科検診歯科医師				
11	需用費	906	特定保健指導、運動指導消耗品等				
12	役務費	711	肝炎ウイルス検診通知・結果郵送料				
13	委託料	9,101	肝炎ウイルス検診、特定健診・若年者検診医務委託				
上記の合計		11,219	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,219	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

【若年者健康診査】

目的:若年期から生活習慣病予防のために健診を行い、その結果に基づいた保健指導を行う。

対象:20～39歳市民 300人想定

方法:集団検診3日間

内容: 国保特定健診内容(身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査、内科診察、心電図)

保健指導

歯科検診、歯科指導

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	122	歯科検診時の受付事務、歯科衛生士賃金
8	報償費	240	歯科検診時の歯科医師労務謝礼
13	委託料	3,136	若年者健診の医務委託料
合計		3,498	左記の特定財源 その他(検診自己負担金)1,000円×300人 300千円

予算書ページ	184
--------	-----

重点項目番号	2-1	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	健やかに暮らせるまち
	目	02	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104060	予防接種事業		具体的な施策	予防活動の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
233,964	219,940	14,024	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

予防接種は、各種の病原体に対する免疫を持たない者を対象に行われるもので、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを目的としています。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行う。
 近年変更が相次ぐ予防接種が混乱なく実施できるよう、対象者や医療機関への周知をおこなう。
 個別予防接種として、医療機関との委託契約を締結し実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	128	予防接種予診票封入作業臨時職員				
09	旅費	18	研修会参加				
11	需用費	734	医薬材料費、封筒印刷ほか				
13	委託料	232,229	個別予防接種委託料(対前年+13,433千円)				
18	備品購入費	483	予防接種予診票の封入作業等[新]				
20	扶助費	372	予防接種扶助(生活保護者など)				
上記の合計		233,964	職員の人件費合計	0	事業費総合計	233,964	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

水痘および成人用肺炎球菌予防接種がH26年10月より接種が開始され、H27については当初予算より計上した。
 健康支援センター-紙折り機については、老朽化が進み現在は予防接種予診票の封入作業には使用できる状態にない。年間10万枚3枚複写用紙の発送業務に耐えうる紙折り機を購入したい。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	232,229	水痘および成人用肺炎球菌予防接種ワクチン接種が追加された
18	備品購入費	483	特殊折登録、重送検知機能搭載等の紙折機購入
合計		232,712	左記の特定財源

予算書ページ	186
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当

予算	款	4	衛生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	予防費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104090	母子保健事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
21,839	20,084	180	180			21,479
増減額	1,755	180	180	0	0	1,395

特定財源の内訳	款	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	子ども子育て支援交付金	180						
15	子ども子育て支援交付金	180							

【目的・効果】

【目的】

・すべての子どもが成長発達し、よい生活習慣を身につけるための支援をする。

【効果】

- ・保護者が子供の月齢に応じた生活リズムや栄養、歯科口腔保健等が理解できる。
- ・健康的な生活習慣を身につけ、将来の生活習慣病予防等につながる。
- ・育児に対する不安を軽減し、産後うつや虐待等の予防を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・近年、若年妊婦やシングルマザーなどの社会的基盤の弱い世帯も増加しているため、母子手帳交付時は専門職による面接や相談を行い、出産後の背景などを確認する。
- ・乳幼児健診や相談、教室などの実施。
- ・乳幼児健診や教室時に生活リズムや発達、栄養や歯科口腔等の個別指導の実施
- ・フォローが必要な子どもに対しては個別相談・訪問を行うほか、専門医によるクリニック、遊びの教室などにつなげる。
- ・保護者の社会的問題や心の問題、虐待などについて、関係機関と連絡をしながら対応する。
- ・保育園・小中学校でのフッ化物洗口の実施

【一般財源増加理由】 臨時賃金単価増による増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	6,254	母子健診・相談事業時の看護師等の臨時賃金				
8	報償費	11,102	母子健診・相談事業時の医師、歯科医師等の謝礼				
11	需用費	3,787	検診、フッ化物洗口、教室用の医薬品・事務用品、パンフレット作成費				
13	委託料	696	フッ化物洗口薬剤師調剤委託、療育相談委託				
上記の合計		21,839	職員の人件費合計	0	事業費総合計	21,839	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	188
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	予防費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104110	妊産婦・新生児訪問指導事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
3,235	3,320	85	753	999	753	999
			246	246	0	0
						407

特定財源の内訳	款	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	子ども子育て支援交付金	753						
15	子ども子育て支援交付金	753							

【目的・効果】

【目的】

- ・若年、高齢出産やハイリスクの妊婦等を対象とし、訪問を行う。
- ・新生児を対象として個別訪問を実施し、子供と母親の状況を把握する。

【効果】

- ・出産育児に対する不安を軽減し、安心安全な出産ができるよう支援する。
- ・子供の発達を支援するとともに育児に対する不安を軽減し、虐待の予防を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・妊婦訪問の実施。主にハイリスク妊婦を対象として市の保健師が行う。
- ・新生児訪問の実施。出生届が出されてからできるだけ早期に全員訪問指導を行う。訪問者は、母子の環境(初産、社会的背景、母の状況など)に応じて市の保健師が在宅の助産師に委託する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	2,600	助産師訪問指導				
11	需用費	555	指導用のパンフレット作成費、発達チェック用品購入費等				
18	部品購入費	80	新生児体重測定用ベビースケール購入費				
上記の合計		3,235	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,235	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	10702100
部・課・係等		保健医療部介護保険課介護保険担当	

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	0103180	介護保険対策費		具体的な施策	介護保険事業の充実
	単位:千円					

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,210,824	30,000	395			1,180,429
前年度	1,171,181		307			1,170,874
増減額	39,643	30,000	88	0	0	9,555

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額		
	地域介護福祉空間整備交付金							介護保険事業補助金	
	14	30,000						15	395
						30,395			

【目的・効果】
【目的】
 介護保険特別会計への市負担分及び事務費を繰出し、介護保険の円滑な運営を図る。
 介護保険特別会計以外の介護保険に関する事業を実施し介護保険の円滑な運営を図る。
【効果】
 介護保険事業が円滑に運営される。
 施設整備補助や社会福祉法人への軽減補助を実施し、介護保険事業所等の充実が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・介護保険事業の賦課徴収、給付事務に係る経費について介護保険特別会計へ繰出す。
 ・介護保険の給付、地域支援事業、賦課徴収、介護保険事務以外の介護保険に関する事業について実施する。
 ・制度改正に対応するため生活支援サービスを整備するための補助金(市単独事業)の他、制度改正対応のためのシステム改修費等の増加に伴う事務費の増加が前年度からの一般会計の伸びにつながった。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	6,237	窓口対応職員・徴収事務職員・保健師(代替職員)					
19	負担金補助及び交付金	34,527	社会福祉法人等利用者負担額助成、地域支えあいセンター整備補助、生活支援事業整備					
28	操出金	1,170,060	介護保険特別会計操出金(事務費分、給付費分、)					
上記の合計								
	1,210,824	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,210,824	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 介護保険制度改正に対応するために、生活支援サービス提供拠点整備のための補助金、地域支えあいセンター(国の補助を受けて実施するもの、補助が受けられない場合は実施しない)補助金を予算化した。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	34,000	地域支えあいセンター整備補助、生活支援事業整備
合計			
	34,000	左記の特定財源	地域介護・福祉空間整備交付金(30,000)

予算書ページ	138
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10702300
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103190	在宅介護福祉事業		具体的な施策	在宅福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,480					30,480
前年度	30,257					30,257
増減額	223	0	0	0	0	223

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

要介護者が在宅で生活するためのサービス提供とその家族等の支援を目的とする。

【効果】

当事業を実施することにより介護をする家族の経済的、肉体的、精神的な負担軽減を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険特別会計で実施する地域支援事業に対する一般会計からの繰出金の支出。
- ・家族介護者を支援するため家庭介護用品購入の際に利用できる助成券を対象者に交付する。

【一般財源増加理由】 介護用品購入助成対象者の見込み増による増額と、地域支援事業費の増額による繰出金の増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	346	介護用品購入助成券印刷費、返信用封筒印刷費				
20	扶助費	11,036	家庭介護用品購入助成費				
28	繰出金	19,098	地域支援事業分についての介護保険特別会計への繰出金				
上記の合計		30,480	職員の人件費合計	0	事業費総合計	30,480	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	132
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	0103120	国保会計繰出金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実
	単位:千円					

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	557,239	33,820	250,787			272,632
前年度	444,715	27,500	208,000			209,215
増減額	112,524	6,320	42,787	0	0	63,417

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	14	保険基盤安定負担金		33,820					284,607
	15	保険基盤安定負担金		250,787					

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業を実施するにあたり、法令等で定められた額を国保特別会計に繰出す。
【効果】
 ・国民健康保険事業で必要とする費用を繰出すことにより、国保加入者の負担を軽減できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国民健康保険事業実施による経費についての繰出しを随時行う。

【一般財源増加理由】 国民健康保険事業を実施するにあたり、係る経費が増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
28	繰出金	557,239	国保特別会計への繰出金						
上記の合計									
		557,239	職員の人件費合計	0	事業費総合計		557,239	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	138
--------	-----

重点項目番号	2	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	0103200	後期高齢者医療事業		具体的な施策	後期高齢者医療事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
1,127,699	1,134,013		161,643		10,318	955,738
増減額	6,314	0	11,365	0	10,018	27,697

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	市町村特別対策広報等事業	10,318								

【目的・効果】

【目的】

療養給付費の財源を確保し、後期高齢者医療保険の安定的な運営を持続していくため。
後期高齢者医療被保険者を対象とした人間ドック受診費用助成事業を新設。後期高齢者の健康意識を高め疾病の早期発見・早期治療と、現在の身体機能等の維持に努める。

【効果】

医療費等に対する安定的な給付が図られ、後期高齢者医療広域連合の健全な運営が図られる。
後期高齢者が人間ドックを受診しやすい環境が整えられ、新たな疾病の早期発見・早期治療につながるるとともに、身体機能等の維持も期待され、将来的に医療費の削減が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- <負担金> 一部事務組合負担金:1年間の療養給付費に係る市町村負担分1/12相当額を、年間12回に分けて広域連合へ支払う。
- <委託料・負担金> 27年度新規事業(後期高齢者医療人間ドック受診費用助成事業)
助成券による人間ドック受診については、実費と助成額の差額を医療機関からの請求により支払う。
償還払い方式については、被保険者が医療機関で実費を全て払い、後日、市役所へ申請する。
安曇野市は、申請者へ助成金を交付する。(口座へ振り込む)
- <繰出し金> 後期高齢者健診に係る費用額を国保会計へ繰出す(後期高齢者健診は国保特定健診と併せて実施)
保険基金安定繰出し金は広域連合から定められた額を後期高齢者医療特別会計へ繰出す(保険料軽減分:6.9.12月)
事務費繰出し金は、後期高齢者医療保険の運営に係る広域連合共通経費を後期高齢者医療特別会計へ繰出す。
(広域連合指示額を6月・9月・12月の3回に分けて繰出す)

【一般財源増加理由】 後期高齢者医療被保険者を対象とした人間ドック受診費用補助事業を新設したことにより一般財源が増加した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	13	後期高齢者医療人間ドック受診費用助成券用紙				
13	委託料	10,065	後期高齢者医療人間ドック助成費用(助成券方式)				
19	負担金	862,642	後期高齢者医療人間ドック助成:補助金 一部事務組合負担金:広域連合へ療養給付費負担金の支払い				
28	繰出し金	254,979	後期高齢者健診分費用額を国保特別会計へ繰出す 保険基金安定繰出し金及び事務費繰出し金を後期高齢者医療保険特別会計へ繰出す。 一般管理費及び徴収費に係る事務費分を一般会計から繰出す				
上記の合計		1,127,699	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,127,699	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- <後期高齢者医療人間ドック受診費用助成事業>
後期高齢者医療保険に移行した被保険者を対象とした人間ドック受診費用への助成は、市民からも実施を求める要望が年々高まってきている。
また、信州保健医療総合計画(長野県)においても「長生き」から「健康で長生きへ」を目指すべき姿として掲げており、健康寿命を延ばすことにより、住み慣れた環境でできるだけ長く健康で過ごせるよう、高齢者の身体的な機能を低下させない施策を図ることが必要となってきている。
- <後期高齢者医療保険保険料納付書等の封入事務委託分の繰入>
後期高齢者医療に係る保険料納付書の封入事務を欄電算へ委託するための事務費を特別会計へ繰り入れる。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需要費	13	後期高齢者医療人間ドック受診費用助成券 用紙
13	委託料	10,065	安曇野市から発行された助成券で、人間ドック受診した際の費用額(助成額)を、請求のあった医療機関へ支払う。
19	負担金	1,400	後期高齢者医療人間ドック受診費用助成を申請し、償還払い方式を選択した者へ支払う。
28	繰出し金	956	後期高齢者医療特別会計徴収費への繰出し(保険料納付書封入事務委託分)
合計		12,434	左記の特定財源 長野県後期高齢者医療広域連合市町村特別対策広報等事業交付金

重点項目番号	2	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	国民年金事務費	基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	0103210	国民年金事務費	具体的な施策	国民年金事業の充実	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	73,206	16,000				57,206
前年度	70,071	16,813				53,258
増減額	3,135	813	0	0	0	3,948

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国民年金事務費委託金	16,000							

【目的・効果】

【目的】

・国民年金事業を実施するにあたり必要な経費を計上し、国民年金制度の運営と啓発を図る。

【効果】

・市が国民年金資格の取得喪失等の届出受付業務を行うことで、国民年金被保険者の利便性が確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・各支所の窓口で国民年金に関する各種届出受付業務を扱い、受付した届出書等を日本年金機構へ進達する。

【一般財源増加理由】 職員の人件費の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	397	啓発用パンフレット購入				
13	委託料	509	国民年金システム改修費用				
14	使用料	86	コピー機使用料				
19	負担金	10	全国都市国民年金協議会総会負担金				
上記の合計		1,002	職員の人件費合計	72,204	事業費総合計	73,206	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

農林部

予算書ページ	210
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801100
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	2	農業総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106030	農業総務費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
214,126	199,330	14,796	0	280	0	213,846
				630		198,700
				350	0	15,146

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額	
	15	地域農業マスタープラン作成事業補助金	280				280

【目的・効果】
【目的】
 農業振興事業関係の事務的経費
【効果】
 農業振興事業の円滑な推進

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 人件費、委員出席謝礼、農家組合長謝礼、旅費、需用費(事務消耗品、参考図書、食糧費、印刷製本)、公用車管理

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	12,707	営農企画員、販売支援コーディネーター	27	公課費	56	公用車重量税
8	報償費	2,246	農家組合長謝礼、農業農村振興計画推進委員会等出席謝礼、人・農地プラン検討会等出席謝礼				
9	旅費	96	職員出張旅費				
11	需用費	1,645	農業振興関係参考図書・事務用品購入、会議賄い費、公用車等消耗品・燃料・修繕費				
12	役務費	1,035	公用車車検費用、不動産鑑定等手数料				
13	委託料	53	農業研修の車両運行業務委託				
14	使用料及び賃借料	616	公用車借上料、コピー機等使用料				
上記の合計		18,454	職員の人件費合計	195,672	事業費総合計	214,126	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	210
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801100
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農業総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	790	国支出金	県支出金	市債	その他	784
前年度	934					928
増減額	144	0	0	0	0	144

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	農振関係証明手数料	6							

【目的・効果】

【目的】

農業振興地域の整備に関する法律と安曇野市農業振興地域整備計画に基づく優良農地の保全

【効果】

安曇野市農業振興地域整備促進協議会および同地域協議会の効率的な運営と適正な計画変更の推進

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・農業振興地域の整備に関する法律に基づく市農振整備計画の変更手続き(年2回)
- ・安曇野市農業振興地域整備促進協議会設置条例に基づく協議会の運営

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	189	協議会の委員報酬				
8	報償費	546	地域協議会の委員出席謝礼				
11	需用費	55	事務用品購入				
上記の合計		790	職員の人件費合計	0	事業費総合計	790	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	216
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801100
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106120	農村都市交流促進事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
9,479	9,240				2,129	7,350
増減額	239	0	0	0	760	999

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	三郷やすらぎ空間施設利用料		1,740								2,129
	20	市民農園利用料		389								

【目的・効果】

【目的】

市民農園や農村都市交流施設の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流促進を図る。

【効果】

効果的で適正な施設管理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市民農園(市内10ヵ所)の管理、市民農園新規開設の支援
- ・三郷やすらぎ空間施設の管理(H17建築、木造平屋建、指定管理者:株ハーヴェスタ・クリエーションズ)
- ・穂高農村景観活用交流施設の管理(H4建築、木造平屋建、指定管理者:矢原区)
- ・小倉多目的研修センターの指定管理(S57建築、鉄骨2階建、指定管理者:JAあづみ)

【一般財源増加理由】 主に市民農園新規開設支援事業の創設による(500千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,113	市民農園管理用品、施設小破修繕費				
13	委託料	3,939	市民農園管理委託、施設指定管理料				
14	使用料及び賃借料	3,924	借地料				
19	負担金補助及び交付金	503	市民農園新規開設支援事業				
上記の合計		9,479	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,479	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・「安曇野市民営市民農園開設整備費補助金交付要綱」の制定により、交付要件を満たす市民農園の安定・継続的な運営に資する交付金を創設し、法の縛りがなく、届出の義務もない「農園利用方式」の市民農園の位置、開設者、空き状況、募集に関する事項を市のホームページに掲載する他、農業委員会の承認を要する「特定農地貸付方式」による市民農園については、開設に必要な提出書類の提示など手続きの支援により、農地法の違反となる未承認での開設を防ぐ効果も期待する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	500	市民農園新規開設支援事業補助金
合計		500	左記の特定財源

予算書ページ	218
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801100
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106130	安曇野の里運営事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	74,531	国支出金	県支出金	市債	その他	47,082
前年度	37,335				10,608	26,727
増減額	37,196	11,360	0	0	5,481	20,355

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	都市再生整備計画事業	11,360	20	安曇野の里施設利用料	5,290				
16	安曇野の里基金利子	28								
18	安曇野の里基金繰入金	10,771								

【目的・効果】

【目的】

安曇野市豊科安曇野の里自然活用村施設の管理を行い、都市と農村の交流促進を図る。

【効果】

施設の適正な維持管理。
市内外の学童や市民に農業に親しむ機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 施設の指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施
- 湧水探索路改修(L=386m)に向け、必要な用地を取得する。

【施設の概要】

豊科安曇野の里自然活用村(指定管理者:(一社)豊科開発公社、憩いの池と遊歩道は直営)
ビレッジ安曇野(S62・H5建築、鉄筋コンクリート、一部鉄骨造)、あづみ野ガラス工房(S60建築、鉄骨平屋建)、あづみ野第2ガラス工房(H4建築、鉄骨2階建)、プラザ安曇野(S63建築、木造2階建)、わさび田広場、湧水探索路

【一般財源増加理由】 湧水探索路用地購入及び施設工事請負費の増のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	600	施設小破修繕費				
13	委託料	17,367	指定管理料、工事設計監理業務				
14	使用料及び賃借料	4,204	借地料				
15	工事請負費	15,898	浴室外壁改修、サウナ改修、ろ過機改修、プラザ安曇野厨房改修				
17	公有財産購入費	31,143	湧水探索路用地購入				
25	積立金	5,319	基金・利子積立				
上記の合計		74,531	職員の人件費合計 0	事業費総合計	74,531	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

平成7年に建設された安曇野の里湧水探索路の遊歩道(木橋)は老朽化が進み、利用者の通行に危険な状況である。また、当該地は借地であるが、平成27年度に用地を取得して、社会資本整備交付金事業により整備をし、適正な管理をしていく。
平成26年度...用地測量と不動産鑑定、平成27年度...用地取得と改修設計、平成27~28年度...改修工事

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	1,793	湧水探索路改修工事測量設計業務(設計監理委託料3,197千円の内)
17	公有財産購入費	31,143	湧水探索路改修工事用地購入費(工事請負費18,665千円の内)
合計		32,936	左記の特定財源 都市再生整備計画事業国庫支出金(11,360)

重点項目番号	1	コード	10801100
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	37,743				36,312	1,431
前年度	50,440				41,669	8,771
増減額	12,697	0	0	0	5,357	7,340

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
内訳	16	三郷農林漁業体験実習館基金利子	56							36,312
	18	三郷農林漁業体験実習館基金繰入金	15,646							
	20	農林漁業体験実習館利用料	20,610							

【目的・効果】

【目的】

ファインビュー室山の管理を行い、都市と農村の交流促進の拠点施設としての活用を図る。

【効果】

施設の適正な維持管理。
都市と農村の交流促進。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】

ファインビュー室山(H10・H12建築、鉄筋コンクリート2階建、指定管理者(株)ファインビュー室山)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	600	施設小破修繕				
12	役務費	380	不動産鑑定手数料				
13	委託料	6,421	大浴場改修設計業務、工事設計監理業務				
15	工事請負費	9,675	外構修繕、汚水ポンプ交換、厨房空調改修、パントリー改修				
25	積立金	20,667	整備基金・利子積立				
上記の合計		37,743	職員の人件費合計	0	事業費総合計	37,743	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
施設譲渡に向けた建物の不動産鑑定

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	380	建物の不動産鑑定手数料
合計		380	左記の特定財源

予算書ページ	220
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801100
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106150	ほりでーゆ～運営事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
117,606	82,962	34,644	0	0	0	107,024
						10,582
						5,953
						4,629

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	16	堀金観光開発基金利子		207									107,024
	18	堀金観光開発基金繰入金		50,287									
	20	ほりでーゆ～施設利用料		56,530									

【目的・効果】

【目的】

ほりでーゆ～四季の郷ほか周辺施設の管理を行い、都市と農村の交流等を進める施設としての活用を図る。

【効果】

施設の適正な維持管理。
都市と農村の交流促進。【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】

ほりでーゆ～四季の郷(H7・H12建築、鉄筋コンクリート4階建、指定管理者(株)ほりでーゆ～)、コテージ四季の郷(H8建築、木造2階建6棟、指定管理者:(株)ほりでーゆ～)、啼鳥山荘(S45建築、木造平屋建、指定管理者:(株)ほりでーゆ～)、バターゴルフ場・マレットゴルフ場・キャンプ場(指定管理者:(株)ほりでーゆ～)

【一般財源増加理由】 建物の不動産鑑定業務の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,000	施設小破修繕費				
12	役務費	705	不動産鑑定手数料				
13	委託料	6,083	マレットゴルフ場指定管理料、工事設計監理業務				
14	使用料及び賃借料	3,608	借地料				
15	工事請負費	44,810	ろ過材取替、防犯カメラ更新、厨房空調改修、給水装置改修、須砂渡キャンプ場改修、啼鳥山荘キャンプ場改修、				
18	備品購入費	4,662	厨房機器購入				
25	積立金	56,738	整備基金・利子積立				
上記の合計		117,606	職員の人件費合計	0	事業費総合計	117,606	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
施設譲渡に向けた建物の不動産鑑定

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	705	建物の不動産鑑定手数料
合計		705	左記の特定財源

予算書ページ	212
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801200
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	3	農業振興費		基本施策	農業農村の振興
	事業	0106060	農業生産振興費		具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,679		1,942			11,737
前年度	14,250		638			13,612
増減額	571	0	1,304	0	0	1,875

特定財源の内訳	款	15	環境保全農業直接交付金	金額	1,942	合計金額	1,942

【目的・効果】

【目的】

・農家所得の向上と、環境にやさしい農業技術向上に向けた検証事業を实践する為、市農業再生協議会へ交付金を交付しJA等農業関係者と取組む。検証結果等は、年度末に農家へ向けて発信する。

【効果】

・農業技術の課題克服やコスト低減、環境に配慮した農業技術方法を発信することで、農家所得の向上や環境に配慮した農業を实践する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市農業再生協議会(農家・市・JA・県改良普及センター・のうさい・市農業委員会で組織)では、農業技術向上検証事業等により所得の向上や環境の保全対策検証に取組む。27年度の取組み事業として「畦畔管理コスト低減検証」「玉ねぎ生産機械化一貫体系検証」「農業技術アドバイザー事業」「畜産悪臭対策検証」など23事業が挙げられる。

・環境保全型農業の推進では、国の事業を活用し、レンゲ田による化学肥料の低減など、市からも対象農家へ補助金を支給し支援する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	68	環境にやさしい農業支援先進地視察				
11	需用費	20	事務用品				
19	交付金	13,591	市再生協議会への交付金11,000千円 環境保全型農業直接支援対策交付金2,591千円				
上記の合計		13,679	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,679	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	212
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801200			
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当			
予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	3	農業振興費		基本施策	農業農村の振興
	事業	0106070	水田農業振興事業		具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,400		19,800			15,600
前年度	36,407		19,867			16,540
増減額	1,007	0	67	0	0	940

特定財源の内訳	款	15	経営所得安定対策事務交付金	金額	19,800	合計金額	19,800

【目的・効果】
 【目的】
 ・経営所得安定対策推進事務費
 ・水稻の病害虫及び稲黄萎病による被害を未然に防ぎ、水稻の安定生産と安定収入に繋げる。
 【効果】
 ・経営所得安定対策事業の推進
 ・一等米比率は全国トップクラスを維持しており、安曇野ブランド維持のため必要。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】
 ・経営所得安定対策推進事務費として、県交付金は全額市再生協議会へ交付。
 ・苗箱施薬剤購入費の一部(600円/kg)補助。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	補助金	15,600	水稻苗箱施薬剤購入補助				
19	交付金	19,800	国からの事務費交付金				
上記の合計		35,400	職員の人件費合計	0	事業費総合計	35,400	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	212
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801200
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	3	農業振興費		基本施策	農業農村の振興
	事業	0106800	畑作園芸振興事業		具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,087					30,087
前年度	29,986					29,986
増減額	101	0	0	0	0	101

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・転作作物の推進に併せ、安曇野市の地味・気候に適し、作業効率、採算面を考慮し産地化の図れる畑作物の生産振興を図る。
- ・りんご関係では、労働力の低減と収穫量の増加を狙った新しい化栽培の普及を苗木育成(台木購入補助)により図る。
- ・果樹共済では、昨年に引き続き、共済加入農家掛金の33.3%を支援し、共済制度加入促進を図る。
- ・そ菜価格安定共助制度(各JA策定)への市負担金により、農家が安心してそ菜を生産できる環境を整える。

【効果】

- ・新しい化栽培りんごの生産普及により、労働力低減、生産量増加が図れ、農家所得の向上に繋がる。
- ・H25凍霜害など異常気象による農作物被害が多発している昨今、持続可能な農業経営ができるよう「万が一の事態」に備える。
- ・そ菜の価格安定化による農家が安心して良質な農産物を作る環境を維持する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

- ・経営所得安定対策の実績を基に振興作物に対して助成(15,000円/㎡)を行う。
- ・行政評価外部評価委員会からの提言を受け、事業実施方法について見直しを行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	147	「玉ねぎ生産」先進地視察および全国「わさび品評会」参加等				
11	需用費	30	事務用品				
19	負担金	4,217	そ菜価格安定共助会負担金(JAあづみ・JA松本ハイランド)				
19	補助金	6,715	新しい化りんご田育成補助(台木購入助成)1,000千円 果樹共済農家掛金補助5,715千円				
19	補助金	960	農業用廃プラスチック改修処理事業補助960千円				
19	補助金	18,018	市振興農作物助成事業				
上記の合計		30,087	職員の人件費合計	0	事業費総合計	30,087	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	224
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801200
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	7	畜産振興事業		基本施策	農業農村の振興
	事業	0106210	畜産振興事業		具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,950				110	6,840
前年度	11,152				130	11,022
増減額	4,202	0	0	0	20	4,182

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	家畜防疫事業収入		110						

【目的・効果】

【目的】

・畜産が起因となっている環境問題(悪臭等)に対し、平成28年10月から本施行(H27.10月の仮施行)される悪臭防止法の規制前までに有効な悪臭低減等の対策を実施し、持続可能な畜産経営をしていくためのバックアップを行う。

【効果】

・畜産農家周辺に住む市民の安心・安全な住環境づくり。
 ・畜産農家の経営の安定化。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・悪臭問題が懸案となっている地域での市民を交えた協議会の開催をし、悪臭対策の推進を図る。併せて、悪臭の原因を探るための臭気測定を実施する。
 ・JA中信農業共済に常駐している獣医師(3人)の人件費等の一部を中信地域の19市町村で負担し、家畜の疾病への対応を図る。
 ・平成27年10月から仮施行される悪臭防止法への対応として、畜産農家が購入する悪臭低減資材等に対して補助金を支出し、畜産農家自らが悪臭問題への取り組みを強化する意識を高める。
 ・各種の疾病に対する防疫措置を図るため、畜産農家自らが購入する消毒液や消石灰に対して補助する。併せて、周辺環境にも影響を与えるハエ等の害虫に対する駆除剤の購入に対しても補助をする。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	368	地域住民等との悪臭問題に係る協議会の開催。(年7回程度)				
9	旅費	468	堆肥センター施設視察・安曇野産牛肉共例会・臭気対策研修参加等				
11	需要費	596	臨時的に対応する為の防疫、消臭資材購入。臭気測定関連消耗品(アモニア・硫化水素検知管等)購入。				
12	役務費	169	ニオイセンサーの点検費用。				
19	負担金	2,302	中信農業共済家畜診療所運営負担金。研修会等参加負担金。				
19	補助金	3,047	畜産公害対策事業、予防注射接種事業、畜環リース事業				
上記の合計		6,950	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,950	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	224
--------	-----

重点項目番号		1		コード	10801200						
				部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当						
予算	款	6	農林水産業費		総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成				
	項	1	農業費			主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち				
	目	7	農業振興費			基本施策	農業農村の振興				
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業			具体的な施策	産業としての農業の確立				
単位:千円											
当初予算額				特定財源				一般財源			
				国支出金	県支出金	市債	その他				
本年度	15,800							15,800			
前年度	15,361							15,361			
増減額	439		0		0	0	0	439			
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
											0
【目的・効果】											
【目的】											
・市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させる。											
【効果】											
・近年は各種の試みにより、良質な完熟堆肥を製造している。また、地道な営業努力により耕種農家からの評判も良くなっており、顧客数も増加している。(農産物のブランド化の一助にもなり得る)											
【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する											
・良質で安定した堆肥製造に取組み、耕種農家への安定供給に取組む。											
・経営の安定化を目指し、指定管理委託料を増額(3,650千円の増)した。一方で、指定管理協定を見直し、市の負担となっていた500千円以上の修繕費については、2,000千円以上へと変更した。そのため、例年計上していた3,000千円の修繕費(施設及び物品修繕の芽出し)については、削除した。また、市で業者委託により実施していたメンテナンス業務(211千円)についても、指定管理者の負担で実施することとしたため、削除した。(これらの変更に伴い前年度から439千円の増となった)											
H27～H29年度の指定管理期間中において2,000千円以上の修繕がある場合は、基本的には計画的に当初予算に計上し、対応する。											
【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
13	委託料	14,000	三郷堆肥センター指定管理委託料								
14	使用料および賃借料	1,800	三郷堆肥センター借地料								
上記の合計	15,800	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,800	OK					
【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】											
節	節名称	金額(千円)	主な内容								
合計	0	左記の特定財源									

予算書ページ	238
--------	-----

重点項目番号	1
--------	---

コード	10801200
部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	4	水産業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	水産業振興費		基本施策	水産及び特産の振興
	事業	0106360	水産業振興事業		具体的な施策	水産・特産の振興

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	185					185
前年度	185					185
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・釣りの観光資源確保と漁業法により長野県内水面漁業管理組合が定めた増殖指示量(稚魚400kg:5g/1匹)を確保する事が求められており、犀川漁業組合が取組む事業を支援する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	補助金	185	水産資源確保				
上記の合計		185	職員の人件費合計	0	事業費総合計	185	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	220
--------	-----

重点項目番号	1-3	コード	10801300
		部・課・係等	農林部農政課集落支援担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106160	担い手支援事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	91,859	国支出金	県支出金	市債	その他	70,029
前年度	299,462		228,380			71,082
増減額	207,603	0	206,550	0	0	1,053

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額		細節名称	金額	
	15	農業経営基盤強化資金利子助成事業補助金	1,830							21,830
	15	農地利用集積事業補助金	10,000							
	15	経営体育成事業補助金	10,000							

【目的・効果】

【目的】

・地域農業を担う認定農業者や集落営農組織などを育成しつつ営農支援することにより、持続的で力強い農業経営基盤を確立する。

【効果】

・農業の担い手の所得確保や経営力アップ、農業・農村の活性化が進む。
 ・農業の持つ多面的な機能の維持・向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

・担い手が栽培する水田転作の基幹作物への国からの交付金は十分な補償とは言えないため、市独自の助成金を交付する。
 ・担い手が整備する農業機械・施設に対し、国及び市それぞれの制度を活用した補助金または交付金を交付する。
 ・市農業再生協議会が実施する事業に対し、交付金を交付する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	16	担い手育成等研修旅費				
11	需用費	50	事業推進資料				
19	負担金補助及び交付金	91,793	水田転作基幹作物助成金、機械等施設整備補助金、市農業再生協議会交付金				
上記の合計		91,859	職員の人件費合計	0	事業費総合計	91,859	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	222
--------	-----

重点項目番号	1-3		コード	10801300			
			部・課・係等	農林部農政課集落支援担当			
予算	款	6	農林水産業費		総合	基本方針 豊かな産業のあるまちの形成	
	項	1	農業費		計	主要施策 次代へつなく農林水産業を振興するまち	
	目	6	農村集落支援費		画	基本施策 農業・農村の振興	
	事業	0106170	後継者対策事業			具体的な施策 農業生産活動と農村での生活の維持	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	合計金額
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	42,430		30,600		900	10,930	
前年度	39,807		22,500		900	16,407	
増減額	2,623	0	8,100	0	0	5,477	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	新規就農者住宅使用料	900							31,500
	15	青年就農給付金(経営開始型)	27,000							
	15	地域人づくり事業	3,600							

【目的・効果】

【目的】

・新規就農者や農業後継者の確保・育成を推進する。

【効果】

・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。

・各種支援策があることにより、就農者の増加と定着が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

・新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を、国の青年就農給付金制度により支援する。

(1,500,000円×18名=27,000,000円)

・上記給付金の対象とならない親元就農者に対し、市独自の支援金を交付する。

(200,000円×32名=6,400,000円)

・耕作放棄地を解消し地域貢献に資する就農者に対し、市独自の支援金を交付する。

(200,000円×10名=2,000,000円)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	539	職農教育協力農家謝礼				
11	需用費	80	新規就農者住宅関係修繕費				
13	委託料	3,600	緊急雇用創出事業(地域人づくり事業)業務委託料				
19	負担金補助及び交付金	38,211	青年就農給付金(国)、親元就農支援金(市)、荒廃農地解消就農者支援金(市)				
上記の合計	42,430	職員の人件費合計	0	事業費総合計	42,430	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

08節 報償費については、昨年度06-01-02-0129010農業総務費-08-04-0001に計上されていたが、27年度から事業コード0106170後継者対策事業に市内7中学校について計上する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	539	職農教育協力農家謝礼外
合計	539	左記の特定財源	

予算書ページ	222
--------	-----

重点項目番号	1-3	コード	10801300
		部・課・係等	農林部農政課集落支援担当

予算	款	6	農林水産業費	総合	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費	計	主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費	画	基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106180	荒廃農地対策事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	301					301
前年度	53					53
増減額	248	0	0	0	0	248

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・耕作放棄地等の荒廃農地の解消・再生と併行し、新たな用途への活用を研究する。
 【効果】
 ・健全な農地と景観を守るとともに、有害鳥獣による農作物等の被害防止にもつながる。
 ・新規就農者や規模拡大志向農業者により、農地の有効活用が図られる。
 ・農業以外の分野における産業振興につながる。(例：滞在型体験農場による観光振興)

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・庁内の関係部署の連携(PT設立)により、荒廃農地活用の先進事例の調査を行う。

[一般財源増加理由] 山林原野化した荒廃農地調査に対する調査員への謝礼

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	235	山林原野化農地調査謝礼				
9	旅費	46	先進事例調査旅費				
11	需用費	20	現地調査消耗品				
上記の合計		301	職員の人件費合計	0	事業費総合計	301	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	222
--------	-----

重点項目番号	1-3
コード	10801300
部・課・係等	農林部農政課集落支援担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106190	中山間地域等支援事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,840		11,715			7,125
前年度	17,790		11,330			6,460
増減額	1,050	0	385	0	0	665

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15		中山間地域等直接支払交付金	11,600							11,715
		中山間地域等直接支払推進交付金	115							

【目的・効果】

【目的】

・農業生産条件の不利な中山間地域の農地・農村を守る。

【効果】

・集落協定の締結により、営農意欲と農業生産活動を継続できる。

・農業・農村の持つ多面的な機能を確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・中山間地域等直接支払交付金制度(国・県・市からの交付金)により支援する。
- ・上記制度の対象とならない同様の集落は、市独自の制度(安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金)により支援する。

【一般財源増加理由】 対象農地の増加見込みと推進事業に係る経費の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	95	事務消耗品、現地確認等公用車燃料費				
14	使用料及び賃借料	145	コピー使用料				
19	負担金補助及び交付金	18,600	中山間地域等直接支払交付金 安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金				
上記の合計		18,840	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,840	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	222
--------	-----

重点項目番号	1-3	コード	10801300
		部・課・係等	農林部農政課集落支援担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106200	有害鳥獣等予防対策事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,460		6,570			13,890
前年度	21,581		7,140			14,441
増減額	1,121	0	570	0	0	551

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		款	細節名称	金額		合計金額
	15	鳥獣被害防止総合対策交付金	5,440						5,440

【目的・効果】

【目的】

・野生鳥獣による農作物等の被害を防止する。

【効果】

・営農意欲の減退を防ぎ、農業生産活動を継続できる。

・耕作放棄地の発生を防ぐことができるとともに、営農の再開も可能にさせる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

- ・国の補助制度を活用し、集落ぐるみの自力施工による獣害防護柵の設置資材を提供する。
- ・個々の農家等が設置する防護柵や鳥獣駆逐装置等に対し、市独自の補助金を交付する。
- ・西山山麓のサルによる被害防止対策として、モンキードック事業の実施を支援する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	31	先進事例調査旅費				
11	需用費	1,264	野鼠駆除薬剤、モンキードック関連消耗品				
13	委託料	1,211	モンキードック養成、獣害防護柵設置関連業務				
16	原材料費	13,340	獣害防護柵設置資材				
19	負担金補助及び交付金	4,614	野生鳥獣被害防止対策事業補助金、モンキードック維持管理補助金				
上記の合計		20,460	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,460	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	214
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801400
		部・課・係等	農林部農政課マーケティング係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	4	消費拡大事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106100	消費拡大対策事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
218,030	16,345	201,685	0	200,000	0	18,030
				3,333		13,012
				196,667	0	5,018

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額		細節名称	金額	
	15	農産漁村活性化プロジェクト交付金	200,000							200,000

【目的・効果】

【目的】

・地産の農産物を都市圏の消費者に向けた販売と情報発信の機会を造り地域農家の活性化を図る。また、合併10周年記念 第1回農林業まつりを開催し農産物PR・消費拡大を図る。

【効果】

・安曇野の農産物のPR・消費拡大する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・第1回農林業まつりを、商工会主管の「新そばと食の感謝祭」と同時開催することで、「農と食」をPRし、消費拡大へ繋げていく。
 ・本年度において、JAあづみが大型直売所建設を建設するため、その費用の計上。

【一般財源増加理由】 「第1回農林業まつり」を開催するに当たり、その費用を計上。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	517	農産物の消費拡大に伴う費用				
9	旅費	574	農産物販売PRイベント等に関わる旅費				
11	需用費	430	農産物販売PRイベント等に関わる消耗品				
12	役務費	817	イベント等の資材運搬				
13	委託料	3,200	消費拡大に伴い委託料				
14	使用料と賃借料	200	イベントに伴うレンタル費用				
19	負担金補助及び交付金	212,292	各種団体、JAあづみへの交付金等				
上記の合計		218,030	職員の人件費合計	0	事業費総合計	218,030	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	交付金	200,000	農村漁村活性化プロジェクト交付金(JAあづみ)
合計			
	200,000	左記の特定財源	農産漁村活性化プロジェクト交付金 200,000千円

予算書ページ	216
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10801400
		部・課・係等	農林部農政課マーケティング係

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	4	消費拡大事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106110	直売加工施設運営事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
111,502	71,303	40,199	0	0	0	58,376
						53,126
						7,605
						63,698
						50,771
						10,572

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	16	堀金産地形成促進施設基金	金利子	6	20	三郷畜産活性化施設利用	料	210	20	穂高農業活性化施設利用	料	2,290	8,376
	18	堀金産地形成促進施設基金	繰入金	2,460	20	三郷産地形成促進施設利用	料	890					
	20	堀金産地形成施設利用	料	2,340	20	豊科南部地区産地形成施設	使用料	180					

【目的・効果】

【目的】

- ・市内の直売加工施設に係る維持管理・改修費等及び指定管理による経費。
- ・あかしな夢いちば加工室改修及び用地購入費準備等。

【効果】

- ・市内の直売加工施設の維持管理の向上。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・あかしな夢いちば加工室改修の実施設計及び用地購入費のための用地測量・不動産鑑定等。

【一般財源増加理由】

加工室改修及び用地購入費等

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,000	直売加工施設の小破修繕				
12	手数料	33	建築確認審査外				
13	委託料	17,001	測量・設計監理費用及び指定管理料				
14	使用料と賃借料	5,686	土地の賃貸借料				
15	工事請負費	77,682	直売加工施設の修繕工事等				
18	備品購入費	6,753	直売加工施設の備品購入				
25	積立金	2,347	基金・利子積立				
上記の合計		111,502	職員の人件費合計	0	事業費総合計	111,502	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	6,914	直売加工施設改修設計監理委託料
15	工事請負費	70,710	Vif穂高、あかしな夢いちば、三郷サラダ市、産直センター改修等工事
18	備品購入費	6,753	堀金農産物加工所フードミキサー、蒸かし器、Vif穂高エアコン、ショーケース、陳列棚
合計		84,377	左記の特定財源

予算書ページ	232
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10802100
		部・課・係等	農林部耕地林務課耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	耕地総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106280	耕地総務費		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
206,946	241,778	34,832	0	8,979	0	1,170
						196,797
						231,582
						34,785

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
内訳	12	農村環境改善センター維持管理負担金	1,050	20	高瀬川左岸水利運営調査費	120				10,149
	15	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	8,836							
	15	地滑り防止施設管理委託金	143							

【目的・効果】

【目的】

・耕地事業全般にわたる経常的経費及び負担金・償還事務を行う。

【効果】

・経常的な経費・負担金等をまとめて管理できるため、収入・支出の管理が容易となっている。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・耕地事業の庶務的経費(職員給料、公用車維持管理費等)
- ・ほ場整備事業や土地改良事業等に係る借入金の償還事務(平成35年度償還終了予定)
- ・県営土地改良施設等の維持管理負担金
- ・三郷農村環境改善センター 指定管理料、借地料、施設器具修繕費等

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	158	普通旅費	19	負担金補助及び交付金	122,591	土地改良事業負担金、土地改良事業借入償還金、県単農業農村整備事業負担金等
11	需用費	1,939	公用車(7台)燃料費、タイヤ購入、施設修繕費等	27	公課費	66	公用車 重量税(4台)
12	役務費	384	公用車 車検手数料(4台)、自賠責保険、クレーン点検料				
13	委託料	8,261	農道台帳保守業務委託、水路網図修正業務委託、三郷農村環境改善センター指定管理料等				
14	使用料及び賃借料	2,726	三郷農村環境改善センター借地料				
15	工事請負費	722	三郷農村環境改善センター エアコン設置				
18	備品購入費	152	三郷農村環境改善センター ソフトバレー支柱購入				
上記の合計		136,999	職員の人件費合計	69,947	事業費総合計	206,946	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

三郷農村環境改善センターのエアコンは、灯油を用いての施設です。エアコン稼働に係るボイラー及び配管の老朽化から施設修繕等を検討したところ、配管等の設備工事費が高額となることから、部屋毎によるエアコン(電気)設置とした。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	722	三郷農村環境改善センター エアコン設置工事
合計		722	左記の特定財源

重点項目番号	4-3	コード	10802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次代へつなぐ
	目	1	耕地総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適正化事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	16,396				1,840	14,556
前年度	2,506					2,506
増減額	13,890	0	0	0	1,840	12,050

特定財源の内訳	款	12	土地改良事業地元分担金	金額	1,840	合計金額	1,840

【目的・効果】
【目的】
 ・長年の使用により用水路が老朽化し、漏水が生じており、早急な改修が必要とされる。工事に対する積立金と土地改良区主体の事業の負担金
【効果】
 ・計画的な水路整備により、農業用水の安定的な供給が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高青木花見地区水路改修工事の測量設計及び工事費
 ・青木花見地区外3地区の拠出金
 ・梓川土地改良区他3改良区への建設負担金

【一般財源増加理由】 主に穂高青木花見地区水路工事増(9,200千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	828	穂高青木花見地区水路工事測量設計				
15	工事請負費	8,472	穂高青木花見地区水路工事				
19	負担金補助及び交付金	7,096	青木花見地区他3地区拠出金 梓川土地改良区他3改良区への建設負担金				
上記の合計		16,396	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,396	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	234
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	耕地総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106300	国営土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	349,413	国支出金	県支出金	市債	その他	119,913
前年度	94,413			229,500		94,413
増減額	255,000	0	0	229,500	0	25,500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	国営かんがい排水事業	229,500							

【目的・効果】
 【目的】
 ・国営及び県営広域排水事業により造成された施設の維持管理

 【効果】
 ・施設の管理体制が整備されるとともに、適切な維持管理が行われている

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野・松本行政事務組合の負担金
 ・広域排水事業に伴う借入金の償還
 ・県営事業施設の維持管理
 ・国営中信平二期事業地元負担金の償還

【一般財源増加理由】 国営中信平二期事業地元負担金の増(25,500千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
15	工事請負費	864	広域排水路沈砂池の堆積土砂搬出工事				
19	負担金補助及び交付金	348,549	国営広域排水事業の借入償還金 安曇野・松本行政事務組合負担金				
上記の合計		349,413	職員の人件費合計	0	事業費総合計	349,413	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・国営中信平二期事業負担金

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	255,000	国営中信平二期事業地元負担金
合計		255,000	左記の特定財源

予算書ページ	234
--------	-----

重点項目番号	4-3	コード	10802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106310	市単土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
52,033	47,952	4,081	0	0	0	73
						110
						183
						4,154

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	ふるさと・水と土保全基金利息	110							110

【目的・効果】

【目的】

・地域から改修、修繕要望のある土地改良施設を整備し、農業経営の安定と農村環境の保全を図る。

【効果】

・農業経営の安定化と農業用水の安定的な供給が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内一円の農業用排水路・農道の小規模補修・改修 (市営事業分)
- ・用排水路・農道の維持管理に伴う各種資材(生コンクリート・水路二次製品)の支給
- ・用排水路・歩道等の管理委託
- ・市内組織への市単土地改良事業補助金。

【一般財源増加理由】 主に水路事業補助分の増(7,000千円増)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	103	用排水路管理作業	17	公有財産購入費	1,344	水路事業補助分
11	需用費	366	事務用品、参考図書、コピーナ-	19	負担金補助及び交付金	20,000	水路事業補助分
12	役務費	100	登記手数料他				
13	委託料	2,963	水門、排水路管理、測量設計委託料他				
14	使用料及び賃借料	801	積算システムリース料、重機リース料				
15	工事請負費	23,035	用排水路改修工事他				
16	原材料費	3,321	水路補修材、路面補修用砕石				
上記の合計		52,033	職員の人件費合計	0	事業費総合計	52,033	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	234
--------	-----

重点項目番号	4-3	コード	10802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106320	県営土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
25,987	40,528	14,541	0	0	20,700	5,287
					26,500	14,028
					5,800	8,741

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	市債		20,700						

【目的・効果】

【目的】

・県営各事業の調査、工事への建設負担金

【効果】

・計画的な事業実施、早期の事業完了を望める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・県営かんがい排水事業 拾ヶ堰地区 水路工、頭首工の修繕。
- ・県営農道保全対策事業 安曇野地区 歩道設置、路面整備等。
- ・県営かん排事業 勘左衛門・新田地区 頭首工改良(土砂吐工設置)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	25,987	事業割、H27新規事業地区事業負担金 かんがい排水事業、農道整備事業負担金				
上記の合計		25,987	職員の人件費合計	0	事業費総合計	25,987	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・県営農道保全対策事業 安曇野地区(継続事業 穂高地区完了による新規分)
- ・県営かん排事業 勘左衛門・新田地区

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	25,900	事業負担金
合計		25,900	左記の特定財源 地方債(20,700)

予算書ページ	236
--------	-----

重点項目番号	4-3	コード	10802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106330	団体営土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	113,025	国支出金	県支出金	市債	その他	69,675
前年度	86,735		41,310		3,920	41,505
増減額	26,290	0	2,040	0	3,920	28,170

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	団体営土地改良事業補助金	43,350							

【目的・効果】

【目的】

・農業用排水路の計画的な補修更新をし、施設の長寿命化を図る。

【効果】

・計画的な水路整備により、農業用水の安定的な供給が可能となり維持管理面において多大な労力や時間軽減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・水利施設整備事業 狐島地区農業用排水路の改修工事
- ・農業基盤整備促進事業 安曇野4期地区の農道舗装工事
- ・農業基盤整備促進事業 堀金・豊科地区農業用排水路の改修工事

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	300	事務用品外				
13	委託料	16,000	水利施設整備事業 狐島地区外4地区の測量設計費等				
15	工事請負費	72,800	水利施設整備事業 狐島地区外2地区の水路改修工事外				
19	負担金補助及び交付金	23,925	長土連事業割 中信平左岸改良区他への団体営事業負担金				
上記の合計		113,025	職員の人件費合計 0	事業費総合計	113,025	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・農業基盤整備促進事業 安曇野4期地区、堀金豊科地区
- ・中信平左岸土地改良区、有明土地改良区が実施する団体営事業(小水力発電事業)への事業負担金

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	120	農業基盤整備促進事業事務用品(消耗品費300千円の内)
13	委託料	11,600	農業基盤整備促進事業における測量設計(設計監理委託料の内)
15	工事請負費	48,800	農業基盤整備促進事業工事請負費
19	負担金補助及び交付金	23,800	小水力発電事業の建設負担金
合計		84,320	左記の特定財源 県支出金(30,600千円)

予算書ページ	236
--------	-----

重点項目番号	4	コード	10802100
		部・課・係等	農林部耕地林務課耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
181,823	35,598	146,225	0	135,350	0	46,473
				500		35,098
				134,850	0	11,375

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

農村地域の高齢化、人口減少等により、農村環境の保全や共同活動等に支障が生じつつあるため活動組織を支援する。

【効果】

平成27年度から施行される「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対して支援を行い、多面的機能が今後とも適切に発揮される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【歳入】

・平成26年度では、市から県の関係組織に負担金で納入し県より地元組織に交付金が支出されていた。平成27年度から市より地元組織への国等の財源を含む交付金を全額支出となったため、歳入における県支出金(国費含む)の財源が増加した。

【歳出】

・一般財源額の増額は、平成26年度43組織から平成27年度50組織に拡充が予定され負担金補助等が増加する。また水路目地詰め現地研修会への地元組織の参加増が見込まれるため役員費等が増加した。

【財源内訳】

・国50%、長野県25%、安曇野市25%

【一般財源増加理由】 活動組織及び取り組み面積の増加に伴い一般財源の増加となった。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	17	研修会講師謝礼、視察先土産代	19	負担金補助及び交付金	179,983	活動組織支援補助金(50組織)
9	旅費	65	先進地視察旅費				
11	需用費	527	トナー代、現地研修会燃料費				
12	役務費	10	現地研修会仮説便所汲み取り費				
13	委託料	864	長寿命化工事に係る見積書査定業務委託、活動組織図面データ作成業務委託				
14	使用料及び賃借料	137	現地研修会 工具(コンプレッサー等)のリース代				
16	原材料費	220	現地研修会資材(目地詰め材等)購入費				
上記の合計		181,823	職員の人件費合計	0	事業費総合計	181,823	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	236
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	活力あふれるまちづくり
	項	3	耕地費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
112,363	112,697	334	0	2,887	43,300	48,125
				1,650	47,200	52,500
				1,237	3,900	4,375
						18,051
						11,347
						6,704

特定財源の内訳	款	金額		款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
		金額	金額							
	12		48,125		土地改良事業地元分担金					94,312
	15		2,887		団体営土地改良事業補助金					
	21		43,300		県営ほ場整備事業					

【目的・効果】

【目的】

県営ほ場整備事業を実施し、営農の効率化を図る。

【効果】

小区画のほ場を大区画にするとともに、点在していた農地を集団化することにより作業効率が向上し、担い手農家への集積が容易になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- ・県営事業 :区画整理工 25.6ha(4工事工区)、烏川幹線水路改修 390mを実施予定。
- ・団体営事業:農地を担い手農家に集積する資料として、担い手状況図の作成他。

【一般財源増加理由】 県営事業に付帯する工事・用地・補償費及び、上下水道工事に伴う建設負担金

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	210	ほ場整備地区内の土地利用調整委員報酬	19	負担金補助及び交付金	102,033	県営事業負担金 上下水道工事に係る建設負担金
9	旅費	51	職員旅費(地権者交渉等)	22	補償補填及び賠償金	1,850	下水道管付替えに伴う減耗補償 県営取付道路立木補償費
11	需用費	695	団体営事業 事務用品(コピー用紙・トナー他)				
13	委託料	3,157	担い手状況図作成				
14	使用料及び賃借料	467	公用車リース代				
15	工事請負費	1,500	県営付帯工事				
17	公有財産購入費	2,400	ほ場との取付道路の用地購入費				
上記の合計		112,363	職員の人件費合計	0	事業費総合計	112,363	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	212
--------	-----

重点項目番号	4	コード	1082200	部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当		
予算	款	6	農林水産業費		総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	農業費			主要施策	自然と共生するまち
	目	2	農業総務費			基本施策	自然環境の保全
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策			具体的な施策	地域生態環境の保全と再生

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,925		246			11,679
前年度	11,850		246			11,604
増減額	75	0	0	0	0	75

特定財源の内訳	款	15	金額	246	合計金額	246
	細節名称	野生鳥獣総合管理対策事業補助金				

【目的・効果】

【目的】

・野生鳥獣を適正な生息数を確認し、農林水産業の被害軽減や人身被害の防止を図る。

【効果】

・市有害鳥獣対策協議会(農業委員会、安曇野市、猟友会、鳥獣保護員、農業協同組合、漁協、森林組合等の代表で組織)で、防止と捕獲面の総合的な被害対策の協議を行い、安曇野市鳥獣被害防止計画に基づき、安曇野市猟友会に委託し、野生鳥獣類の捕獲・個体数調整を行い、農林水産業に係る被害軽減が図られている。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市有害鳥獣対策協議会(安曇野市農業再生協議会内に組織)において対策計画を策定し、捕獲対策については「安曇野市鳥獣被害防止計画」を策定する。
 ・市猟友会に委託し捕獲及び個体数調整を行う。
 誤捕獲放獣調査...サルの捕獲檻等に、誤ってクマがかかった場合の放獣業務
 ・緩衝帯整備...里山と農地の境界周辺の山側を除間伐することにより視界が良好となり、野生獣類が出没防く業務
 ・野生小動物死体回収...公道等に於けるタヌキ等の小動物死体処理を、業者に委託する

【一般財源増加理由】 捕獲業務委託の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	289	猿・熊等の追払い用消耗品。熊出没注意啓発看板。捕獲用檻修繕費				
13	委託料	9,112	有害鳥獣捕獲委託料、ツキノワグマ個体数調整等業務委託、緩衝帯整備による不用木伐採や刈り払い、小動物死体回収委託				
14	使用料及び賃借料	32	固定式カラス檻用地の借地料				
18	備品購入費	484	大型動物捕獲檻 3基				
19	負担金補助及び交付金	2,008	有害鳥獣捕獲従事者特別傷害保険負担金。有害鳥獣捕獲者支援補助金				
上記の合計		11,925	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,925	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	226
--------	-----

重点項目番号	1-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106230	林業振興事業		具体的な施策	森林の多目的活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
102,011	92,334	9,677		1,000		6,865
			0	0	0	3,108
						5,920

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	森林づくり推進支援金	1,000	16	浅川山林組合に関する基金利子	13	20	緑の募金緑化交付金	1,500	
16	分収造林事業基金利子	6	18	一ノ沢山林組合に関する基金繰入	4,500					
16	一ノ沢山林組合に関する基金利子	346	18	浅川山林組合に関する基金繰入	500					

【目的・効果】

【目的】

・森林の多面的機能の維持や森林体験施設を活用し、健全な森林づくりを図る。

【効果】

・二酸化炭素の排出抑制、水源涵養や山地災害防止等の多面的機能を維持増進させ、森林浴に代表される森林の保健休養的利用やみどりの少年団活動、学有林活動による体験的森林施業など、多くの市民がさまざまな形で森林にふれあう機会を設け、森林の重要性を普及します。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・策定した里山再生計画に基づき、計画を実践するため推進協議会を設置して、計画に沿った活動を行う。
- ・森林体験施設等の指定管理施設(南小倉林業研修センター、天平の森)の運営業務を行う。
- ・森林づくり推進支援金を活用し、ペレットストーブ導入者に、100,000円(上限)の助成を行う。
- ・緑の募金の交付金を受けて、市内の公共施設(公民館・公園・学校等)に緑化木の苗木を頒布し緑化の推進を図る。
- ・長峰山森林体験交流センター指定管理者(公募)【指定管理者】(株)穂高カントリー【期間】平成26年度～平成30年度(5年間)
- ・松本地区育樹祭を開催する。(管内市村で持回り開催)

【一般財源増加理由】・老朽化による施設修繕費増(長峰山森林体験交流センター)、松本地区育樹祭開催経費、一ノ沢山林組合基金補助事業の増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	765	里山再生計画推進業務臨時賃金	15	工事請負費	3,253	天平の森薪ストックヤード設置工事、天平の森周辺遊歩道木橋改修工事、資材収納庫設置工事
8	報償費	1,235	松本地区育樹祭講師謝礼、森林巡視員謝礼、林業振興協議会委員出席謝礼、里山再生計画推進委員等謝礼、職員旅費(県外視察研修)	16	原材料費	1,565	緑の募金緑化推進苗木代、光城山遊歩道補修資材
9	旅費	121		18	備品購入費	108	広報用車載アンブ
11	需用費	6,145	事務用品、燃料費、天平の森施設修繕、物品修繕	19	負担金補助及び交付金	10,597	各山林組合運営負担金、みどりの少年団助成補助、ペレットストーブ導入補助、松本地区林業振興会
12	役務費	235	ペレットストーブ点検整備、松本地区育樹祭開催手数料、森林活動保険料	25	積立金	368	分収造林事業、一ノ沢山林組合、浅川山林組合の基金利子
13	委託料	15,731	里山再生計画推進補助業務委託、育樹祭会場設営業務委託、長峰山森林体験交流センター指定管理料				
14	使用料及び賃借料	150	松本地区育樹祭会場使用料				
上記の合計		40,273	職員の人件費合計	61,738	事業費総合計	102,011	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・松本地区育樹祭開催(管内3市5村持回りで毎年開催、今年度開催地) 管内の林業関係者や国県等の行政関係者及びみどりの少年団や一般市民参加のもとに、間伐や除伐、下刈り等の森林整備を実施する。参加者300人程度
- ・里山再生計画に基づき、計画の実践のため推進委員会を設置して市民参加による森林学校等の活動を開催する。
- ・老朽化した長峰山森林体験交流センターの施設等を修繕する。
- ・旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合基金から関係区の公民館等整備に補助金を交付する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	765	里山再生計画推進業務臨時賃金
8	報償費	397	育樹祭講師謝礼、里山再生計画推進委員会謝礼
11	需用費	5,265	長峰山森林体験交流センター 天平の森施設修繕、水道施設改修事業
13	委託料	1,394	里山再生計画推進補助事業、育樹祭会場設営委託業務、木橋改修工事設計委託
19	負担金補助及び交付金	4,000	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合基金からの補助金交付
合計		11,821	左記の特定財源

予算書ページ	228
--------	-----

重点項目番号	1-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業		具体的な施策	森林の公益機能の維持・増進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	298,819	国支出金	県支出金	市債	その他	184,918
前年度	227,368		69,493		10	157,865
増減額	71,451	0	44,398	0	0	27,053

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		合計金額
		金額	金額		金額	金額	
15	森林健全化推進事業補助金	94,426		20	更新伐事業雑入	10	114,079
15	森林造成事業費補助金	16,543					
15	森林づくり推進支援金	3,100					

【目的・効果】

【目的】

・松くい虫による被害の拡大を防止し、健全な森林機能の保全を図る。

【効果】

- ・災害に強い森林として減災効果を高める
- ・自然環境の保全や地域の里山の再生を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・予防対策として薬剤散布や樹幹注入への補助や、庭木等の枯死被害木を所有者等が自主的に伐採する費用への補助を行う。
- ・森林における被害木の伐倒駆除を継続して実施する。
- ・激害地における更新伐による広葉樹林への樹種転換を図る。
- ・被害木を木材としての有効活用を図る。

【一般財源増加理由】 松枯損木伐倒駆除補助事業の処理量増。予防薬剤補助及び特別伐採補助制度の創設。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	732	松くい虫被害対策協議会委員謝礼	16	原材料費	2,104	樹幹注入剤購入費等
9	旅費	398	県外先進地視察(委員視察、職員視察)	19	負担金補助及び交付金	22,000	防除薬剤補助、特別伐採補助
11	需用費	609	予防対策消耗品、燃料費				
12	役務費	1,978	被害材試験研究製材費用、プランター製作費用、樹幹薬剤濃度測定手数料、空中撮影手数料				
13	委託費	257,774	松枯損木伐倒駆除、薬剤地上散布、無人ヘリ薬剤散布、特別防除、更新伐、被害材等利用支援事業、境界復元測量、調査測量設計				
14	使用料及び賃借料	1,597	枝条処理小型破碎機借上げ料				
15	工事請負費	11,627	貯木場整地工事、搬入路路面補修等				
上記の合計		298,819	職員の人件費合計 0	事業費総合計		298,819	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・松くい虫被害材を材木として有効活用するため、製材して本庁舎の花のプランターカバーを作成する。また、被害材等利用支援補助事業を活用し、被害材をチップ化し木質バイオエネルギーとして利用する。
- ・更新伐事業により不明確となってしまった山林内の境界を測量して復元する。
- ・更新伐事業により林地残材となってしまったアカマツ枝条を、山林内で破碎するために小型破碎機を借上げる。
- ・予防対策として庭木等に散布する薬剤や樹幹注入剤に対して購入費の2分の1を補助する。また、庭木等の被害木を所有者が業者委託により特別伐採した場合に補助金を交付する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	1,512	松くい虫被害材活用製材・製品製作費用
13	委託料	2,500	更新伐境界復元測量業務
13	委託料	3,240	被害材等利用支援事業(チップ化・運搬)
14	使用料及び賃借料	1,597	小型破碎機借上げ料
19	負担金補助及び交付金	22,000	樹幹注入補助、薬剤散布補助、個人の庭木等伐採補助
合計		30,849	左記の特定財源

予算書ページ	230
--------	-----

重点項目番号	1-4	コード	1082200			
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106250	市有林の造林及び管理		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,176		1,442		1,105	9,629
前年度	12,580		1,442		1,281	9,857
増減額	404	0	0	0	176	228

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	15	森林造成事業補助金		1,442					2,547
	20	林業費雑入		1					
	20	森林の里親推進事業支援金		1,104					

【目的・効果】

【目的】

安曇野市森林整備計画に基づき造林(下刈り、除間伐、裾枝払い等)事業を行い、健全な森林造りを図る。

【効果】

森林(もり)の里親促進事業の提携企業と協働により市有林の森林整備を図り、また、学有林活動による体験的森林施業など、多くの人々がさまざまな方法で森林に触れ合う機会を設け、森林の重要性を普及する事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

安曇野市森林整備計画に基づき、市有林の造林事業を行う。
 ・下刈り、除間伐、裾枝払い等を行い、搬出間伐等を計画的に実施する。
 森林(もり)の里親促進事業の推進をする。
 ・まゆみ池(堀金)周辺の整備 … GE富士電機(株)
 ・烏川(堀金)周辺の整備 … 全農、マイパール長野
 ・学有林活動 … 堀金中学校、穂高西中学校

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	9,584	造林事業 7地区 搬出間伐・除間伐・下刈等				
13	委託料	2,592	市有林施業指針作成業務委託				
上記の合計		12,176	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,176	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

市有林の樹種、林齢、材積等を調査し、森林施業計画を策定して適期に間伐等を実施して木材の有効活用を図る。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	2,592	市有林施業指針作成業務委託
合計		2,592	左記の特定財源

予算書ページ	230
--------	-----

重点項目番号	1-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106260	間伐対策事業	画	具体的な施策	森林施業の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	32,527		6,375		6,480	19,672
前年度	41,434		4,875		6,480	30,079
増減額	8,907	0	1,500	0	0	10,407

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	森林総合研究所負担金	6,480							12,855
	15	森林整備地域活動支援事業交付金	3,375							
	15	森林造成事業費補助金	3,000							

【目的・効果】

【目的】

・水源林分収造林事業は、森林所有者と造林・保育を行う「独立法人 森林総合研究所」の2者で分収林契約を結び、裾枝払・除伐・保育等の森林の計画的な整備・維持管理が行った後、材の成育後の分収(販売)を図る事を目的に施業している。

【効果】

・水源林事業により、森林内の降雨や降雪等で、樹木の樹冠や森林土壌等を滞留し、河川への流出量や流出時間がコントロールされ、一部は地下地層へ浸透し地下水を形成する事ができる。また渇水時にも安定した地下水量が確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・分収造林事業は、裾枝払・除伐・保育等を行ったのち除伐したのち、販売収益を分け合う森林業務で、木材生産を目的としている事から適正な森林管理が造林者(森林所有者)に求められている。事業費は、独立法人森林総合研究所の費用で施行されている。

・水源林造成事業 除伐作業 穂高地域(20ha)、堀金地域(30ha)を計画

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	67	消耗品				
12	役務費	12,960	水源林造成事業 除伐 2地区 50ha、アカマツ枝条処理				
19	負担金	19,500	地域活動支援交付金、森林造成事業高上げ補助				
上記の合計	32,527	職員の人件費合計	0	事業費総合計	32,527	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計	0	左記の特定財源	

予算書ページ	230
--------	-----

重点項目番号	4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106270	市単林道事業		具体的な施策	森林の公益的機能の維持・増進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,882					30,882
前年度	32,827					32,827
増減額	1,945	0	0	0	0	1,945

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・降雨や強風等により、法面崩落や路肩欠損や倒木・落石による通行に支障をきたす事案が増加していることから、林道施設の維持管理を行い安全で安心した利用と通行の確保をする。

【効果】

・林道及び作業道において、路面・排水施設等の維持補修、土砂・倒木の撤去等を行うことにより、森林整備の効率化、生産性の向上や林業振興に資するため、林道等を良好に保つことで、安全で安心した通行確保と円滑な林業実施を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・林道(51路線)や作業道の管理と維持・補修を行う。
 ・安曇野市森林体験交流センター(天平の森)へ通じる林道長峰線の安全で円滑な通行確保と、天平の森への誘客を図るために林道長峰線に部分拡幅にて待避所を整備する。
 ・林道宮沢線の改良工事を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	290	消耗品(バリケード・標識テープ外)				
13	委託料	4,354	林道草刈り、支障木撤去、林道宮沢線測量設計業務、林道維持管理設計業務				
15	工事請負費	25,699	維持補修工事、林道長峰線部分拡幅、林道宮沢線改良				
16	原材料	425	簡易水切横断板、路面補修碎石				
18	備品購入費	114	高枝カッター				
上記の合計		30,882	職員の人件費合計	0	事業費総合計	30,882	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	230
--------	-----

重点項目番号	4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106275	林道危険箇所重点整備事業		具体的な施策	森林の公益的機能の維持・増進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	994					994
前年度	0					0
増減額	994	0	0	0	0	994

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・一般車両の利用が多い主要林道4路線の危険箇所を調査し、国庫補助事業を活用して落石防護柵設置や法面補強を短年度に集中的に実施して、安全で安心した利用と通行の確保を図る。

【効果】

・危険箇所を早期に改修することにより、法面崩落等の被害を未然に防ぎ、林道利用者の安全通行を確保することが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・補助事業採択に向けて、施工箇所や施工方法を検討し、概算事業費を算定する。

【一般財源増加理由】		新規計画事業のため							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
13	委託料	994	危険箇所改良計画作成業務委託						
上記の合計		994	職員の人件費合計	0	事業費総合計	994	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・林道への落石により、通行車両の物損事故が発生し、管理者として責任があるため。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	994	危険箇所改良計画作成業務委託
合計		994	左記の特定財源

商工觀光部

予算書ページ	206
--------	-----

重点項目番号	1-2	コード	10901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係

予算	款	5	労働費	総合	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	労働費	計	主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	労働諸費	画	基本施策	労働環境の整備
	事業	0105010	労働総務費		具体的な施策	勤労者の福利厚生充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	67,287				60,000	7,287
前年度	67,287				60,000	7,287
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	20	勤労者資金元金	金額	60,000	合計金額	60,000
							60,000

【目的・効果】

【目的】

安心して働ける環境作りを目指すために、市内中小企業事業所の勤労者の福利厚生事業や共済事業を推進する。

【効果】

勤労者の生活を安定させ、働きやすい環境整備や福利厚生の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野市勤労者互助会及び松本職業安定協会へ負担金を交付し、当該団体の福利厚生事業や雇用促進活動を支援する。
- ・安曇野市勤労者互助会への加入促進及びアンケート調査を踏まえた給付メニューの改正を検討する。
- ・勤労者の生活の安定を図り、福祉の向上に資するため、勤労者資金融資あっせんや、勤労者住宅建設資金の融資に対する利子補給を行う。

【一般財源増加倍理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
14	使用料及び賃借料	137	労政関係施設に設置したAEDの借上料				
19	負担金補助及び交付金	7,150	負担金:安曇野市勤労者互助会、松本職業安定協会 補助金:勤労者住宅建設資金利子補給、安曇野市労働者福祉協議会事業補助金				
21	貸付金	60,000	勤労者資金預託融資預託金				
上記の合計		67,287	職員の人件費合計	0	事業費総合計	67,287	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主要内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	206
--------	-----

重点項目番号	1-2	コード	10901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係

予算	款	5	労働費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	労働費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	労働諸費		基本施策	労働環境の整備
	事業	0105020	労働対策振興事業		具体的な施策	就労支援の促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	3,475	国支出金	県支出金	市債	その他	3,475
前年度	3,064					3,064
増減額	411	0	0	0	0	411

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

地域内の求職者の就職機会の向上を図るために、地域職業相談室を、松本公共職業安定所と共同で運営する。

【効果】

求職者の利便性と就業機会の拡大が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地域職業相談室の運営により、求職者の雇用支援を行う。
- ・公共職業安定所と共催して、安曇野市合同就職面接会を開催する。
- ・生活労働相談会を開催する。
- ・わかもの就職サポート相談会を開催する。
- ・地域職業相談室を現在の場所から県安曇野庁舎1階へ移転する。

【一般財源増加理由】 地域職業相談室移転に伴う工事費等

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	351	地域職業相談室光熱水費外				
12	役務費	306	地域職業相談室電話料外				
13	委託料	727	地域職業相談室警備保障委託、管内清掃業務委託、駐車場整理誘導業務委託、労働相談業務委託料外				
14	使用料及び賃借料	267	合同就職面接会会場借上料、コピー機使用料				
15	工事請負費	1,314	職業相談室移転に伴う電気・NTT機器移設工事				
19	負担金補助及び交付金	510	地域職業相談室移転後の県への負担金(共益費)				
上記の合計		3,475	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,475	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

地域職業相談室移転(H27年7月予定)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	1,014	職業相談室移転に伴う電気工事
15	工事請負費	300	職業相談室移転に伴うNTT機器移設・LAN工事
19	負担金補助及び交付金	510	地域職業相談室移転後の県への負担金(共益費)
合計		1,824	左記の特定財源

予算書ページ	206
--------	-----

重点項目番号	1-2	コード	10901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係

予算	款	5	労働費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	労働費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	労働諸費		基本施策	労働環境の整備
	事業	0105030	勤労者福祉センター管理		具体的な施策	就労支援の促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,009					2,009
前年度	1,995					1,995
増減額	14	0	0	0	0	14

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

勤労者の福祉増進を図る。

【効果】

勤労者の福祉増進の場を提供することで、自己啓発や地域活動につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市穂高勤労者福祉センターを指定管理者に委託し貸館業務を行う。
 ・施設老朽化による建物の寿命を延命するため、予防的な修繕及び補修を行う。

【一般財源増加理由】 男子便所改修・モルタル落下抑制工事費等

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	50	施設小破修繕				
13	委託料	746	指定管理委託料				
15	工事請負費	1,213	男子トイレ改修・モルタル落下抑制工事				
上記の合計		2,009	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,009	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

男子トイレ改修・モルタル落下抑制工事

H26年度に女子トイレの改修を行った。本年度は、引き続き男子トイレの改修工事を実施し、利用者の利便性を図る。

また、入口右側の階段下にかけてモルタルのクラックがあり、東南角が水漏れすることから、モルタルが落下しないように補修工事を実施する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	1,213	男子トイレ改修・モルタル落下抑制工事
合計		1,213	左記の特定財源

予算書ページ	240
--------	-----

重点項目番号	1-2	コード	10901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	商工総務費		基本施策	商業の振興
	事業	0107010	商工総務費		具体的な施策	商業への支援、経営の安定化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
220,345	205,666	14,679	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

商工業の総合的な振興を図り、活力あるまちづくりを目指す。

【効果】

市内の経済活動全般に活力を生み出し、活力あるまちづくりに寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・商工業振興審議会を開催し、商工業の振興に関する審議を行う。
- ・安曇野市商工会に対して補助金を交付する。

【経営改善普及事業】

小規模事業者等の振興と安定に寄与するため、経営の改善発達を支援する事業に対して補助する。

【地域総合振興事業】

商工業の総合的な発展を図るために実施する事業に対して補助する。

【一般財源増加理由】 職員人件費の増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	42	商工業振興審議会委員報酬				
9	旅費	200	商談、販路開拓に関する職員旅費等				
11	需用費	107	経済関係書籍等、公用車両の維持管理経費				
13	委託料	54	産業事情視察等バス運行業務委託料				
14	使用料及び賃借料	33	商工労政課事務室複写機借上料				
19	負担金補助及び交付金	64,908	まつもと広域ものづくりフェア負担金、商工会経営改善普及事業補助金・地域総合振興事業補助金				
上記の合計		65,344	職員の人件費合計	155,001	事業費総合計	220,345	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	240
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適な街の形成
	項	1	商工費		主要施策	公共交通の整備
	目	1	商工総務費		基本施策	公共交通の利用促進
	事業	0107020	JR・高速乗合バス利用対策事業		具体的な施策	公共交通の利用促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
20,148	18,789	1,359	0	0	0	6,681
						11,582
						1,885

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	市営駐車場使用料	3,081							6,681
	20	JR乗車券類等発売業務	3,600							

【目的・効果】

【目的】

市民の交通手段の利便性の向上を図るため、市内JR営業線無人駅の管理運営と市営駐車場の管理運営を行う。

【効果】

駅周辺や高速乗合バス駐車場周辺の環境美化及び利用者の利便性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・JR営業線無人駅での乗車券類を発売をする。
- ・市内10駅に点在する駐輪場の管理をする。
- ・安曇野IC東駐車場の管理をする。

【一般財源増加理由】 簡易委託駅乗車券類発売業務委託料に事務室ストーブ灯油代と発券状況調査を含める。駐輪場に防犯カメラ設置。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,300	安曇野IC東駐車場自動精算機用消耗品、JR駅消耗品、簡易委託駅分光熱水費外				
12	役務費	427	安曇野IC東駐車場自動精算機警備通信費、簡易委託駅6駅分電話料				
13	委託料	17,712	簡易委託駅乗車券類発売業務委託、駅駐輪場管理業務委託他管理委託、安曇野IC東駐車場警備業務委託外				
14	使用料及び借り上げ料	282	JR営業線駐輪場借り上げ料				
15	工事請負費	378	穂高駅西駐輪場防犯カメラ設置工事				
18	備品購入費	49	簡易委託駅ファンヒーター				
	上記の合計	20,148	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,148	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

穂高駅西駐輪場防犯カメラ設置工事
駐輪場における盗難が多いため、防犯カメラを設置する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	378	穂高駅西駐輪場防犯カメラ設置工事
	合計	378	左記の特定財源

予算書ページ	242
--------	-----

重点項目番号	1-2	コード	10901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係

予算	款	7	商工費	総合計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107030	商業振興事業		具体的な施策	商業への支援・商業空間の形成

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
83,081	65,415	17,666	24,200	1,750		403
						30,403
					0	30,000
						56,728
						14,612
						42,116

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額		細節名称	金額	
	13	まちづくり会館使用料	180	15	商店街創造支援事業	1,750				26,353
	13	明科産業会館使用料	97	20	産業会館光熱水費	126				
	14	都市再生整備計画事業	24,200							

【目的・効果】

【目的】

にぎわいあるまちづくりを目指すため、個性を生かした商店街や店舗づくりを支援する。
消費マインドを喚起し、地元消費の拡大と地域経済の活性化を図る。

【効果】

商店街のにぎわいを創出し、個店への誘客を増やす。
地元消費の拡大と地域経済の活性化につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・空き店舗等活用事業実施者へ助成する。
- ・豊科まちづくり(商店街創造支援)事業に対して助成する。(県補助あり)
- ・都市再生整備事業を活用した、穂高駅通り・西友通り商店街の基盤整備(街路灯のリニューアル)を実施する。

【一般財源増加理由】 穂高駅通り・西友通りの街路灯更新設計・工事費増。空き店舗・豊科まちづくり補助増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,477	まちづくり会館、明科産業会館消耗品、光熱水費外				
12	役務費	183	まちづくり会館電話料、まちづくり会館設備点検手数料				
13	委託料	8,367	まちづくり会館・明科産業会館管理委託、街路灯整備設計監理委託				
14	使用料及び賃借料	276	まちづくり会館駐車場賃借料				
15	工事請負費	55,000	穂高駅通り・西友通りの街路灯リニューアル工事				
18	備品購入費	43	まちづくり会館コピー・FAX複合機				
19	負担金補助及び交付金	17,735	商店街等支援事業補助金17,727、防火管理者協議会負担金				
上記の合計		83,081	職員の人件費合計	0	事業費総合計	83,081	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源 なし

予算書ページ	242
--------	-----

重点項目番号	1-2	コード	10901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107040	緊急経済対策事業		具体的な施策	経営の安定化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	76,723					76,723
前年度	75,000					75,000
増減額	1,723	0	0	0	0	1,723

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

市内建築関連産業の活性化と併せて市民の住環境の向上、若年層の定住化を図るため、地域経済活性化住宅助成事業を継続実施する。

【効果】

住宅関連産業への受注を促し、地域経済を活性化させる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する住宅改修工事、耐震化付帯工事及び新築住宅の取得に際し、工事実施者(施主)に補助金を交付する。

メニュー	メニュー	メニュー	メニュー
補助内容	住宅の改修工事	耐震化付帯工事	新築住宅の取得
対象工事金額	工事金額 が20万円以上	耐震補強工事費以外の工事費が50万円以上あること	500万円以上
補助金額	対象工事金額×10%	対象工事金額×20%	50万円
(計算で千円未満の端数が できた場合は切り捨て)			
補助上限金額	20万円	30万円	50万円

【一般財源増加理由】 住宅助成事業非常勤賃金を職員課から商工労政課に計上したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,723	企業支援等対策事業非常勤賃金				
19	負担金補助及び交付金	75,000	緊急経済対策住宅助成事業補助金				
上記の合計		76,723	職員の人件費合計	0	事業費総合計	76,723	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源 なし

予算書ページ	244
--------	-----

重点項目番号	1-2	コード	10901100
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107060	市制度資金貸付事業		具体的な施策	経営の安定化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
947,482	954,038	6,556	0	0	0	905,000
						42,482
						49,038
						6,556

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	市制度資金元金	900,000							
20	制度資金保証料補給金返還金	5,000								

【目的・効果】

【目的】

市内企業等の経営安定化を図るため、市内金融機関(八十二銀行、長野銀行、長野県信用組合、松本信用金庫)に資金を貸し付け、それを担保に中小企業の運転、設備資金の貸し付けを行う。

【効果】

一般貸付よりも低利で貸し付け、県信用保証協会の保証料の補給と1年度に限り利子の最大1%分を補助することにより、経営の安定化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

制度資金の保証料に対して補給金を負担する。
 制度資金利用者に対して、融資実行日から1年間、年1%を上限として利子補給する。
 制度資金貸し付けのための担保として、金融機関に預託金を預託する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	47,482	制度資金保証料補給金 33,904 制度資金利子補給 13,578				
21	貸付金	900,000	預託金				
上記の合計		947,482	職員の人件費合計 0	事業費総合計	947,482	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源 なし

予算書ページ	242
--------	-----

重点項目番号	1-2	コード	10901200
		部・課・係等	商工観光部商工労政課工業振興係

予算	款	7	商工費	総合計	基本方針	5章 豊かな産業のあるまちづくり
	項	1	商工費		主要施策	2節 活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費		基本施策	2 工業の振興
	事業	107050	工業振興事業		具体的な施策	生産基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
144,536	101,548	42,988	0	0	0	0
						144,536
						101,548
						42,988

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・企業誘致と既存企業の生産基盤整備等の支援により、地域経済の発展や雇用促進を図る。

【効果】

・市外からの新たな企業誘致だけでなく、市内の既存企業にも支援をすることで、市外への移転を留まらせるだけでなく、地域経済の活性化や雇用確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・見直し後の工業振興ビジョンの具現化を図る。

市内企業の受発注などの最新情報の共有や求人情報の共有を図るために、関係者間での情報を瞬時に共有できるプラットフォームを構築。市が推奨すべき産業の推進。新産業団地の必要性を踏まえた具体的な検討。工業振興を図るための魅力あるまちづくり。

・企業等支援助成事業をPRし、活用による企業誘致及び市内企業の支援を図る。

・人材育成事業を充実する。

安曇野工業会の人材育成事業への負担金増

〔一般財源増加理由〕 企業等支援助成事業を利用する企業が増え、新規に補助対象となる企業も数社見込まれているため大幅の増額となった。
産業支援コーディネータ(工業系)の賃金等を産業連携推進事業より移動させた。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,398	産業支援コーディネータ賃金	28	繰出金	640	産業団地造成事業特別会計
8	報償費	305	新製品・新技術開発事業審査会出席謝礼 30 工業振興連携推進協議会出席謝礼 275				
9	旅費	124	産業支援コーディネータの県外企業訪問旅費 61 新製品・新技術開発事業審査会実費弁償 9 工業振興連携推進協議会出席謝礼 54				
11	需用費	147	消耗品 50 燃料費 97				
14	使用料及び賃借料	186	産業支援コーディネータ用自動車リース代				
15	工事請負費	108	安曇野工業会緑化キャンペーン植樹事業				
19	負担金補助及び交付金	139,628	安曇野工業会へ人材育成セミナー開催の負担金 694 日本経済研究センター負担金 432 企業等支援助成事業補助金 138,502				
上記の合計		144,536	職員の人件費合計 0	事業費総合計		144,536	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・日本経済研究センター負担金

工業振興ビジョンの推進のために、日本経済研究センターに会員登録をして、情報提供を受け、推奨すべき産業の絞り込み等を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
19	負担金補助及び交付金	432	日本経済研究センター負担金
合計		432	左記の特定財源

予算書ページ	244
--------	-----

重点項目番号	1-6	コード	10901300
		部・課・係等	商工観光部商工労政課産業連携推進係

予算	款	7	商工費	総合計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	安曇野モデル構築に取り組むまち
	目	2	商工振興費		基本施策	地域資源を活用した産業モデルへの取り組み
	事業	0107070	産業連携推進事業		具体的な施策	多種多様な連携構築の支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
9,907	10,854	947	0	0	0	0
						9,907
						10,854
						947

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

(目的)

地域資源(市内産の農林水産物)を最大限活用するとともに、既存の категорияの枠を超えた事業者連携により、それぞれの有する経営資源を相互に有機的に発揮し、地域ビジネスとして新たな産業の構築を図る。

(効果)

異業種との連携・協同による商品開発や販路拡大、新たなサービスの形成などにより、付加価値の高い「ブランド」が発信され、併せて地域活性化に繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・産業支援コーディネータと外部プロフェッサーを配置し、情報の共有を図り連携型産業のマッチングとブランド化を進める。
- ・市内の異業種間が連携した取り組みを推進するため「農商工等連携型産業推進協議会」により、課題解決に向け情報共有を図る。
- ・地域資源活用型連携推進事業推進のため、事業公募を実施し、審査会による補助事業採択を行なうなどの支援により、具現化に向けた推進を図る。
- ・農商工連携事業先進地視察により、連携型産業の成功事例を学び、異業種担当者の情報共有と連携型産業推進に向けた具現化支援に繋げる。
- ・既存商品群も含め、首都圏への販路拡大を行ない、企業収益の向上と新取引先の開拓を支援する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,432	産業支援コーディネータ(流通・食品系)				
08	報償費	687	外部プロフェッサー謝礼、地域資源活用型事業認定審査会出席謝礼、視察等土産代				
09	旅費	918	販路拡大事業展示会、農商工連携先進地視察等の職員及び産業支援コーディネータの旅費、審査委員実費弁償				
11	消耗品	87	イベント体験資材				
13	委託料	59	視察バス運行委託				
14	使用料及び賃借料	224	産業支援コーディネータ車リース代、視察等駐車場使用料				
19	負担金補助及び交付金	4,500	地域資源活用支援事業補助、販路拡大展示会出展事業補助				
上記の合計		9,907	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,907	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・「農商工等連携型産業推進協議会」でより具体的な活動を通じた学習の場として、成功事例を情報共有するため農商工連携事業先進地視察に関する予算計上を行なう。
- ・新規開拓、販路拡大に要する経費として旅費を計上する。
- ・商業労政係事業であった「販路拡大展示会出展事業補助金」を、新商品の開発から販路拡大まで一貫した取り組みとして、平成27年度より産業連携推進係に業務移管を行なう。
- ・中信4市で行なうイベント(日本アルプスフェス)の出展等に要する経費を予算化する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
08	報償費	12	視察土産代
09	旅費	504	販路拡大事業展示会、農商工連携先進地視察旅費、日本アルプスフェス等旅費、イベント参加者実費弁償
13	委託料	59	農商工連携事業視察バス運転業務委託
14	使用料及び賃借料	30	農商工連携事業視察会場借上料、駐車場使用料
19	負担金補助及び交付金	200	販路拡大展示会出展事業補助金(商業からの事業変更)
合計		805	左記の特定財源

予算書ページ	246
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10902100
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 ブランド推進担当

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光振興
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業		具体的な施策	新たな観光戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
14,483	17,874	3,391	0	0	0	8
						13
						21
						3,383

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	天蚕振興基金利子	13							

【目的・効果】

【目的】

・安曇野の持つブランドイメージを活用し、商品・サービスのブランド化の構築を図る。

【効果】

・お土産等の商品開発により観光地としての魅力が高まり、来訪者の満足度が向上する。
 ・地域ブランド化により商品等の価値が高まり、新たな市場が開拓される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・安曇野の食の魅力を高める取り組みとして、安曇野やさいスイーツフェアの開催や、安曇野林檎ナポリタンのPR、安曇野ご当地カレー等の検討を進める。

・メディア関係者の招聘やロケ支援を促進するための助成を行う。
 ・天蚕振興のため、天蚕センターの指定管理や天蚕振興会への支援を行う。また、天蚕センターの設備改修を行う。
 ・安曇野ブランド創出に取り組んでいる団体の支援を行う。

【一般財源増加理由】 観光誘客テレビ番組の製作・放送、

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	220	ご当地料理検討協力謝礼等	25	積立金	14	天蚕振興基金利子
9	旅費	156	会議、視察等の旅費				
11	需用費	200	参考図書、事務消耗品等				
13	委託料	4,234	天蚕センター指定管理料、メディア・ロケ誘致推進委託費等				
14	使用料	245	天蚕センター等借地料				
15	工事請負費	5,211	天蚕センタートイレ等改修費				
19	負担金補助及び交付金	4,203	プロジェクト団体・天蚕振興会等補助				
上記の合計		14,483	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,483	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・ご当地料理の一つとして「安曇野カレー」の検討を進める。
 ・天蚕センターのトイレ施設が老朽化しており、また狭隘であるため、洋式化、バリアフリー化の改修工事を行う。また展示室が夏場高温となり来館者に不便をかけているため、冷房設備を設置し来館者の利便性を向上させる。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	200	ご当地料理検討協力謝礼
15	工事請負費	5,211	天蚕センタートイレ改修、展示室冷房設置工事
合計		5,411	左記の特定財源

予算書ページ	246
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10902100
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 ブランド推進担当

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光振興
	事業	0107100	受入体制整備事業		具体的な施策	新たな観光戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
48,903	44,103	4,800	0	0	0	0
						48,903
						44,103
						4,800

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・山岳と平地を連携させた安曇野の観光情報の発信と、安曇野を体感できる旅行商品を提供する。
- ・快適な二次交通を提供し、受入体制の整備拡大を図る。

【効果】

- ・観光誘客により他産業へも経済効果を波及させ、地域の活性化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・観光情報センターでの案内業務や旅行商品の造成・販売業務を充実させ受入体制の整備を図る。
- ・観光施設における来訪者アンケート調査を実施する。
- ・観光協会、山岳観光推進実行委員会への補助を行う。
- ・二次交通の運行(周遊バス)支援を行う。
- ・温泉成分分析検査料に対する補助を行う。

【一般財源増加理由】 観光誘客テレビ番組の製作・放送、

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,720	臨時職員賃金				
12	役務費	17	クリーニング代				
13	委託料	31,580	観光案内情報発信業務、観光素材造成業務等				
14	使用料及び賃借料	416	コピー機使用料、イベント会場使用料				
19	負担金補助及び交付金	15,170	観光推進組織補助金、二次交通補助、温泉成分分析補助等				
上記の合計		48,903	職員の人件費合計	0	事業費総合計	48,903	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・安曇野市山岳観光推進実行委員会への補助
安曇野市の山岳観光の振興を図るため、山小屋、旅館等の観光関係者により平成26年12月に設立された実行委員会へ補助を行う。
- ・温泉成分分析補助
10年に一度必要となる検査費用の一部を補助し、検査結果を観光情報の一つとして情報発信する。

節	金額(千円)	主な内容
19	4,120	安曇野市山岳観光推進実行委員会補助、温泉成分分析補助
合計	4,120	左記の特定財源

予算書ページ	248
--------	-----

重点項目番号	1	コード	10902100
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 ブランド推進担当

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光振興
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業		具体的な施策	新たな観光戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	31,812					31,812
前年度	29,649					29,649
増減額	2,163	0	0	0	0	2,163

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・安曇野暮らしリズム(市観光振興ビジョン)における地域資源に関する情報や関係団体の取組みを集約し、適切な情報ツールを用いて情報発信を行う。

・新聞、雑誌等、多様な媒体を活用し、「安曇野」の露出度を高める。

【効果】

・来訪者の拡大に伴う地域活性化（観光関連事業者、農業関連事業者、その他産業への経済波及の拡大）

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・安曇野市総合パンフレットの作成。

・新聞、雑誌等への観光情報掲載。

・高速バス(新宿～白馬線)へのラッピングによる安曇野の広告宣伝実施。

・安曇野市の山岳をテーマにしたTV番組の放映。

・地域FMラジオ放送を使った安曇野観光情報の発信。

・マスメディア、旅行エージェント向けの広告宣伝と営業活動の業務委託。

・周辺市町村との連携による誘客プロモーションの実施。

【一般財源増加理由】 観光誘客テレビ番組の製作・放送、広告宣伝・観光誘客業務の充実

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	600	情報発信記念品	27	公課費	15	自動車重量税
9	旅費	1,074	観光振興イベント等旅費				
11	需要費	2,888	総合パンフレット等印刷製本費、公用車整備費用				
12	役務費	5,696	新聞雑誌等広告掲載費、高速バスラッピング等				
13	委託料	15,564	広告宣伝観光誘客業務、TV番組制作費等				
14	使用料及び賃借料	525	新宿駅観光サイト使用料				
19	負担金補助及び交付金	5,450	広域観光団体等負担金				
上記の合計		31,812	職員の人件費合計	0	事業費総合計	31,812	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・観光誘客テレビ番組の製作

北アルプスの登山情報と平地の宿泊、温泉、観光施設などの情報を組み合わせ、テレビ番組を活用した情報発信を行う。

・山雅ホームページでの観光情報掲載

山雅観戦者を安曇野市へ誘客する手段として、山雅ホームページへ安曇野市の観光情報を掲載する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	6,804	観光誘客テレビ番組制作・放送業務委託、山雅ホームページへの観光情報掲載
合計		6,804	左記の特定財源

予算書ページ 246

重点項目番号	1-1	コード	10902200
		部・課・係等	商工観光部・観光交流促進課・観光交流促進係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107090	交流促進事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	34,600	国支出金	県支出金	市債	その他	16,100
前年度	22,165				18,500	22,165
増減額	12,435	0	0	0	18,500	6,065

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	地域振興基金充当	10,500							
20	スポーツ振興くじ助成金	8,000								

【目的・効果】

【目的】

・官民が一体となり既存イベントの魅力を高めるとともに、新たなイベントとして市制施行10周年を記念し「信州安曇野ハーフマラソン」を実施し、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。

【効果】

・安曇野市の魅力を高め情報発信にすることにより、交流人口の拡大と市民参加による地域づくりが図られる。
・滞在交流型観光地への展開を推進することによって、地域経済の活性化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・交流人口の拡大を図るため、賑わい創出事業を実施する。特に、市制施行10周年を迎えることから「信州安曇野わさび祭り」、「安曇野花火」を更に充実し、節目となる記念イベントとして実施する。
・安曇野の豊さを全国に発信するとともに、新たな賑わい創出事業として安曇野市制施行10周年を記念して、「第1回信州安曇野ハーフマラソン大会」を開催する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	150	駅からハイキング・センチュリーライド等				
19	負担金補助及び交付金	34,450	信州安曇野わさび祭り、安曇野花火、第1回信州安曇野ハーフマラソン大会等				
上記の合計 34,600 職員の人件費合計 0 事業費総合計 34,600 OK							

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	248
--------	-----

重点項目番号	1-5	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107120	観光拠点整備事業		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	79,554	国支出金	県支出金	市債	その他	68,354
前年度	181,079	45,200			125,000	10,879
増減額	101,525	34,000	0	0	125,000	57,475

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	都市再生整備計画事業	11,200							

【目的・効果】

【目的】

・先人達から受け継いできた自然を来訪者に伝え、安曇野市観光振興ビジョンが掲げる「安曇野暮らし」を推進するため、自然資源を生かした観光拠点の整備を行なう。

【効果】

・観光拠点の整備及び拠点間を繋げることにより、市内での回遊性と来訪者の滞在時間の延長及び、満足度の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・都市再生整備計画事業による、平地での観光拠点整備事業を平成26年度から平成30年度までの5年間計画で行なう。
- ・安曇野しゃくなげの湯周辺整備(平成30年度完成)の実施設計に着手。
- ・せせらぎ散策路整備(平成29年度完成)の環境調査に着手。
- ・三角島歩道整備(平成29年度完成)の環境調査と実施設計に着手。
- ・山岳観光の拠点として、三郷スカイライン展望台周辺整備事業を行なう。展望台修繕工事とトイレ新築工事に着手する。

【一般財源増加理由】 都市再生整備計画事業せせらぎ散策路・三角島歩道委託料新規(7,712千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	28,717	環境調査、設計業務、監理業務				
15	工事請負費	50,837	しゃくなげの湯周辺整備(下水道管路布設等) 三郷スカイライン(トイレ新築等)				
上記の合計		79,554	職員の人件費合計	0	事業費総合計	79,554	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・市内には自然資源が豊富にあるものの、資源が点在しており有効に活用されている状態とは言えない。そのため、既存の観光資源を積極的に活かした観光拠点整備が必要である。
- ・都市再生整備計画事業の内、せせらぎ散策路整備と三角島歩道整備に新規着手。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	7,712	環境調査業務(せせらぎ散策路、三角島歩道) 実施設計書作成業務(せせらぎ散策路)
合計		7,712	左記の特定財源 都市再生整備計画事業(7,712千円)

予算書ページ	248
--------	-----

重点項目番号	1-5	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107130	しゃくなげの湯整備事業		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	440,691	国支出金	県支出金	市債	その他	33,891
前年度	876,882	32,400	35,640	418,600	390,000	242
増減額	436,191	32,400	35,640	81,800	320,000	33,649

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	福祉基金繰入金	70,000							
21	しゃくなげの湯整備事業	336,800								

【目的・効果】

【目的】

・市民の癒しと健康づくりの場、並びに食事の提供による地域への流入人口の受入整備として、天然温泉を活用した安曇野しゃくなげの湯を建設する。

【効果】

・西山山麓の観光拠点の中心施設として位置付けて、安曇野しゃくなげの湯周辺整備との複合的な整備を図ることにより、安曇野での満足度を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成28年10月の施設営業に向けて、安曇野しゃくなげの湯の建設工事に着手する。

設計変更業務完了 7月
 工事契約 8月
 工事施工 9月～平成28年8月(機器調整期間を含む。)
 開業準備 平成28年9月
 営業開始 10月

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	604	建築確認変更申請手数料				
13	委託料	24,020	設計変更業務、工事監理業務				
15	工事請負費	416,067					
上記の合計		440,691	職員の人件費合計	0	事業費総合計	440,691	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	250
--------	-----

重点項目番号	1-5	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107140	温泉活用施設事業		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
22,930	24,731	1,801	0	0	0	1,390
						7,390
						6,000
						21,540
						17,341
						4,199

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	ふれあい体験館外施設使用料	1,390							

【目的・効果】

【目的】

・貴重な資源である天然温泉を多くの方が利用できるよう、既存温泉施設の維持管理を行い安曇野の魅力を高める。

【効果】

・適切に維持管理された施設により、利用者の受け入れ態勢を強化することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・湯多里山の神、温泉健康館、足湯の維持管理を行なう。

・湯多里山の神は通常の維持管理のほか、年次計画により施設改修を行なうため、平成27年度はボイラー等設備機器の整備費用を計上。

湯多里山の神 建築(平成4年)、延床面積(300.44㎡)、構造(木造)、施設概要(公衆浴場、鉱場)
 温泉健康館 建築(昭和61年)、延床面積(452.86㎡)、構造(鉄筋コンクリート造)、施設概要(公衆浴場)

【一般財源増加理由】施設小破修繕費(600千円)、豊科鉱山水質検査(250千円)、湯多里山の神改修設計監理(1,432千円)、山麓排水事業組合負担金(190千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	30	鉱山保安会議				
11	需用費	1,188	湯多里山の神・温泉健康館修繕、足湯水道料・電気料				
12	役務費	258	豊科鉱山水質検査等				
13	委託料	2,224	湯多里山の神改修設計及び監理等				
14	使用料及び賃借料	160	温泉健康館駐車場借地料				
15	工事請負費	13,414	湯多里山の神維持工事				
19	負担金補助及び交付金	5,656	温泉健康館温泉利用負担金等				
上記の合計		22,930	職員の人件費合計	0	事業費総合計	22,930	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	250
--------	-----

重点項目番号	1-5	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
4,640	2,329	2,311	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・安曇野の近代化を支えた篠ノ井線の往時の姿を来訪者が楽しめるよう、潮沢廃線敷の維持管理を行ない、来訪者の増加へと繋げる。

【効果】

・貴重な観光資源として活用し、来訪者が歴史遺産に触れ、安曇野の歴史自然を感じるにより、安曇野での満足度を高める事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・公衆便所の管理清掃を委託により行なう。
- ・三五山トンネルの門扉開閉を委託により行なう。
- ・三五山トンネル、漆久保トンネルの打音調査及び、継続監視業務を委託により行なう。

【一般財源増加理由】主に、三五山トンネルと漆久保トンネルの打音調査と継続監視業務による。(2,906千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	300	廃線敷遊歩道整備謝礼				
11	需用費	411	潮公衆便所他電気料、水道料、下水道料				
12	役務費	192	トイレ汲取り手数料				
13	委託料	3,583	三五山・漆久保トンネル打音調査及び継続監視等				
14	使用料及び賃借料	100	仮設トイレ借上料				
16	原材料費	54	廃線敷整備用砂利				
上記の合計		4,640	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,640	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・これまでの継続監視業務の結果、三五山トンネルでは坑内側壁からの地下水漏水と風化によるレンガの欠損が生じている。また、漆久保トンネルでは坑口上部において風化によるレンガ目地の浸食が発生している。このため、両トンネルの安全性を確認するためレンガの打音調査費用を計上。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	2,906	三五山・漆久保トンネル打音調査及び継続監視業務
合計		2,906	左記の特定財源

予算書ページ	250
--------	-----

重点項目番号	1-5	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107160	施設管理整備事業		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
111,806	60,746	51,060	0	0	0	42,209
						1,097
						9,948

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	かじかの里キャンプ場使用料	50							
18	公共施設整備基金繰入金	40,000								
20	観光施設駐車場負担金	2,159								

【目的・効果】

【目的】

・市民と来訪者が既存の観光施設を快適に利用できるよう、施設整備を行なう。

【効果】

- ・トイレの整備により安曇野市のイメージアップを図ることができる。
- ・北アルプスの登山道整備により、登山者が安全で快適に登山を楽しむことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・かじかの里公園等観光交流促進課が所管する公園施設(8施設)及び公衆便所(23箇所)の維持管理を行なう。
- ・公衆トイレの快適性向上を図るため、一ノ沢公衆トイレの改修工事を行なう。
- ・登山道整備のための費用を、北アルプス登山道等維持連絡協議会に負担金として支出する。27年度整備路線は、燕岳登山道の中房川沿いルート及び、常念岳登山道の一ノ沢ルートを整備する。

【一般財源増加理由】 主に、中房線登山車両誘導業務(1,484千円)、一ノ沢トイレ改修工事(34,096千円)、等々力家公衆便所改修工事(11,316千円)、特別会計繰出金(31,549千円)

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	2,452	登山道草刈謝礼、VIサイン設置検討業務謝礼		16	原材料費	240	明科駅前植栽用花苗等	
9	旅費	95	事業先進地視察		19	負担金補助及び交付金	5,579	北アルプス登山道等維持連絡協議会負担金等	
11	需用費	5,435	施設小破修繕、光熱水費		28	繰出金	31,549	観光宿泊施設特別会計繰出金	
12	役務費	1,396	トイレ汲取り手数料等						
13	委託料	14,221	公衆便所等清掃委託、トイレ改修設計						
14	使用料及び賃借料	3,813	白鳥湖仮設トイレ借上料、観光施設用地借地料等						
15	工事請負費	47,026	一ノ沢トイレ改修、等々力家公衆便所改修						
上記の合計		111,806	職員の人件費合計	0	事業費総合計	111,806	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・安曇野のイメージアップと観光客をはじめとする来訪者をスムーズに市内観光施設等に案内誘導するため、平成26年度に決定するデザインを使用して、プロポーザルによりサインデザインの配置計画を立案する。
- ・計画の範囲は市内全域とし、案内の主対象は観光施設およびそれらへの誘導ルートとする。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
8	報償費	511	VIサイン設置検討審査委員謝礼、VIサイン設置検討業務謝礼	
合計		511	左記の特定財源	

予算書ページ	252
--------	-----

重点項目番号	1-5	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107170	自然交流センター		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,362					3,362
前年度	3,231					3,231
増減額	131	0	0	0	0	131

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
									0

【目的・効果】

【目的】

・貴重な資源である水を中心とした自然に触れ自然体験ができるよう、施設の管理運営を行なう。

【効果】

・恵まれた水と緑豊かな自然に包まれた当施設の利用により、来訪者に自然とふれあう機会の場を提供できるとともに、観光拠点として市内での回遊性と来訪者の滞在時間の延長を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・自然体験交流センター「せせらぎ」の管理運営を、指定管理により「せせらぎ」を愛する会に委託する。

建築(平成16年)、延床面積(347.00㎡)、構造(木造)、施設概要(学習室、実習室、交流室、管理室、屋外デッキ)

【一般財源増加理由】施設小破修繕費(100千円)、指定管理料消費税増分(31千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	100	小破修繕				
13	委託料	3,262	指定管理料				
上記の合計		3,362	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,362	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・指定管理者との基本協定により、施設と備品の修繕について5万円以上の修繕は市が負担する事となっているが、これまで小破修繕費の計上がなかったため今年度より計上するもの。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	100	施設小破修繕
合計		100	左記の特定財源

都市建設部

予算書ページ	256
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11001100
		部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係

予算	款	8	土木費	総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木管理費	合計	主要施策	利便性の高いまち
	目	1	土木管理費	画	基本施策	道路の整備
	事業	0108010	土木総務費		具体的な施策	幹線道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
262,349	261,443	906	0	3,365	0	38,769
						220,215
						231,980
						11,765

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	道路占用	27,600	13	公共物占用料滞納繰越分	1	20	有料道路割引回数通行券販売代	8,414	
13	道路占用滞納繰越分	1	15	県有料道路通行料金負担軽減事業助成金	3,365	20	その他雑入(都市建設部)	1		
13	公共物占用料	2,700	20	地図等交付代	52					

【目的・効果】

【目的】

・利便性・安全性が確保された道路整備を進めるとともに、体系的な道路網の構築を図る。

【効果】

・国道や県道をはじめ幹線道路の整備を行うことで、人・モノ・情報の交流が盛んになり、産業の振興、文化交流の促進、生活の利便性や災害時における安全性の向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国道19号明科駅前歩道整備事業の促進を図るため、地元調整及び長野国道事務所との協議を進める。
 ・県下有料道路の利用者負担軽減を図るため、割引回数通行券の販売を行う。

【一般財源増加理由】 ・交通量調査及び解析業務、開通式業務による増。 ・有料道路割引回数券販売数増による増。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
09	旅費	1,142	各種同盟会 総会及び中央要望の職員旅費						
11	需用費	3,279	事務用品費及び公用車の燃料費及び修繕費						
12	役務費	681	公用車車検及び自賠責保険料						
13	委託料	7,514	交通量調査・解析業務、開通式業務他						
14	使用料及び賃借料	13,506	コピー機のリース料及び使用料・有料道路割引回数券購入代						
27	公課費	162	公用車の自動車重量税						
上記の合計		26,284	職員の人件費合計	236,065	事業費総合計	262,349	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・交通量調査及び解析業務 …… 事業促進のため基礎資料とするため
 ・開通式業務 …… (主)穂高明科線「常盤橋」の開通式

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	7,514	交通量調査・解析業務 (主)穂高明科線常盤橋開通式委託料	
合計		7,514	左記の特定財源	

予算書ページ	258
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11001100
		部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108040	道路橋梁総務費		具体的な施策	幹線道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	579					579
前年度	480					480
増減額	99					99

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・関係市町村と同盟会活動を行うことで、本市道路網の骨格をなす国道道の整備を図る。

【効果】

・国道道の整備促進が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・各種道路関係の同盟会負担金を納入し、要望活動により、事業を推進する。

【一般財源増加理由】 ・長野県道路整備期成同盟会負担金の増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	579	道路関係同盟会等の負担金				
上記の合計		579	職員の人件費合計	0	事業費総合計	579	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	262
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11001100
		部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	災害に強いまち
	目	2	道路橋梁新設改良費		基本施策	治水・治水事業の促進
	事業	1018090	県営新設改良事業		具体的な施策	治水対策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,000					27,000
前年度	18,500					18,500
増減額	8,500					8,500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・危険箇所の防災工事を実施し、災害に強いまちづくりを進める。
- ・本市道路網の骨格をなす国県道の整備を図る。

【効果】

- ・県営事業に対し市が一部負担することで、危険箇所の改善及び道路整備の促進が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・急傾斜地崩壊対策・兼用側溝整備・県単道路改良事業に対し、事業費の一部を負担する。

【一般財源増加理由】 急傾斜地崩壊対策事業事業負担金の増。 兼用側溝整備事業負担金の増。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	27,000	県営事業地元負担金						
上記の合計		27,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計		27,000	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	264
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11001100
		部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	3	河川費		主要施策	災害に強いまち
	目	1	河川費		基本施策	治水・治水事業の促進
	事業	0108130	河川総務費		具体的な施策	治水対策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	722	国支出金	県支出金	市債	その他	216
前年度	712				492	220
増減額	10				14	4

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	取水占用料	506							506

【目的・効果】

【目的】

・関係市町村と同盟会活動を行うことで、河川の整備促進を図る。

【効果】

・市内河川の整備促進が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・各種河川関係の同盟会負担金を納入し、要望活動により事業を推進する。

【一般財源増加理由】 犀川直轄改修期成同盟会負担金の増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	722	河川関係同盟会等の負担金				
上記の合計		722	職員の人件費合計	0	事業費総合計	722	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	256
--------	-----

重点項目番号	4	コード	11001300
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	土木管理費		基本施策	道路の整備
	事業	0108020	地籍管理費		具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	37,222				432	36,790
前年度	67,751				432	67,319
増減額	30,529	0	0	0	0	30,529

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公図写等発行手数料	432							

【目的・効果】

【目的】

・国土調査法第21条の規定に基づき調査成果(台帳、地籍図)を一般の閲覧に供する。

【効果】

・土地台帳、地籍図(公図)を適正管理することにより、利用者のニーズに素早く応じることができる。また、本事業により補正更新する地図情報は、本市GISシステムの基礎として利用している。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・亡失基準点(図根点)の設置復元を行う。
- ・地籍管理システムにおける、土地台帳及び公図の異動更新を行う。
- ・道路、河川敷の境界立会を行う。
- ・境界立会等で確認された相違箇所における地図訂正等を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	6,785	嘱託登記事務職員賃金				
11	需用費	409	参考図書、測量用杭等購入代金				
12	役務費	29	郵便切手代金				
13	委託料	29,946	地籍管理システム土地異動更新業務委託料・亡失基準点復元業務委託料				
14	使用料及び賃借料	53	スキャナー付複合コピー機借上料				
上記の合計		37,222	職員の人件費合計	0	事業費総合計	37,222	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	258
--------	-----

重点項目番号	4		コード	11001300			
			部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記係			
予算	款	8	土木費		総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費			主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費			基本施策	道路の整備
	事業	0108050	道路橋梁管理費		具体的な施策	生活道路の整備	

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,829					22,829
前年度	14,269					14,269
増減額	8,560	0	0	0	0	8,560

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
													0

【目的・効果】

【目的】

・道路法28条の規定に基づき、道路台帳を調製保管すると共に、閲覧に供する。

【効果】

・道路台帳管理システムのデータ更新をすることで、適正な維持管理業務が遂行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・道路台帳システムにおける、図面データ及び調書等の補正更新を実施する。

・地域の管理団体に協力をいただき、道路愛護活動(除草清掃等)を行っている。

【一般財源増加理由】 掘金地域で行われている、県営圃場整備事業烏川地区の進捗に伴い、新設改良された市道の台帳更新を実施するため。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
12	役員費	311	市道除草清掃等手数料						
13	委託料	22,400	道路台帳、システム補正更新業務委託料						
14	使用料及び賃借料	118	道路用地借地料						
上記の合計		22,829	職員の人件費合計	0	事業費総合計	22,829	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	258
--------	-----

重点項目番号	4	コード	11001300
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108060	道の駅維持管理		具体的な施策	幹線道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
4,643	27,516	22,873	0	0	0	18
	27,495	22,870				21

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	道の駅公衆電話料金	18							

【目的・効果】

【目的】

・休憩施設及びトイレ等を備えた「道の駅」を維持管理することで、道路利用者の利便性向上に寄与する。

【効果】

・「道の駅」は休憩施設と地域振興施設が一体となった道路施設であり、道路利用者に快適な休憩空間を提供するほか、農産物の販売等による地域振興や観光の振興など、多面的な効果が期待される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里」の公衆トイレ及び情報交流室等の清掃管理を委託実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,725	トイレトーパー石鹸等消耗品、施設小破修繕費、光熱水費				
12	役務費	24	公衆電話料金				
13	委託料	1,815	公衆トイレ情報交流室清掃業務委託料				
18	備品購入費	26	道の駅スタンプ				
19	負担金補助及び交付金	53	関東道の駅連絡協議会負担金				
上記の合計		4,643	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,643	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-4	コード	11001300	
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記係	
予算	款	8	土木費	総合計画 基本方針 安全・安心・快適なまちの形成 主要施策 災害に強いまち 基本施策 治山・治水事業の促進 具体的な施策 治水対策の充実
	項	3	河川費	
	目	1	河川費	
	事業	0108140	河川管理費	

単位:千円

	当初予算額	特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	465				465	
前年度	465				465	
増減額	0	0		0	0	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・河川用地の除草等を実施し、出水等の災害に備えると共に、安全快適な河川環境を利用者に提供する。

【効果】

・安全快適な河川環境の確保が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・地域の管理団体に協力をいただき、河川愛護活動(除草清掃等)を行っている。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	465	河川除草清掃等手数料				
上記の合計		465	職員の人件費合計		事業費総合計	465	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	262
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11002100
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	2	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路の整備
	事業	0108100	市道新設改良事業		具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	609,352	国支出金	県支出金	市債	その他	7,452
前年度	806,005			366,300	323,000	116,705
増減額	196,653	0	0	174,400	87,000	109,253

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	市道新設改良事業	191,900							601,900
	18	公共施設整備基金	410,000							

【目的・効果】

【目的】

・道路は暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で必要不可欠な社会基盤であり、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。

【効果】

・生活道路の整備により、安全で安心な生活環境を構築する。
 ・地域間を結ぶ重要路線や新庁舎建設関連路線の整備により、地域間の連携強化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・生活道路 30路線の整備
 ・合併特例債事業 4路線の整備

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	賃金	408	臨時職員賃金	17	公有財産購入費	81,100	道路拡幅部の用地買収費
9	旅費	304	不在地主用地交渉、研修旅費及び日当	19	負担金補助及び交付金	615	研修会負担金、ランドアバウト普及促進協議会負担金
11	需用費	1,540	測量用品及び工事事務用品、物品修繕費	22	補償補填及び賠償金	108,300	道路拡幅部等の物件移転補償、立木補償、営業補償等
12	役務費	1,795	携帯電話料、測量機器検査手数料、不動産鑑定料				
13	委託料	96,100	道路改良事業に伴う測量設計、用地測量、補償調査				
14	使用料及び賃借料	1,690	積算システム、コピー機使用料				
15	工事請負費	317,500	道路改良工事費				
上記の合計		609,352	職員の人件費合計 0	事業費総合計	609,352	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・市道豊科1595号線(豊科支所周辺)の道路整備
 ・市道三郷1342号線外(三郷支所周辺)の道路整備 ほか

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	8,000	豊科1595号線、三郷1342号線外の設計業務委託
合計		8,000	左記の特定財源 公共施設整備基金(8,000)

予算書ページ	262
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11002100
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	2	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路の整備
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業		具体的な施策	幹線道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	573,000	国支出金	県支出金	市債	その他	34,050
前年度	380,000			153,800		17,200
増減額	193,000		0	70,000	0	16,850

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	道路改良事業補助金	315,150							538,950
	21	特定交通安全事業	6,000							
	21	道路整備事業	217,800							

【目的・効果】

【目的】

・道路は暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で必要不可欠な社会基盤であり、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。

【効果】

・幹線道路の整備や歩道等安全施設の整備、橋梁長寿命化修繕計画による橋梁の修繕などにより、安全・安心な道路環境を構築する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・豊科1級26号線道路道路改良工事(豊科吉野)
- ・豊科北部209号線道路改良工事(豊科寺所)
- ・豊科1級16号線歩道設置工事(豊科寺所)
- ・穂高1級15号線歩道設置工事(穂高立足)
- ・橋梁長寿命化修繕工事(北村1号橋2号橋・すずらん橋・前川橋・龍門橋・赤沢橋 ほか)
- ・穂高1級6号橋道路改良工事(穂高本郷)
- ・三郷1級5号線道路改良工事(三郷上長尾)
- ・グリーンベルト設置工事(市内各地域)
- ・豊科1345号線道路改良工事(豊科新田)
- ・豊科209号線道路改良工事(豊科新田)
- ・豊科2055号線道路改良工事(豊科新田・細萱)
- ・穂高1級14号線道路改良工事(穂高島新田)
- ・明科5080号線道路改良工事(明科潮)
- ・堀金1級1号線道路改良工事(堀金岩原)
- ・堀金1269号線道路改良工事(堀金岩原)
- ・穂高1級10号線舗装修繕工事(穂高富田)
- ・穂高1級1号線他道路改良工事(穂高)

【一般財源増加理由】 交付金事業費の増額に伴う一般財源の増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	105,000	道路改良事業に伴う測量設計、用地測量、補償調査				
15	工事請負費	387,000	道路改良工事費、歩道設置工事費、グリーンベルト工事費				
17	公有財産購入費	36,000	道路拡幅部の用地買収費				
22	補償補填及び賠償金	45,000	道路拡幅部等の物件移転補償、立木補償 ほか				
上記の合計		573,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	573,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・穂高1級10号線(穂高富田)
道路ストック総点検(舗装路面性状調査)により、破損が進んでいる幹線道路について路盤改良を含めた舗装修繕を実施する。
- ・橋梁定期点検(市内全域)
道路法施行規則の改正(H26.7)により、橋梁の定期点検(5年に1回)が義務化された。橋長9m以上の橋について、点検・診断業務を委託する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	22,000	橋梁定期点検、舗装修繕工事に伴う設計業務ほか
15	工事請負費	58,000	舗装修繕工事
合計		80,000	左記の特定財源 道路改良事業補助金(44,000) 市債(32,400)

予算書ページ	264
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11002100
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当

予算	款	8	土木費	総合計	基本方針	安全・安心快適なまちの形成
	項	3	河川費	計画	主要施策	災害に強いまち
	目	1	河川費		基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108150	河川改修事業		具体的な施策	河川改修事業

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,000					13,000
前年度	14,000					14,000
増減額	1,000	0	0	0	0	1,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・豪雨や台風などによる準用河川や普通河川の氾濫を防ぐため河川改修を行う。

【効果】

・浸水や溢水、護岸決壊などを防止することにより、市民の生命・財産を守ると共に、地域の生活環境の整備が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・こはら沢改修
- ・勝手沢改修

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	3,000	測量設計				
15	工事請負費	10,000	改修工事費				

上記の合計	13,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,000	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・勝手沢改修

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	3,000	河川改修測量設計
合計		3,000	左記の特定財源

予算書ページ	386
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11002100
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木施設災害復旧費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路災害復旧費		基本施策	道路の整備
	事業	0111010	道路災害復旧事業		具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,000	4,669				5,331
前年度	10,000	4,669				5,331
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公共土木施設災害復旧事業負担金	4,669							4,669

【目的・効果】

【目的】

・市が管理している公共土木施設(道路、河川)が、異常気象で被災した場合に施設機能の早期の復旧を図る。

【効果】

・施設の早期の機能復旧により市民生活が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・災害復旧に係る測量設計、工事費

【一般財源増加理由】 迅速な復旧の対応をするための当初予算を計上した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	2,000	災害復旧工事測量設計				
15	工事請負費	8,000	災害復旧工事				

上記の合計	10,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,000	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・災害復旧に係る測量設計、工事費

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	2,000	災害復旧工事測量設計
15	工事請負費	8,000	災害復旧工事
合計		10,000	左記の特定財源 公共土木施設災害復旧事業負担金(4,669千円)

予算書ページ	258
--------	-----

重点項目番号	4	コード	011002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	土木管理費		基本施策	道路の整備
	事業	0108030	建設機械管理費		具体的な施策	除雪対策

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	51,235	26,660				24,575
前年度	5,999					5,999
増減額	45,236	26,660	0	0	0	18,576

特定財源の内訳	款	14	道路改良費補助金	金額	26,660	合計金額	26,660

【目的・効果】

【目的】

・市所有の除雪用建設重機19台及び維持作業車11台の保守管理を行う。また、除雪体制の向上を図るため除雪用建設機械を増強する。

【効果】

・除雪用建設重機の適切な管理を行うことにより、冬期間の円滑な道路交通を確保するための除雪融雪作業に備える。また、維持作業車の適切な管理により維持作業を進めることで、市道の安全性の確保や利便性の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・除雪用建設機械及び維持作業車の車検整備、法定特定自主検査の実施及び重機等の修繕を行う。
 ・社会資本整備総合交付金を活用し、排雪及び除雪用に小型ロータリー除雪車(1.5m級)、除雪用ドーザ(8t級)を購入する。

【一般財源増加理由】 維持作業車11台分の車検費用及び修繕料等(5,384千円増)、除雪用建設機械の購入(13,192千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	8,290	重機・維持作業車消耗品、燃料、機械修繕				
12	役務費	2,663	法定特定自主検査、車検手数料、自賠責保険料				
18	備品購入費	39,852	除雪用ドーザ(8t級)、小型ロータリー除雪車(1.5m級)				
27	公課費	430	重機・維持作業車重量税				
上記の合計		51,235	職員の人件費合計	0	事業費総合計	51,235	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・除雪業務を委託するにあたり、市が保有する重機を増強(業者に貸与)し円滑な除雪作業を進めるために、補助金を活用して除雪用建設機械を購入する。

・2月の雪害時、拡幅のための排雪作業に苦慮したことから排雪用建設機械を購入する。

除雪用ドーザ(8t級)、小型ロータリー除雪車(1.5m級)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	39,852	除雪ドーザ(8t級)、小型ロータリー除雪車(1.5m級)
合計		39,852	左記の特定財源 道路改良費補助金(26,660)

重点項目番号	4	コード	011002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

予算	款	8	土木費	総合計 画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108070	道路橋梁維持費		具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	314,662				305,500	9,162
前年度	285,553				38,000	247,553
増減額	29,109	0	0	0	267,500	238,391

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	道路復旧費原因者負担金	85,500							
18	公共施設整備基金	220,000								

【目的・効果】
【目的】
 ・道路橋梁などを適切に維持管理し、利用者が安全で安心して利用できる道路環境を提供する。
 ・上下水道工事に伴う舗装復旧箇所の本復旧工事を実施することで、路面の機能回復を図る。
【効果】
 ・道路利用者に安全に安心して利用できる道路環境を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・区からの改善要望及び課題に対応した道路施設の維持補修や改修工事を進める。
 ・道路パトロールの実施や市民からの連絡を受けた道路施設の危険個所の補修を進める。
 ・上下水道管布設後の仮復旧箇所における舗装本復旧工事を進める。
 ・路肩の除草等の道路清掃、道路側溝清掃を進める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
				19	負担金補助及び交付金	44	中房線道路愛護会負担金
11	需用費	3,337	道路維持作業消耗品、道路施設修繕、道路施設電気料				
12	役務費	80	常温合材空袋ほか処理手数料				
13	委託料	5,350	道路清掃作業委託、舗装修繕に係る調査委託				
14	使用料及び賃借料	251	機械借上料				
15	工事請負費	301,600	道路維持工事、上下水道関連道路占用路面本復旧工事、ハーフマラソンコース補修費				
16	原材料費	4,000	道路補修用原材料				
上記の合計		314,662	職員の人件費合計	0	事業費総合計	314,662	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・舗装支持力調査等委託
 ・ハーフマラソンコース整備補修工事

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	1,350	舗装修繕工事に伴う舗装支持力調査委託ほか
15	工事請負費	3,000	ハーフマラソンコース補修
合計		4,350	左記の特定財源 公共施設整備基金(4,350)

予算書ページ	260
--------	-----

重点項目番号	4-4		コード	011002200		
			部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当		
予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108080	除雪対策費		具体的な施策	除雪対策

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	151,178					151,178
前年度	54,310					54,310
増減額	96,868	0	0	0	0	96,868

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額	
							0

【目的・効果】

【目的】

・冬期間における市道の安全迅速かつ効果的な除雪融雪作業を行うことにより、円滑な道路交通を確保し、市内の産業・経済活動と、市民生活の安定を図る。

【効果】

・市内の産業・経済活動と、市民生活の安定を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・凍結防止剤購入費について、通年予算額を計上する。

・除雪業務及び凍結防止剤散布業務の作業委託料について、通年予算額を計上する。

・除雪用タイヤドーザについて、トラクター除雪からの切り替えに伴う作業機械の不足を借り上げにより確保する。

・市の除雪車が入らない生活道路や歩道の除雪を、地域の皆さんに協力していただくために、歩行型除雪機を購入して各区へ貸与する。

【一般財源増加倍由】 凍結防止剤購入費、除雪等業務委託料の当初予算計上額の増。 除雪機械借上料及び歩行型除雪機の購入費増。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	14,533	凍結防止剤、除雪基地の修繕及び光熱水費						
12	役務費	358	降雪量調査、除雪ボランティア保険						
13	委託料	87,303	除雪業務委託料、凍結防止剤散布業務委託料、機械管理費						
14	使用料及び賃借料	9,954	除雪用タイヤドーザ借上料						
18	備品購入費	39,030	歩行型除雪機						
上記の合計		151,178	職員の人件費合計	0	事業費総合計	151,178	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4-4	コード	011002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安心・安全・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	3	交通安全施設費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0108120	交通安全施設整備費		具体的な施策	防犯・交通安全施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
27,620	27,620					27,620
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・交通安全施設を適切に維持管理することで、交通上の安全確保を図り、安全・安心な道路環境を提供する。

【効果】

・交通安全施設の維持及び整備を進めることで、安全に安心して利用できる道路環境を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・区からの改善要望及び課題に対応した交通安全施設の維持補修を進める。
 ・交通安全施設(ガードレール、道路反射鏡、警戒標識、路面標示等)の補修・改修の整備工事を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,620	道路反射鏡ほか交通安全施設の緊急修繕				
15	工事請負費	26,000	区からの修繕及び新設要望への対応工事 ガードレール・防護柵、区画線等の路面標示、警戒標識の設置				
上記の合計							
		27,620	職員の人件費合計			0	事業費総合計
						27,620	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	264
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	011002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	3	河川費		主要施策	災害に強いまち
	目	1	河川費		基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108160	河川維持費		具体的な施策	危険箇所解消

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,914					18,914
前年度	19,259					19,259
増減額	345	0	0	0	0	345

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・準用河川及び普通河川を適切に維持管理することにより、出水時の災害に備え、安全・安心な河川環境を市民に提供する。
- ・水防倉庫及び水防資材の管理、河川構造物の維持補修を行う。

【効果】

- ・市民が安全に安心して利用できる河川環境を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・河川敷地の除草、支障木の伐採
- ・沈砂池の維持管理(土砂除去等)
- ・河川構造物の小規模修繕
- ・水防施設(水防倉庫)の維持補修および水防資材の管理
- ・老朽化した水防倉庫の改築の実施

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	274	土のう袋等の応急資材購入、水防倉庫の光熱水費				
12	役務費	239	明科排水ポンプ保守点検手数料				
13	委託料	500	河川敷き除草ほか				
14	使用料及び賃借料	48	建設課維持担当直通回線使用料				
15	工事請負費	17,353	堆積土砂撤去、支障木伐採処分、河川施設修繕、水防倉庫改築				
16	原材料費	500	砕石、洗滌砂等水防資材費				
上記の合計		18,914	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,914	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-4	コード	11003100	予算書ページ	266	
		部・課・係等	都市建設部 都市建設課 計画係			
予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	1	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108180	都市計画総務費		具体的な施策	計画的なまちづくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	220,621	3,890	4,225		33,062	179,444
前年度	203,591	3,810	4,335		39,823	155,623
増減額	17,030	80	110	0	6,761	23,821

特定財源の内訳	款	13	公営住宅使用料	金額	33,032	款	20	都市計画図等交付台	金額	30	合計金額	
		14	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	金額	3,890							41,177
		15	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金	金額	4,225							

【目的・効果】
【目的】
 ・秩序ある土地利用を推進し、生活基盤や経済基盤等の整備を図りつつ、均衡ある発展と適正かつ合理的な土地利用に努め、計画的なまちづくりを推進する。
【効果】
 ・豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守りつつ、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりを推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・都市計画基礎調査の結果を踏まえ、土地利用基本計画の見直しを行う。
 ・土地利用基本計画の見直しに伴い、都市計画図及び土地利用基本図を作成する。
 ・安曇野インター東地域について、ポテンシャルの整理及び土地利用の基本方針を検討する。
 ・都市計画図書(永年保存)を電子化して保存する。
 ・地域交通の把握及び分析のため、交通量調査を実施する。
 ・市耐震改修促進計画に基づき、住宅所有者の申出により耐震診断士を無料で派遣し住宅の地震に対する安全性を診断する。
 (簡易耐震診断 100件 精密耐震診断 80件)
 また、耐震診断の結果より、効果のある耐震補強工事をする住宅所有者の申出により補助を行う。(補助額 工事費の1/2 最高60万円 15件)
 ・緑の基本計画策定を平成27・28年の2か年で行い、27年は現況把握のための調査を行う。

[一般財源増加理由]											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
1	報酬	870	都市計画審議会委員、緑の基本計画策定委員 土地利用審議会委員			19	負担金補助 及び交付金	9,944	都市計画協会外負担金・耐震補強工事補助		
8	報償費	760	制度評価委員会委員、緑の基本計画講演会講師								
9	旅費	1,145	職員旅費及び土地利用審議会・都市計画審議会・制度評価委員会委員旅費								
11	需用費	1,160	道路整備推進計画概要版印刷								
12	役務費	13	カラープリンター廃棄処分手数料								
13	委託料	36,042	土地利用制度適正化推進業務委託・耐震診断業務 緑の基本計画策定業務								
14	使用料及び 賃借料	158	制度評価委員会都内会場使用料								
上記の合計		50,092	職員の人件費合計	170,529	事業費総合計	220,621	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・土地利用基本計画の見直しに伴い、都市計画図及び土地利用基本図を現況に合わせて作成する。
 ・安曇野市全図(1/25,000白図)を現在の形状に合わせて作成する。
 ・劣化等が著しい、今までの永年保存の都市計画図書を電子化して保存する。
 ・前回調査してから5年経過し、交通センサスに合わせ、地域交通の把握及び分析をするに必要となるため、実施する。
 ・まちづくりを進める上で、この計画を作ることで交付率が上昇せされたり等メリットのある計画となるため、市に必要な調査する。
 ・都市計画マスタープランに基づき、「緑の基本計画」を平成27・28年度の2か年により策定し、緑の将来構想、保全のための施策の検討等を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	22,382	安曇野市土地利用基本図作成業務委託 安曇野市1/25,000地形図修正業務委託 都市計画図書類の電子化作業委託	
			安曇野市都市計画図修正業務委託 安曇野市交通量調査業務委託 安曇野市立地適正化予備調査業務委託	
			緑の基本計画策定業務委託	
合計		22,382	左記の特定財源	

予算書ページ	270
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11003200
		部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	2	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108210	街路整備事業		具体的な施策	市街地の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	376,132	国支出金	県支出金	市債	その他	80,772
前年度	133,676				30,000	78,476
増減額	242,456		0	81,000	30,000	2,296

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14		社会資本整備総合交付金(街路分)	110,000						
14		都市再生整備計画事業	44,360							
21		街路事業	81,000							

【目的・効果】
【目的】
 ・来訪者の回遊性・居住者の利便性を高める空間整備を行い、良好な自然環境を活用した活力あるまちづくりを目指す。
【効果】
 ・来訪者が安曇野の自然を体感できる拠点施設、幹線道路の整備を図ることで、観光による交流人口の増加を拡大させ、また市民が生活する上での快適性につながり、人口減少による影響を軽減することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・明科駅前広場詳細設計(市単独事業) A=1ha 穂高駅北街路実施設計(都市再生整備計画事業) L=650m
 ・明科駅前まちづくり基本構想策定業務 A=5ha(市単独事業)
 ・吉野線補償調査業務・用地調査業務(市単独事業)、用地・建物補償(社会資本整備総合交付金事業) L=460m W=12m
 ・穂高駅前広場整備工事 A=2400㎡(都市再生整備計画事業)

[一般財源増加理由] 国道19号歩道整備工事に伴う明科駅前広場及び周辺整備に関する業務委託費の増加、吉野線の用地買収・補償の着手に伴う増											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	24	参考図書								
13	委託料	46,992	明科駅前広場詳細設計、明科駅前基本構想策定、吉野線補償調査、吉野線用地調査、								
15	工事請負費	127,116	穂高駅前広場整備								
17	公有財産購入費	121,000	吉野線用地								
22	補償補填及び賠償金	81,000	吉野線補償物件								
上記の合計		376,132	職員の人件費合計	0	事業費総合計	376,132	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・明科駅前広場整備と明科駅周辺整備を都市再生整備計画事業の新規地区により、国道19号歩道整備事業とあわせて実施。27年度は、市単独事業により駅前広場詳細設計と周辺整備構想策定を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	9,936	明科駅前まちづくり基本構想	
13	委託料	8,640	明科駅前広場詳細設計	
合計		18,576	左記の特定財源	0

重点項目番号	4-4	コード	11003200			予算書ページ	274			
		部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係							
予算	款	8	土木費		総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成			
	項	4	都市計画費			主要施策	風土に根ざした魅力あるまち			
	目	4	都市下水道事業費			基本施策	秩序あるまちづくりの推進			
	事業	0108240	都市下水道維持管理費		画	具体的な施策	市街地の整備			
単位:千円										
当初予算額		特定財源				一般財源				
		国支出金	県支出金	市債	その他					
本年度	3,194					3,194				
前年度	950					950				
増減額	2,244	0	0	0	0	2,244				
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0
<p>【目的・効果】</p> <p>【目的】</p> <p>・安曇野市の都市下水道は年々都市化が進むなかで重要度を増しており、市街地の環境整備のために適正な維持管理を進める。</p> <p>【効果】</p> <p>・市街地の良好な環境を保つことができる。</p>										
<p>【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する</p> <p>・豊科地域の成相及び新田都市下水道は農業用水との用排兼用水路であり、地元の「新田農事組合」に委託して適正な維持管理を図る。</p> <p>・穂高地域の町尻都市下水道の放流先河川の排水機能に支障が生じているため、放流するルートを検討する。</p>										
[一般財源増加理由] 町尻下水道の放流ルート検討業務委託の増										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	150	水路修繕費							
13	委託料	2,180	成相及び新田都市下水道管理委託料、町尻下水道ルート検討業務							
15	工事請負費	864	漏水対策工事、大井戸川維持工事							
上記の合計										
	3,194	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,194	OK				
<p>【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】</p> <p>・大井戸川維持工事を下水道事業より移動、大井戸川の豪雨時排水機能向上のための町尻都市下水道の流入ルート検討業務を委託</p>										
節	節名称	金額(千円)	主な内容							
13	委託料	1,880	大井戸川への町尻都市下水道の流入ルート検討業務委託							
15	工事請負費	324	穂高町尻下水道下流の大井戸川維持工事							
合計										
	2,204	左記の特定財源 0								

重点項目番号	4-4	コード	11003200			予算書ページ	274
		部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係				
予算	款	8	土木費		総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費			主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	4	都市下水道事業費			基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108250	市街地排水路改修事業		画	具体的な施策	市街地の整備

当初予算額		特定財源				一般財源		単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他			
本年度	9,375							9,375
前年度	6,600							6,600
増減額	2,775	0	0	0	0			2,775

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	細節名称		細節名称		細節名称		0

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野市の市街地は農地が混在しているおり、市街地排水路は農業用水路と兼用している場合が多く、改修の必要性が生じてきているためこれを改修する。
【効果】
 ・農業用水路と兼用しているため、昨今の集中豪雨により中心市街地水路の越水が頻発しており、流下能力の低い水路の改修を行うことにより、災害を未然に防止できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・工事場所 豊科成相1地区 BF500 L=54m
 豊科成相2地区 BF500 L=175m
 豊科吉野地区 BF500型 L=48m
 ・市街地の排水を早急に整備し、災害を未然に防止する。

[一般財源増加理由]		工事個所の増							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
13	委託料	1,491	水路測量設計業務						
15	工事請負費	7,884	水路改修工事						
上記の合計		9,375	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,375	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	272
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11003300
		部・課・係等	都市建設部 都市計画課 公園緑地係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	3	公園事業費		基本施策	住環境の整備
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業		具体的な施策	公園の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	180,711	28,800		18,000	7,676	126,235
前年度	145,864	28,000		18,000	7,676	92,188
増減額	34,847	800	0	0	0	34,047

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	緑山公園使用料	1,678	14	社会資本整備総合交付金	20,000	21	都市公園事業	18,000		
13	室山アグリパーク施設使用料	308	14	都市再生整備計画事業	8,800					

【目的・効果】

【目的】

・市内公園の多くは造成から年数が経過するとともに公園施設の老朽化が進行しており、更新や修繕が必要となってきている。都市公園においては、平成26年5月に策定された公園施設長寿命化計画に沿って計画的に修繕及び更新を行っていく。また、日頃のパトロール等により不具合箇所を把握し、市民の安全安心を図る。

【効果】

・公園が地域住民の憩い・交流・レクリエーション等の場所となり、住環境の快適性を向上させることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・日常の維持管理を地元団体、シルバー人材センター、専門業者に委託する。
- ・公園施設長寿命化対策支援事業、都市再生整備計画事業、市単独事業により老朽化した公園施設(遊具、トイレ等)の更新を図る。
- ・三郷文化公園体育館大規模改修のための設計業務を委託する。(市単独事業)

〔一般財源増加理由〕 緑の基本計画策定業務・三郷文化公園体育館大規模改修に伴う実施設計業務の委託料及び公園施設長寿命化計画に伴う工事費の増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	280	三郷文化公園のリンゴの木の手入れ、豊科南部総合公園イベントでの報酬	18	備品購入費	685	物置、芝刈り機
11	需用費	25,088	公園維持に関わる消耗品、施設修繕費、光熱水費	19	負担金補助及び交付金	112	賦課金
12	役務費	397	南部総合公園、緑山公園研成のホール電話料、その他公園の汲取り料	23	償還金、利子及び割引料	30	使用料還付金
13	委託料	62,952	公園維持管理委託料、三郷文化公園体育館整備設計業務委託料				
14	使用料及び賃借料	7,594	公園敷地賃借料				
15	工事請負費	83,059	公園施設長寿命化対策支援事業、都市再生整備計画事業による公園施設の更新等				
15	原材料費	514	砂場用砂、マレットゴルフ場用赤土				
上記の合計		180,711	職員の人件費合計	0	事業費総合計	180,711	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・平成4年に建築され老朽化が進行している三郷文化公園体育館の大規模改修のための設計を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	14,481	三郷文化公園体育館整備設計業務委託料
合計		14,481	左記の特定財源 0

重点項目番号	4-4	コード	11004100
		部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 建築景観係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	1	都市計画総務費		基本施策	景観の保全・育成
	事業	0108190	景観整備事業		具体的な施策	環境と景観に配慮したまちづくり

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,861				100	15,761
前年度	5,676				50	5,626
増減額	10,185	0	0	0	50	10,135

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	屋外広告物許可手数料	100							

【目的・効果】
【目的】
 ・景観条例、屋外広告物条例を適正に運用する。
 ・景観づくり住民協定の活動支援と住宅地の緑化推進を図る。
【効果】
 ・よい景観をつくることで、市民の暮らしの満足度や充実感を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・景観及び屋外広告物の手続きに関し、窓口において適切な案内と指導を行うとともに、定期パトロールを実施する。
 ・「緑のまちづくり事業」として、記念樹(苗木)の配布及び生垣設置、ブロック塀撤去に対する補助を行う。
 ・景観づくり住民協定に対する支援として、活動・運営の補助を行う。

【一般財源増加理由】 「緑のまちづくり事業」実施に伴う、需用費(苗木代等)及び負担金補助及び交付金(生垣設置補助金)の新規増による。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	231	景観審議会委員報酬						
7	賃金	1,736	臨時職員賃金						
8	報償費	224	景観住民協定連絡会 総会・役員会出席謝礼外						
9	旅費	118	景観まちづくり研修等参加旅費						
11	需用費	156	事務消耗品						
13	委託料	432	景観、緑化に関する展示パネル作成						
19	負担金補助及び交付金	12,964	緑のまちづくり事業(記念樹配布事業負担金、生垣設置等補助金)、景観づくり住民協定補助金						
上記の合計		15,861	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,861	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・緑あふれる住宅地の形成と緑化に対する住民意識の向上を目指し、「緑のまちづくり事業」を実施する。
 ・事業内容は、住宅の新築、お誕生、小学校入学及び結婚のお祝いとしての記念樹配布と、新たな生垣設置やブロック塀を撤去し生垣設置する場合の設置・解体費用について補助を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
13	委託料	432	景観、緑化に関する展示パネル作成	
19	負担金補助及び交付金	9,542	記念樹(苗木)配布1,225本、生垣設置補助40件、ブロック塀撤去補助15件	
合計		9,974	左記の特定財源	

予算書ページ	270
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	11004200
		部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 開発調整係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	環境をまもり、安全・安心なまちづくり
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根差した魅力あるまち
	目	1	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108200	土地利用調整事業		具体的な施策	計画的なまちづくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
426	436	10	0	0	0	0
						426
						436
						10

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

まちづくりの基盤となる土地の適正かつ合理的な利用を促進する。

【効果】

- ・安曇野の自然環境や景観を維持しながら、計画的に活力ある街づくりを推進する制度が確立される。
- ・暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市の基盤づくりを推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・資料等により市民や開発事業者に対し分かりやすく丁寧な説明をする。
- ・係内で情報を共有することにより土地利用制度の適正な運用を図る。
- ・条例等の運用にあたっての問題点・課題を抽出し、関係部局と協議し改善を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	41	職員研修旅費				
11	需用費	200	書籍類、事務用品				
19	負担金補助及び交付金	185	職員研修負担金 職員宿泊負担金				
上記の合計		426	職員の人件費合計	0	事業費総合計	426	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	276
--------	-----

重点項目番号	4-4	コード	011004300
		部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 住宅係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	5	住宅費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	1	住宅管理費		基本施策	住環境の整備
	事業	0108290	住宅管理費		具体的な施策	公営住宅の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
26,981	21,040	5,941		1,140		19,900
				0	0	7,081
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公営住宅使用料	23,483	13	公営住宅駐車場使用料滞納繰越分		20	公営住宅等一時使用料	10	
13	公営住宅駐車場使用料	3,246	13	公営住宅滞納督促手数料		20	市営住宅工事費負担金	23		
13	公営住宅使用料滞納繰越分	1	20	太陽光発電電等	216				26,981	

【目的・効果】

【目的】

安全で快適に暮らせる住環境を確保するため、市営住宅14箇所、特定公共賃貸住宅2箇所の統括管理を行う。

【効果】

住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で賃貸することで、セーフティネットの役割を持ち、市民生活安定と社会福祉の増進に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・入居の募集、入居決定、入居・退去の立ち合いを実施する。
- ・入居者が快適に生活できるよう、建物、遊具、敷地内全般の維持管理・修繕を実施する。
- ・住宅使用料の算定、納付通知の発送、住宅使用料の徴収・収納管理を実施する。
- ・市営住宅の改修・取壊し工事を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	126	市営住宅管理人謝礼				
11	需用費	11,946	消耗品、施設修繕費、電気料				
12	役務費	608	遊具点検、火災保険料				
13	委託料	1,271	管理委託料				
15	工事請負費	12,164	市営住宅改修・取壊し工事				
16	原材料費	26	市営住宅敷地用碎石				
22	報償、補填及び賠償金	840	市営住宅改修工事に伴う移転補償金				
上記の合計		26,981	職員の人件費合計	0	事業費総合計	26,981	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・県営・市営アルプス団地も老朽化が進み、すでに募集停止をしており、空家も増えてきている中で、地元の区からも空家に対する防災・防犯・環境上の不安などの声が多数聞こえている。また、入居者が点在している状況を解消することや、周辺への環境整備の必要もあるため、居住者をできるだけ集約し、不用な棟は取り壊していく。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	11,664	市営住宅改修・取壊し工事
22	報償、補填及び賠償金	840	市営住宅改修工事に伴う移転補償金
合計		12,504	左記の特定財源 公営住宅使用料(100%)

上下水道部

予算書ページ	204
--------	-----

重点項目番号	4	コード	11101100
		部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	3	上水道費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	上水道施設費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0104300	公営企業支出金		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	171,362	国支出金	県支出金	市債	その他	59,362
前年度	654,562			595,200		59,362
増減額	483,200	0	0	483,200	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	一般会計出資債(上水道分)	112,000							

【目的・効果】

【目的】

水道は欠くことができない重要なライフラインであり、常に安心・安全・安定的な水質で、かつ適正な価格で持続的に供給できるよう効率的な管理体制・配水体系の確立を目指す。

【効果】

市内水源が全て地下水になることにより、安心・安全な水を安定的に供給することができるだけでなく、今後、5地域の水道事業を統合することで経営・管理の一体化による効率的な運用により財政的運営基盤の強化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

安曇野市水道事業第1次拡張事業として、施設外構整備や真々部配水池へのろ過装置の設置、前年度舗装復旧工事を実施する。

これにより、三郷地域での黒沢川の表流水から地下水への水源転換が完了し、安全で安心な水源を確保し、安定的な供給を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	59,362	光ニュータウン関連水道事業負担金 下水道工事関連水道事業負担金				
24	投資及び出資金	112,000	安曇野市水道事業第1次拡張事業				
上記の合計		171,362	職員の人件費合計	0	事業費総合計	171,362	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	194
--------	-----

重点項目番号	4	コード	11103100			
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当			
予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	環境衛生費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	18,016	国支出金	県支出金	市債	その他	10,183
前年度	18,016	4,050	3,783			10,183
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国庫支出金		4,050						
15	県支出金		3,783							

【目的・効果】
【目的】
 ・下水道事業計画区域外での水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置を推進し、生活環境の向上を目指す。
【効果】
 ・生活環境の向上及び公共用水域の水質改善につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・下水道事業計画区域外で専用住宅において合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付する。

【一般財源増加倍理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	18,016	合併浄化槽設置補助金等				
上記の合計 18,016 職員の人件費合計 事業費総合計 18,016 OK							

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	276
--------	-----

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	下水道事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0108270	下水道事業		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,305,040					2,305,040
前年度	2,039,171					2,039,171
増減額	265,869	0	0	0	0	265,869

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業及び農業集落排水事業の健全な財政運営を図る。

【効果】

・下水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計を円滑に執行することができる。
 ・使用料単価を抑え下水道利用者の負担を軽減することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・繰り出し基準の範囲内において、予算を執行するうえで適切な時期に繰り出しを行う。

繰出額 下水道事業特別会計 2,154,905千円
 農業集落排水事業特別会計 150,135千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
28	繰出金	2,305,040	下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計への繰出金				
上記の合計							
		2,305,040	職員の人件費合計			2,305,040	事業費総合計 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計			
		0	左記の特定財源

会計課

予算書ページ	80
--------	----

重点項目番号	5-3	コード	202240
		部・課・係等	会計課 出納係・審査係

予算	款	2	総務費	総合 計 画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	4	会計管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102240	会計管理費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
8,176	4,219	3,957	0	0	0	1,155
						7,021
						3,064
						3,957

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	財務会計処理実費徴収	1,154							
20	会計雑入	1								

【目的・効果】

【目的】

・市財務規則等にとり、適正に市会計事務全般を処理する。

【効果】

・健全な財政運営のための基本である、公金の適正な管理を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・現金及び物品等の出納事務
- ・伝票等の審査事務
- ・決算書の調製
- ・基金等の管理・運用

【一般財源増加理由】 文書保存用新指定物品の購入費用、並びに穂高支所指定金融機関派出手数料の計上による。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
9	旅費	54	職員研修旅費						
11	需用費	5,374	口座振込通知書、各種封筒、文書整理物品等						
12	役務費	2,542	金融機関手数料						
14	使用料及び賃借料	72	指定金融機関とのデータ伝送サービス						
18	備品購入費	61	書庫用特殊台車(階段運搬用)						
19	負担金補助及び交付金	63	研修会負担金						
22	補償補填及び賠償金	10	欠損補填金						
上記の合計		8,176	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,176	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・11需用費 公文書の整理保存方法を簿冊方式からファイリング方式へ変更するに伴い、使用が始まるフォルダー、ボックスファイル等を指定物品として全課分購入する。(追加必要分)
 ・12役務費 穂高支所窓口の指定金融機関派出業務手数料を支払う。(市などへの派出人員は基本的に1人とされているが、当市は合併による経過措置として現在2人となっている(豊科支所と穂高支所に1人ずつ)。取扱件数に大きな差はなく両方ともに置きたいことから、豊科支所の派出は次年度より新本庁舎へスライドいただき、穂高支所分の派出業務手数料を支払うことと今後も2人体制を継続する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
11	需用費	2,469	文書保存用個別ホルダー、ボックスファイル、見出しガイドほか	
12	役務費	2,160	派出派遣手数料1人	
合計		4,629	左記の特定財源	

教育部 (教育委員会)

予算書ページ	286
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301100
		部・課・係等	教育部・学校教育課・教育総務係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	教育委員会費		基本施策	
	事業	0110010	教育委員会費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
5,727	5,535					5,727
192	192	0	0	0	0	192

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・教育委員の活動に必要な経費を支出する。

【効果】

・教育委員会の職務である学校等の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教育職員の身分取扱いに関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・教育委員4人の報酬の支出
 - ・学校教職員初任者研修の実施
 - ・関東地区郡市教育長協議会総会への参加外、関係所轄会議への出席
 - ・長野県郡市教育委員会連絡協議会外の負担金支出
- 教育委員会制度改革に伴う対応(主な改正ポイント)
- 1 教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置
 - 2 教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化
 - 3 すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置
 - 4 教育に関する「大綱」を首長が策定

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	3,628	教育委員(4人)報酬				
08	報償費	37	教育委員視察土産、教育委員会組織点検評価				
09	旅費	247	職員旅費、教育委員旅費				
10	交際費	24	教育委員交際費				
11	需用費	278	事務用品、参考図書代、会議贈り、教育要覧印刷代				
13	委託料	861	マイクロバス運転、会議録作成委託料				
19	負担金補助及び交付金	652	県教育委員会連絡協議会外、会議出席負担金				
上記の合計		5,727	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,727	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	286
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301100・11301200・11301300・11301400
		部・課・係等	教育部 学校教育課 教育総務係・教育指導室・学校庶務担当・学校教育係

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110015	事務局費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	199,555	国支出金	県支出金	市債	その他	199,549
前年度	199,637	1,240			3,509	194,888
増減額	82	1,240	0	0	3,503	4,661

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	奨学金基金利息	6							6

【目的・効果】

【目的】

・教育委員会事務局として必要な活動を進め、学校・家庭・地域と連携し、地域に根ざした学校づくりを目指す。

【効果】

・学校教育の充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・教育指導室に学習指導員を配置し、学校と連携指導を進めるとともに、教育相談員(教育相談室)を配置し、各種教育相談事業を進める。

教育相談室については、豊科公民館が改修中の為『堀金公民館』で運営中。

・学校での安全対策を図るため、防犯ブザー、熊よけ鈴の配布、学校安全マップの作成、学校安全連絡網メール配信システムを有効に活用する。

・教職員の健康診断事業及びカウンセリング事業の推進により、心身の健康管理事業を進める。

・学校行事への市バスの運行・民間所有バス借上げにより、行事等に係る保護者負担の軽減を図る。

・市長会長外関係団体への負担金及び補助金の支出を行う。

・県大会以上への大会出場時における参加補助及び私立高等学校への運営補助金の交付

【一般財源増加理由】 特定財源の国庫負担金幼稚園就園奨励費、その他ホームステイ負担金を別事業に計上

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	210	通学区域審議委員	14	使用料及び賃借料	16,360	公用車リース、7学校行事用バス・図書館システム・センターサーバ借上料、学校安全連絡網メール配信システム使用料
07	賃金	12,055	教育指導員、学習指導員、教育相談員、一般事務者賃金	15	工事請負費	756	通学路標識設置外
08	報償費	5,603	講演会講師謝礼、心身障害児就学相談調査員謝礼、教育相談員、小中学校管理医、結核対策委員、いじめ対策委員謝礼	18	備品購入費	2,685	小型除雪機3台・手押し刈払機2台、WISC- 知能検査器、軽トラック2台
09	旅費	323	職員旅費(研修会)、教育相談員・研修会講師等実費弁償	19	負担金、補助金及び交付金	17,005	校長会負担金(国・県・市)、市PTA連合会補助金、各種大会出場補助金(学校)、私立高等学校運営費補助金
11	需用費	4,343	消耗品、燃料費(公用車)、印刷製本費、物品修繕費外	25	積立金	7	奨学金基金利息
12	役務費	2,032	教育相談室電話料、携帯電話使用料、公用車車検手数料、保険料外	27	公課費	147	公用車重量税
13	委託料	9,491	学校行事市バス運転委託料、センターサーバ保守管理、教職員健康診断、結核健康診断精密検査外				
上記の合計		71,017	職員の人件費合計 128,538		事業費総合計	199,555	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・学校ICT導入計画作成業務

各学校の情報機器等を調査し、今後の情報機器の導入計画立案する。

・学校システム センターサーバ管理保守・借上料

各学校の公公用・教育用PCのサーバを集約し、セキュリティの確保、高速化を図るため、教育委員会でサーバを管理する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	485	センターサーバ管理保守。ウィルス対策ソフトの更新を行うための経費。
13	委託料	999	学校ICT導入計画作成業務。各学校の情報機器等を調査し、今後の情報機器の導入計画を立案するための経費。
14	使用料及び借上料	5,605	センターサーバ借上料。センターサーバのリース料を計上。
合計		7,089	左記の特定財源

重点項目番号	3
--------	---

コード	11301300・011301200
部・課・係等	教育部 学校教育課 教育総務係・教育指導室

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110020	学校支援員配置事業	画	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	128,247					128,247
前年度	134,540					134,540
増減額	6,293	0	0	0	0	6,293

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・各学校に支援員外を配置することにより、不登校や心身障害児等、配慮を要する児童生徒への支援や教科指導の充実をさせる。またスクールカウンセラーを派遣し、教育相談の充実を図る。

【効果】

・教諭の補助的な支援により、指導内容が広がるとともに、少人数による行きとどいた支援が可能となる。
 ・児童生徒の個々に応じた指導や支援により、安全で適切な教育が実現する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・特別支援学級支援員、障害児支援介助員、中間教室適応指導員、学習支援員については、市内17校の学校長ヒアリングを実施し、審議の上、配置(任務及び人数と時間数)を決定。人選については校長会に依頼。

・スクールカウンセラーについては、県からの派遣で対応できない学校に市から派遣をし、全ての学校に配置できるようにしている。

・小中学校の実情や要望により障害児等指導相談員を派遣し、教職員や保護者への支援・助言・相談を実施している。

・放課後学習室は全小学校で放課後に実施。校長会と連携し、指導者を派遣している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	121,806	障害児支援員、特別支援学級補助員、少人数・学習支援員、中間教室指導員、医療支援員(看護師)、不登校支援カウンセラー						
08	報償費	5,519	スクールカウンセラー(臨床心理士・カウンセラー)、障害児等指導相談員、放課後学習室支援員謝礼						
09	旅費	916	臨床心理士、認定カウンセラー、作業療法士、言語聴覚士、学校心理士等謝礼						
14	使用料及び賃借料	6	病院等駐車場代						
上記の合計		128,247	職員の人件費合計			0	事業費総合計	128,247	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	290
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301400
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校教育係

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費	基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110025	スクールサポート事業	具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,266					7,266
前年度	7,290					7,290
増減額	24	0	0	0	0	24

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

- ・学校・地域・家庭が一体となって子ども達の「生きる力」を育む。

【効果】

- ・教職員の子どもと向かい合う時間の拡充。
- ・異世代間交流、地域の人々との交流により地域をより身近に感じられる。
- ・ボランティア活動をされる高齢者の方々の生活の充実。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・学校支援プログラムによるボランティアの派遣
- 〔学習支援活動〕〔子ども安全支援活動〕〔総合的な学習・読書支援活動〕〔環境整備支援活動〕
- 〔課外活動・部活動支援活動〕
- ・実行委員会による学校支援の企画事業評価
- ・地域教育協議会による学校評価、ボランティア事業の確認、普及啓発
- ・地域コーディネーター及びボランティア養成講座の開催

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	6,686	コーディネーター・ボランティア養成講座講師、子ども安全対策講習会、学習支援活動、立志塾、部活動外部指導者謝礼外				
09	旅費	197	子ども安全対策講習会講師等旅費				
11	需用費	68	事業用消耗品				
12	役務費	315	地域教育協議会ボランティア保険料				
上記の合計		7,266	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,266	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	コード	11301200
		部・課・係等	教育部 学校教育課 教育指導室

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110030	中間教室運営事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,728	6,975	247	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・不登校児童生徒が通い、学習指導やソーシャルスキルトレーニング、教育相談等を受けながら学校復帰を目指す。

【効果】

・不登校児童生徒の引きこもりを防止できる。 ・学習意欲を持たせ、学習の場を保障できる。
 ・通室仲間との人間関係づくりが登校意欲につながる。 ・学校との連携により、学校登校者が増える。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【施設概要等】

・けやきの家(中学生対象) 所在地:豊科5731-1 臨時講師(適応指導員)1名、臨時指導員(メンタルフレンド)1名配置
 ・ねむの木(小学生対象) 所在地:豊科5228-12 臨時講師(適応指導員)1名、臨時指導員(メンタルフレンド)1名配置

・けやきの家(中学生対象)、ねむの木(小学生対象)の運営を行うための経費を支出する。
 ・平成28年度中に施設改修中の豊科公民館内への移転対応を進める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	6,048	けやきの家、ねむの木講師、臨時指導員賃金				
08	報償費	10	中間教室使用教材等消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費				
11	需用費	546	中間教室使用教材等消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費				
12	役務費	96	施設電話料				
14	使用料及び賃借料	28	あづみ野テレビ使用料				
上記の合計		6,728	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,728	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	292
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110035	スクールバス運行事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	69,323					69,323
前年度	58,591					58,591
増減額	10,732	0	0	0	0	10,732

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
市所有バス及び業者所有バスにより、遠距離(基本として4km以上)に居住する児童・生徒の安全確保のためバスを運行する。

【運行経路】
豊科南小学校 2経路
穂高北小学校 3経路
穂高西小学校 1経路
三郷小学校 1経路
明南小学校 2経路
明北小学校 2経路(明科中含むについて運行)

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,588	スクールバスに関する消耗品(通常及びタイヤ外)、軽油代、車検等に伴う修繕費				
12	役務費	478	車検代、3ヶ月点検代及び自賠責保険料外				
13	委託料	67,148	12路線運行に伴う運行委託料 市バス3台及び業者所有12台				
27	公課費	109	自動車重量税				
上記の合計		69,323	職員の人件費合計	0	事業費総合計	69,323	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】			
節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	293
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	住宅管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110040	教職員住宅維持管理事業費		具体的な施策	学校施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	19,233	国支出金	県支出金	市債	その他	8,811
前年度	18,332				12,360	5,972
増減額	901	0	0	0	1,938	2,839

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
		16	教員住宅使用料	10,422						

【目的・効果】

【目的】

- ・教職員住宅101戸の保守・点検・修繕の施設管理を行う。
- ・教員住宅建設費の償還を行う。橋爪教職員住宅(平成28年度完了)、押野教員住宅(集合)(平成30年度終了)の2施設。

【効果】

- ・教職員の住環境の整備が図れる。
- ・入居率の向上

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 教職員住宅の状況 (H27.1現在)

- 豊科地域:23戸(細菅・田沢・踏入・吉野地区)、穂高地域:38戸(上原・橋爪・柏原・柏矢町・旭町)、三郷地域:17戸(二木・下長尾・小倉)、堀金地域:9戸(上堀)、明科地域:14戸(宮本・上押野) 計101戸
- ・管理戸数の適正化として、老朽化等により賃貸に不適な施設の用途廃止を図る。
- ・保守・点検・修繕により住居環境を整える。
- ・消防設備等の点検
- ・教員住宅建設償還金対象:橋爪教員住宅及び押野教員住宅(集合)

【一般財源増加理由】 教員住宅使用料の減、住宅改修工事費他の増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,964	施設管理用消耗品、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	76	受水槽点検料、災害共済掛金				
13	委託料	1,313	下水道洗浄・消防施設点検料、測量業務委託料				
15	工事請負費	2,553	住宅管繕工事				
16	原材料費	23	補修用材料費				
23	償還金、利子及び割引料	13,304	建設償還金				
上記の合計		19,233	職員の人件費合計	0	事業費総合計	19,233	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	301
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301400
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校教育係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110070	小学校保健指導事業費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,125					18,125
前年度	17,924					17,924
増減額	201	0	0	0	0	201

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

学校における児童・生徒等の健康の保持推進と疾病を予防するために、学校保健安全法第13条及び同法施行規則に基づき、児童・生徒に対し毎学年定期的に、内科、耳鼻科、歯科、眼科について健康診断を実施する。

【効果】

・学校医による健康診断を行うことにより、児童・生徒等の健康の保持推進と疾病を予防することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・各小学校の学校医の先生による児童に対する内科・耳鼻科・歯科・眼科の定期健診及び就学時の検診の実施。
・児童の尿・心臓・血液・ぎょう虫検査の実施。

【一般財源増加理由】 臨時賃金単価が上がったため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	8,154	小学校校医報酬				
07	賃金	331	就学時健康診断事務等臨時職員賃金				
08	報償費	2,175	就学時健康診断医師等謝礼、学校歯科医検診時補助員、養護教諭補助看護師等派遣事業謝礼				
11	需用費	288	知能検査用紙、ケニ検査用消耗品、保健記録カード印刷代				
12	役務費	7,177	尿・心臓・血液・ぎょう虫検査代、オーゾメーター点検代				
上記の合計		18,125	職員の人件費合計			18,125	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	300
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 教育総務係/学校庶務担当/学校教育係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110075	小学校総務管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
125,741	120,744	4,997	0	0	0	10
						125,731
						120,724
						5,007

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	小学校公衆電話料	10							10

【目的・効果】
【目的】
 ・学校での安全な活動を図るため、必要な施設等の管理を行う。
【効果】
 ・学校生活を安全に送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務職員・図書館司書・学校庁務員の配置。
 ・各種施設の警備、点検保守を行う。
 ・各学校における図書館システムの管理保守を行う。
 ・校務及びパソコン教室におけるパソコンの更新検討・維持を行い、効率的なICT活用の促進を図る。
 ・老朽化が進んでいるピアノ・楽器の改修及び新規購入。

【一般財源増加理由】 パソコン更新年度延期に伴うサーバ保守、ソフトウェア更新経費増加のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	58,604	学校事務・図書館司書・庁務員賃金	18	備品購入費	4,724	校務用パソコン、音楽用グランドピアノ、デジタル印刷機、コピー機等購入費
08	報償費	601	卒業記念品代	19	負担金、補助金及び交付金	5,002	防火管理者負担金10校分、災害共済給付掛金
09	旅費	522	市費非常勤講師旅費(修学旅行・校外活動付き添い)、自家用車の公務使用(小学校10校)				
11	需用費	5,030	学校用消火器、小学校配分コピー用紙、図書館用リフタートナー・パソコン用インク、設備修繕用消耗品、校用パソコン修繕費外				
12	役務費	2,918	水質検査、樹木伐採、はかり定期検査、教室内科学物質標準検査、学校清掃業務、設備時計点検手数料外				
13	委託料	14,695	図書館システム保守、学校サーバ保守、学校設備業務(学校警備、自家用電気工作物保守、消防用設備、地下タンク・高架水槽・受水槽、エレベーター・プール施設)委託、不要薬品処理委託外				
14	使用料及び賃借料	33,645	校務・PC教室用パソコンリース、コピー印刷機リース料、学校図書館システム・情報機器・ソフトウェア使用料、学校用地・駐車場借地料				
上記の合計		125,741	職員の人件費合計	0	事業費総合計	125,741	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	302
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110080	豊科南小学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
13,097	12,884					13,097
増減額	213	0	0	0	0	213

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
 【効果】市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立豊科南小学校 所在地:安曇野市豊科2723 開校:昭和44年4月
 学校教育目標:1 自分を生きる子ども・2 豊かに生きる子ども・3 とともに生きる子ども
 児童数:682名 学級数:25(子ども病院内に院内学級設置) 教職員数:42名(h26.5.1現在)
 通学区域:上鳥羽区、下鳥羽区、本村区、吉野区、真々部区、たつみ原区、飯田区、下飯田区、中曽根区、熊倉区
 スクールバスの運行:2経路

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】		備品購入費の増					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	101	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	10,661	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	1,374	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等				
13	委託料	63	粗大ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	389	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、タクシー使用料、学校田畑借地料				
18	備品購入費	509	保健室ヘッド・マットレス、人口蘇生機、視力検査器、カーテン、フットラック				
上記の合計		13,097	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,097	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	304
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110085	豊科北小学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
14,730	12,232	2,498	0	0	0	0
						14,730
						12,232
						2,498

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立豊科北小学校 所在地:安曇野市豊科南穂高2692 開校:昭和46年4月

学校教育目標:求める、きたえる、思いやる

児童数:563名 学級数:21 教職員数:39名(H26.5.1現在)

通学区域:成相区、新田区、寺所区、踏入区、細萱区、重柳区、徳治郎区

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】		需用費、備品購入費の増によるもの	
節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	70	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等
11	需用費	11,444	校用消耗品、燃料費(カソソ、灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費
12	役務費	1,153	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-コソ代等
13	委託料	63	粗大ごみ処理料等
14	使用料及び賃借料	437	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、カソソ-使用料、学校田畑借地料
18	備品購入費	1,563	加湿器、図書館書架、閲覧椅子、カソソ、コードレス電話機
上記の合計		14,730	職員の人件費合計 0 事業費総合計 14,730 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	304
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110090	豊科東小学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	10,507	国支出金	県支出金	市債	その他	10,507
前年度	9,828					9,828
増減額	679	0	0	0	0	679

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立豊科東小学校 所在地:安曇野市豊科田沢5626 開校:昭和57年4月

学校教育目標:知・徳・体のバランスのとれた健全な発達

児童数:219名 学級数:110(特支1) 教職員数:23名(H26.5.1現在)

通学区域:アルプス区、田沢区、小瀬幅区、大口沢区、光区(豊科)、桜坂区、徳治郎区の一部、熊倉区の一部

各学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】		需用費、備品購入費の増によるもの					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	135	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	8,236	校用消耗品、燃料費(カソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	776	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-コソ代等				
13	委託料	63	粗大ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	249	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、タクシー使用料、学校田畑借地料				
18	備品購入費	1,048	児童用机・椅子、加湿器、図書館書架、ワゴン・カーテン				
上記の合計		10,507	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,507	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	306
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110095	穂高南小学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
16,860	15,761	1,099	0	0	0	0
						16,860
						15,761
						1,099

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立穂高南小学校 所在地:安曇野市穂高7217-1 開校:昭和43年4月
 学校教育目標:美しさあふれ ことばひびきあい 活力みなぎる学校
 児童数:567名 学級数:21 教職員数:40名 (H26.5.1現在)
 通学区域:矢原区、白金区、等々力区、等々力町区、穂高町区、穂高区

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】		需用費及び備品購入費の増によるもの							
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	109	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等						
11	需用費	14,915	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費						
12	役務費	763	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等						
13	委託料	120	粗大ごみ処理料等						
14	使用料及び賃借料	196	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、タンス使用料、学校田畑借地料						
18	備品購入費	757	児童用机・椅子、マットレス、折りたたみテーブル、清掃用ロカ-、カステ-ル						
上記の合計		16,860	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,860	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	306
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110100	穂高北小学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
18,707	17,921					18,707
増減額	786	0	0	0	0	786

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立穂高北小学校 所在地:安曇野市穂高有明943 開校:昭和45年4月

学校教育目標:輝く生命 ひろがる笑顔

児童数:792名 学級数:28 教職員数:53名(H26.5.1現在)

通級指導教室の県による設置:まなびの教室及びことばの教室 スクールバスの運行:3経路(有明・北穂高・狐島)

通学区域:狐島区、青木花見区、島新田区、橋爪区、耳塚区、富田区、豊里区、小岩岳区、嵩下区、新屋区、古厩区、立足区

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要となる管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。地域学習として天蚕についての学習を進める。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】		需用費及び備品購入費の増によるもの					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	234	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	16,365	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	918	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等				
13	委託料	63	粗大ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	341	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、タンス使用料、学校田畑借地料				
18	備品購入費	786	ホワイトボード、図書館書架、ベトナムマットレス、教師用机・椅子、加湿器・掃除機				
上記の合計		18,707	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,707	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	308
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110105	穂高西小学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
12,831	11,818	1,013	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立穂高西小学校 所在地:安曇野市穂高柏原2728 開校:昭和62年4月

学校教育目標:広い心で、思いやりのある子・自ら気づき、進んでやる子・よく考え、粘り強い子

児童数:460名 学級数:19 教職員数:37名(H26.5.1現在)

通学区域:牧区、塚原区、久保田区、柏原区、柏矢町区 スクールバスの運行:1経路(牧)

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】 備品購入費の増によるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	105	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	9,930	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	763	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等				
13	委託料	289	粗大ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	277	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、タンス使用料、学校田畑借地料				
18	備品購入費	1,465	児童用机・椅子、シレッター、インジクン仮払機、清掃用ワカ、会議テーブル				
19	負担金、補助金及び交付金	2	烏川土地改良区負担金				
上記の合計		12,831	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,831	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	308
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300								
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当								
予算	款	10	教育費		総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成				
	項	02	小学校費		画	主要施策	郷土を担う人を育むまち				
	目	01	学校管理費			基本施策	学校教育の充実				
	事業	0110110	三郷小学校管理費			具体的な施策	次代を担う人づくりの推進				
単位:千円											
当初予算額		特定財源				一般財源					
		国支出金	県支出金	市債	その他						
本年度	25,866					25,866					
前年度	25,340					25,340					
増減額	526	0	0	0	0	526					
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
										0	
【目的・効果】											
【目的】											
・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。											
【効果】											
・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。											
【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する											
(施設概要等) 安曇野市立三郷小学校 所在地:所在地:安曇野市三郷明盛4742 開校:昭和45年4月											
学校教育目標:自ら学ぶ子ども(やる気)、心豊かな子ども(思いやり)、明るくたくましい子ども(健康)											
児童数:1,044名 学級数:37 教職員数:66名(H26.5.1現在) 通学区域:三郷全域 スケルバスの運行:1経路(小倉)											
学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。											
なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。											
校庭及び南庭の芝生管理と共に、有効な活用を図る。りんごの木オーナー制度を継続し実施する。											
【一般財源増加理由】 需用費の増によるもの											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	223	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等								
11	需用費	19,671	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,576	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-コンク代等								
13	委託料	1,428	校庭芝管理、粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	751	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、タンス使用料、学校田畑借地料								
18	備品購入費	2,213	加湿器、電動ホッチキス、脚立、児童机・椅子								
19	負担金、補助金及び交付金	4	梓川土地改良区負担金								
上記の合計		25,866	職員の人件費合計	0	事業費総合計	25,866	OK				
【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】											
節	節名称	金額(千円)	主な内容								
合計		0	左記の特定財源								

予算書ページ	310
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110115	堀金小学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,368					14,368
前年度	13,897					13,897
増減額	471	0	0	0	0	471

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立堀金小学校 所在地:安曇野市堀金烏川3000 開校:明治19年4月

学校教育目標:みつける・きたえる・思いやる

児童数:609名 学級数:23 教職員数:42名(H26.5.1現在) 通学区域:堀金全域

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】 需用費の増によるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	70	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	12,882	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	890	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等				
13	委託料	303	ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	206	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、タンス使用料、学校田畑借地料				
18	備品購入費	17	プロパキユーム				
上記の合計		14,368	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,368	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	310
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110120	明南小学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
10,478	9,846					10,478
9,846						9,846
増減額	632	0	0	0	0	632

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】
・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
【効果】
・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立明南小学校 所在:安曇野市明科中川手2694 開校:昭和36年4月
 学校教育目標:夢をゆたかに 未来をになう子ども かしこく やさしく たくましく
 児童数:294名 学級数:14 教職員数:27名(H26.5.1現在)
 通学区域:明科区、町区、宮中区、大足区、光区(明科)、上押野区、下押野区
 スクールバスの運行:2経路(押野・大足)

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】 需用費の増によるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	50	校内研究講演会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	8,871	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	794	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等				
13	委託料	50	粗大ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	212	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、タンス使用料、学校田畑借地料				
18	備品購入費	501	会議用長机・FFファンヒーター				
	上記の合計	10,478	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,478	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	コード	11301300			
部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当					
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110125	明北小学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,212					7,212
前年度	7,348					7,348
増減額	136	0	0	0	0	136

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。
 【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (施設概要等) 安曇野市立明北小学校 所在地:安曇野市明科東川手823 開校:昭和36年4月
 学校教育目標:自ら願いを持ち 他との関わりを大切にしながら 進んで実践していく子ども(豊かな心を持ち、たくましく生きる子ども)
 児童数:113名 学級数:8 教職員数:22名(H26.5.1現在)
 通学区域:潮区、潮沢区、上生野区、萩原区、塩川原区、木戸区、南陸郷区 スクールバスの運行:2経路(犀川・潮沢)

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。
 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、小学校総務管理費(事業コード0146010)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	83	校内研究講演会等講師謝礼等				
11	需用費	5,827	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	794	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等				
13	委託料	63	粗大ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	179	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、タンス使用料、学校田畑借地料				
18	備品購入費	266	加湿器、回転黒板、会議テーブル				
上記の合計		7,212	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,212	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	312
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当/学校教育係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110130	小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	77,284	1,187	446			75,651
前年度	99,364	628	443			98,293
増減額	22,080	559	3	0	0	22,642

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	要保護児童生徒援助費補助金	52	15	被災児童生徒就学等支援事業補助金	446				
14	特別支援教育就学援助費補助金	635								
14	理科教育設備整備費補助金	500								

【目的・効果】

【目的】

小学校における児童の教育活動推進のため、必要な事業を行う。

【効果】

- ・教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施が図れる。
- ・小学校に、外国語指導助手・講師を配置し、生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・4年に1回の教科書改訂に伴う教科用図書の購入(平成27年度、教科用図書の改定に伴い新教科書使用)
{平成26年度 - 採択、教師用図書及び指導書(上巻)購入 平成27年度 - 教師用図書及び指導書(下巻)購入}
- ・学力検査CRT及び学級経営やいじめ・不登校傾向の実態把握のためのハイパーQUの実施。
- ・外国語指導助手委託事業の実施。(外国語指導助手・講師を配置し、児童の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うことを目的とする。)
- ・要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。
(教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	4,769	英語指導教員2人				
09	旅費	119	英語指導教員用				
11	需用費	7,131	教材用資料、教師用教科書・指導書、英語指導消耗品				
12	役務費	4,830	学力検査代等(CRT・MIL-QU検査)				
13	委託料	19,200	外国語指導助手委託事業4人				
18	備品購入費	2,601	老朽化している楽器の購入				
20	扶助費	38,634	要保護・準要保護児童就学援助費、特別支援教育就学援助費				
上記の合計		77,284	職員の人件費合計	0	事業費総合計	77,284	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

18備品購入費 各校における楽器の更新。(老朽化対策)

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	2,601	各学校配備楽器(フィッパコー、コルネット、ユーフォニアム、トランペット、トロンボーン他)
合計		2,601	左記の特定財源

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110135	豊科南小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	3,905	国支出金	県支出金	市債	その他	3,905
前年度	3,869					3,869
増減額	36	0	0	0	0	36

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,890	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。				
18	備品購入費	2,015	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。				
上記の合計		3,905	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,905	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	314
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110140	豊科北小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,373					3,373
前年度	3,404					3,404
増減額	31	0	0	0	0	31

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。

・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,604	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。				
18	備品購入費	1,769	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。				
上記の合計		3,373	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,373	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3		コード	11301300		予算書ページ	314
			部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち	
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110145	豊科東小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進	

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,066				2,066
前年度	2,127				2,127
増減額	61	0	0	0	61

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

[一般財源増加倍理由]

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	915	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。				
18	備品購入費	1,151	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。				
上記の合計		2,066	職員の人件費合計 0	事業費総合計	2,066		OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	314
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300			
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110150	穂高南小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,512					3,512
前年度	3,457					3,457
増減額	55	0	0	0	0	55

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。

・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,677	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。				
18	備品購入費	1,835	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。				
上記の合計		3,512	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,512	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	314
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110155	穂高北小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	4,213					4,213
前年度	4,304					4,304
増減額	91	0	0	0	0	91

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	2,081	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。								
18	備品購入費	2,132	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。								
上記の合計		4,213	職員の人件費合計	0		事業費総合計	4,213	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	316
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110160	穂高西小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,124					3,124
前年度	3,056					3,056
増減額	68	0	0	0	0	68

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。

・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,453	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。				
18	備品購入費	1,671	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。				
上記の合計		3,124	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,124	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	316
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110165	三郷小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	5,177					5,177
前年度	5,273					5,273
増減額	96	0	0	0	0	96

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	2,563	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。								
18	備品購入費	2,614	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。								
上記の合計		5,177	職員の人件費合計	0	事業費総合計		5,177	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】											
節	節名称	金額(千円)	主な内容								
合計		0	左記の特定財源								

予算書ページ	316
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110170	堀金小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,643					3,643
前年度	3,663					3,663
増減額	20	0	0	0	0	20

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。

・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,723	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。				
18	備品購入費	1,920	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。				
上記の合計		3,643	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,643	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	316
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110175	明南小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,511					2,511
前年度	2,469					2,469
増減額	42	0	0	0	0	42

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。

・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,094	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。				
18	備品購入費	1,417	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。				
上記の合計		2,511	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,511	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号		3	コード	11301300		
			部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当		
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
事業	0110180	明北小学校教育振興費	具体的な施策		次代を担う人づくりの推進	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,874					1,874
前年度	1,826					1,826
増減額	48	0	0	0	0	48

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立小学校へ通学する児童に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。

・児童が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	752	教育活動を行うために必要な教材等の購入を行う。				
18	備品購入費	1,122	教育活動を行うために必要な教材備品(児童図書を含む。)の購入を行う。				
上記の合計		1,874	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,874	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	318
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301200
		部・課・係等	教育部 学校教育課 教育指導室

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110185	通級指導教室事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	524					524
前年度	512					512
増減額	12	0	0	0	0	12

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・通常学級に在籍し、言語障害・情緒障害・弱視・難聴などの障がいをもつ児童の内、比較的軽度の障がいがある児童に対して、各教科等の指導は通常の学級で行いつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の指導の場として通級による指導を行う。(穂高北小学校内に設置)

【効果】

・学習障害(まなびの教室)、言語障害(ことばの教室)の2教室を運営し、専門的な指導による個に応じた指導支援ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 設置校:穂高北小学校(県による設置)

- ・まなびの教室1 県費教員1名、補助指導員2名
- ・ことばの教室1 県費教員1名

- ・各教室の指導に当たる補助指導員への賃金の支給
- ・各教室で教育活動を進めるために必要な消耗品、備品の整備を進める。
- ・26年度の利用実績
まなび一個別 12名、グループSST 17名、ことば 25名

【一般財源増加理由】 臨時賃金単価増、教材用消耗品の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	306	ことばの教室、まなびの教室補助指導員賃金(3人)				
11	需用費	81	ことばの教室、まなびの教室教科教材				
18	備品購入費	137	プリンター、取っ手付ふきだし黒板等教材備品				
上記の合計		524	職員の人件費合計	0	事業費総合計	524	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	318
--------	-----

重点項目番号	3	コード	011301300 学校庶務担当
		部・課・係等	教育部・学校教育課・学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業		具体的な施策	学校施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	38,891					38,891
前年度	44,854					44,854
増減額	5,963	0	0	0	0	5,963

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・小学校10校の学校施設・設備の維持修繕を行う。

【効果】

・安心・安全な学校生活及び学習活動ができる環境となる。
 ・施設の維持修繕・改修により、施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・小学校10校の施設、設備損傷部の修繕及び環境改善のための改修工事の実施
 ・PCB廃棄物の専門家による運搬・処理委託の実施
 ・遊具の安全点検の実施
 ・トイレ排水管清掃の実施

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	7,104	施設管理用消耗品、施設維持修繕費、作業用機械修繕費				
12	役務費	551	遊具点検料				
13	委託料	7,936	シール-委託料、施設台帳入力・図面更新、PCB廃棄物処理委託料、工事設計管理委託料				
14	使用料及び賃借料	242	作業用重機借上料				
15	工事請負費	22,950	遊具撤去・改修、学校維持改修工事費等				
16	原材料費	108	グラッド補修用土				
	上記の合計	38,891	職員の人件費合計	0	事業費総合計	38,891	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	318
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110195	小学校施設改修事業		具体的な施策	学校施設の整備
	単位:千円					

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	213,725	31,475		62,900	100,000	19,350
前年度	240,157	38,090		33,100	159,000	9,967
増減額	26,432	6,615	0	29,800	59,000	9,383

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	14	学校施設整備事業補助金	31,475								194,375
	18	公共施設整備基金繰入金	100,000								
	21	防災機能強化事業(非構造部材)	62,900								

【目的・効果】

【目的】

- ・小学校10校の学校施設について、老朽化対策としての改修工事を計画的に実施する。
- ・文部科学省の指導に基づき、災害時避難施設となる学校体育館等大規模空間施設の天井、照明器具等の落下防止対策を実施する。

【効果】

- ・学校の学習環境整備を図ることにより、安心・安全な学校生活を送ることができる。また、施設の長寿命化を図ることができる。
- ・天井や照明等の落下被害による児童等への致命的な事故を防止できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・防災機能強化事業として、屋内運動場等の天井・照明器具等非構造部材の耐震化工事の実施及び実施設計業務の実施
工事：穂高西小学校講堂、三郷小学校第二体育館 実施設計業務：豊科南小学校体育館、明南小学校体育館

【一般財源増加理由】 国支出金及び基金繰入金の減による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	20	消耗品費				
13	委託料	10,224	実施設計業務委託及び工事監理業務委託				
15	工事請負費	203,481	体育館等の天井、照明器具ほか耐震化工事				
上記の合計	213,725	職員の人件費合計	0	事業費総合計	213,725	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計	0	左記の特定財源	

予算書ページ	320
--------	-----

重点項目番号	3			コード	11301300	
				部・課・係等	教育部 学校教育課 学校教育係	
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110200	中学校保健指導事業費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,821					9,821
前年度	9,897					9,897
増減額	76	0	0	0	0	76

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

学校における生徒等の健康の保持推進と疾病を予防するために、学校保健安全法第13条及び同法施行規則に基づき、児童・生徒に対し毎学年定期的に、内科、耳鼻科、歯科、眼科について健康診断を実施する。

【効果】

・学校医による健康診断を行うことにより、児童・生徒等の健康の保持推進と疾病を予防することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・各中学校の学校医による生徒に対する内科・耳鼻科・歯科・眼科の定期健診の検診の実施。
・生徒の尿・心臓・血液検査の実施。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	5,036	中学校校医報酬				
08	報償費	393	学校歯科医検診時補助者、養護教諭補助看護師等派遣事業謝礼外				
11	需用費	152	X線検査用消耗品、聴診器、学校登山用薬品、保健記録カード印刷代				
12	役務費	4,240	生徒尿・心臓・血液検査代、オージオメータ定期検査代				
上記の合計		9,821	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,821	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	320
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110205	中学校総務管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
96,253	94,064	2,189	0	0	0	100
						50
						50
						2,139

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	中学校公衆電話料	100							

【目的・効果】
【目的】
 ・学校での安全な活動を図るため、必要な施設等の管理を行う。
【効果】
 ・学校生活を安全に送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務職員・図書館司書・学校庁務員の配置。
 ・中学校事業として行う「登山(常念・燕)」事業への医師等の付添経費の支出。
 ・各種施設の警備、点検保守を行う。
 ・各学校における図書館システムの管理保守を行う。
 ・校務及びパソコン教室におけるパソコンの更新検討・維持を行い、効率的なICT活用の促進を図る。
 ・老朽化の進んでいるピアノ・楽器のオーバーホール。
 ・学校管理備品(事務器具等)の購入・更新。

【一般財源増加理由】 パソコン更新年度延期に伴うサーバ保守、ソフトウェア更新経費増加のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	41,024	学校事務・図書館司書・庁務員賃金	18	備品購入費	3,036	ピアノ、デジタル印刷機、PC補充用
08	報償費	1,762	登山医師・看護師・ガイド謝礼、卒業記念品代	19	負担金、補助金及び交付金	2,778	防火管理者負担金7校分、災害共済給付掛金
09	旅費	600	市費非常勤講師旅費(修学旅行・校外活動付き添い)、自家用車の公務使用				
11	需用費	4,654	学校用消火器、中学校配分コピー用紙、図書館用プリンター・パソコン用紙、設備修繕用消耗品、校用パソコン・ピアノ・楽器修繕費				
12	役務費	2,244	中学校水質検査、樹木伐採手数料、学校清掃、設備時計点検等手数料				
13	委託料	10,980	図書館システム保守、学校サーバ保守、学校設備業務(学校警備、自家用電気工作物保守、消防用設備、地下タンク・高架水槽・受水槽、エレベーター・プール施設点検業務等委託料)				
14	使用料及び賃借料	29,175	校務・PC教室用パソコンリース、コピー印刷機リース料、学校図書館システム・情報機器・ソフトウェア使用料、学校用地・駐車場用地借地料				
上記の合計		96,253	職員の人件費合計	0	事業費総合計	96,253	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	322
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110210	豊科南中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
12,085	11,414	671	0	0	0	0
						12,085
						11,414
						671

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立豊科南中学校 所在地:安曇野市豊科1487 開校:昭和60年4月
 学校教育目標:教わるものから 自ら学ぶものへ、ひとつを続けて ほんものへ、心をひらいて 深い交わりへ
 生徒数:333名 学級数:13 教職員数:32名(H26.5.1現在)
 通学区域: 上鳥羽区、下鳥羽区、本村区、吉野区、真々部区、たつみ原区、飯田区、下飯田区、中曽根区、熊倉区

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】 需用費の増によるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	100	校内研究講演会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	9,777	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	1,246	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-コング代等				
13	委託料	63	粗大ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	440	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、タンス使用料、学校田畑借地料				
18	備品購入費	459	丸椅子、シュレッダー、脚立、充電式ドリルドライバー				
	上記の合計	12,085	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,085	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	324
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110215	豊科北中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,166					15,166
前年度	15,842					15,842
増減額	676	0	0	0	0	676

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立豊科北中学校 所在地:安曇野市豊科5558 開校:昭和60年4月

学校教育目標:教わるものから 自ら学ぶものへ、ひとつを続けて ほんものへ、心をひらいて 深い交わりへ

生徒数:448名 学級数:16 教職員数:40名(H26.5.1現在)

通学区:成相区、新田区、寺所区、踏入区、細萱区、重柳区、アルプス区、徳治郎区、田沢区、小瀬幅区、大口沢区、光区(豊科)、桜坂区、熊倉区の一部

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要となる管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	90	校内研究講演会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	12,488	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	1,221	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-コング代等				
13	委託料	63	粗大ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	332	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、タクシ-使用料				
18	備品購入費	972	音楽室椅子、職員用いす、ロッカ-、打合せ大机、コレ-ター				
上記の合計		15,166	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,166	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	324
--------	-----

重点項目番号	3		コード	11301300							
			部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当							
予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成					
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち					
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実					
	事業	0110220	穂高東中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進					
単位:千円											
当初予算額		特定財源				一般財源					
		国支出金	県支出金	市債	その他						
本年度	18,892					18,892					
前年度	18,560					18,560					
増減額	332	0	0	0	0	332					
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
											0
【目的・効果】											
【目的】											
・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。											
【効果】											
・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。											
【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する (施設概要等) 安曇野市立穂高東中学校 所在地:安曇野市穂高5119-2 開校:平成13年4月 学校教育目標:規則正しく生き生きとした生徒、何事にも粘り強い生徒、自分も人も大切にす生徒 生徒数:537名 学級数:19 教職員数:41名(H25.5.1現在) 通学区域:矢原区、白金区、等々力区、等々力町区、穂高町区、穂高区(上原地区を除く)、狐島区、久保田区、柏原区、柏矢町区 学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。 なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。 地域と密着し行っている「田舎のモ-ツァルト」事業について、実行委員会と連携し行う。											
【一般財源増加理由】 需用費の増によるもの											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	100	校内研究講演会講師、学校保健委員会講師								
11	需用費	16,169	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、乗客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費								
12	役務費	1,162	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等								
13	委託料	63	粗大ごみ処理料等								
14	使用料及び賃借料	531	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、タ-ク-使用料								
18	備品購入費	517	美術室椅子、会議テ-ブル、折畳椅子用台車、カーテン								
19	負担金補助及び交付金	350	田舎のモ-ツァルト運営補助金								
上記の合計		18,892	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,892	OK				
【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】											
節	節名称	金額(千円)	主な内容								
合計		0	左記の特定財源								

予算書ページ	326
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110225	穂高西中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	16,061	国支出金	県支出金	市債	その他	16,061
前年度	14,710					14,710
増減額	1,351	0	0	0	0	1,351

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立穂高西中学校 所在地:安曇野市穂高有明9525 開校:平成13年4月

学校教育目標:誠 誠なる人、明 明らかなる人、健 健やかなる人

生徒数:496名 学級数:19 教職員数:45名(H26.5.1現在)

通学区域:穂高区(上原地区)、青木花見区、島新田区、橋爪区、耳塚区、富田区、豊里区、小岩岳区、嵩下区、新屋区、古厩区、立足区、牧区、塚原区

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】 需用費の増によるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	100	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	14,331	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	1,077	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等				
13	委託料	63	粗大ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	441	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、タンス使用料				
18	備品購入費	49	全自動洗濯機				
上記の合計		16,061	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,061	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	326
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110230	三郷中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
18,721	17,523	1,198	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立三郷中学校 所在地:安曇野市三郷明盛1885-1 開校:昭和27年4月

学校教育目標:豊かな心を持ち、辛抱強く自分を鍛え、自ら学ぶ生徒になる

生徒数:552名 学級数:21 教職員数:50名(H26.5.1現在)

通学区域:三郷全域

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】		需用費及び備品購入費の増によるもの						
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	80	校内研究講演会、合唱コンクール、人権教育講演会等講師謝礼等					
11	需用費	16,258	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費					
12	役務費	1,196	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等					
13	委託料	63	粗大ごみ処理料等					
14	使用料及び賃借料	417	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、タシ-使用料					
18	備品購入費	707	エンジン刈払機、ハジツリマ-、加湿器、理科室椅子、折りたたみ椅子、カーテン					
上記の合計		18,721	職員の人件費合計	0	事業費総合計		18,721	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	328
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110235	堀金中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
11,519	10,645					11,519
増減額	874	0	0	0	0	874

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立堀金中学校 所在地:安曇野市堀金烏川2126-1 開校:昭和22年4月

学校教育目標:高めあう学び、かわしあう挨拶、響きあう歌声、磨きあう清掃

生徒数:326名 学級数:13 教職員数:34名(H26.5.1現在) 通学区域:堀金全域

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】 需用費及び備品購入費の増によるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	100	校内研究講演会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	9,145	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	1,176	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等				
13	委託料	277	ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	161	行事用盆裁借上料、コピー機使用料、タンス使用料				
18	備品購入費	660	スチール収納庫、パンフレットフォルダ、生徒用机・椅子				
	上記の合計	11,519	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,519	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	328
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110240	明科中学校管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
12,380	10,554	1,826	0	0	0	0
						12,380
						10,554
						1,826

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校の運営・管理経費を支出する。

【効果】

・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、管理用及び事務用消耗品・備品等の購入のほか、配布物の印刷費、電話やFAXの通信費等学校運営に必要な支出を行う事により、生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

(施設概要等) 安曇野市立明科中学校 所在地:安曇野市中川手2666 開校:昭和33年4月
 学校教育目標:感動する心、支え合う心、やり抜く心
 生徒数:239名 学級数:11 教職員数:28名(H26.5.1現在) 通学区域:明科全域
 スクールバスの運行:2経路(犀川・潮沢)

学校において、必要となる校内研修会・研究会・発表会等の開催に係る経費の支出、学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出を行う。

なお、学校管理に伴う各種保守業務等については、中学校総務管理費(事業コード0147510)に集約して予算計上。

【一般財源増加理由】		需用費及び備品購入費の増によるもの					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	100	校内研究講演会、音楽会、人権教育講演会等講師謝礼等				
11	需用費	8,803	校用消耗品、燃料費(ガソリン・灯油等)、来客用膳、施設修繕費、光熱水費(電気・水道・下水道・ガス)、諸用紙印刷費、教材等備品修繕費				
12	役務費	952	切手代、電話料、樹木剪定、楽器調整、刈-込代等				
13	委託料	228	シルバー-剪定、ラジアル-熱風炉点検、粗大ごみ処理料等				
14	使用料及び賃借料	270	行事用盆栽借上料、コピー機使用料、タキシ-使用料				
18	備品購入費	2,027	スポーツライク、技術室椅子、図書館書架、カーテン、FFストーブ				
	上記の合計	12,380	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,380	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	330
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当/学校教育係

予算	款	10	教育費	合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110245	中学校教育振興費		画	具体的な施策

単位:千円

当初予算額		特定財源			一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他
本年度	113,018	1,364	344		4,100
前年度	80,843	778	331		
増減額	32,175	586	13	0	4,100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	要保護児童生徒援助費補助金	143	15	被災児童生徒就学等支援事業補助金	344				5,808
	14	特別支援教育就学奨励費補助金	721	18	人材育成基金繰入金	2,000				
	14	理科教育設備整備費補助金	500	20	海外ホームステイ参加者負担金	2,100				

【目的・効果】

【目的】

中学校における生徒の教育活動推進のため、必要な事業を行う。

【効果】

- ・教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施が図れる。
- ・中学校に、外国語指導助手・講師を配置し、生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・海外ホームステイを実施し、海外での語学(英語)体験を通じて、国際社会に対応できる人材の育成を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・学力検査CRT及び学級経営やいじめ・不登校の実態把握のためのハイパーQUの実施。
- ・外国語指導助手委託事業の実施。
- ・英会話の学力向上のための課外授業の実施。
- ・要保護・準要保護生徒への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。
- ・学校から通学距離6[＊]以上の生徒に対して補助を行う。
- ・平成26年度から実施している、海外ホームステイ事業について予算計上事業を事務局費から修正。

【一般財源増加理由】 需用費・教科書改訂に伴う教師用教科書・指導書の購入、備品購入費・老朽化に対応するための楽器購入(更新)費の増によるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	119	海外ホームステイ訪問先等への土産				
11	需用費	20,852	あけぼの、中学校誌、教師用教科書・指導書				
12	役務費	3,298	学力検査等(CRT検査、ハイパーQU検査)				
13	委託料	43,462	外国語指導助手委託業務、課外授業(英会話)業務、海外ホームステイ事業				
18	備品購入費	1,266	楽器				
19	負担金、補助金及び交付金	376	遠距離通学者補助金				
20	扶助費	43,645	要保護・準要保護生徒就学援助費、特別支援就学奨励費				
上記の合計		113,018	職員の人件費合計	0	事業費総合計	113,018	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

教師用教科書・指導書の購入(4年に1回) 平成27年度に松塩筑安曇地区教科用図書採択協議会で選択楽器の購入 学校で使用している楽器の老朽化が進んでいるため、更新を図る。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	20,289	教師用教科書・指導書
18	備品購入費	1,266	楽器(クラリネット、ホルン、トロンボーン)
合計		21,555	左記の特定財源

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110250	豊科南中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,087					4,087
前年度	3,979					3,979
増減額	108	0	0	0	0	108

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,875	教育活動を行うために必要な教材等				
18	備品購入費	2,212	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)				
上記の合計	4,087	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,087	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計	0	左記の特定財源	

予算書ページ	330
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110255	豊科北中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,787					4,787
前年度	4,912					4,912
増減額	125	0	0	0	0	125

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。

・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,323	教育活動を行うために必要な教材等				
18	備品購入費	2,464	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)				
上記の合計		4,787	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,787	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	330
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110260	穂高東中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,133					5,133
前年度	5,241					5,241
増減額	108	0	0	0	0	108

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加倍理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,499	教育活動を行うために必要な教材等				
18	備品購入費	2,634	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)				
上記の合計		5,133	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,133	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	332
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110265	穂高西中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,002					5,002
前年度	5,043					5,043
増減額	41	0	0	0	0	41

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。

・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,555	教育活動を行うために必要な教材等				
18	備品購入費	2,447	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)				
上記の合計		5,002	職員の人件費合計		0	事業費総合計	5,002 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	332
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110270	三郷中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,693					5,693
前年度	5,749					5,749
増減額	56	0	0	0	0	56

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	2,818	教育活動を行うために必要な教材等							
18	備品購入費	2,875	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)							
上記の合計		5,693	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,693	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】									
節	節名称	金額(千円)	主な内容						
合計		0	左記の特定財源						

予算書ページ	332
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110275	堀金中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,041					4,041
前年度	3,889					3,889
増減額	152	0	0	0	0	152

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。
【効果】
 ・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。
 ・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,856	教育活動を行うために必要な教材等							
18	備品購入費	2,185	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)							
上記の合計		4,041	職員の人件費合計	0	事業費総合計		4,041	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	332
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110280	明科中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,334					3,334
前年度	3,262					3,262
増減額	72	0	0	0	0	72

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次代を担う人づくりの推進を図るため、学校施設における教材等の整備を行う。

【効果】

・市立中学校へ通学する生徒に義務教育を受けさせるために学校が必要とする、教材用消耗品・備品等の購入等の必要な支出を行う。

・生徒が明るく学校生活を送れるよう、学習活動を支える環境整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する各学校において、必要となる教材用消耗品・備品を整備することにより、学習環境の整備を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	1,443	教育活動を行うために必要な教材等						
18	備品購入費	1,891	教育活動を行うために必要な教材備品(生徒図書を含む。)						
上記の合計		3,334	職員の人件費合計			0	事業費総合計	3,334	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	332
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業		具体的な施策	学校施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,464					14,464
前年度	41,023					41,023
増減額	26,559	0	0	0	0	26,559

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】
【目的】
 ・中学校7校の学校施設・設備の維持修繕を行う。
【効果】
 ・安心・安全な学校生活及び学習活動ができる環境となる。
 ・施設の維持修繕、改修により施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・中学校7校の施設、設備等損傷部の修繕及び環境改善のための改修工事の実施
 ・トイレ排水管路清掃の実施

【一般財源増加倍理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	8,670	施設管理用消耗品、施設維持修繕費、作業用機械修繕費				
13	委託料	1,751	シルバー人材センター作業委託、トイレ排水管路清掃業務、改修等工事実施設計業務委託料				
14	使用料及び賃借料	162	作業用重機借上げ料				
15	工事請負費	3,678	学校維持改修工事等				
16	原材料費	203	グラウンド等用土				
上記の合計		14,464	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,464	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	334
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110290	中学校施設改修事業		具体的な施策	学校施設の整備

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	283,782	50,058		72,300	120,000	41,424
前年度	68,501	19,030		38,100		11,371
増減額	215,281	31,028	0	34,200	120,000	30,053

特定財源の内訳	款	金額		款	金額	款	金額		合計金額
		細節名称	金額				細節名称	金額	
	14	学校施設整備事業補助金	50,058						242,358
	18	公共施設整備基金繰入金	120,000						
	21	防災機能強化事業(非構造部材)	72,300						

【目的】
 ・文部科学省の指導に基づき、災害時避難施設となる学校体育館等大規模空間施設の天井、照明器具等の落下防止対策を実施する。
【効果】
 ・天井や照明器具等の落下被害による生徒等への致命的な事故を防止できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・防災機能強化事業として、屋内運動場等の天井・照明器具等非構造部材の耐震化工事の実施及び実施設計業務の実施
 工事：豊科北中学校体育館、穂高東中学校講堂 実施設計業務：穂高東中学校体育館、三郷中学校講堂
 ・大規模改造(トイレ)工事の実施 豊科北中学校(3年次対応)
 ・防球ネットの設置 穂高東中学校グラウンド

〔一般財源増加理由〕 工事請負費の増(190,837千円)他による。(非構造部材耐震化工事116,289千円増、新規工事74,548千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	40	参考図書等の購入				
13	委託料	12,760	非構造部材耐震化工事実施設計業務委託及び工事監理業務委託、学校トイレ改善工事実施設計業務委託				
15	工事請負費	270,982	非構造部材耐震化工事、大規模改造(トイレ)工事				

上記の合計	283,782	職員の人件費合計	0	事業費総合計	283,782	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・大規模改造(トイレ)工事の実施 (豊科北中学校)
 校舎の大規模改修には多くの経費が必要となることから、喫緊の課題であるトイレ環境の改善に的を絞った工事を計画した。
 ・防球ネットの設置 (穂高東中学校)
 グラウンドの外へ飛び出したボールにより近隣住民の財産に損害を与える事例が発生したことから、これを防止するための防球ネットを設置する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	12,199	実施設計・監理業務
15	工事請負費	247,969	大規模改造工事(豊科北中トイレ)、非構造部材耐震化(豊科北中、穂高東中)、防球ネット設置工事(穂高東中)
合計		260,168	左記の特定財源 国庫支出金・市債

重点項目番号	3-1	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当/穂高幼稚園

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	04	幼稚園費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110293	幼稚園総務費		具体的な施策	次世代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
8,600		8,600	1,706	0	0	0
						6,894
						0
						6,894

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・次世代を担う人づくりの推進を図る為、私立幼稚園への就園奨励費及び運営費の支出をおこなう。

【効果】

私立幼稚園の設置者が、通園しているお子さんをお持ちの保護者に対し入園料及び保育料を減免する場合に、市が国庫補助を受けながら補助金を交付し、所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るとともに、市内における私立幼稚園の運営費の補助を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・幼稚園就園奨励費

国における補助基準を基に、補助金の交付を行う。

(平成27年4月1日からの「子ども・子育て支援新制度」による「施設給付型給付」を選択した認定こども園(4類)、幼稚園、保育園については、施設型給付費等を別に給付。)

・私立幼稚園運営費補助金

市内における私立幼稚園1園へ運営補助金の交付を行う。

幼稚園に関する事務については、平成27年度の組織改編に伴い、児童保育課所管とする予定。

【一般財源増加理由】 事務局費(0110015)から計上事業の修正による増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	8,600	幼稚園就園奨励費及び私立幼稚園運営補助金				
上記の合計		8,600	職員の人件費合計	事業費総合計		8,600	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	334
--------	-----

重点項目番号	3-1	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 穂高幼稚園/学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	04	幼稚園費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費		具体的な施策	次世代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
66,701	61,099	5,602	0	0	0	21,983
						29,550
						7,567
						44,718
						31,549
						13,169

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	幼稚園使用料	21,983							

【目的・効果】

【目的】

・次世代を担う人づくりの推進を図る為、幼稚園の運営費を支出する。

【効果】

・幼稚園へ通園する園児に適切な幼児期の教育を受けさせる為、幼稚園が必要とする教材等の消耗品や備品などの購入及び配布物の印刷費、老朽化による遊戯室グランドピアノの更新や幼稚園大規模改造工事にかかわるカーテン等の備品購入費等、必要な支出を行うことにより、園児が明るく健やかに成長できる様、幼児教育事業を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

穂高幼稚園は安曇野市唯一の幼稚園であり、幼児が環境とかがわって展開する具体的な活動を通して発達を助長していく学校である。定員は140名で、安曇野市全域から現在122名の園児が大規模改造工事实施中、通園している。3歳児2クラス、4歳児2クラス、5歳児2クラス、計6クラスの編成となっている。

幼稚園において、必要となる子育て支援の講演会・研究会・行事開催に係る経費、需用費(教材等の消耗品・燃料費・光熱水費等)は勿論のこと、グランドピアノや放送マイクの老朽化による更新と幼稚園大規模改造工事によるカーテン等の備品購入費増の支出を行う。

穂高幼稚園大規模改造工事实施中(H26.7月~H28.2月)

幼稚園に関する事務については、平成27年度の組織改編に伴い、児童保育課所管とする予定。

【一般財源増加理由】 主に、臨時職員賃金(3,490千円増)、新規事業分(2,549千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	482	内科・歯科・耳鼻科・眼科の各検診医師と薬剤師報酬等	14	使用料及び賃借料	173	コピー機使用料・印刷機借上料
7	賃金	28,930	非常勤担任教諭・軽度発達障害児講師・養護教諭賃金等	18	備品購入費	2,494	遊戯室グランドピアノ・カーテンブラインド一式・ワイヤレスマイク
8	報償費	276	保護者向け講演会講師・園児向け講師・職員向け講師・子育て支援費・歯科指導歯科衛生士・卒園記念品等	19	負担金補助及び交付金	139	国公立幼稚園研究協議会・防火管理者協議会等・災害共済給付掛け金
9	旅費	356	国公立幼稚園研究協議会・巡回業務(家庭訪問・子ども病院等)・PTA事業(親子バス遠足・そりあそび)等				
11	需用費	5,411	保育教材・燃料費・光熱水費・修繕費等				
12	役務費	372	電話料・飲料水検査・プール検査大腸菌他・園児検尿・ぎょう虫検査・職員保菌検査・室内化学物質標準検査等				
13	委託料	846	消防設備点検・自家用電気工作物・非常用自家発電設備点検、粗大ごみ処理等				
上記の合計		39,479	職員の人件費合計	27,222	事業費総合計	66,701	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・遊戯室グランドピアノ老朽化による更新他

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	備品購入費	2,494	園児室用備品(グランドピアノ・カーテンブラインド一式・ワイヤレスマイク)
合計		2,494	左記の特定財源

予算書ページ	336
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	04	幼稚園費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110300	幼稚園施設改修事業		具体的な施策	学校施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
167,743	218,896	51,153	5,762	22,550	0	160,000
			0	0	0	94,746
						92,765

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	学校施設整備事業補助金	5,762							165,762
	18	公共施設整備基金繰入金	160,000							

【目的・効果】

【目的】

- ・平成22年度の耐震診断結果による施設の耐震化並びに天井、照明器具等非構造部材の耐震化を実施する。
- ・教育環境改善、施設の長寿命化対策を実施する。(継続事業2年目)

【効果】

- ・構造体の耐震補強に併せ、非構造部材の耐震化により災害に強い施設となる。園児等への致命的な事故を防止できる。
- ・大規模改造により施設の長寿命化と教育環境の向上が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

平成26年度1期工事において、仮設園舎の建設・プレイルームの改築工事完了。平成27年度保育室棟と管理棟の改築工事を行う。

1期工事において既存建物に不良工事が発見されたため、当初1期工事としていた保育室棟が平成26年度中に完成できない状況となった。このため、保育室棟分の工事監理業務、工事費を平成27年度に繰越実施する。工事完了は平成28年2月を予定。

また、幼稚園南駐車場用地について、購入を進める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	5,722	測量業務、工事監理業務ほか				
15	工事請負費	153,037	大規模改修(補強)(老朽)工事、プール量水器改修工事				
17	公有財産購入費	4,077	幼稚園駐車場用地の取得				
22	補償、補填及び賠償金	4,907	物件補償ほか				
上記の合計		167,743	職員の人件費合計	0	事業費総合計	167,743	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	295
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301500
		部・課・係等	教育委員会教育部学校教育課学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110045	給食センター総務費		具体的な施策	北部学校給食センターの管理運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
154,892	158,446	3,554	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・市内4箇所の学校給食センターの運営を円滑に実施する。

【効果】

・人件費が主な事業費であり、給食提供事業においては必要な予算である。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市内4箇所の学校給食センターの運営体制(27年度正規職員数:6人、非常勤職員予定数:北部センター25人・堀金センター13人・中部センター20人・南部センター21人(非常勤職員計79人) その他県費栄養士:7名 (総人員:92人)
非常勤職員が2名増えることによる人件費の増である。正規職員の人件費については、昨年度の予算額同額を計上してあるため積算上は増額になっているが、実際には、正規職員(嘱託職員)が1名退職により減となるため、昨年度と同額か若干減額となると思われる。

・学校給食費徴収方法を口座振替徴収へ統一する。それに伴う口座振替依頼書等の印刷製本費及び学校職員の給食費口座振替手数料が増額となる。

【一般財源増加理由】主に、需用費:給食配送用コテナ修理費(333千円) 役務費:パン・麺特別輸送費(259千円)の増による

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	168	学校給食センター炊事員報酬						
7	賃金	109,561	非常勤職員等賃金(給食調理員)						
8	報償費	7	学校給食費会計決算監査謝礼						
11	需用費	443	口座振替依頼書等の印刷、放射線検査用食料費						
12	役務費	239	システム回線使用料、口座振替手数料						
13	委託料	265	簡易納付書システム構築作業業務委託						
19	負担金補助及び交付金	46	県学校栄養職員部会等負担金						
上記の合計		110,729	職員の人件費合計	44,163	事業費総合計	154,892	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	294
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11008100
		部・課・係等	教育委員会教育部学校教育課学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を
	目	4	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110050	北部給食センター費		具体的な施策	北部学校給食センターの管理運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
45,813	45,365	448	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・北部学校給食センターが、管内の学校給食を提供できるように施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・管内の小中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 対象校: 穂高南小学校、穂高北小学校、穂高西小学校、穂高東中学校、穂高西中学校、穂高幼稚園
 用地: 安曇野市穂高9747番地(5,991.02㎡)
 施設概要: 鉄骨造一部二階建て 延床面積2,091.65㎡
 建築年: 平成24年1月31日(竣工)
 調理規模: 最大3,500食 (H25.4月現在: 3,200食、5校1園 114クラス分)
 公用車等: 配送車3台、軽乗用車1台
 付帯設備: 太陽光システム10kw

【一般財源増加理由】 主に、需用費:給食配送用コンテナ修理費(333千円) 役務費:パン・麺特別輸送費(259千円)の増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	27,644	洗浄機・調理機器洗剤、調理用消耗品、作業着外、電気・上下水道料、厨房機器修繕費他				
12	役務費	2,065	通信運搬費、保菌検査・食品微生物検査手数料、簡易水道検査手数料他				
13	委託料	14,965	電気設備、消防設備、施設警備、排水処理装置、機械設備、厨房機器、トイレ清掃業務他委託料				
14	使用料及び賃借料	244	コピー機使用料他				
18	備品購入費	799	破損等による食缶の不足分補充、洗濯機購入				
27	公課費	96	自動車重量税				
上記の合計		45,813	職員の人件費合計	0	事業費総合計	45,813	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 学校給食会から購入している主食に係る、パン・麺特別輸送費を給食費で負担していたが、公費負担することになったため予算化した。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	259	パン・麺特別輸送費 (役務費2,065千円の内)
合計		259	左記の特定財源

予算書ページ	296
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301500
		部・課・係等	教育委員会教育部学校教育課学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110055	堀金給食センター費		具体的な施策	堀金学校給食センターの管理運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
23,037	27,378	4,341	0	0	0	0
						23,037
						27,378
						4,341

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・堀金学校給食センターが、管内の学校へ安全に給食を提供できるように施設及び環境を整備する。

【効果】

・堀金小・中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消の推進等

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

対象校:堀金小学校、堀金中学校
 用地:安曇野市堀金烏川3000番地
 施設概要:鉄骨造一階建て 延床面積752㎡
 建築年:平成17年3月23日(竣工)
 調理規模:最大1,000食 (H26.4月現在:1,000食、2校34クラス分)
 公用車等:コンテナ車1台(配送業務は直営で実施)、軽貨物車1台
 付帯設備:特になし
 ・学校給食提供に伴う施設及び物品等の整備による環境維持・ボイラー等の点検整備委託・トイレ清掃委託業務。
 ・作業台及び食缶の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	16,150	調理器具・洗浄機関係消耗品、燃料費、光熱水費、施設及び調理関係機器の修繕費				
12	役務費	1,225	運搬費、保菌検査手数料等				
13	委託料	4,010	設備・調理器具等維持管理委託、トイレ清掃委託、生ごみ等処理委託				
14	使用料及び賃借料	564	コピー機及び印刷機借り上げ使用料				
18	備品購入費	1,050	食缶及び作業台の購入				
27	公課費	38	配送車重量税				
	上記の合計	23,037	職員の人件費合計	0	事業費総合計	23,037	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

学校給食会から購入している主食に係る、パン・麺特別輸送費を保護者が支払う給食費で負担していたが、公費負担することになったため予算化した。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	197	パン・麺特別輸送費 (役務費1,225千円の内)
合計		197	左記の特定財源

予算書ページ	297
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301500
		部・課・係等	教育委員会教育部学校教育課学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110060	中部学校給食センター費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	54,125				400	53,725
前年度	49,866				400	49,466
増減額	4,259	0	0	0	0	4,259

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	ソーラー発電電収入	400							

【目的・効果】
【目的】
 ・中部学校給食センターが、管内の学校給食を提供できるように施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・管内の小中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 対象校:豊科北小学校、豊科東小学校、明北小学校、明南小学校、豊科北中学校、豊科南中学校、明科中学校
 用地:安曇野市豊科穂高2661 1番地(3,278㎡)
 施設概要:鉄骨造一部二階建て 延床面積1,951㎡
 建築年:平成19年8月1日(竣工)
 調理規模:最大3,000食 (H26.4月現在:2,500食、7校 82クラス分)
 公用車等:配送車3台、軽乗用車1台
 付帯設備:太陽光システム90kw
 学校給食提供に伴う施設及び環境整備(・給食用食器の購入・清掃流し増設工事・牛乳保冷库入替購入・洗濯機入替購入)
 食育の推進(・プロジェクター新規購入)

【一般財源増加理由】・給食用食器の購入4,083千円・清掃流し増設工事106千円・牛乳保冷库入替購入2,974千円・洗濯機入替購入264千円・プロジェクター新規購入

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	36,883	給食用食器の購入、電気料、上下水道料				
12	役務費	1,641	給食従事者保菌検査、食品微生物検査、厨房ダクト清掃				
13	委託料	11,858	機械設備保守点検、厨房機器保守点検、トイレ清掃業務委託				
14	使用料及び賃借料	212	コピー機使用料				
15	工事請負費	106	清掃流し増設工事				
18	備品購入費	3,351	牛乳保冷库・洗濯機入替購入、プロジェクター新規購入				
27	公課費	74	給食配送車重量税				
上記の合計		54,125	職員の人件費合計	0	事業費総合計	54,125	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・給食用食器の購入 平成17～19年度購入食器を、一般的な耐用年数を勘案して年次計画で更新を進めていく。
 ・清掃流し増設工事 白衣等の洗濯前のすすぎ洗い処理用流し増設工事。
 ・牛乳保冷库入替購入 地球温暖化の原因となる特定フロンガス(1995年生産全廃のため業者に在庫無)に代わる代替フロンガス対応保冷库への切り替え。(冷却不良の場合、修理用のフロンが無いため保冷ができなくなる。)
 ・洗濯機入替購入 平成19年から使用している洗濯機。経年により、扉の開閉が効かない事があり作動に影響あり。
 ・プロジェクター新規購入 食育及び給食指導のために、学校訪問又は児童・保護者の来所見学会時にプロジェクターによる視聴覚講義を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	4,083	給食用食器(ボール)(需用費36,883千円の内)
15	工事請負費	106	清掃流し増設工事
18	備品購入費	3,351	牛乳保冷库2機(豊科南中、豊科東小)、洗濯機2台、プロジェクター
合計		7,540	左記の特定財源

予算書ページ	298
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11301500
		部・課・係等	教育委員会教育部学校教育課給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110065	南部学校給食センター費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
52,935	50,983	1,952	0	0	0	400
						52,535
						50,583
						1,952

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	ソーラー発電売電収入	400							

【目的・効果】

【目的】

・南部学校給食センターが、管内の学校給食を提供できるように施設及び環境を整備する。

【効果】

・管内の小中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

対象校:豊科南小学校、三郷小学校、三郷中学校
 用地:安曇野市三郷明盛84番地2(2,508㎡)
 施設概要:鉄骨造二階建25日(竣工)
 調理規模:最大3,000食 (H27.4月現在:2,450食、3校 79クラス分)
 公用車等:配送車2台、軽乗用車1台
 付帯設備:太陽光システム90kw
 学校給食提供に伴う施設及び環境整備(・給食用食器の購入・厨房内回転釜下配管修繕工事・牛乳保冷库入替購入・和え物室プレハブ冷蔵庫の購入)
 食育の推進(・口座振替システムの変更)

【一般財源増減理由】・給食用食器の購入4,083千円・厨房内回転釜下配管修繕工事222千円・牛乳保冷库入替購入3,282千円・プレハブ冷蔵庫交換工事316千円・口座

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	35,475	給食用食器の購入、電気料、上下水道料				
12	役務費	1,697	給食従事者保菌検査、食品微生物検査、厨房ダクト清掃				
13	委託料	11,624	機械設備保守点検、厨房機器保守点検、トイレ清掃業務委託				
14	使用料及び賃借料	197	コピー機使用料				
18	備品購入費	3,598	牛乳保冷库・洗濯機入替購入、和え物室プレハブ冷蔵庫購入				
22	補償補填及び賠償金	288	全部解約残リース料				
27	公課費	56	給食配送車重量税				
上記の合計		52,935	職員の人件費合計 0	事業費総合計	52,935	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・給食用食器の購入 平成17～19年度購入食器を、一般的な耐用年数を勘案して年次計画で更新を進めていく。
 ・厨房内回転釜下配管修繕工事 厨房内回転釜のしたの配管を混合水栓に取替修繕工事。
 ・牛乳保冷库入替購入 地球温暖化の原因となる特定フロンガス(1995年生産全廃のため業者に在庫無)に代わる代替フロンガス対応保冷库への切り替え。(冷却不良の場合、修理用のフロンが無い場合保冷ができなくなる。)
 ・和え物室冷蔵庫の購入 平成19年から使用している冷蔵庫。室内に異臭を発生、調理した和え物に水滴が落ちてしまう為、衛生上不適切であると判断したので今回購入をしたい。
 ・口座振替システム変更 今まで南部学校給食センターだけ独自で口座振替システムを行ってきたが、今回4センターで統一システムに変更そのため現在のシステムを全部解約補償料。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	4,083	給食用食器(ボール) (需用費35,475千円の内)
18	備品購入費	3,598	牛乳保冷库2機(豊科南小、三郷中)、プレハブ冷蔵庫
22	補償補填及び賠償金	288	給食会計システム解約残リース料
合計		7,969	左記の特定財源

予算書ページ	338
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110305	社会教育総務費		具体的な施策	生涯学習推進体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	358,241	国支出金	県支出金	市債	その他	356,800
前年度	353,346	0	0	0	0	353,346
増減額	4,895	0	0	0	1,441	3,454

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	地域振興基金繰入金	1,441							

【目的・効果】

【目的】

・総合計画の基本方針「人と文化を育むまちの形成」を図るため、安曇野市の教育(教育基本計画)並びに安曇野市生涯学習推進計画に基づく施策を進める体制などを統括する。

【効果】

・市民や各種団体との連携・協働による生涯学習の推進体制を構築し、組織の充実・強化が図れる。
 ・生涯学習推進計画に基づく、生涯学習活動の展開が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・社会教育に係る統括的総務事務を行う。
 ・社会教育に関する諸計画について、社会教育委員の会議が審議する。
 ・生涯学習推進計画の年度ごとの重点施策や実施方針の検討と進捗状況の確認を生涯学習推進市民会議において行う。
 ・平成28年1月10日に「平成28年安曇野市成人式」を挙行する。
 ・合併10周年を記念し、「市制施行10周年記念 安曇野市1/2成人式」を実施する。

【一般財源増加理由】「安曇野市制施行10周年記念 1/2成人式」を実施するため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	350	社会教育委員 報酬	14	使用料及び賃借料	1,926	成人式テント、市制施行10周年記念 安曇野市1/2成人式会場イス・バス、コピー機使用料
07	賃金	14,246	社会教育指導員 賃金	18	備品購入費	821	レジスター購入費
08	報償費	3,599	成人式及び1/2成人式記念品、生涯学習推進市民会議及び成人実行委員会出席謝礼	19	負担規補助及び交付金	119	社会教育委員連絡協議会負担金、連合婦人会補助金
09	旅費	81	社会教育委員大会費用弁償、同職員旅費				
11	需用費	808	事務消耗品、成人式関係他印刷代				
12	役務費	756	市制施行10周年記念 安曇野市1/2成人式講演				
13	委託料	1,585	成人式会場設営、市制施行10周年記念 安曇野市1/2成人式会場設営、バス運転				
上記の合計		24,291	職員の人件費合計	333,950	事業費総合計	358,241	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・市制施行10周年記念 安曇野市1/2成人式の実施
 安曇野市設置年度(平成17年度)に生まれた、安曇野市内10小学校・小学4年生の児童865人を一堂に会し、1/2成人式を挙行する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
08	報償費	1,316	対象者記念品
12	役務費	756	式典時講演料
13	委託料	211	会場設営、バス運転
14	使用料及び賃借料	1,237	会場イス借上、バス借上
合計		3,520	左記の特定財源 地域振興基金繰入金(1,441)

予算書ページ	340
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110308	生涯学習推進費		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,423	8,479	2,056	0	200	0	166
			0	200	0	166
						2,022

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	学校開放施設使用料	1							166
	20	その他刊行物分布代	165							

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市生涯学習推進計画に掲げる「だれでも いつでも 気軽に学べる まちづくり」、「学びの成果が活かされる まちづくり」の2つの目標の実現に向けて施策を展開する。

【効果】

・市民の学習要望に応える学習機会の充実が図られる。
・学習成果を活かした支え合い認め合う協働のまちづくりが推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市民大学講座、学校開放講座、SNS関連講座及び美的カレッジを開催し、市民の学習機会を充実する。
・安曇野検定(平成28年1月31日)並びに安曇野検定準備講座を実施し、市民の学習意欲に応える。
・インターバル速歩講座(年13回)を開催し、市民の健康増進を図る。
・日本語教室を運営し外国人住民への支援と日本語指導ボランティア講習会の開催によりボランティアを育成する。
・芸術文化協会への補助金交付により運営の充実を図る。
・囲碁将棋大会実行委員会への補助金交付により大会を充実させる。
・安曇野市太鼓連盟外への補助金交付により生涯学習団体を育成する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	896	各種講座講師謝礼、安曇野検定受検者記念品、安曇野検定問題作成検討会出席謝礼				
09	旅費	40	講座講師実費弁償				
11	需用費	273	各種講座教材他消耗品、ポスター及びチラシ印刷、安曇野検定問題・回答用紙				
12	役務費	1,102	市民大学講座特別編(時勢・人権)講師講演料、刊行物販売手数料				
13	委託料	2,735	インターバル速歩指導、安曇野検定問題作成・採点業務、日本語教室の運営				
19	負担金補助及び交付金	1,377	芸術文化協会運営、囲碁将棋大会運営、安曇野市太鼓連盟、スズムシを育てる会への補助金				
上記の合計		6,423	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,423	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・若い世代(特に女性)を主な対象に、学んだことを実際の生活において実践でき、自らの成長を目的とする体験型講座「美的カレッジ」の開設

節	節名称	金額(千円)	主な内容
08	報償費	150	講師謝礼
合計		150	左記の特定財源

予算書ページ	358
--------	-----

重点項目番号	4-3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	05	社会教育費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	03	人権教育推進費		基本施策	人権の尊重
	事業	0110365	人権教育推進事業		具体的な施策	人権教育・啓発の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	3,089	国支出金	県支出金	市債	その他	2,952
前年度	3,230	0	137	0	0	3,093
増減額	141	0	0	0	0	141

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15		人権教育推進市町村事業補助金	137							137

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標「人権を尊重し差別のない明るく住みよい安曇野市の実現」のため、主に地域社会における人権教育・啓発を推進する。

【効果】

- ・地域の実情に則した人権教育の推進ができる。
- ・学習講座や交流活動等への支援を充実することで人権への市民意識の醸成を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地域人権教育推進協議会を中心とした地区公民館単位での人権教育を推進する。
- ・人権教育推進委員、人権教育指導員の設置により人権教育を推進及び振興する。
- ・人権教育講演会及び講座を開催し、人権意識の醸成を図る。
- ・大会及び研究集会へ参加し、人権問題の理解を深める。
- ・人権集会所の維持管理を行う。
- ・企業人権教育推進協議会を運営し、指導者の育成と情報提供を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	2,340	人権教育委員会出席謝礼、人権教育講演会・講座講師謝礼、人権作文・標語入選者記念品				
09	旅費	31	部落解放第47回東日本研修集会費用弁償				
11	需用費	484	大会及び研究集会資料代、人権集会所管理用品及び光熱水費				
12	役務費	43	人権集会所電話・し尿汲み取り他				
13	委託料	189	人権集会所消防設備点検・清掃、大会参加時バス運転				
19	負担金補助及び交付金	2	企業人権推進協議会負担金				
上記の合計		3,089	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,089	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・第67回全国人権・同和教育研究大会(平成27年11月21日～22日、長野市)への参加

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	55	大会資料代
13	委託料	45	バス運転
合計		100	左記の特定財源

予算書ページ	360
--------	-----

重点項目番号	3-3	コード	1130210
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110370	青少年健全育成費		具体的な施策	青少年育成環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,627				88	17,539
前年度	17,813				141	17,672
増減額	186	0	0	0	53	133

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	青少年健全育成基金利子	14							
	16	人材育成基金利子	17							
	20	参加者負担金	57							
									88	

【目的・効果】

【目的】

・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもが育つ町を目指す。

【効果】

・様々な体験学習を通して、集団での活動や世代間交流を進める機会を設けることができる。
 ・地域の人々とふれあう中で、様々なことを学ぶ機会が作れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・異年齢の子どもとの交流や地域の枠を超え一体感を醸成する事業として子ども祭りを開催する。
 ・子どもが企画、運営するイベント(泥んこドッチ、子ども文化祭)の開催やリーダー研修を通してジュニア・リーダーを育成する。
 ・子どもたちの創造性の発揮、コミュニケーション能力の向上、共同作業の楽しさを知ること、自分自身の新たな発見をすることを目的に子ども映画教室を開催し、子ども文化祭で発表する。
 ・地区子ども会育成会、市育成会連合会の活動を支援し、補助金を交付する。
 ・市全体の青少年健全育成の取り組みを行うため、青少年センター事業を実施する。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	105	青少年健全育成審議会委員報酬	14	使用料及び賃借料	972	体験事業機材借上料
07	賃金	2,417	子ども会育成会、青少年センター事務臨時職員賃金	18	備品購入費	64	体験活動記録用デジタルカメラ
08	報償費	2,684	体験活動講師謝礼、子ども会育成会連合会会議出席謝礼、青少年センター運営委員会出席謝礼、街頭巡回謝礼	19	負担金補助金及び交付金	8,412	子ども会育成会補助金
09	旅費	12	ジュニア・リーダー研修会出席旅費	25	積立金	32	青少年健全育成基金、人材育成基金利子
11	需用費	1,083	体験活動材料費、子ども会育成会たより印刷、青少年センター消耗品				
12	役務費	240	体験活動保険料				
13	委託料	1,606	洞合公園管理費、体験事業委託料				
上記の合計		17,627	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,627	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・子ども文化祭の開催(市制施行10周年記念の市民協働事業提案を含み市が主催する)
 安曇野市内の子ども達が一堂に会し、日頃行っている活動を自由な発想で発表、展示する。
 ジュニア・リーダー養成活動として、子どもの企画・運営により実施する。
 ・子ども映画教室の開催
 名誉市民の熊井啓監督を顕彰し、映画作りを通して子どもたちの創造性の発揮、コミュニケーション能力の向上、共同作業の楽しさを知ること、自分自身の新たな発見の機会を設け、子ども文化祭で作品を発表する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
08	報償費	568	子ども文化祭参加記念品、子ども映画教室講師謝礼
11	需用費	162	子ども文化祭ポスター印刷費・消耗品、子ども映画教室教材費
13	委託料	36	子ども映画教室参加者・スタッフ移動用バス運転委託
14	使用料及び賃借料	444	子ども文化祭音響機材借上料、子ども映画教室撮影・編集機材借上料
合計		1,210	左記の特定財源 参加者負担金(45)

予算書ページ	362
--------	-----

重点項目番号	3-3	コード	1130210
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費		具体的な施策	放課後児童の安全・安心な居場所の確保

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,502		3,082			7,420
前年度	10,330		3,086			7,244
増減額	172	0	4	0	0	176

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	15	放課後子どもプラン補助金		3,082									3,082

【目的・効果】

【目的】
 ・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもが育つ町を目指す。

【効果】
 ・学校や地域の中で、放課後や休日の子どもたちの安全・安心で健やかな遊び場や居場所が確保できる。
 ・異年齢間での遊びや活動、地域住民との交流を図ることで、心豊かなたくましい子どもを育てる環境が整備できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内の小学生全員を対象にして放課後の安全・安心な居場所づくりと異世代・異年齢交流による様々な体験の機会を提供するため、放課後子ども教室を開催する。
 ・乳幼児の保護者、小学生の保護者を対象にして家庭教育の支援をするため、情報誌発行や講演会の開催をする。

【一般財源増加理由】 主に、放課後子どもプラン指導者研修会(50千円増)、同運営委員会出席謝礼(52千円増)による

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	8,330	放課後子ども教室スタッフ謝礼、家庭教育講師謝礼、家庭教育支援チーム員謝礼、放課後子どもプラン運営委員謝礼						
11	需用費	863	放課後子ども教室消耗品、家庭教育支援チーム消耗品						
12	役務費	1,062	放課後子ども教室電話料、保険料						
13	委託料	162	放課後子ども教室スタッフ研修会バス運行、家庭教育講演会託児委託料						
18	備品購入費	85	放課後子ども教室用CDコンボ、会議用マイク						
上記の合計		10,502	職員の人件費合計	0	事業費総合計		10,502	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・放課後子ども教室指導者のより一層の資質向上のため、専門講師を招いて指導者研修会を実施する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
08	報償費	50	放課後子どもプラン指導者研修会講師謝礼	
合計		50	左記の特定財源	

予算書ページ	374
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110380	中央公民館事業費		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
53,331	54,159	828	0	0	0	30,825
			0	0	0	30,825
			0	0	0	0
						22,506
						23,334
						828

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	地域振興基金繰入金	30,825							

【目的・効果】
【目的】
 ・地域づくり活動の拠点である公民館で各種事業を行い、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
【効果】
 ・定期講座を開設し、市民の学習要望に応えることで市民一人ひとりが生き生きと活動することができる。
 ・市民に最も身近な地区公民館を支援することで、地域コミュニティの充実に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・公民館事業の企画実施について、公民館運営審議会が調査審議を行う。
- ・安曇野市公民館大会を開催し、公民館活動の発展を推進する。
- ・安曇野市中央公民館報を発行し、公民館活動を広く市民に広報する。
- ・地域を超えた全市の事業である安曇野市総合芸術展を開催し、市民の一体感の醸成を図る。
- ・県、中信地区協議会事業に参加し、公民館職員の資質向上に努める。
- ・公民館役員功労者・地区公民館報の表彰を実施し、その功績を称える。
- ・地区公民館の活動と建設に対しての補助金を交付し、地区公民館の活性化を支援する。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	245	公民館運営審議会委員報酬				
08	報償費	2,425	公民館大会講師謝礼、公民館講座講師謝礼、中央公民館館報編集委員・総合芸術展実行委員謝礼				
09	旅費	21	関東甲信越静公民館研究大会(東京都)旅費				
11	需用費	1,250	長野県公民館大会資料代、中央公民館報・文化祭・総合芸術展ポスター印刷代				
12	役務費	30	表彰賞状筆耕料				
19	負担金補助及び交付金	49,360	県・中信協議会負担金、地区公民館活動補助金、地区公民館建設補助金、地域市民運動会交付金				
上記の合計		53,331	職員の人件費合計	0	事業費総合計	53,331	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	社会教育総務費	基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110380	公民館建設事業費	具体的な施策	生涯学習施設の整備	

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
779,942	0	779,942	0	0	718,600	0
0	0	0	0	0	0	0
779,942	0	779,942	0	0	718,600	0
						61,342

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	旧合併特別事業債	718,600							

【目的・効果】
【目的】
 ・市民の最も身近な生涯学習施設である公民館の整備を進め施設の充実を図る。
【効果】
 ・地域づくり活動の拠点としての役割を果たせる。
 ・だれもが使いやすい施設になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成26年度から実施し平成28年2月竣工予定の豊科公民館耐震補強・大規模改修工事を実施する。
- ・平成28年度工事予定の堀金公民館講堂改修の実施設計を行う。
- ・堀金公民館解体工事の実施設計を行う。
- ・豊科公民館ホールにグランドピアノを設置する。

【一般財源増加理由】 新設のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	133	証紙代				
13	委託料	27,735	豊科公民館耐震補強・大規模改修工事監理業務、堀金公民館講堂改修等実施設計、堀金公民館解体実施設計				
15	工事請負費	740,074	豊科公民館耐震補強・大規模改修、警備保障機器設置、移転弱電設備、ピアノ保管庫設置				
18	備品購入費	12,000	ホールグランドピアノ				
上記の合計		779,942	職員の人件費合計 0	事業費総合計		779,942	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 補助執行に伴い、公民館の建設について事業費を新設

- ・平成26年度から実施し平成28年2月竣工予定の豊科公民館耐震補強・大規模改修工事を実施する。
- ・平成28年度工事予定の堀金公民館講堂改修の実施設計を行う。
- ・堀金公民館解体工事の実施設計を行う。
- ・豊科公民館ホールにグランドピアノを設置する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	133	証紙代
13	委託料	27,399	豊科公民館耐震補強・大規模改修工事監理業務、堀金公民館講堂改修等実施設計、堀金公民館解体実施設計
15	工事請負費	739,699	豊科公民館耐震補強・大規模改修、警備保障機器設置、移転弱電設備、ピアノ保管庫設置
18	備品購入費	12,000	ホールグランドピアノ
合計		779,231	左記の特定財源 旧合併特別事業債(718,600)

重点項目番号	3-4	コード	011302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	3	河川費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	1	河川費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0108170	水辺の楽校費		具体的な施策	スポーツ施設の整備と有効活用

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,243					3,243
前年度	2,702					2,702
増減額	541	0	0	0	0	541

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・現地の自然豊かな環境・景観を維持しつつ、当該施設の管理・整備を行う。

【効果】

- ・冬季にも使用できるマレットゴルフ場を維持管理することで、年間を通してスポーツできる場所を提供することができる。
- ・白鳥の飛来地であるとともに、美しい景観を備えた当施設にきていただくことで安曇野の自然を味わい、満喫してもらうことができる。

市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程による施設(御宝田水のふるさと公園)

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・マレットゴルフ場については、年間を通して「御宝田マレットゴルフクラブ」へ指定管理委託を行う。他の部分の管理(除草等)については、地元のボランティアグループとシルバー人材センターに随時依頼している。

施設概要

・犀川、穂高川、高瀬川の三川が合流する地点に平成15年に国土交通省により整備された「親水公園」で、御宝田水のふるさと公園として安曇野市が管理。マレットゴルフ場、グラウンド等があり、冬には白鳥も飛来することから四季を通して大勢の利用客でにぎわう施設となっている。

【一般財源増加理由】 御宝田遊水池揚水管理業務委託料が耕地林務課から移管されたため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	299	施設管理用品、燃料費、物品修繕費				
12	役務費	24	汲取り料、保険料				
13	委託料	2,752	公園整備委託料、指定管理委託料				
14	使用料及び賃借料	168	重機借上げ料				
上記の合計		3,243	職員の人件費合計		0	事業費総合計	3,243 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

御宝田遊水池揚水管理業務委託料

白鳥湖へ水を供給するための業務委託料で、以前は耕地林務課で予算化していたが、平成26年12月から生涯学習課へ移管された。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	510	御宝田遊水池揚水管理業務委託料
合計		510	左記の特定財源

予算書ページ	274
--------	-----

重点項目番号	3-4	コード	011302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	3	公園事業費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0108230	文化公園維持管理事業		具体的な施策	スポーツ施設の整備と有効活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	16,081	国支出金	県支出金	市債	その他	14,748
前年度	16,714				1,203	15,511
増減額	633	0	0	0	130	763

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	13	文化公園施設使用料	1,200							1,333
	20	文化公園公衆電話料	3							
	20	社会体育施設自動販売機電気料	130							

【目的・効果】

【目的】

・三郷文化公園内の体育施設の維持管理を行う。

【効果】

・屋内外の各種スポーツコート積極的に利用していただくことで、市民の健康増進や体育活動の活発化が推進できる。
市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程による施設(三郷文化公園)

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
公園内の施設管理業務を行う。

- ・管理人配置及び施設管理委託(施設予約申請、使用料徴収、清掃、鍵受け渡し等の管理)
- ・施設小破修繕 ・自動ドア、電気設備等機械設備点検 ・消耗品補充 等
- ・体育施設の使用許可並びに使用料の徴収は各支所地域課職員が補助執行している

施設概要

- ・屋外体育施設(グラウンド、照明設備、テニスコート、放送設備等)
- ・屋内体育施設(アリーナ、柔道場、剣道場、トレーニングルーム、会議室、ラウンジ、更衣室、トイレ、放送設備等)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	9,640	施設管理用品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	354	電話料、モップ交換外				
13	委託料	5,917	施設管理委託料、清掃業務等委託料				
14	使用料及び賃借料	152	コピー機等使用料				
23	償還金、利子及び割引料	10	使用料還付金				
27	公課費	8	公用車重量税				
上記の合計		16,081	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,081	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	378
--------	-----

重点項目番号	3-4	コード	011302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	1	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110440	社会体育総務費		具体的な施策	生涯スポーツの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	19,219	国支出金	県支出金	市債	その他	19,219
前年度	23,524					23,524
増減額	4,305	0	0	0	0	4,305

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・市民が自主的・主体的にスポーツ活動を展開するための仕組みを構築し、市民一人ひとりのライフステージに合わせてスポーツができる環境づくりを行う。

【効果】

・スポーツを親しむことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・スポーツ推進審議会に対し、「スポーツ振興計画」等について意見を求める。
- ・スポーツ推進委員が、生涯学習課及び公民館事業(教室・運動会等)の企画、指導、協力をする。
- ・全国大会以上の各種競技会等へ出場する個人・団体に対して激励金を交付する。
- ・市体育協会、スポーツ少年団に対し、組織強化、財務強化、競技力向上、活動に対し支援を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,549	スポーツ推進委員報酬、スポーツ推進審議会報酬				
08	報償費	1,091	公式スポーツ施設整備計画策定委員出席謝礼、各種競技会及び発表会出場者激励金交付				
09	旅費	22	関東スポーツ推進委員研究大会旅費				
11	需用費	210	スポーツ推進委員手帳購入、駅伝競走大会報告会贈り、スポーツ大会等賞状印刷				
12	役務費	56	スポーツ推進委員保険料				
13	委託料	2,885	市民スポーツ祭委託、公式スポーツ施設整備計画策定業務委託、駅伝大会委託				
19	負担金補助及び交付金	10,718	スポーツ推進委員研究協議会等負担金、市体育協会補助金、スポーツ少年団補助金				
上記の合計		17,531	職員の人件費合計	1,688	事業費総合計	19,219	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・市町村対抗・県縦断駅伝競走大会出場について、平成26年度までは、補助金として体育協会(体育協会から陸上競技協会)に交付していたが、市代表として出場しているため、直接陸上競技協会への委託として計上した。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	560	市町村対抗・県縦断駅伝競走大会出場について、陸上競技協会へ委託
合計		560	左記の特定財源

予算書ページ	380
--------	-----

重点項目番号	3-4	コード	011302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	1	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110445	スポーツ振興事業費		具体的な施策	生涯スポーツの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
7,319	4,349	2,970	0	0	0	1,835
						5,484
						3,191
						2,293

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	スポーツ教室参加料	775							
20	スポーツ教室参加者傷害保険料	1,060								

【目的・効果】

【目的】

・生涯にわたり健康で明るく、活力のある生活を送るためにスポーツに親しむことは、極めて重要な意義を持っており、スポーツ教室等を充実・実現させ、生涯スポーツの推進、スポーツを通じたコミュニティづくり等を図る。

【効果】

・スポーツにかかわることができる環境を整えることで、スポーツをする楽しさや喜びの中で仲間との連帯感を深め、心身の健康と活力をもたらす。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- * スポーツ教室等 20教室の開催(新設7教室、拡大2教室)する。
- ・「スポーツ振興計画」の「目標値を達成するため、一般成人者(スポーツ初心者・未経験者)を対象とした、スポーツ教室を新たに開催する。
- ・子ども・親子を対象としたスポーツ教室は、毎年定員を上回る申し込みがあるため、現有教室のクラスを拡大する。
- ・高家スポーツ広場にアーチェリー場が開設されたことにより、競技者普及のため中・高校生を対象とした教室を開催する。
- ・子どもの運動能力の低下、運動離れが著しいことから、幼保育園児を対象としたトレーニングモデル派遣事業を新たに行う。
- ・ハーフマラソン開催にあたり、ハーフマラソン完走を目指すランナーや、ビギナーランナーを含む、ランニング愛好者を対象に、また小中学生を対象とした、ランニング教室を開催する
- ・市制施行10周年、穂高総合体育館竣工を祝い、bjリーグ(プロバスケットボール)を招致する。

【一般財源増加理由】 スポーツ振興計画の達成目標値である「成人の週1回以上のスポーツ実施率が50%」を達成するため、一般成人者を対象とした新規教室を開催する。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	3,530	スポーツ教室等講師謝礼、子ども駅伝記念品、プロバスケットボール招致謝礼				
11	需用費	237	スポーツ教室用品				
12	役務費	1,163	スポーツ教室講師、参加者保険料				
13	委託料	1,656	スポーツ教室等運営委託				
18	備品購入費	726	スポーツ教室備品				
22	補償補填及び賠償金	7	スポーツ教室事故通院医療補償				
上記の合計		7,319	職員の人件費合計 0	事業費総合計	7,319	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・一般成人者(スポーツ初心者・未経験者)を対象とした、スポーツ教室等を新たに3教室開催する。
- ・子ども・親子を対象とした現有スポーツ教室(2教室)のクラスを拡大する。
- ・高家スポーツ広場にアーチェリー場が開設されたことにより、競技者普及のため中・高校生を対象とした教室を開催する。
- ・子どもの運動能力の低下、運動離れが著しいことから、幼保育園児を対象としたトレーニングモデル派遣事業を新たに行う。
- ・ハーフマラソン完走を目指すランナーを含む、ランニング愛好者を対象に、また小中学生を対象とした、ランニング教室を開催する
- ・市制施行10周年、穂高総合体育館竣工を祝い、bjリーグ(プロバスケットボール)を招致する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	940	新設スポーツ教室(4教室)・拡大スポーツ教室(2教室)講師謝礼、bjリーグ招致謝礼
11	需用費	57	新設スポーツ教室消耗品、bjリーグチラシ印刷代
12	役務費	506	新設スポーツ教室講師・参加者保険料
13	委託料	739	新設スポーツ教室等(3教室)運営等委託、bjリーグ看板作製費
18	備品購入費	726	新設スポーツ教室用備品
合計		2,968	左記の特定財源 スポーツ教室参加料(255千円)、スポーツ教室参加者傷害保険料(422千円)

予算書ページ	382
--------	-----

重点項目番号	3-4	コード	011302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	2	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110450	社会体育施設管理費		具体的な施策	スポーツ施設の整備と有効活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
268,252	241,078	27,174	0	0	63,000	173,828
					63,000	159,912
						94,424
						164,162
						69,738

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
		13	20			18	20		
	13	学校施設使用料		2,580	20	社会体育施設公衆電話料		8	173,828
	13	社会体育施設使用料		10,900	18	公共施設整備基金繰入金		160,000	
	20	社会体育施設自動販売機電気料		340					

【目的・効果】

【目的】

- ・利用者が安全で快適にスポーツが行える環境を整備する。
- ・市内の体育施設の維持管理を行う。

【効果】

- ・屋内外の各種スポーツ施設を市民が積極的に利用することで、市民の健康増進やスポーツ活動の活発化が推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市内全ての社会体育施設の維持管理を行う。
 ・破損箇所や危険箇所を把握し、利用者の安全確保のため必要な修繕や工事を行う。不足、老朽備品の更新修繕を行う。
 ・管理人配置及び施設管理委託(施設予約申請、使用料徴収、清掃、鍵受け渡し等の管理)
 ・マレットゴルフ場の指定管理委託を行う。・学校開放施設の適切な修繕を行う。
 ・体育施設の使用許可並びに使用料の徴収は各支所地域課職員が補助執行している。
 市内社会体育施設
 豊科南社会体育館、勤労者スポーツ施設、豊科武道館、豊科弓道場、豊科県民運動広場、西穂高運動場、有明運動場、北穂高運動場、牧運動場、三郷体育館、小倉グラウンド、堀金体育館、常念ドーム、明科体育館、龍門淵運動広場、明科農村広場、高家スポーツ広場、屋内ゲートボール場、梓橋運動場、各マレットゴルフ場 等

【一般財源増加理由】 H26は特定財源対応(地方債)があったため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,294	管理人賃金(堀金体育館)	18	備品購入費	1,873	体育器具
11	需用費	41,812	消耗品費、体育施設修繕費、光熱水費、物品修繕費	19	負担金補助及び交付金	18	防火管理者協議会負担金等
12	役務費	1,187	電話料外、モップ交換外、保険料	22	補償補填及び賠償金	10	補償金
13	委託料	47,835	施設管理業務委託料、事務事業委託料(水辺施設洪水対策業務外)、設計監理委託料、指定管理委託料	23	償還金、利子及び割引料	50	還付金
14	使用料及び賃借料	8,943	コピー借上げ料、重機借上げ料、使用料、借地料				
15	工事請負費	155,407	体育施設改修工事外				
17	公有財産購入費	7,823	高家スポーツ広場駐車場用地購入費				
上記の合計		268,252	職員の人件費合計 0	事業費総合計		268,252	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

三郷体育館耐震診断委託料・・・昭和41年建設の三郷体育館の耐震化診断
 龍門淵公園運動広場フェンス改修工事・・・龍門淵公園グラウンドのフェンスが老朽化しているので改修する
 明科体育館照明設備改修・・・多数の昇降機が下降不能により照明が交換できないので、改修し、LED化する
 有明運動場トイレ整備工事・・・有明運動場に水洗トイレを設置
 堀金総合体育館大規模改修工事・・・堀金総合体育館の外壁が剥がれ落ちる危険があるので改修する
 高家スポーツ広場駐車場整備工事・・・高家スポーツ広場に駐車場を増設
 穂高会館非常電源装置蓄電池交換等整備工事・・・非常用電源装置のバッテリーが経年劣化による機能低下したため交換

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	10,394	三郷体育館耐震診断委託料(7,484)、社会体育施設非構造部材危険度調査委託料(2,268)、堀金総合運動場ハグネット防護罩設置業務委託(998)
15	工事請負費	144,778	龍門淵公園運動広場フェンス改修工事(10,908)、有明運動場トイレ整備工事(51,357)、堀金総合体育館大規模改修工事(52,961)他
17	公有財産購入費	7,823	高家スポーツ広場駐車場用地購入
合計		162,995	左記の特定財源 公共施設整備基金繰入金(160,000千円)

予算書ページ	384
--------	-----

重点項目番号	3-4	コード	011302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	2	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110455	市民プール管理費		具体的な施策	スポーツ施設の整備と有効活用
	単位:千円					

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	32,810					32,810
前年度	30,863					30,863
増減額	1,947	0	0	0	0	1,947

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・市内唯一の公共プールを維持管理及び運営する。

【効果】

・夏場の市民の娯楽や体力向上、健康増進を促進することができる。

・夏休み時の子どもたちに楽しみの場・憩いの場として提供でき、子どもの「居場所づくり」にも寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・プール運営を維持するための施設修繕
- ・指定管理委託
- ・プール用地の借地料支払い

施設概要

幼児用プール、中プール、スラダー、流水プール、売店 等

【一般財源増加理由】 プールの老朽化による機械設備及びプール内等の施設修繕費増、指定管理料の増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	9,818	施設修繕費				
13	委託料	11,473	各種設備保守外、指定管理料				
14	使用料及び賃借料	11,519	借地料				
上記の合計		32,810	職員の人件費合計	0	事業費総合計	32,810	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

プールサイド遮熱シート修繕・・・老朽化したシートを遮熱シートに更新する(年次的に更新)
 こどもプールタイル修繕・・・こどもプールタイルの目地の部分が深くなってきており、怪我をする恐れがあるため補修を行う
 給水・配管バルブ修繕・・・バルブ及び止水弁の交換(止水弁不良のため、完全に水が止まらない)
 流水プールサイド修繕・・・腐食・老朽によりプールサイドに危険箇所が多くなってきているため、コーティング剤で修繕する
 過タンク漏水修繕・・・4台の過タンクに漏水が見られるため、応急処置としての修繕を行う

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需要費	9,818	プールサイド遮熱シート修繕(6,210)子どもプールタイル修繕(998)、給水・配管バルブ修繕(984)、流水プールサイド修繕(756)等
合計		9,818	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	コード	011303100		予算書ページ	340
		部・課・係等	教育部文化課文化振興係			
予算	款	10	教育費	総合	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費	計	主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費	画	基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110310	文化振興費		具体的な施策	芸術文化活動の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	110,665	国支出金	県支出金	市債	その他	110,613
前年度	139,328				611	138,717
増減額	28,663	0	0	0	559	28,104

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16		博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金利子	47							52
		名誉市民田淵行男顕彰基金利子	5							

【目的・効果】

【目的】

・諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出する。

【効果】

・心豊かで潤いある市民生活を実現することができる。
 ・安曇野市の活力と魅力を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・東京藝術大学との交流事業(中学生への楽器演奏指導事業・コンサート)、能楽教室、講演会等を開催する。

・諸団体(信州安曇野薪能実行委員会など)と協働により事業を実施する。また、補助金を交付する。

・美術館・記念館等の指定管理(指定管理期間:平成26年4月1日～平成31年3月31日)

安曇野市豊科近代美術館 所在地:豊科4609番地3 開館年:平成4年 指定管理者:公益財団法人安曇野文化財団
 田淵行男記念館 所在地:豊科南穂高5078番地2 開館年:平成2年 指定管理者:公益財団法人安曇野文化財団
 飯沼飛行士記念館 所在地:豊科南穂高3888番地2 開館年:平成元年 指定管理者:公益財団法人安曇野文化財団
 安曇野市穂高陶芸会館 所在地:穂高8414番地17 開館年:昭和58年 指定管理者:公益財団法人安曇野文化財団
 臼井吉見文学館 所在地:堀金烏川2701番地 開館年:平成3年 指定管理者:ほたるぶくの会
 ・指定管理施設の修繕等を行い、資料を保全するとともに、利用者に快適な環境を提供する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	105	博物館協議会委員報酬	14	使用料及び賃借料	620	飯沼飛行士記念館借地料 他
07	賃金	1,767	臨時職員賃金	15	工事請負費	9,623	指定管理施設等改修工事
08	報償費	1,985	藝大交流事業、能楽教室講師謝礼、美術資料等選定委員会出席謝礼 他	18	備品購入費	432	田淵行男記念館展示用備品(写真プリント)
09	旅費	910	事業に伴う職員旅費、講師等実費弁償	19	負担金補助及び交付金	16,840	新能実行委員会、早春賦音楽祭実行委員会、安曇野文化財団、安曇野文化刊行委員会 他
11	需用費	1,076	事業看板、ポスター・ちらし・プログラム印刷、指定管理施設修繕 他	25	積立金	54	博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金利子、田淵行男顕彰基金利子
12	役務費	1,300	作品運搬料、講演会講演料、ピアノ調律 他				
13	委託料	75,953	バス運転委託、指定管理料(5施設)、指定管理施設修繕工事設計監理業務 他				
上記の合計		110,665	職員の人件費合計	0	事業費総合計	110,665	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・美術資料等の収集特に寄附採納の判断が難しくなっているため、適正に選定及び評価する機関として美術資料等選定委員会を組織する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
08	報償費	114	美術資料等選定委員会出席謝礼
09	旅費	51	美術資料等選定委員会委員実費弁償
合計		165	左記の特定財源

重点項目番号	3-2		コード	011303100		予算書ページ	344
			部・課・係等	教育部文化課文化振興係			
予算	款	10	教育費	基本方針	人と文化を育むまちの形成		
	項	05	社会教育費	主要施策	文化を学び育むまち		
	目	01	社会教育総務費	基本施策	芸術文化活動の振興		
	事業	0110315	高橋節郎記念美術館費	具体的な施策	芸術文化活動の推進		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	38,947				2,116	36,831
前年度	45,104				2,306	42,798
増減額	6,157	0	0	0	190	5,967

特定財源の内訳	款	13	記念美術館使用料	金額	1,606	款	20	美術館グッズ等販売	金額	490	款	20	その他教育費雑入	金額	20	合計金額	2,116

【目的・効果】

【目的】

・高橋節郎芸術の顕彰と、その芸術を後世に継承することにより芸術文化の発展及び地域振興に寄与するとともに生涯学習の場としての活用を図る。そのために必要な資料の調査研究、収集、保管、展示及び講座・学習会などの教育普及活動を行う。

【効果】

・市民が文化芸術並びに名誉市民に親しむ機会を提供できる。
・観光振興に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・常設展・企画展、講座・学習会等の諸事業を通じて、高橋節郎の人と芸術を顕彰する。
・主屋・南の蔵を活用し、地元作家らの展覧会を開催する。
・広く全国にそは猪口アートを公募し、展覧会を開催する。
・平成26年度に引き続き施設の修繕を行い、資料等を保全するとともに、利用者に快適な環境を提供する。

【施設の概要】

所在地: 穂高北穂高408番地1 開館年: 平成15年

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,689	館長報酬	14	使用料及び賃借料	266	コピー機借上料・使用料、著作権等使用料
07	賃金	5,378	臨時職員賃金	15	工事請負費	14,553	漏水対策工事 他
08	報償費	1,377	講座講師謝礼、公募展審査員謝礼、公募展報奨金 他	16	原材料費	15	庭園苗木
09	旅費	460	作品借用等に係る職員旅費 講師・審査員旅費 他	18	備品購入費	292	温湿度記録計
11	需用費	5,326	事業用(展覧会・講座等)消耗品、管理消耗品、 光熱水費、施設・物品修繕費 他	19	負担金補助及び交付金	160	日本博物館協会、安曇野アートライン推進協議会 他
12	役務費	2,924	作品運搬料、電話料、広告料、保険料 他	27	公課費	8	自動車重量税
13	委託料	6,499	施設管理(清掃・保守)委託料、展示作業、 印刷物デザイン印刷業務 他				
上記の合計		38,947	職員の人件費合計 0	事業費総合計		38,947	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3 - 2	コード	11303200	予算書ページ	356
		部・課・係等	教育部 文化課 文化財保護係		
予算	款	10	教育費	総計	基本方針 人と文化を育むまち
	項	5	社会教育費	主要施策	文化を学び育むまち
	目	2	文化財保護費	基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110355	文化財保護費	具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,278				100	16,178
前年度	9,834				100	9,734
増減額	6,444	0	0	0	0	6,444
特定財源の内訳	款	20	町誌誌頒布代	金額	100	
	合計金額					100

【目的】

郷土の歴史的文化遺産や伝統文化、古文書などの保存・継承を目指す。
 現在、安曇野市内には国・県・市指定の文化財をはじめ、多くの有形・無形の歴史的文化遺産や伝統文化が豊富に存在する。それら文化財を郷土の歴史・文化を学ぶ貴重な素材・資料として、有形文化財に関しては、保存管理を、無形文化財に関しては保存継承を進めるとともに、将来に向けて活用を図っていく。

【効果】

文化財を活かすことにより、地域の個性が高められ、まちづくりにつながる。また、新たな文化を創造するうえでの基礎となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・安曇野市内の古文書収集と整理作業(目録作成)を進め、安曇野市の歴史解明や将来の市誌編纂事業に繋げる。
 ・無形民俗文化財の保存伝承及び、有形文化財(建造物)の修理事業等に対する助成を行う。

【一般財源増加理由】 昨年度はなかった有形文化財の修理事業、市制施行10周年事業を計上しているため予算額が増額となっている。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	53	文化財保護審議会委員報酬	15	工事請負費	428	工事請負費(いわれの地、標柱設置事業)
7	賃金	3,237	臨時職員賃金(古文書整理作業1人、文化財保護関連事務1人)	19	負担金補助及び交付金	4,542	負担金(文化財保護協会) 補助金(無形民俗文化財伝承事業、有形文化財修理事業他)
8	報償費	1,617	謝礼(専門家相談 古文書調査等) 出席謝礼(文化財調査等)	27	公課費	9	自動車重量税
9	旅費	210	普通旅費(職員研修)、費用弁償、実費弁償				
11	需用費	619	消耗品(事務用品、文化財保存用品)、燃料費(公用車)、印刷製本費(古文書目録)、物品修繕(公用車)				
12	役務費	62	手数料(公用車点検)、保険料(公用車自賠責)				
13	委託料	5,501	事務事業委託料(シルバー人材センター委託:除草、古文書調査)、市制施行10周年記念事業				
上記の合計		16,278	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,278	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・安曇野市制施行10周年記念事業「あづみのフィルムアーカイブ事業」
 ・公用車管理(これまで文化振興費で予算計上していたものを文化財保護費へ)
 ・市有形文化財(建造物)修理事業

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	需用費	138	公用車燃料費、公用車修繕
12	役務費	62	公用車点検、公用車自賠責
13	委託料	3,780	「あづみのフィルムアーカイブ事業」市内の各家に眠っている8ミリフィルムを電子データ化し、編集してDVDをつくる。
19	負担金補助及び交付金	3,000	市有形文化財(建造物)修理事業(補助率1/2、上限3,000千円。)
27	公課費	9	公用車重量税
合計		6,989	左記の特定財源

重点項目番号	3 - 2
--------	-------

コード	11303200
部・課・係等	教育部 文化課 文化財保護係

予算書ページ	358
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまち
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	2	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業		具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,767					16,767
前年度	6,570				604	5,966
増減額	10,197	0	0	0	604	10,801

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的】

文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の保護及び保存活用を図る。

【効果】

埋蔵文化財を活用することにより、安曇野市の活力と魅力を高め、地域の個性を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・穂高支所建て替えに際し、計画地が周知の埋蔵文化財包蔵地「穂高神社境内遺跡」の範囲にあたるため、文化財保護法に基づき緊急発掘調査を実施する。ただし、平成27年度、現在の建物除去後に埋蔵文化財の残存状況を確認するための確認調査を行ない、発掘調査の要否及び調査面積等を最終確認する事となっている。(現在の発掘調査費用の積算根拠は、新しい支所全面から遺跡が発見され調査を行わなければいけないことを想定しての額である。)

- ・文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内における開発行為に対して保護措置を行う。(試掘調査、工事立会い、発掘調査等)。
- ・これまで発掘調査を行い、出土遺物及び図面等が未整理の資料について、整理作業を進め、報告書作成を行う。

【一般財源増加理由】 穂高支所建て替えに伴う「穂高神社境内遺跡」等、緊急発掘調査の実施が想定されるため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	7,893	発掘調査作業 出土遺物整理作業				
8	報償費	63	外部専門家による調査指導・報告書執筆				
11	需用費	637	消耗品費(発掘調査、整理等用品) 印刷製本費(発掘調査報告書) 燃料費(発掘等燃料費)				
12	役務費	14	発掘作業員保険料				
13	委託料	6,696	発掘調査測量 出土遺物分析 出土遺物保存処理				
14	使用料及び賃借料	1,101	試掘等調査用重機 発掘調査用コンテナハウス等				
18	備品購入費	363	遺物整理用備品(応急処置)				
上記の合計		16,767	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,767	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・穂高支所建て替えに伴う「穂高神社境内遺跡」発掘調査・・・7,362千円
- ・市内遺跡発掘調査(新林遺跡他)・・・3,271千円

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	4,454	穂高支所発掘調査(穂高神社境内遺跡)及び、市内遺跡発掘調査 作業員臨時賃金
8	報償費	18	穂高支所発掘調査(穂高神社境内遺跡) 専門調査指導謝礼
11	需用費	148	穂高支所発掘調査(穂高神社境内遺跡)及び、市内遺跡発掘調査 消耗品費・燃料費
12	役務費	14	穂高支所発掘調査(穂高神社境内遺跡)及び、市内遺跡発掘調査 作業員労災保険
13	委託料	5,740	穂高支所発掘調査(穂高神社境内遺跡)及び、市内遺跡発掘調査 測量・出土遺物分析
14	使用料及び賃借料	259	穂高支所発掘調査(穂高神社境内遺跡)及び、市内遺跡発掘調査 コンテナハウス等借上料
合計		10,633	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	コード	011303300	予算書ページ	346	
		部・課・係等	教育部 文化課 博物館係			
予算	款	10	教育費	総合	基本方針	人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費	合計	主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費	計画	基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110320	郷土博物館費	画	具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	24,702				504	24,198
前年度	22,226				418	21,808
増減額	2,476	0	0	0	86	2,390
特定財源の内訳	款	13	郷土博物館等使用料	金額	200	合計金額
		20	郷土博物館等コピーサービス料	金額	20	
		20	その他刊行物頒布代(文化課)	金額	284	

【目的・効果】

【目的】

豊科郷土博物館は、郷土の自然、歴史、民俗及び文化に関する知識の向上と文化の発展に寄与するため、資料の展示並びに収集及び保管を行う。穂高郷土資料館及び文化財資料センター等の施設と連携し、市の学芸活動の拠点として事業を展開する。所在地:安曇野市豊科4289番地8 開館年:昭和54年

【効果】

安曇野市の活力と魅力を高め、地域の個性を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

夏季特別展を開催する。
 秋季特別展を開催する。
 各種講座を開催する。
 博物館紀要、安曇野風土記等の刊行物を発行する。
 新市立博物館構想を策定する。

【一般財源増加理由】 新市立博物館構想策定業務委託料(1,448千円増)、展覧会等印刷物(353千円増)、小規模工事(298千円増)等による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,689	博物館長報酬	14	使用料及び賃借料	365	借上料(印刷機等)、使用料(コピー機等)
07	賃金	8,965	臨時職員賃金(学芸員2人、事務職員3人)	15	工事請負費	298	博物館小規模工事
08	報償費	599	講座・講演会講師謝礼、紀要執筆指導謝礼、資料借用時土産、博物館構想策定委員会出席謝礼	18	備品購入費	249	展示用備品(展示台、除湿機)
09	旅費	208	研修会等出張旅費、特別展準備出張旅費、特別展講師等旅費	19	負担金補助及び交付金	47	負担金(日本博物館協会会費、安曇野市観光協会会費等)
11	需用費	5,297	消耗品、燃料費、食糧費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費、物品修繕費	27	公課費	9	公用車自動車重量税
12	役務費	862	通信運搬費、広告料、手数料、保険料				
13	委託料	6,114	管理委託料(警備、消防点検、清掃等)、事務事業委託料(博物館構想策定業務、燻蒸、看板製作設置等)				
上記の合計		24,702	職員の人件費合計	0	事業費総合計	24,702	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	コード	011303300	予算書ページ	348
		部・課・係等	教育部 文化課 博物館係		
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針 人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費	画	主要施策 文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策 芸術文化活動の振興
	事業	0110325	文化財資料センター費		具体的な施策 歴史民俗資料の保存・活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	7,120					7,120	
前年度	5,296					5,296	
増減額	1,824	0	0	0	0	1,824	
特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	細節名称		細節名称		細節名称		

【目的・効果】

【目的】

博物館に展示及び保存する資料の収集、整理等を行う。豊科郷土博物館と連携して学芸活動を補完する役割を果たす。文化財保護系の所管する古文書収集や埋蔵文化財調査を実施する施設も兼ねている。所在地:安曇野市穂高5836番地 開館年:平成25年

【効果】

収蔵品の整理等は地道な作業であるが、各地域に分散していた資料の収集、整理を進めている。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

博物館の収蔵品の整理等を行う。
各地域の資料館の統廃合に係る資料整理を行う。

【一般財源増加倍理由】 施設修繕費(486千円増)、施設改修工事(1,620千円増)等による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,634	臨時職員賃金(資料整理作業員2人)				
11	需用費	2,000	消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	263	通信運搬費、手数料(粗大ごみ収集運搬料)				
13	委託料	242	管理委託料(警備、消防点検)				
14	使用料及び賃借料	361	借上料(複合機)、使用料				
15	工事請負費	1,620	施設改修工事				
上記の合計		7,120	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,120	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

経年劣化により雨漏りする屋根等の改修工事を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	1,620	施設改修工事
合計		1,620	左記の特定財源

重点項目番号	3-2	コード	011303300	予算書ページ	348
		部・課・係等	教育部 文化課 博物館係		
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針 人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費	画	主要施策 文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策 芸術文化活動の振興
	事業	0110330	郷土資料館費		具体的な施策 歴史民俗資料の保存・活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	3,956				50	3,906	
前年度	4,476				50	4,426	
増減額	520	0	0	0	0	520	
特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	13 郷土博物館等使用料	50					

【目的・効果】

【目的】

穂高郷土資料館は、郷土の歴史資料の収集、保管、展示及び公開、また、郷土史の研究及び学習の普及を行う。穂高鐘の鳴る丘集会所は、郷土史等の研修を目的とする体験学習のための施設として、郷土の歴史や文化に係る学習及び青少年の健全育成に係る体験学習に活用している。所在地:安曇野市穂高有明7327番地72 開館年:昭和47年

【効果】

安曇野市の活力と魅力を高め、地域の個性を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

穂高郷土資料館の管理運営を行う。
 豊科郷土博物館と連携を図り、市内小学校への出前体験講座を開催する。
 平成24年に廃止した旧三郷・旧堀金の資料館は、引き続き郷土資料の収蔵庫として利用しており、その維持管理を行う。
 穂高鐘の鳴る丘集会所の管理と活用を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,896	臨時職員賃金(事務職員2人)				
08	報償費	241	体験学習講師謝礼、見学者展示解説謝礼				
11	需用費	786	消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費、物品修繕費				
12	役務費	161	通信運搬費、手数料(雨樋清掃)				
13	委託料	359	管理委託料(警備、消防点検、清掃)				
14	使用料及び賃借料	508	借地料				
19	負担金補助及び交付金	5	負担金(安曇野市防火管理者協議会会費等)				
上記の合計		3,956	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,956	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	3-2		コード	011303300		予算書ページ	350
			部・課・係等	教育部 文化課 博物館係			
予算	款	10	教育費	基本方針	人と文化を育むまち		
	項	05	社会教育費	主要施策	文化を学び育むまち		
	目	01	社会教育総務費	基本施策	芸術文化活動の振興		
	事業	0110335	貞享義民記念館事業	具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源		
		国支出金	県支出金	市債	その他			
本年度	15,237				385	14,852		
前年度	14,251				410	13,841		
増減額	986	0	0	0	25	1,011		
特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額	
	13	貞享義民記念館使用料		300				385
	20	郷土博物館等コピーサービス料		15				
	20	義民館グッズ売上金		70				

【目的・効果】

【目的】

貞享義民の業績にかかわる資料の収集、保管、展示及び調査研究を通じて、郷土の歴史や民主主義の意義、人権尊重の精神を広く啓発し、講座及び学習会などの教育普及活動を行う。所在地:安曇野市三郷明盛3209番地 開館年:平成4年

【効果】

義民の精神を伝え、市民の人権学習の場になる。
安曇野市南部における文化芸術拠点の一つとして、市民に発表の機会と多様な芸術文化に接する機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

貞享義民の業績にかかわる資料及び人権学習に関する展示等を行う。
市民の発表の機会と多様な芸術文化に接する機会として企画展を開催する。
義民に関する講座及び古文書の学習会を開催する。

【一般財源増加理由】 施設修繕費(1,015千円増)等による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,689	記念館長報酬	16	原材料費	40	公園苗木等
07	賃金	3,563	臨時職員賃金(事務職員2人)	18	備品購入費	30	資料図書
08	報償費	167	講座講師謝礼、講座手土産、企画展出品謝礼等	19	負担金補助及び交付金	35	負担金(日本博物館協会会費、安曇野市観光協会会費等)
11	需用費	4,577	消耗品、燃料費、食糧費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費				
12	役務費	244	通信運搬費、広告料、手数料				
13	委託料	3,081	管理委託料(警備、電気保安、消防点検、自動ドア、エレベーター、施設・樹木管理、清掃等)、バス運転				
14	使用料及び賃借料	1,811	借上料(コピー機)、使用料(コピー機等)、借地料				
上記の合計		15,237	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,237	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	350
--------	-----

重点項目番号	3 - 2	コード	11304100
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110340	豊科交流学習センター費		具体的な施策	芸術文化施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	37,094				1,626	35,468
前年度	28,247				1,445	26,802
増減額	8,847	0	0	0	181	8,666

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	13	豊科交流学習センター使用料		1,200									1,626
	20	豊科交流学習センター講座受講料		300									
	20	その他教育費雑入(図書館交流課)		126									

【目的・効果】

【目的】

・市民の「交流の場」「学習の場」、さらに「安曇野地域学習」の拠点として、さまざまな情報を発信するとともに、市民活動を支援する。

【効果】

・市民が文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き創造意欲を高めることができる。
 ・市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【施設の概要】

所在地:豊科5609番地3 開館年:平成23年 愛称「きぼう」

・コンサート、展覧会、映画上映会などを開催し、市民が良質な文化芸術に親しむ機会を創出する。
 ・多目的交流ホール等を利用する市民の活動を支援する。
 ・熊井啓記念館の展示替え、監督作品の上映を行い、名誉市民の顕彰を行う。
 ・本庁舎開庁に伴い文化ゾーン西側境界部にフェンスを設置する工事を行う。

【一般財源増加理由】 主に、熊井啓関連資料のデジタルデータベース化事業による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,767	臨時職員賃金	15	工事請負費	8,889	文化ゾーン西側境界部フェンス設置工事
8	報償費	105	講師・出演者謝礼	19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協会
9	旅費	44	職員打合せ旅費 講師旅費				
11	需用費	13,829	事業用(展覧会・講座等)消耗品、施設管理用品 燃料、光熱水費、施設・物品修繕費 他				
12	役務費	1,530	電話料、公演手数料、ピアノ調律、車検手数料				
13	委託料	9,676	施設管理(清掃、保守)業務 印刷物デザイン・作成業務、映画上映委託				
14	使用料及び賃借料	1,250	コピー機借上料・使用料、著作権使用料				
上記の合計		37,094	職員の人件費合計	0	事業費総合計	37,094	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

本庁舎開庁に伴い文化ゾーン西側境界部にフェンスを設置する工事を行う。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
15	工事請負費	8,889	文化ゾーン西側境界部フェンス設置工事
合計		8,889	左記の特定財源

予算書ページ	352
--------	-----

重点項目番号	3 - 2	コード	11304100
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110345	穂高交流学習センター費		具体的な施策	芸術文化施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	34,827	国支出金	県支出金	市債	その他	31,617
前年度	38,112				3,304	34,808
増減額	3,285	0	0	0	94	3,191

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額		細節名称	金額	
	13	穂高交流学習センター使用料	2,520							3,210
	20	穂高交流学習センター講座受講料	620							
	20	その他教育費雑入(図書館交流課)	70							

【目的・効果】

【目的】

・市民の「交流の場」「学習の場」、さらに「安曇野地域学習」の拠点として、多目的交流ホール・展示ギャラリー・地域学習室などを活用してさまざまな情報を発信するとともに、市民活動を支援する。

【効果】

・市民が文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き創造意欲を高めることができる。
 ・市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【施設の概要】

所在地:穂高6765番地2 開館年:平成21年 愛称「みらい」

・安曇野市制施行10周年記念イベント、展覧会等を開催し、市民が良質な文化芸術に親しむ機会を創出する。
 ・新進音楽家公開オーディション並びに出前コンサートなどを開催し、市民が文化芸術に親しむ機会を創出するとともに、若手音楽家の育成支援を図る。
 ・多目的交流ホール、展示ギャラリー等を利用する市民の活動を支援する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	4,630	臨時職員賃金	18	備品購入費	282	学習室備品(机・椅子)他
8	報償費	2,599	講師・出演者謝礼 交流学習センター運営委員会出席謝礼 他	19	負担金補助及び交付金	34	安曇野スタイル2014 防火管理者協会
9	旅費	78	職員打合せ旅費 新進音楽家演奏会審査員旅費 他	27	公課費	38	自動車重量税
11	需用費	14,235	事業用(展覧会・講座等)消耗品、施設管理用品 燃料、光熱水費、施設・物品修繕費 他				
12	役務費	2,189	電話料、公演手数料、ピアノ調律、保険 他				
13	委託料	9,316	施設管理(清掃、保守)業務 印刷物デザイン・作成業務 他				
14	使用料及び賃借料	1,426	コピー機借上料・使用料、著作権使用料 他				
上記の合計		34,827	職員の人件費合計 0	事業費総合計		34,827	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・巡回展、出前コンサートを行うための備品を補充する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
18	01	152	電子ピアノ/他(140,350円+展示パネル用イーゼル12,000円×10台)×1.08
合計		152	左記の特定財源

予算書ページ	354
--------	-----

重点項目番号	3 - 2	コード	11304100
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110348	明科交流学习施設費		具体的な施策	芸術文化施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
11,605	10,444	1,161	0	0	0	1,748
						9,857
						8,938
						919

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	学習館使用料	300							1,748
	20	その他教育費雑入	1							
	20	明科子どもと大人の交流学习施設利用料	1,447							

【目的・効果】

【目的】

・市民の「交流の場」「学習の場」さらに「安曇野地域学習」の拠点として、様々な情報を発信するとともに、市民活動を支援する。

【効果】

・市民が文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き、創造意欲を高めることができる。
 ・市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・巡回展、コンサートなどのイベントを開催し、市民が良質な文化芸術に親しむ機会を創出する。
 ・学習館を利用する市民の活動を支援する。

【一般財源増加理由】 主に、北側入り口のコンクリート部ひび割れ補修工事、防犯カメラを設置工事、空調機器類の保守点検、空調設備点検の委託化による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,802	施設管理非常勤職員賃金				
8	報償費	154	講演会等謝礼、土産代				
11	需用費	4,965	施設管理・事業用(講演等)消耗品他、光熱水費、施設・物品修繕費				
12	役務費	774	電話料、床・カーペット・サッシクリーニング 他				
13	委託料	3,649	施設管理(清掃、保守)業務 夜間等シフト委託業務				
14	使用料及び賃借料	261	コピー機借り上げ料、安曇野テレビ利用料				
上記の合計		11,605	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,605	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・空調機器類の保守点検を委託する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	01	303	空調機器類保守点検
合計		303	左記の特定財源

予算書ページ	356
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11304100
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110350	交流学習センター費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
40,962	8,699	32,263	0	0	30,400	0
						10,562
						8,699
						1,863

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	旧合併特例事業債	30,400							

【目的・効果】

【目的】

・市民が集い、交流を深め、学ぶ場として、図書館を核とした交流学習センターの整備充実を図る。

【効果】

・市民待望の三郷交流学習センターの新設と三郷図書館が充実することにより、交流の場、学習の場が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・三郷交流学習センター及び三郷図書館の実施設計を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	40,962	三郷交流学習センター実施設計業務外				
上記の合計		40,962	職員の人件費合計	0	事業費総合計	40,962	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・三郷交流学習センター実施設計を委託

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	40,962	三郷交流学習センター実施設計業務外
合計		40,962	左記の特定財源 旧合併特例事業債(30,400千円)

予算書ページ	376
--------	-----

重点項目番号	3	コード	11304100
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	6	図書館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110435	図書館費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	177,369	国支出金	県支出金	市債	その他	126,617
前年度	143,416				44,491	98,925
増減額	33,953	0	0	0	6,261	27,692

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
内訳	16	三郷図書館建設事業基金利子	831	20	図書館コピー使用料等	100				50,752
	18	三郷図書館建設事業基金繰入金	10,000	20	図書館相互貸借送料	1				
	20	図書カード発行手数料	20	20	市町村振興協会交付金	39,800				

【目的・効果】

【目的】

- ・市民への質の高い情報を提供できる「情報センター」を目指す。
- ・生涯学習の中核として市民の「学び」のニーズに応える。

【効果】

- ・市民に図書館資料を提供することにより、生涯学習の推進と人材育成に寄与できる。
- ・市民の憩いの場としての役割を担うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・図書館事業のPRを行い、図書館利用者の増加を図る。
- ・小中学校などの教育施設と連携し、人材育成を図る。
- ・図書館内の環境整備を行い、利用者の満足度の向上に努める。
- ・図書館資料の充実と情報提供サービスの拡充を図る。
- ・市民に喜ばれる図書館の運営方法の研究を行う。
- ・堀金図書館の整備を堀金支所と連携して推進し、新堀金図書館の開館準備を行う。
- ・三郷図書館建設の実施設計をまとめるとともに、新図書館開館のための準備を進める。
- ・三郷公民館改修工事に伴い、仮設図書館の開設を行う。

【一般財源増加理由】 新図書館準備に伴う非常勤職員賃金3名増及び単価改定(8,115千円増)、新図書館用図書購入(20,000千円増)、その他新図書館準備経費(5,017千円)、三郷仮設図書館移転経費(2,812千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	3,517	図書館長報酬2名分	14	使用料及び賃借料	16,950	図書館システムリース料(既存分、更新分)、書誌データ使用料、有料データベース使用料他
07	賃金	71,558	非常勤職員賃金36名分(プラス3名)	18	備品購入費	54,333	図書館備品購入、図書購入費(通常分、三郷・堀金図書館開館準備分)
08	報償費	1,708	講演会、図書館講座講師謝礼	19	負担金補助及び交付金	109	図書館協会負担金、講座受講料
09	旅費	181	職員研修旅費、先進事例視察関係旅費	25	積立金	832	三郷図書館建設事業基金利子
11	需用費	15,616	図書整備用品、雑誌、新聞購読料、利用案内・イベントチラシ等印刷費、	27	公課費	16	公用車車検重量税
12	役務費	1,329	電話・インターネット通信料他				
13	委託料	11,220	配本車運転委託料、図書館システム保守委託料、三郷図書館書架等移転委託料、ICタグ張付業務				
上記の合計		177,369	職員の人件費合計 0	事業費総合計		177,369	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・三郷公民館耐震補強工事に伴う仮設三郷図書館移転経費を計上
- ・三郷図書館及び堀金図書館新設準備のための図書等購入

節	節名称	金額(千円)	主な内容
11	消耗品	2,609	新三郷・堀金図書館分及び現堀金・明科図書館分のICタグ購入(36,800冊分)
13	委託料	5,220	新図書館図書等購入分図書マーク作成(1,193千円)、現堀金図書館蔵書ICタグ貼付外(1,215千円)、三郷仮設図書館への書架移動等(2,812千円)ほか
18	備品購入費	20,000	新三郷・堀金図書館図書等購入費(20,000千円)
合計		27,829	左記の特定財源 三郷図書館建設事業基金繰入金(10,000千円)

監査委員事務局

予算書ページ	118
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	11500000
		部・課・係等	監査委員事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
	項	6	監査委員費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち	
	目	1	監査委員費		基本施策	健全な自治体経営の推進	
	事業		0102640		監査委員事務費	具体的な施策	健全な財政経営
	単位:千円						

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,134					27,134
前年度	26,835					26,835
増減額	299	0	0	0	0	299

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

公平でより合理的・能率的な市の行政運営を確保する。

【効果】

監査等を実施するなかで市行政運営の適法性、効率性、妥当性を検証し、よりよい方策を発見できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・年間の監査計画を策定し、その後各実施計画の作成を行い、監査等を実施する。
- ・全国都市監査委員会総会等研修会へ参加し、知識取得と意識向上を図る。
- ・全国都市監査委員会負担金等団体への負担金を支払う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
1	報酬	2,956	監査委員報酬						
9	旅費	581	全国都市監査委員会総会・東海地区都市監査委員会総会 三地区共催都市監査事務研修会旅費						
11	需要費	67	図書(地方財務)他 エイナーファイル・インデックス他						
13	委託料	35	住民監査請求陳述録取書作成委託						
19	負担金補助金及び交付金	42	全国都市監査委員会負担金・東海地区都市監査委員会負担金等						
	上記の合計	3,681	職員の人件費合計			23,453	事業費総合計	27,134	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

選挙管理委員会事務局

予算書ページ	108
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	1160000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	1	選挙管理委員会費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102500	選挙管理委員会事務費		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
21,823	25,174	3,351	0	1	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	在外選挙人名簿登録事務委託費	1							1

【目的・効果】

【目的】

公正、公平、中立な選挙事務を確保するため、選挙管理委員会事務、各種選挙人名簿の調製、選挙管理委員会定例会・臨時会を開催する。

【効果】

予定されている各種選挙の執行にあたり、正確な事務執行を行うことができる。また、研修会への参加により委員及び職員の知識の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

選挙管理委員会事務
選挙人名簿の調製
選挙の執行管理

総会、研修会への参加

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

選挙管理委員会 定例会(月1回) 臨時会(必要に応じ)の開催
選挙人名簿(定時登録年4回、選挙時登録) 農業委員会委員選挙人名簿 在外選挙人名簿
長野県議会議員一般選挙・市農業委員会委員選挙・拾ヶ堰土地改良区総代選挙・勸左衛門堰土地改良区総代選挙
全国選挙管理委員会連合会・全国選挙管理委員会連合会北信越支部・県選挙管理委員会連合会・長野県19市選挙管理委員会連合会・中信四市選挙管理委員会の開催する総会、研修会へ参加する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,016	選挙管理委員報酬				
9	旅費	2	旅費				
11	需用費	61	参考図書				
12	役務費	47	機器処分手数料				
14	使用料及び賃借料	108	コピー機使用料				
19	負担金	272	全国選管連合会負担金、全国選管連合会支部負担金、県連合会負担金、19市連合会負担金、会議負担金				
上記の合計		2,506	職員の人件費合計	19,317	事業費総合計	21,823	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	108
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	2	明るい選挙推進費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102510	明るい選挙推進事業		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
230	230	0	0	0	0	230
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

普段から政治と選挙に関心を持てることができるよう啓発活動を行う。

【効果】

啓発活動を通じ、選挙や候補者に関心を持ってもらうことにより投票率の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

投票率向上に向け、明るい選挙推進協議会の開催、明るい選挙推進県大会へ参加する。
 明るい選挙推進ポスターコンクール(小学校、中学校、高等学校、一般)の作品募集・審査を行い、県、全国コンクールへ推薦する。

優良作品の展示、参加賞の配布を行う。
 県議会議員一般選挙の選挙啓発を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	230	明るい選挙推進ポスターコンクール参加賞、推進協議会委員会議出席謝礼				
上記の合計		230	職員の人件費合計	0	事業費総合計	230	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	土地改良区総代選挙費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102525	拾ヶ堰土地改良区総代選挙		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	89				89	0
前年度	0				0	0
増減額	89	0	0	0	89	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	拾ヶ堰土地改良区総代選挙費	89							

【目的・効果】

【目的】

任期満了に伴う土地改良区総代選挙の執行管理により、土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。

【効果】

正確な選挙長事務を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

任期(4年)満了に伴う総代の選挙執行管理

任期 4年
 任期満了日 平成27年4月25日
 選挙執行予定 任期満了日前30日から満了日までの間
 選挙区 1選挙区
 総代数 43人

選挙の告示により立候補届の受理、被選挙資格の確認等選挙長事務を行う。
 立候補者が定数を超えた場合は、投票を行い選挙会において当選人を決定し当選証書を付与する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	39	選挙長、選挙立会人の報酬				
11	需用費	38	当選証書等				
12	役務費	12	通知等郵送費				
上記の合計		89	職員の人件費合計	0	事業費総合計	89	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	108
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	土地改良区総代選挙費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102535	勸左衛門堰土地改良区総代選挙		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	117				117	0
前年度	0				0	0
増減額	117	0	0	0	117	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

任期満了に伴う土地改良区総代選挙の執行管理により、土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。

【効果】

正確な選挙長事務を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

任期(4年)満了に伴う総代の選挙執行管理

任期 4年

任期満了日 平成28年2月7日

選挙執行予定 任期満了日前30日から満了日までの間

選挙区 3選挙区(安曇野市2選挙区・松本市1選挙区)

総代数 32人(安曇野市選挙区27人・松本市選挙区5人)

選挙の告示により立候補届の受理、被選挙資格の確認等選挙長事務を行う。

立候補者が定数を超えた場合は、投票を行い選挙会において当選人を決定し当選証書を付与する。なお、選挙会は選挙区の市選管で実施し、当選証書は管理選管(安曇野市選管)で発行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	78	選挙長、選挙立会人の報酬				
11	需用費	29	当選証書等				
12	役務費	10	通知等郵送費				
上記の合計		117	職員の人件費合計	0	事業費総合計	117	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	110
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	5	県議会議員選挙費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102560	県議会議員選挙費		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
31,392	11,256	20,136	0	31,392	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	県議会議員一般選挙委託金	31,392							

【目的・効果】

【目的】

任期満了に伴う県議会議員一般選挙執行管理

【効果】

正確な選挙長事務を進めることができる。また、選挙啓発により明るい選挙を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

任期満了に伴う県議会議員一般選挙執行管理

安曇野市選挙区 定数2人
 任期満了日 平成27年4月29日
 告示日 平成27年4月3日
 期日前投票 平成27年4月4日から4月11日(8日間)
 投開票日 平成27年4月12日(前回平成23年4月10日)

立候補届事前審査、立候補受付事務の確認準備等、選挙長事務を行う。
 期日前投票及び当日投票所の準備、開票所の設置準備、公営ポスター掲示場の保守を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	5,787	投票管理者・投票管理者職務代理・投票立会人・開票管理者・開票立会人・選挙長・選挙立会人の報酬	18	備品購入費	100	期日前投票所案内板
7	賃金	1,959	期日前投票事務等臨時職員賃金				
8	報償費	100	ポスター掲示場設置謝礼				
11	需用費	1,347	事務消耗品等				
12	役務費	425	通信運搬費、手数料				
13	委託料	1,914	ポスター掲示板保守撤去委託・電算業務委託等				
14	使用料及び賃借料	1,507	投票所借上げ料・開票所物品リース・投票箱送致タクシー使用料等				
上記の合計		13,139	職員の人件費合計	18,253	事業費総合計	31,392	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	112
--------	-----

重点項目番号	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	6	市農業委員会委員選挙費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102545	市農業委員会委員選挙費		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,838					7,838
前年度	0					0
増減額	7,838	0	0	0	0	7,838

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

任期満了に伴う市農業委員会委員選挙の執行管理

【効果】

正確な選挙長事務を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

任期満了に伴う市農業委員会委員選挙執行管理

任期 3年

任期満了日 平成27年7月19日

選挙区 5選挙区(豊科・穂高・三郷・堀金・明科)

定数 40人(豊科9人・穂高12人・三郷9人・堀金6人・明科4人)

投票所 58投票所

立候補届事前審査、立候補受付事務の確認準備等、選挙長事務を行う。

当日投票所の準備、開票所の設営準備等を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	1,508	投票管理者・投票管理者職務代理・投票立会人・開票管理者・開票立会人・選挙長・選挙立会人の報酬						
7	賃金	299	臨時職員賃金						
11	需用費	391	事務消耗品等						
12	役務費	655	通信運搬費、手数料						
13	委託料	633	電算業務委託等						
14	使用料及び賃借料	216	投票所借上げ料・投票箱送致タクシー使用料等						
上記の合計		3,702	職員の人件費合計	4,136	事業費総合計		7,838	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

農業委員会事務局

予算書ページ	208
--------	-----

重点項目番号	1	コード	11700000
		部・課・係等	農業委員会事務局

予算	款	6	農林水産費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106010	農業委員会費		具体的な施策	経営基盤の整備・充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
85,862	78,256	7,606	11	7,239		1,981
			9	7,239		83
			2	0	0	1,898
						76,631
						70,925
						5,706

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
内訳	14	国有農地管理事務委託金	11	20	農業投資価格評定謝金	8				9,231
	15	農業費負担金	7,239	20	農業新聞購読料等	1,898				
	20	県農業開発公社業務委託金等	75							

【目的・効果】

【目的】

- ・優良農地確保や効率的利用の実現にむけ、農地の保全と有効利用の促進を図る。
- ・農地法その他の法令により、農地の利用関係の調整を通じて、農地の円滑化、適正化を図る。

【効果】

- ・農用地の流動化により、農業者への集積や遊休農地の解消など、農地を保全するとともに限りある資源を有効に活用することが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・農地法に基づく業務の遂行、農地法3条4条5条他の書類の審査受付、農業委員会定例総会(毎月1回)による審議、県への進達及び許可事務

- ・農地台帳整備管理、農業委員選挙人名簿の作成、標準作業料金決定、小作料情報の提供
- ・農用地流動化対策事業促進のため、農地の有効利用と中核担い手農家への農地の集積を支援
- ・荒廃農地対策、農地パトロールによる遊休・荒廃農地解消指導
- ・人・農地プランと農地中間管理事業を活用し農地の集積・集約化に努め、農家の意向調査を実施しプラン策定に有効活用する。

(増額理由)

- ・新任農業委員に貸与する消耗品、研修費用外を計上したため。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	29,193	農業委員報酬	19	負担金補助及び交付金	2,856	県農業会議、松塩筑安曇負担金他
8	報償費	527	農作業労賃・機械作業料金改定委員会出席謝礼他	27	公課費	8	公用車重量税
9	旅費	1,020	農地法研修、中日本事務局研修会他				
11	需用費	4,085	事務用品、農作業労賃・機械作業料金協定表印刷代他				
12	役務費	1,041	郵便料金				
13	委託料	2,360	議事録作成委託、農家台帳データ更新作業委託他				
14	使用料及び賃借料	28	有料道路使用料他				
上記の合計		41,118	職員の人件費合計	44,744	事業費総合計	85,862	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	金額(千円)	主な内容
合計	0	左記の特定財源

予算書ページ	208
--------	-----

重点項目番号	1	コード	11700000
		部・課・係等	農業委員会事務局

予算	款	6	農林水産費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106020	農業者年金事業		具体的な施策	経営基盤の整備・充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	415				286	129
前年度	428				358	70
増減額	13	0	0	0	72	59

特定財源の内訳	款	20	農業者年金事務費	金額	286	合計金額	286
	細節名称						

【目的・効果】
 [目的]
 ・農業者の生涯所得の充実を図り、農業を職業として選択し得る魅力あるものとしていく。
 [効果]
 ・農業者が「老後生活の安心と安定」を展望しながら、農業生産活動に従事でき、長期間営農を継続する上で効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年金への加入促進
 ・年金得喪事務

[一般財源増加理由]

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	35	農業者年金会議出席謝礼				
11	需用費	232	事務用品、啓発資料印刷代他				
12	役務費	148	郵便料金				

上記の合計	415	職員の人件費合計	0	事業費総合計	415	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計	0	左記の特定財源	

公平委員会事務局

予算書ページ	118
--------	-----

重点項目番号	5	コード	11800000
		部・課・係等	公平委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	
	項	7	公平委員会		主要施策	
	目	1	公平委員会		基本施策	
	事業	0102650	公平委員会事務費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
516	474	42	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・地方公務員法第7条第4項の規定に基づき設置された公平委員会を運営するため
【効果】
 ・不利益処分に関する不服申立て制度の実効性の確保
 ・措置要求制度の実効性の確保

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年2回の委員会開催
 ・各種研修会、総会へ参加し、他自治体における不服申立て、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う

[一般財源増加理由] 研修会場の変更による旅費の増額と、参考図書を購入

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	200	公平委員会委員報酬				
9	旅費	182	委員研修等の旅費				
11	需用費	49	地方公務員人事判定集の購入				
19	負担金補助及び交付金	85	全国公平委員会連合会等負担金				
上記の合計		516	職員の人件費合計	0	事業費総合計	516	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

特別会計

同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	5	コード	010104100			
		部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係			
予算	款	1	諸費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	事務諸費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	事務費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0200010	事務費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
50	69	19	0	10	0	40
				1		68
			9		0	28
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	住宅新築資金等県補助金	10							
3	住宅新築資金等貸付元利金滞納繰越	40								

【目的・効果】

【目的】

・同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計を運営し、債権管理を適正に行うため。

【効果】

・債権管理、回収を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・予算書・決算書を他会計と共に作成する。
- ・納付書、支払通知、督促状等を送付する。
- ・個別のファイルを作成し、返済経過や折衝記録を管理する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
9	旅費	3	研修会等職員旅費						
11	需用費	40	事務用品、決算書・予算書印刷代						
12	役務費	7	支払通知、納付書等郵送料						
上記の合計		50	職員の人件費合計			0	事業費総合計	50	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	5	コード	010104100
		部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係

予算	款	2	諸支出金	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	繰出金		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般会計繰出金		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0200050	一般会計繰出金		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	470				460	10
前年度	765				764	1
増減額	295	0	0	0	304	9

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	住宅新築資金等貸付元利金	10							460
	3	住宅新築資金等貸付元利金滞納繰越	450							

【目的・効果】

【目的】

・同和地区住宅新築資金等貸付元利金の現年度分と滞納繰越金の会計年度内の収入を一般会計に繰り出す。

【効果】

・一般会計に繰り入れることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・現年度分住宅新築資金等貸付元利金の納入を促進する。
- ・滞納繰越分住宅新築資金等貸付元利金の回収に努める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
28	繰出金	470	一般会計繰出金						
上記の合計		470	職員の人件費合計	0	事業費総合計	470	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	5	コード	010104100
		部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係

予算書ページ	10
--------	----

予算	款	3	予備費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	予備費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	予備費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0200060	予備費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10			10	0
前年度	10			10	0
増減額	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	住宅新築資金等貸付元利金滞納繰越	10							

【目的・効果】

【目的】
 ・会計年度の途中で、予測不能な支出が必要となった際に備えるため。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	10	予備費				

上記の合計 10 職員の人件費合計 0 事業費総合計 10 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

国民健康保険特別会計

予算書ページ	19
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100010	一般管理費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	10,054	国支出金	県支出金	市債	その他	0
前年度	9,948				9,948	0
増減額	106	0	0	0	106	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	事務費繰入分	10,054							

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業の安定的な運営のための事務経費。

【効果】

・運営経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,728	一般事務非常勤職員賃金				
9	旅費	26	全国都市国保事務研究協議会出席旅費				
11	需用費	1,302	事務執行に伴う消耗品類購入、保険証等の発送に伴う封筒印刷				
13	委託料	6,764	電算共同処理委託、電算システム改修委託				
14	使用料	12	有料道路使用料				
18	備品購入費	222	国保総合システム専用パソコン増設				
上記の合計		10,054	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,054	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	19
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	連合会負担金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100020	連合会負担金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
4,192	4,192				4,192	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	事務費繰入分	4,192							

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業の安定的な運営。

【効果】

・負担金支払により事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業運営上求められる負担金額を予算執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	4,192	国保連合会負担金				
上記の合計		4,192	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,192	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	21
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成
	項	2	賦課徴収費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	賦課徴収費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100040	賦課徴収費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
2,979	2,962	17	0	0	0	17
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	督促手数料	1,400							2,979
	9	事務費繰入分	1,579							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の賦課業務を安定的に運営するための事務経費。
【効果】
 ・運営経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	154	徴収事務県外研修参加旅費				
11	需用費	1,379	事務執行に伴う消耗品類購入、公用車燃料費				
12	役務費	70	公用車定期点検代、自賠責保険料				
13	委託料	1,000	電算システム改修委託				
14	使用料	195	コンビニ収納システム使用料				
19	負担金	174	徴収事務県外研修参加負担金				
27	公課費	7	公用車自動車重量税				
上記の合計		2,979	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,979	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 徴収事務県外研修(旅費及び負担金)
 賦課担当課としても、徴収に係る基礎的知識・被術の習得を目的に、多様化していく国民健康保険税の滞納者に対応し、賦課担当課として、滞納者の解消と収納率の向上に努めていくことが求められている。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
9	旅費	154	日本経営者協会主催の研修会(名古屋市で開催)参加旅費
19	負担金	174	徴収事務県外研修参加負担金
合計		328	左記の特定財源 督促手数料、事務費繰入金

予算書ページ	21
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	運営協議会費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	運営協議会費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100050	運営協議会費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
434	433	1	0	0	0	434
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	事務費繰入分	434							

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険法及び市国保条例により義務付けられている国保運営協議会を運営するための事務経費。

【効果】

・国保事業を審議する会であり、国保事業の推進ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業運営上求められる諸費用を予算執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	347	運営協議会、委員研修会出席委員報酬				
11	需用費	82	国保新聞購読料				
14	使用料	5	有料道路使用料				
上記の合計		434	職員の人件費合計	0	事業費総合計	434	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100			
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当			
予算	款	1	総務費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	4	趣旨普及費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	趣旨普及費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業 1100060 趣旨普及費				具体的な施策	国民健康保険事業の充実
	単位:千円					

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,379				1,379	0
前年度	1,318				1,318	0
増減額	61	0	0	0	61	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	事務費繰入分	1,379							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の啓発用事務経費。
【効果】
 ・制度説明用のパンフレットがあることにより、国保制度の説明や案内が市民に対して簡潔にできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行できる。(保険証や高齢受給者証の一斉更新時や窓口においての説明用)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,379	啓発用パンフレット購入費				
上記の合計		1,379	職員の人件費合計 0	事業費総合計		1,379	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般被保険者療養給付費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100071	一般被保険者療養給付費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,260,000	1,090,525	167,773		4,140,982	860,720
前年度	5,850,000	1,112,806	229,834		3,785,304	722,056
増減額	410,000	22,281	62,061	0	355,678	138,664

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	療養給付費負担金	894,790	4	普通調整交付金	167,773	9	保険基盤安定事業(支援分)	60,334	
3	療養給付費負担金(過年度分)	1	6	前期高齢者交付金	3,199,523	9	財政安定化支援事業	90,000		
3	普通調整交付金	195,734	9	保険基盤安定事業(軽減分)	281,276	9	基金繰入金	509,849		

【目的・効果】

- 【目的】
 - 国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
- 【効果】
 - 被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】 一般被保険者に係る医療費支払額が増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	6,260,000	一般被保険者療養給付費				
上記の合計		6,260,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,260,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	23
--------	----

重点項目番号	2		コード	010703100				
			部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	2	保険給付費		総合計画	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	療養諸費			主要施策	安心を支えるまち	
	目	2	退職被保険者等療養給付費			基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	1100081	退職被保険者等療養給付費			具体的な施策	国民健康保険事業の充実	
						単位:千円		
当初予算額				特定財源		一般財源		
		国支出金	県支出金	市債	その他			
本年度	400,000				399,546	454		
前年度	610,000				583,500	26,500		
増減額	210,000	0	0	0	183,954	26,046		
特定財源の内訳	款	5	5	5	5	5		合計金額
	細節名称	金額	細節名称	金額	細節名称	金額		
	退職者等療養交付金	399,545	退職者等療養交付金(過年度分)	1				
【目的・効果】 【目的】 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。 【効果】 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。								
【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。								
【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	400,000	退職被保険者等療養給付費					
上記の合計	400,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	400,000	OK		
【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】								
節	節名称	金額(千円)	主な内容					
合計	0	左記の特定財源						

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	一般被保険者療養費	画	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100091	一般被保険者療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	79,500	14,921	2,295		48,234	14,050
前年度	62,100	18,417	2,399		38,551	2,733
増減額	17,400	3,496	104	0	9,683	11,317

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	療養給付費負担金	12,243	6	前期高齢者交付金	43,779	11	軽減特例措置	10	
	3	普通調整交付金	2,678	9	保険基盤安定事業(軽減分)	3,430				
	4	普通調整交付金	2,295	9	保険基盤安定事業(支援分)	1,015				

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。

・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、審査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され、支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】 一般被保険者に係る医療費支払額が増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	79,500	一般被保険者療養費				
上記の合計		79,500	職員の人件費合計	0	事業費総合計	79,500	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

合計	0	左記の特定財源	

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	4	退職被保険者等療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100101	退職被保険者等療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
5,000	7,100	2,100	0	0	0	5,000
						0
						955
						955

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。

・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、審査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され、支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	5,000	退職被保険者等療養費				
上記の合計		5,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	5	審査支払手数料		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100111	審査支払手数料		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,860					20,860
前年度	20,579					20,579
増減額	281	0	0	0	0	281

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- 【目的】
 - 国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
- 【効果】
 - 国保連合会で審査を行うことにより、医療費請求審査が円滑にできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】 被保険者の受診件数の増加に伴って審査件数が増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	20,860	審査支払手数料				
上記の合計		20,860	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,860	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	27
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般被保険者高額療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100121	一般被保険者高額療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	825,000	138,027	21,235		635,435	30,303
前年度	710,000	85,288	17,308		465,054	142,350
増減額	115,000	52,739	3,927	0	170,381	112,047

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	療養給付費負担金	113,252	6	前期高齢者交付金	404,957				
3	普通調整交付金	24,775	7	高額医療費共同事業交付金	220,565					
4	普通調整交付金	21,235	7	超高額医療費共同事業交付金	9,913					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

- ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。
- ・被保険者からの申請により高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。
- ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	825,000	一般被保険者高額療養費				
上記の合計		825,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	825,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	27
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	退職被保険者等高額療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100131	退職被保険者等高額療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	55,000				55,000	0
前年度	100,000				88,435	11,565
増減額	45,000	0	0	0	33,435	11,565

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
		5	退職者等療養交付金										
	5		退職者等療養交付金	55,000									55,000

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

- ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。
- ・被保険者からの申請により高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。
- ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	55,000	退職被保険者等高額療養費				
上記の合計		55,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	55,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	一般被保険者高額介護合算療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100135	一般被保険者高額介護合算療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500					500
前年度	500					500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	500	一般被保険者高額介護合算療養費				
上記の合計		500	職員の人件費合計	0	事業費総合計	500	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	27
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	4	退職被保険者等高額介護合算療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100136	退職被保険者等高額介護合算療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
200	200	0	0	0	0	200
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	200	退職被保険者等高額介護合算療養費				
上記の合計		200	職員の人件費合計	0	事業費総合計	200	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	27
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	移送費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般被保険者移送費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100141	一般被保険者移送費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
250	250	0	0	0	0	250
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	250	一般被保険者移送費				
上記の合計		250	職員の人件費合計	0	事業費総合計	250	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	29
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	移送費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	退職被保険者移送費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100151	退職被保険者移送費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250					250
前年度	250					250
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	250	退職被保険者移送費				
上記の合計		250	職員の人件費合計	0	事業費総合計	250	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	4	出産育児諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	出産育児一時金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100161	出産育児一時金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	39,900				26,600	13,300
前年度	46,200				30,800	15,400
増減額	6,300	0	0	0	4,200	2,100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	出産育児一時金	26,600							

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業の出産給付における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・国保被保険者の出産費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・国保連合会からの請求や被保険者からの請求により随時支給を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	39,900	出産育児一時金				
上記の合計		39,900	職員の人件費合計	0	事業費総合計	39,900	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	5	葬祭諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	葬祭費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100171	葬祭費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
4,500	3,900	600	0	0	0	0
						4,500
						3,900
						600

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業の葬祭給付における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・葬祭費用の一部として給付するため、葬祭執行者の葬祭費用の軽減になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・葬祭執行者からの請求により随時支給を行う。

【一般財源増加理由】 請求件数が増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	4,500	葬祭費				
上記の合計 4,500 職員の人件費合計 0 事業費総合計 4,500 OK							

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計 0 左記の特定財源			

予算書ページ	31
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	6	精神諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	精神給付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100181	精神給付金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
22,000	21,000	1,000	0	0	0	1,000
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	精神給付金	22,000							22,000

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・精神通院医療に該当する国保被保険者の通院費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・国保連合会からの請求により随時支給を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	22,000	精神給付金				
上記の合計		22,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	22,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	31
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	3	後期高齢者支援金等	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	後期高齢者支援金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	後期高齢者支援金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100183	後期高齢者支援金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	1,361,718	国支出金	県支出金	市債	その他	695,940
前年度	1,361,283	493,630	101,257		95,562	670,834
増減額	435	146	25,336	0	811	25,106

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	後期高齢者医療費支援金負担金	404,910	5	退職者等療養交付金	96,373				
3	普通調整交付金	88,574								
4	普通調整交付金	75,921								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた支援金額を納入することにより、後期高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】 県調整交付金の補助率が下がったことによるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	1,361,718	後期高齢者支援金				
上記の合計		1,361,718	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,361,718	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	31
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	3	後期高齢者支援金等	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	後期高齢者支援金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	後期高齢者支援金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100185	病床転換支援金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	1				0
前年度	1	1				0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	病床転換支援金負担金	1							

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた病床転換支援金額を納入することにより、制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。(平成27年度での支払は発生しない見込み)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金	1	病床転換支援金						
上記の合計				1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	31
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100			
部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当					
予算	款	3	後期高齢者支援金等	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	後期高齢者支援金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	後期高齢者関係事務費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100184	後期高齢者関係事務費拠出金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支	県支	市債	その他	
本年度	95					95
前年度	108					108
増減額	13	0	0	0	0	13

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた事務費を納入することにより、後期高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	95	後期高齢者関係事務費				
上記の合計		95	職員の人件費合計	0	事業費総合計	95	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	31
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	3	後期高齢者支援金等	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	後期高齢者支援金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	後期高齢者関係事務費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100189	病床転換支援金事務費拠出金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1					1
前年度	1					1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた事務費を納入することにより、制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。(平成27年度での支払は発生しない見込み)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	1	病床転換事務費				

上記の合計 1 職員の人件費合計 0 事業費総合計 1 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	33
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	4	前期高齢者納付金等	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	前期高齢者納付金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	前期高齢者関係事務費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100187	前期高齢者関係事務費拠出金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	95					95
前年度	108					108
増減額	13	0	0	0	0	13

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた前期高齢者納付金を納入することにより、高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	95	前期高齢者関係事務費				
上記の合計		95	職員の人件費合計	0	事業費総合計	95	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	4	前期高齢者納付金等	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	前期高齢者納付金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	前期高齢者負担調整金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100188	前期高齢者負担調整金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	737					737
前年度	908					908
増減額	171	0	0	0	0	171

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた前期高齢者納付金を納入することにより、高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	737	前期高齢者負担金調整費				
上記の合計		737	職員の人件費合計	0	事業費総合計	737	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	33
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	5	老人保健拠出金	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	老人保健拠出金	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	老人保健医療費拠出金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100191	老人保健医療費拠出金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実
	単位:千円				

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4	2	1		1	0
前年度	4	2	1		1	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	老人保健医療費拠出金負担金	1	5	退職者等療養交付金	1				
3	普通調整交付金	1								
4	普通調整交付金	1								

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・支払基金により決められた老人保健拠出金を納入することにより、経過措置中の制度維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。(平成27年度での支払は発生しない見込み)

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	4	老人保健医療費拠出金					

上記の合計	4	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	33
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	5	老人保健拠出金	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	老人保健拠出金	主要施策	安心を支えるまち
	目	2	老人保健事務費拠出金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100211	老人保健事務費拠出金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実
	単位:千円				

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50					50
前年度	53					53
増減額	3	0	0	0	0	3

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
													0

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた老人保健事務費拠出金を納入することにより、経過措置中の制度維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	50	老人保健事務費拠出金				
上記の合計		50	職員の人件費合計	0	事業費総合計	50	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	35
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	6	介護納付金	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護納付金	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	介護納付金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100221	介護納付金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	556,534	217,047	33,392		33,421	272,674
前年度	560,692	218,669	44,855		27,681	269,487
増減額	4,158	1,622	11,463	0	5,740	3,187

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額	
	3	介護納付金負担金	178,090	9	保険基盤安定事業(軽減分)	27,130		283,860
	3	普通調整交付金	38,957	9	保険基盤安定事業(支援分)	6,291		
	4	普通調整交付金	33,392					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた介護納付金を納入することにより、介護保険制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】 県調整交付金の補助率が下がったことによるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	556,534	介護納付金				
上記の合計		556,534	職員の人件費合計	0	事業費総合計	556,534	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	7	共同事業拠出金	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	共同事業拠出金	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	高額医療費拠出金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100231	共同事業医療費拠出金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	234,964	58,740	58,740			117,484
前年度	219,635	54,908	54,908			109,819
増減額	15,329	3,832	3,832	0	0	7,665

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
4	高額療養費共同事業負担金	58,740								

【目的・効果】
 【目的】
 ・高額な医療費(80万円以上)の支払に対して、県内市町村で共同運営を行い、高額な医療費支払の均一を図る。
 【効果】
 ・財政状況の厳しい保険者においては、高額な医療費の支払はさらに財政悪化を招くことになるため、共同運営による均一化を図ることで、負担軽減につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】 高度な医療を行うことにより、医療費の請求が高額化しかつ件数も増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	234,964	高額医療費共同事業				

上記の合計	234,964	職員の人件費合計	0	事業費総合計	234,964	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	35
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	7	共同事業拠出金	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	共同事業拠出金	主要施策	安心を支えるまち
	目	2	保険財政共同安定化事業拠出金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100246	保険財政共同安定化事業拠出金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	2,190,782	国支出金	県支出金	市債	その他	21,125
前年度	817,442		57,301		2,112,356	95,797
増減額	1,373,340	0	57,301	0	1,390,711	74,672

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	4	特別調整交付金	57,301							
7	保険財政共同安定化事業交付金	2,112,356								

【目的・効果】

【目的】

・医療費(1円以上80万円まで)の支払に対して、県内市町村で共同運営を行い、高額な医療費支払の均一を図る。

【効果】

・財政状況の厳しい保険者においては、高額な医療費の支払はさらに財政悪化を招くことになるため、共同運営による均一化を図ることで、負担軽減につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・国保連合会からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】 高度な医療を行うことにより、医療費の請求が高額化しかつ件数も増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	2,190,782	保険財政共同安定化事業				
上記の合計		2,190,782	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,190,782	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	37
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	8	保健事業費	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	保健事業費	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	保健事業費	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100250	保健事業費	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,180		2,377		10,677	4,126
前年度	17,254		2,300		10,914	4,040
増減額	74	0	77	0	237	86

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	4	特別調整交付金	2,377	11	高額療養費貸付金収入(過年度分)	10				
9	事務費分	7,677								
11	高額療養費貸付金収入(現年度分)	2,990								

【目的・効果】

【目的】

- 国民健康保険事業における国保被保険者の健康増進と健康に関する啓発。

【効果】

- 啓発による健康意識の高まりにより、疾病予防効果が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 事業運営上必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】 郵送料単価の上昇のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	7,677	レセプト点検職員賃金				
8	報償費	3,802	健康世帯表彰記念品購入費				
11	需用費	648	健康づくり啓発用パンフレット作成				
12	役務費	1,363	医療費通知、医薬品差額通知郵送料				
13	委託料	690	医療費通知、医薬品差額通知郵送料医薬品差額通知作成業務委託料				
21	貸付金	3,000	高額療養費貸付金				
上記の合計		17,180	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,180	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	39
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	9	積立金	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	積立金	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	基金積立金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100261	基金積立金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100,000					100,000
前年度	50,000					50,000
増減額	50,000	0	0	0	0	50,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業運営上必要な額を積立てる。

【一般財源増加理由】 平成26年度において予備費を増額したことにより予算額が増加。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容											
25	積立金	100,000	基金積立金																
<table border="0" style="width:100%"> <tr> <td>上記の合計</td> <td>100,000</td> <td>職員の人件費合計</td> <td>0</td> <td>事業費総合計</td> <td>100,000</td> <td>OK</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>										上記の合計	100,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	100,000	OK			
上記の合計	100,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	100,000	OK													

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容						
<table border="0" style="width:100%"> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> <td>左記の特定財源</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>					合計	0	左記の特定財源		
合計	0	左記の特定財源							

予算書ページ	39
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	9	積立金	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	積立金	主要施策	安心を支えるまち
	目	2	基金積立金利子	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100266	基金積立金利子	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,706				1,705	1
前年度	4,496				4,495	1
増減額	2,790	0	0	0	2,790	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	8	基金積立金利子	1,705							

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・会計課から示された額を積み立てる。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	積立金	1,706	基金積立金利子				
上記の合計		1,706	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,706	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	10	公債費	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成
	項	1	公債費	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一時借入金利子	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100275	一時借入金利子	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1					1
前年度	1					1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
													0

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・一時借入れがあった場合円滑に支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払が必要になった場合随時支払をする。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	利子	1	一時借入金利子				

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	41
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般被保険者保険税還付金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100281	一般被保険者保険税還付金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,000					7,000
前年度	8,000					8,000
増減額	1,000	0	0	0	0	1,000

特定財源の内訳	款	国支出金		県支出金		市債		その他		合計金額
		金額	款	金額	款	金額	款	金額	金額	
										0

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金	7,000	還付金						
上記の合計		7,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,000	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金	主要施策	安心を支えるまち
	目	2	退職被保険者等保険税還付金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100291	退職被保険者等保険税還付金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	600					600
前年度	800					800
増減額	200	0	0	0	0	200

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】
・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】
・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

[一般財源増加理由]

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
23	償還金	600	還付金							
上記の合計										
		600	職員の人件費合計	0	事業費総合計	600	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計			
		0	左記の特定財源

予算書ページ	41
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金	主要施策	安心を支えるまち
	目	3	一般被保険者還付加算金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100301	一般被保険者還付加算金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
233	233	0	0	0	0	233
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。
 (還付加算金計算シートにより計算し、支払い不足とならないよう複数の職員で確認をする)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金	233	還付加算金				
上記の合計		233	職員の人件費合計	0	事業費総合計	233	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	41
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金	主要施策	安心を支えるまち
	目	4	退職被保険者等還付加算金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100311	退職被保険者等還付加算金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	70					70
前年度	100					100
増減額	30	0	0	0	0	30

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。
 (還付加算金計算シートにより計算し、支払い不足とならないよう複数の職員で確認をする)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金	70	還付加算金				
上記の合計						70	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計			
		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金	主要施策	安心を支えるまち
	目	5	療養給付費等交付金償還金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100321	療養給付費等交付金償還金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実
	単位:千円				

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1	1	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・前年度交付金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度交付金額が超過していた場合、支払基金からの返還請求により随時執行する。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金	1	療養給付費等交付金償還金				

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	41
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金	主要施策	安心を支えるまち
	目	6	療養給付費償還金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100331	療養給付費償還金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1					1
前年度	1					1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・前年度負担金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度負担金額が超過していた場合、国からの返還請求により随時執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金	1	療養給付費償還金				
上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	41
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金	主要施策	安心を支えるまち
	目	7	特定健康診査等負担金償還金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100341	特定健康診査等負担金償還金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1					1
前年度	1					1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		款	細節名称	金額		合計金額
									0

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・前年度負担金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度負担金額が超過していた場合、国からの返還請求により随時執行する。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金	1	特定健康診査等負担金償還金							
上記の合計		1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	41
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金	主要施策	安心を支えるまち
	目	8	一般被保険者返納金還付金	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100361	一般被保険者返納金還付金	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35					35
前年度	35					35
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者から返還請求があった場合随時執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金	35	被保険者返納金還付金				
上記の合計		35	職員の人件費合計	0	事業費総合計	35	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	43
--------	----

重点項目番号	2	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	12	予備費	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	予備費	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	予備費	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100340	予備費	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	150,000	国支出金	県支出金	市債	その他	150,000
前年度	150,000					150,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・急な支払増に対応できるため支払業務が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要が生じた場合は随時執行する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
29	予備費	150,000	予備費								
上記の合計		150,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	150,000	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

後期高齡者医療特別会計

予算書ページ	12
--------	----

重点項目番号	2	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600010	一般管理費		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	55	0	0	0	55	0
前年度	79	0	0	0	79	0
増減額	24	0	0	0	24	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	事務費繰出し金	55							

【目的・効果】

【目的】 後期高齢者医療保険事務事業の経費として必要である。
 【効果】 事務費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 【当該年度の事業概要(手法)】
 事務事業を執行する上で、必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	55	事務執行に伴う消耗品の購入及び予算書・決算書の印刷				
上記の合計		55	職員の人件費合計	0	事業費総合計	55	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	12
--------	----

重点項目番号	2	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	徴収費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	徴収費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600030	徴収費		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1,033	547	486	0	300	0	1,033
			0	300	0	786
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	督促手数料	132							
3	事務費繰出金	901								

【目的・効果】
【目的】 後期高齢者医療保険料収納事務経費として必要である。
【効果】 事務費があることにより、収納事務が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【当該年度の事業概要(手法)】
 事務事業を執行する上で、必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】 後期高齢者医療納付書等封入事務を(株)電算へ委託

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	247	事務執行に伴う消耗品の購入及び通知書等送付用封筒の印刷				
13	委託料	786	後期高齢者医療保険料納付書等封入委託				
上記の合計		1,033	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,033	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
< 委託料 >
 後期高齢者医療保険料納付書等の封入業務を、(株)電算へ委託する。
 封入業務に係る時間を他の業務に充てることにより、業務の効率的な事務が図られる。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	786	後期高齢者医療保険料納付書封入事務の委託
合計		786	左記の特定財源 一般会計事務費繰入金 保険料督促手数料

予算書ページ	12
--------	----

重点項目番号	2	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	2	後期高齢者医療広域連合納付金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	後期高齢者医療広域連合納付金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	後期高齢者医療広域連合納付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600070	広域連合納付金		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
975,020	1,005,725	30,705	0	0	0	247,267
						727,753
						774,799
						47,046

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	事務費繰入金	31,742							
3	保険基盤安定繰入金	215,525								

【目的・効果】
 【目的・効果】
 高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく市町村の負担金を、広域連合へ支払うことを目的としている。適切に、負担金を広域連合へ納付することにより、後期高齢者医療保険の健全かつ安定的な運営が図られている。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要(手法)】
 保険料納付金: 毎月の保険料徴収額を長野県後期高齢者医療広域連合へ支払う(年12回: 毎月15日までに支払い)
 保険基盤安定負担金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求により支払う。(年6回: 5月・7月・11月・1月・3月)
 事務費負担金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求により支払う。(年4回: 5月・8月・12月・3月)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	975,020	高齢者の医療の確保に関する法律に基づく負担金を、長野県後期高齢者医療広域連合へ納付する。				

上記の合計	975,020	職員の人件費合計	0	事業費総合計	975,020	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	3	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	保険料還付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600080	保険料還付金		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,600					1,600
前年度	600					600
増減額	1,000	0	0	0	0	1,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】 後期高齢者医療保険被保険者から納付された保険料に、過誤納金が発生した場合、速やかに還付をするため。
 【効果】 過誤納金が発生し、還付対象となった場合に迅速な対応ができています。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【当該年度の手法】

納入された後期高齢者医療保険料について、過誤納となった場合に速やかに還付をしていく。また、死亡による減額更正で還付となる場合は、長野県後期高齢者医療広域連合の定められた様式を遺族へ窓口で渡し、相続人及び還付する口座を指定してもらう。

【一般財源増加理由】 介護保険料の減額更正請求控訴事件大阪高裁判決により、それまで過去2年分まで遡及していた保険料減額更正を5年前まで遡及して還付をするため、増額となった。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	1,600	過年度遡及により、減額更正された保険料の還付。				
上記の合計		1,600	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,600	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	14
--------	----

重点項目番号	2	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	3	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	還付加算金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	260085	還付加算金		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
250	50	200	0	0	0	0
						250
						50
						200

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】 後期高齢者医療保険被保険者から納入のあった保険料に、減額更生等により過誤納金が発生し、還付となる保険料に加算金がつく場合に対応するため。
 【効果】 還付金に加算金が必要となった場合に、速やかに対応できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【当該年度の手法】

保険料の還付をした口座へ振り込む。 還付加算金の確認については計算シートにより、複数の職員で確認をする。

【一般財源増加理由】 介護保険料の減額更正請求控訴事件大阪高裁判決により、それまで過去2年分まで遡及していた保険料減額更正を5年前まで遡及して還付をするため、増額となった。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	250	還付となる保険料への加算金				
上記の合計		250	職員の人件費合計	0	事業費総合計	250	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	14
--------	----

重点項目番号		コード	1303200
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	4	予備費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	予備費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600150	予備費		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
100	5	95	0	0	0	0
						100
						5
						95

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
緊急に対応しなければならない事態に対応するため

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【手法】
予算額を上回る支払いを緊急的に行う必要が生じたとき、予算充当により対応をする。
【昨年度予算額を上回った理由】
毎年の予算計上額では緊急時の対応ができないことから、実際に対応できる予算額を計上したため。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	100	補正対応では間に合わない緊急対応が必要な場合に対応するための予備費							
上記の合計										
		100	職員の人件費合計	0	事業費総合計			100	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

介護保険特別会計

予算書ページ	16
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100010	一般管理費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	7,135	国支出金	県支出金	市債	その他	0
前年度	3,610				3,610	0
増減額	3,525	1	0	0	3,524	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	8	事務費繰入金	7,134							7,135
	3	介護保険審査支払システム補助金	1							

【目的・効果】

【目的】

・介護保険運営のための総務一般管理費(介護保険等運営協議会委員報酬、地域密着型サービス事業者選考委員会賃金、等賦課徴収にかかる以外の経費)

【効果】

・介護保険事業の円滑な運営をはかる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・制度改正に対応するため、施設監査の研修会、システム改修費等を新たに予算化した。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	280	介護保険運営協議会委員報酬等				
09	旅費	123	制度改正に伴う国の説明会参加旅費、施設指導研修会参加旅費				
11	需用費	787	消耗品・参考図書・制度改正対応パンフレット・予算書印刷代				
12	役務費	2,620	高額介護・福祉用具等通知発送料・電話代				
13	委託料	3,233	システム改修費他				
14	使用料及び賃借料	29	制度改正対応介護保険さがせるネット利用料				
19	負担金補助及び交付金	63	制度改正対応施設指導監査研修会参加料				
上記の合計		7,135	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,135	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

介護保険制度改正に対応するために、東京で行われる説明会への参加が必要なため旅費、システム改修、報酬改定や基準の変更に対応するために、専用のネットサービスの利用、また法改正により、市が管理する介護事業所が今後増える(28年度小規模通所事業所26事業所、30年度居宅介護支援事業所26事業所等)ため、事前に監査の研修をうけ対応するため、予算化した。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
9	旅費	123	制度改正に伴う国の説明会等参加旅費、施設等指導研修会参加旅費
13	委託料	3,233	システム改修費他
14	使用料及び賃借料	29	制度改正対応介護保険制度法令等検索サイト使用料
19	負担金補助及び交付金	63	制度改正対応施設指導監査研修会参加料
合計		3,448	左記の特定財源

予算書ページ	16
--------	----

重点項目番号	2	コード	010702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	徴収費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	賦課徴収費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100020	賦課徴収事務費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
7,522	6,143	1,379	0	0	0	1,379
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	督促手数料	394	10	延滞金	1				7,522
	8	事務費繰入金	7,126							
	9	事務費繰越金	1							

【目的・効果】

- ・介護保険事業の運営財源として、介護保険第1号被保険者(65歳以上)から介護保険料を徴収する。
- ・介護保険料未納者に対し、督促・催告・滞納整理(滞納処分)等を行い、滞納額の縮減に努める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険第1号被保険者へ納入通知書(納付書)等で通知する。
- ・介護保険料未納者に対し、督促状・催告書等で通知し、納付を促す。また、滞納整理(滞納処分)を行う。
- ・適正な事務処理を学ぶため、滞納整理等の研修会へ参加する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	492	収納嘱託員歩合給				
9	旅費	123	職員研修会旅費				
11	需用費	628	封筒等印刷費、事務用品				
12	役務費	5,161	納入通知書・督促状・差押調書等の郵送料				
13	委託料	791	通知書封入封緘業務委託				
19	負担金補助及び交付金	327	特別徴収情報經由業務負担金、研修会参加負担金				
上記の合計		7,522	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,522	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

時期が集中する業務量を分散するため、通知書の封入封緘業務を委託。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
13	委託料	791	通知書封入封緘業務委託
合計		791	左記の特定財源 事務費繰入金(791)

予算書ページ	19
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	2	介護給付費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護サービス等諸費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	介護サービス等諸費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100070	介護サービス等諸費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,017,087	1,961,308	1,238,635		3,519,494	1,297,650
前年度	8,092,974	1,972,965	1,254,314		3,703,208	1,162,487
増減額	75,887	11,657	15,679	0	183,714	135,163

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	介護給付費負担金現年度分(国)	1,542,063	4	介護給付費交付金現年度分	2,395,680	8	介護給付費繰入金現年度	1,069,500	
3	介護給付費負担金過年度分(国)	1	4	介護給付費交付金過年度分	1	8	介護保険支払基金準備金繰入金	54,311		
3	現年度分調整交付金	419,244	5	介護給付費負担金現年度分(県)	1,238,635	10	第三者納付金他	2		

【目的・効果】

【目的】

・介護サービス給付費

【効果】

・介護保険事業計画の推計値に沿った予算計画

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する第6期事業計画の推計値と26年度までの増加状況より本年度分について見積を行った。

【一般財源増加理由】 1号被保険者の負担割合が21%から22%に変更となったため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容						
19	負担金補助及び交付金	8,017,087	居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス他										
<p>上記の合計</p> <table border="0"> <tr> <td>8,017,087</td> <td>職員の人件費合計</td> <td>0</td> <td>事業費総合計</td> <td>8,017,087</td> <td>OK</td> </tr> </table>								8,017,087	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,017,087	OK
8,017,087	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,017,087	OK								

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計	0	左記の特定財源	

予算書ページ	20
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	2	介護給付費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	その他諸費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	審査支払手数料		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100080	審査支払手数料		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,281					8,281
前年度	8,168					8,168
増減額	113	0	0	0	0	113

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・介護保険給付費の適正な審査支払いを実施する為に国保連合会を介した給付費の支払いを行う

【効果】

・給付費支払の事務が煩雑になることを防止し、適正な給付事務が行える

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	8,281	審査支払手数料				
上記の合計		8,281	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,281	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	20
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	2	介護給付費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	高額介護サービス等費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	高額介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100090	高額介護・予防サービス費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	146,764					146,764
前年度	145,331					145,331
増減額	1,433	0	0	0	0	1,433

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・介護保険サービス利用者のうち、1割負担額が1カ月で一定額(15,000円、24,600円、37,200円、44,400円)を超えた場合に、超過分を払い戻す。

【効果】

・介護費用が高額になることでサービス利用が困難になることを防止する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

【一般財源増加理由】 高齢者の増加による利用料の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	146,764	高額介護・予防給付費				
上記の合計		146,764	職員の人件費合計	0	事業費総合計	146,764	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	2	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	2	介護給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	4	特定入所者介護サービス等費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	特定入所者介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100095	特定入所者介護・予防サービス費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	358,564					358,564
前年度	360,615					360,615
増減額	2,051	0	0	0	0	2,051

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・介護保険施設入所者のうち低所得者について食費、居住費の自己負担額が負担限度額を超えた場合、超過分を保険者が施設に支払う

【効果】

・低所得者への介護サービス利用軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

平成27年度より、制度改正に伴い利用者の資産要件1000万円以下が判定に追加。また配偶者の所得要件は世帯分離しても適用される事に変更。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	358,564	負担限度額超過給付						
上記の合計		358,564	職員の人件費合計			0	事業費総合計	358,564	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	22
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	2	介護給付費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	5	高額医療合算介護サービス等費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	高額医療合算介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100096	高額医療合算介護・予防サービス費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,306					25,306
前年度	22,006					22,006
増減額	3,300	0	0	0	0	3,300

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・世帯内で1年間(毎年8月1日～翌7月31日)医療及び介護両制度における自己負担額が著しく高額となった場合に、一定の上限額を超える部分について給付を行う

【効果】

・高額利用者への軽減措置。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成25年度決算において、前年比15%の上昇にあわせて予算を見込む。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	25,306	合算負担限度額超過給付				
上記の合計		25,306	職員の人件費合計	0	事業費総合計	25,306	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	28
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	5	基金積立金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	基金積立金		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	介護保険支払準備基金積立金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100110	介護保険支払準備基金		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	795				793	2
前年度	1,130				1,129	1
増減額	335	0	0	0	336	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・保険給付に当てるため、介護保険支払準備基金への積立

【効果】

・安定した介護保険会計の運用を行う

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	積立金	795	介護保険支払準備基金利子				
上記の合計		795	職員の人件費合計	0	事業費総合計	795	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	28
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	6	公債費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	利子		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100120	一時借入金利子		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
100	100				100	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	8	事務費繰入金								
10	介護保険会計歳計現金利子									0

【目的・効果】

【目的】

・介護保険給付金支払いに際し国、県等の負担金の歳入の遅れから一時的に金融機関からの借入を受けた場合の利息

【効果】

・安定した介護保険会計の運用を行う

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金利子及び割引料	100	一時借入金利子				
上記の合計							
		100	職員の人件費合計			0	事業費総合計
						100	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	30
--------	----

重点項目番号	2	コード	010702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	7	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100140	第1号被保険者保険料還付金		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,490					1,490
前年度	1,171					1,171
増減額	319	0	0	0	0	319

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・所得段階の変更や被保険者資格の喪失(死亡・転出等)に伴う介護保険料(過年度分)を還付する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】 年々、第1号被保険者数(異動対象者)は増えているため、実績等により増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
4	還付金	1,480	保険料還付金				
5	還付加算金	10	保険料還付加算金				
上記の合計		1,490	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,490	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	30
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	7	諸支出金	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100141	償還金		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1					1
前年度	1					1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国、及び支払基金交付金等の交付超過分について、返還が翌年に繰越す為の科目設置。

【効果】

・年度内に、給付額が確定しない事から該当年度以降に交付超過額について適切な処理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成26年度の給付額確定後、負担金額を算出。決算後に繰越し、27年度に返還する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金利息及び割引料	1	国庫負担金等返還金				
上記の合計							
	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計			
	0	左記の特定財源	

重点項目番号	2	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	8	予備費	総合計画	基本方針	總やかに暮らせるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	予備費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100150	予備費		具体的な施策	介護保険事業の充実

当初予算額		特定財源				単位:千円
		国支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
本年度	50				50	0
前年度	50				50	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	8	事務費繰入金	金額		合計金額	0

【目的・効果】
【目的】
 ・事務費において突発的な内容等、補正に間に合わない場合の予備費。
【効果】
 ・住民説明用のパンフレットの増刷など、急に説明会の要望をいただいた場合等対応ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	50	予備費					

上記の合計	50	職員の人件費合計	0	事業費総合計	50	OK
-------	----	----------	---	--------	----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	18
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702200
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 認定調査係

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	介護認定審査会費		主要施策	認め合い
	目	1	認定調査費等		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100030	認定調査費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	86,152	国支出金	県支出金	市債	その他	0
前年度	81,013				81,013	0
増減額	5,139	0	0	0	5,139	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	8	事務費繰入金	86,151							
10	雑入	1								

【目的・効果】

【目的】

介護保険法に基づき、介護サービスを利用するために必要な要介護認定及び要支援認定(以下、要介護認定)を行う。

【効果】

- ・要介護認定を行うことで、介護サービスの必要度(どれ位、介護のサービスを行う必要があるか)が判断できる。
- ・高齢者が住み慣れた住環境のもと、心身の状況に合わせた介護サービスを利用することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険被保険者より、介護給付を受けるための要介護(要支援)申請が行なわれた際、その申請受付から認定結果の通知までを行う。
- ・申請後、職員は当該申請に係る被保険者を訪問し、法に基づく心身の状況や環境等の調査を行う。
- ・申請者の主治医より、疾病または負傷の状況等についての主治医意見書を求める。
- ・認定調査票及び主治医意見書を、松本広域連合に設置された介護認定審査会へ送付し、要介護認定の審査判定を依頼する。
- ・介護認定審査会の審査及び判定の結果に基づき要介護認定を行い、その結果を申請者へ送付する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	40,792	認定調査員等賃金				
11	需用費	1,553	認定調査用事務用品、公用車燃料代、封筒印刷				
12	役務費	23,283	FAX通信料、主治医意見書作成料				
13	委託料	96	県外認定調査委託料				
14	使用料及び賃借料	1,748	認定調査用自動車リース料、有料道路使用料、コピー使用料				
19	負担金補助及び交付金	18,680	松本広域連合介護認定審査会負担金				
上記の合計		86,152	職員の人件費合計	0	事業費総合計	86,152	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

- ・支所の事務の本庁へ移管に伴う窓口対応臨時職員賃金
- ・本庁、支所移転に伴い原課対応となるコピー用紙及び公用車燃料代
- ・公用車の維持管理費用が部一括から原課対応に変更のため、3台をリース車に切替する

節	節名称	金額(千円)	主な内容
7	賃金	1,739	支所の事務の本庁へ移管に伴う窓口対応臨時職員1名分
11	需用費	947	本庁、支所移転に伴う原課対応分、コピー用紙及び公用車燃料代
14	使用料及び賃借料	642	公用車維持管理原課対応のための新規リース車3台分
合計		3,328	左記の特定財源

予算書ページ	22
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702300
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防係

予算	款	3	地域支援事業	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護予防事業		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	介護予防二次予防事業		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100101	介護予防二次予防事業		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	19,817	国支出金	県支出金	市債	その他	4,361
前年度	22,235	5,558	2,779		9,227	4,671
増減額	2,418	604	302	0	1,202	310

特定財源の内訳	款	金額		款	金額	款	金額	合計金額
		細節名称	金額					
	3	地域支援交付金(予防)現年度分	4,954	8	地域支援(予防)繰入金現年度分		2,477	15,456
	4	支払基金支援交付金現年度分	5,548					
	5	県交付金(介護予防)現年度分	2,477					

【目的・効果】

【目的】昨年度の二次予防事業対象者(要支援・要介護状態になる恐れのある高齢者)の結果を基に、訪問等により実態を把握することにより、適切な介護予防活動につなげるための支援と、効果的な介護予防事業の提供により要支援・要介護状態になることを予防する。
 【効果】昨年度の二次予防事業対象者で介護予防教室未参加者と、昨年度基本チェックリスト未提出者に対し、訪問活動による介護予防活動への支援を行うことにより、新規の介護予防活動実践者を増やし、市民の介護予防活動の拡大を図ることができる。
 ・二次予防事業対象者が運動機能・口腔機能・認知機能向上のための教室・訪問により介護予防プログラムの提供を受けることで、要支援・要介護状態になることを予防できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・昨年度の二次予防事業対象者で介護予防教室未参加者に対し、保健師等の訪問により実態を把握し、介護予防活動実践に向けての支援を行う。
 ・昨年度の基本チェックリスト未提出者に対し、介護予防事業参加への啓発や保健師等の訪問による実態把握を行い、介護予防活動実践に向けての支援を行う。
 ・上記の方法で把握された二次予防事業対象者に対して、通所型介護予防事業(運動器・口腔・認知機能向上を図るための教室)と、訪問型介護予防事業を実施する。
 ・介護予防事業参加者が引き続き介護予防活動が実践できるよう支援する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	3,500	保健師等の訪問指導のための労務謝礼と訪問型介護予防事業運動指導者の労務謝礼				
11	需用費	534	訪問・介護予防事業実施のための消耗品				
12	役務費	910	訪問指導と介護予防事業参加の啓発のための郵送料				
13	委託料	14,873	通所型介護予防事業の委託料と介護予防教室参加にあたっての医師の指示書作成委託料				
上記の合計		19,817	職員の人件費合計	0	事業費総合計	19,817	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

平成26年度までの「二次予防事業対象者把握事業」については、基本チェックリストの配布、回収による把握を行っていたが、国の地域支援事業実施要綱改正により、「対象者把握の方法は地域の実情に応じた方法でよく、全国一律に基本チェックリストの配布、回収を求めない」となったことから、市としては、昨年度の把握結果を生かすことができ、また対象者の実態を把握しやすく、対象者の状態に応じた支援につながりやすい方法として訪問指導を中心に対象者把握をしていくこととした。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
8	報償費	3,325	保健師等による訪問指導の労務謝礼
12	役務費	125	訪問指導対象者への通知の郵送料
合計		3,450	左記の特定財源 地域支援交付金(862)・支払基金支援交付金(966)・県交付金(431)・地域支援繰入金(431)

予算書ページ	22
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702300
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防係

予算	款	3	地域支援事業	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護予防事業		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	介護予防一次予防事業		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100102	介護予防一次予防事業		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
8,568	6,876	1,692	2,142	1,071		3,470
			1,719	859		2,853
			423	212	0	617
						1,885
						1,445
						440

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
内訳	3	地域支援交付金(予防)現年度分	2,142	8	地域支援(予防)繰入金現年度分	1,071				6,683
	4	支払基金支援交付金現年度分	2,399							
	5	県交付金(介護予防)現年度分	1,071							

【目的・効果】

【目的】65歳以上の市民を対象に介護予防事業を行うことにより、生活機能の維持・向上を図り、地域における介護予防の推進を図る。

【効果】

- ・65歳以上の方が介護予防に関する正しい知識をもつことで、自らの生活の中で介護予防に取り組むことができる。
- ・65歳以上の方が介護予防事業に参加することで、生活機能の維持・向上を図ることができる。
- ・65歳以上の方が介護予防事業を活用し、地域における介護予防の推進を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・目的別・地域別の体操教室など、できるだけ多くの方が参加できる介護予防教室を開催する。
- ・介護予防や認知症予防などに対する正しい知識を持っていただくための講演会や講座を開催し、普及啓発を行う。
- ・地域の自主的なグループ活動を対象とした認知機能検査による認知症予防活動の推進を図る。
- ・65歳以上の方の口腔機能の向上を図るための検診・相談・啓蒙活動を行う。
- ・地域や団体等の自主的な介護予防活動の支援を行う。

【一般財源増加倍理由】 高齢者の自主的な介護予防活動への移行のための介護予防教室を増やすことによる賃金・委託料の増額。歯科検診の拡大のための報償費の増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,380	歯科衛生士・介護予防教室の保健師等の専門職の臨時職員賃金				
8	報償費	2,009	各種介護予防教室・歯科検診・介護予防講演会等の講師謝礼と労務謝礼				
9	旅費	35	認知症予防講習会参加のための旅費				
11	需用費	911	各種介護予防教室・介護予防講演会・広報活動・口腔機能向上事業のための消耗品				
13	委託料	2,154	各種体操教室と認知機能検査実施のための委託料				
18	備品購入費	54	介護予防教室における健康チェック用血圧計と歯科指導用顎模型				
19	負担金補助及び交付金	25	認知症予防講習会参加費				
上記の合計		8,568	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,568	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	24
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702300
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防係

予算	款	3	地域支援事業	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	包括的支援事業・任意事業		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		具体的な施策	地域包括支援体制の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	62,457	国支出金	県支出金	市債	その他	13,742
前年度	57,510	22,717	11,358		11,358	12,077
増減額	4,947	1,640	821	0	821	1,665

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
内訳	3	地域支援交付金(包括・任意)現年度分		24,357									48,715
	5	県交付金(包括・任意)現年度分		12,179									
	8	地域支援(包括・任意)繰入金現年度分		12,179									

【目的・効果】

【目的】市内3か所の地域包括支援センターが包括的支援事業を実施することで、高齢者の方が、できるだけ地域において自立した生活を営めるよう支援する。さらに、地域包括ケア推進に向けた事業の推進を図る。

【効果】

- ・地域包括支援センターにおいて、「介護予防ケアマネジメント業務」「総合相談支援業務」「権利擁護業務」「包括的・継続的ケアマネジメント業務」を行うことで、高齢者の方が、要支援・要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を営むことができるようになる。
- ・医療介護連携や認知症施策等に関する取り組みにより、地域包括ケアの推進を図る。

- ・市内3か所の地域包括支援センターの内、豊科・明科を担当する東部地域包括支援センターは豊科支所内で直営で運営し、穂高を担当する北部地域包括支援センターは穂高健康支援センター内で委託で運営し、三郷・堀金を担当する南部地域包括支援センターは三郷支所ないで委託でそれぞれ運営している。
- ・地域包括支援センターにおいては、「介護予防ケアマネジメント業務」「総合相談支援業務」「権利擁護業務」「包括的・継続的ケアマネジメント業務」を実施する。
- ・3か所の地域包括支援センターが連携強化を図り、包括的支援事業を地域で一体的に実施する中核的機関を目指す。
- ・地域包括支援センターの適切、公正、中立な運営の確保を目指すために、地域包括支援センター運営協議会を開催する。
- ・地域包括ケア推進のために、地域包括ケア推進会議を開催するとともに、医療介護連携と認知症施策推進のための事業を行う。

【一般財源増加理由】 地域包括ケア推進のための医療介護連携、認知症施策等に関する事業を新規に実施するための事業費を計上したため。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	780	介護支援専門員研修、認知症講演会等謝礼、地域包括支援センター運営協議会・地域包括ケア推進会議出席謝礼等		19	負担金補助及び交付金	186	介護支援専門員研修・権利擁護研修等の負担金・団体定期保険料等	
9	旅費	53	認知症地域支援推進員研修旅費						
11	需用費	931	地域包括支援センターで使用する事務用品、自動車燃料、印刷製本費等						
12	役務費	297	東部地域包括支援センター電話料、損害賠償保険料等						
13	委託料	38,370	南部地域包括支援センター・北部地域包括支援センター委託料、医療介護連携委託料						
14	使用料及び賃借料	1,205	北部・南部地域包括支援センターパソコン・プリンター借上げ料、東部包括支援センター自動車借上げ料						
18	備品購入費	35	国保連伝送用パソコンソフト						
上記の合計		41,857	職員の人件費合計	20,600	事業費総合計	62,457	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

介護保険制度改正により、「医療介護連携」「認知症施策」等の地域包括ケアに関する事業が、新たに包括的支援事業に位置付けられたことから、認知症施策推進のための、認知症地域支援推進員と認知症嘱託医の設置、認知症啓発活動のための費用等を計上する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
8	報償費	180	認知症嘱託医の謝礼	
9	旅費	53	認知症地域支援推進員の研修旅費	
11	需用費	562	認知症ケアパス印刷製本費	
13	委託料	2,920	北部地域包括支援センターへの認知症地域支援推進員設置のための認知症対策委託料等	
合計		3,715	左記の特定財源	地域支援交付金(1448)・県交付金(724)・地域支援繰入金(724)

重点項目番号	2	コード	10702300
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防係

予算	款	3	地域支援事業	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	包括的支援事業・任意事業費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	任意事業費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100107	任意事業		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	17,289	国支出金	県支出金	市債	その他	3,804
前年度	15,404	6,084	3,042		3,042	3,236
増減額	1,885	659	329	0	329	568

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		款	金額		合計金額
		金額	金額		金額	金額				
	3	地域支援交付金(包括・任意)現年度分	6,743							13,485
	5	県交付金(包括・任意)現年度分	3,371							
	8	地域支援(包括・任意)繰入金現年度分	3,371							

【目的・効果】
 【目的】地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心な生活を継続していくことができるようにするため、介護保険事業の運営の安定化を図るとともに、被保険者及び要介護被保険者を現に介護する者に対して、必要な支援を行う。
 【効果】施設介護だけに頼らない在宅介護での継続が可能となる。
 ・成年後見制度を活用することにより、認知症等により判断力の低下した高齢者の権利が擁護できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・成年後見支援センター「かけはし」の運営の補助。
 ・家族介護者を支援するため介護用品購入助成券を非課税世帯の対象者に交付する。
 ・認知症を地域で理解し患者を支えていくために認知症サポーター養成講座を実施する。

【一般財源増加倍理由】 成年後見支援センター事業補助金の増額と利用者増加を見込んだ介護用品助成の扶助費増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	102	ケアプランチェック講師謝礼。認知症サポーター養成講座講師謝礼。				
11	需用費	107	認知症サポーター養成講座テキスト、DVD				
12	役務費	111	成年後見市長申立書類作成手数料。認知症サポーター養成講座資料郵送費。				
13	委託料	283	住宅改修相談作業療法士等への委託費。家族介護交流事業委託費。				
19	負担金補助及び交付金	6,480	成年後見支援センター事業補助金				
20	扶助費	10,206	介護用品購入助成扶助。成年後見市長申立分に係る後見人報酬費扶助。				
上記の合計		17,289	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,289	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	28
--------	----

重点項目番号	2	コード	10702300
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防係

予算	款	4	介護サービス事業費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護予防支援事業		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	介護予防支援事業		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100108	介護サービス事業費		具体的な施策	介護予防の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
20,804	15,857	4,947	0	0	0	4,947
						0

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
		金額	款			金額	款			金額	款		
	6	介護予防サービス計画費	収入	20,804									20,804

【目的・効果】

【目的】直営の東部地域包括支援センターは、要支援者が介護予防サービスの適切な利用ができるよう介護予防サービス計画を作成し、関係機関との連携を図るよう指定介護予防支援業務を実施する。
 【効果】
 ・要支援者の状況・環境を勘案し介護予防サービス計画を作成することで、要支援者が適切な介護予防サービスを利用することができる。
 ・指定介護予防支援業務を、適切な指定居宅介護支援事業者に委託することで、要支援者が適切な介護予防サービスを利用できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

直営の東部地域包括支援センターが要支援者の介護予防サービス計画を作成し、適切な介護予防サービス確保のため関係機関との連絡調整を行う。
 ・指定介護予防支援業務を、適切な指定居宅介護支援事業者へ委託する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	5,226	介護支援専門員等臨時職員賃金				
13	委託料	15,578	指定介護予防支援業務の委託料				
上記の合計		20,804	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,804	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	30
--------	----

重点項目番号		コード	10702300
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防係

予算	款	7	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100142	地域支援事業返還金		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1	1	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	地域支援事業繰越金	1							

【目的・効果】

【目的】

・国及び支払基金交付金等の交付超過分について、返還が翌年に繰り越す為の科目設置。

【効果】

・年度内に給付額が確定しない事から該当年度以降に交付超過額について適切な処理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成26年度の給付額確定後、負担金額を算出。決算後に繰越し、27年度に返還する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	1	地域支援事業国庫金返還金				
上記の合計							
		1	職員の人件費合計			0	事業費総合計
						1	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計			
		0	左記の特定財源

下水道事業特別会計

予算書ページ	16
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	一般管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100009	一般管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	367,584	国支出金	県支出金	市債	その他	225,221
前年度	344,850	400			257,293	87,157
増減額	22,734	400	0	0	114,930	138,064

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	公共下水道使用料(現年度分)	142,360							142,363
	4	行政財産使用料	1							
	7	コピー等サービス料	2							

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業の健全な運営を図る。

【効果】

・下水道事業の適正な管理運営が図れる。
 ・平成28年度から企業会計への円滑な移行が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・公営企業職員としての意識向上と企業会計事務習得のため研修へ参加する。
 ・下水道処理施設等の維持管理業務を包括的に委託し適正な維持管理を図る
 ・下水道担当が委託する使用料徴収業務経費の一部を負担する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	98	公共下水道事業運営審議会委員報酬	16	原材料費	735	井水メーター購入費(新規・取替)
9	旅費	643	職員研修講師旅費実費及び職員実務研修等出張旅費	18	備品購入費	33	デジタルカメラ
11	需要費	3,961	下水道事業参考図書、コピー用紙等消耗品、公用車燃料代、使用料納入通知書等の印刷製本費、公用車修理費	19	負担金補助及び交付金	66,606	日本下水道協会等会費、研修負担金、退職手当負担金、水洗化ローン利子補給補助金等
12	役務費	7,567	下水道使用料・負担金郵便料、口座振替振込手数料、公用車車検及び公用車保険料	23	償還金、利子及び割引料	501	使用料過年度還付金等
13	委託料	148,618	施設管理委託料(公共処理施設・管路維持管理委託等)事務事業委託料(下水道台帳データ作成、企業会計移行)	25	積立金	1,308	下水道建設基金積立
14	使用料及び賃借料	1,801	下水道管理GISシステムリース料、コピー機賃借料、保守料等	27	公課費	82,529	公用車重量税及び下水道事業消費税
15	工事請負費	1,690	井水メータ取付、取替工事				
上記の合計		316,090	職員の人件費合計 51,494	事業費総合計		367,584	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	18
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103200
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 下水道整備係

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	国庫補助事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100060	国庫補助事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
130,800	100,000	30,800	65,400	0	58,800	6,600
			50,000		45,000	5,000
			15,400	0	13,800	1,600
						0

特定財源の内訳	款	金額		款	金額		款	金額		合計金額
		細節名称	金額		細節名称	金額		細節名称	金額	
1		公共下水道事業受益者負担金(現年度分)	6,600							130,800
3		下水道事業国庫補助金	65,400							
8		下水道事業債	58,800							

【目的・効果】

【目的】

・水路や河川など公共水域の水質改善による自然環境の保全と、トイレの水洗化による衛生的で快適な生活環境の実現のため、公共下水道の整備を行う。

【効果】

・公共水域の水質改善により、悪臭やハエ・蚊などの発生が抑えられる。
・トイレが水洗化され、衛生的で快適な生活を送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・工事請負費
牧離山地区の管渠整備を行い当地区の整備を完了させる。
・負担金
下水道工事が完了した市道の舗装復旧負担金を道路管理者に支出する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	1,600	管渠工事(牧離山)施工監理委託				
15	工事請負費	89,200	管渠工事(牧離山)及び路面復旧工事				
19	負担金補助及び交付金	40,000	市道路面復旧建設負担金				
上記の合計		130,800	職員の人件費合計		事業費総合計	130,800	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	18
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103200
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 下水道整備係

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	特定環境保全事業		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100110	特定環境保全事業		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	176,000	88,000	0	79,200	8,800	0
前年度	234,000	117,000	0	105,300	11,700	0
増減額	58,000	29,000	0	26,100	2,900	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	公共下水道事業受益者負担金(現年度分)	8,800							
	3	下水道事業国庫補助金	88,000							
	8	下水道事業債	79,200							
									176,000	

【目的・効果】

【目的】

・水路や河川など公共水域の水質改善による自然環境の保全と、トイレの水洗化による衛生的で快適な生活環境の実現のため、公共下水道の整備を行う。

【効果】

・公共水域の水質改善により、悪臭やハエ・蚊などの発生が抑えられる。
 ・トイレが水洗化され、衛生的で快適な生活を送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・委託料
 矢村地区の管渠実施設計を行い、平成28年度工事実施に備える。
- ・工事請負費
 新屋地区の管渠整備を行い当地区の整備を完了させる。
 平成29年度整備完了を目指し、矢村地区の管渠整備を行う。
 平成29年度整備完了を目指し、牧地区の管渠整備を行う。
- ・負担金
 下水道工事が完了した市道の舗装復旧負担金を道路管理者に支出する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	8,100	管渠実施設計(矢村)及び管渠工事施工監理委託				
15	工事請負費	137,900	管渠工事(牧、新屋、矢村)及び占用路面復旧工事				
19	負担金補助及び交付金	30,000	市道路面復旧建設負担金				
上記の合計		176,000	職員の人件費合計			176,000	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	18
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103200
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 下水道整備係

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	市単独事業費		基本施策	水環境の保全活用
					具体的な施策	下水道の整備
	事業	4100120	市単独事業費			

単位:千円

		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	88,610	0	0	75,400	13,210	0
前年度	136,096	0	0	117,700	18,396	0
増減額	47,486	0	0	42,300	5,186	0

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	1	公共下水道事業受益者負担金(現年度分)		4,100	8	下水道事業債		75,400	88,610
	1	受託事業建設負担金		2,390					
	7	下水道管移設に伴う補償料		6,720					

【目的・効果】
【目的】
 ・水路や河川など公共水域の水質改善による自然環境の保全と、トイレの水洗化による衛生的で快適な生活環境の実現のため、公共下水道の整備を行う。
【効果】
 ・公共水域の水質改善により、悪臭やハエ・蚊などの発生が抑えられる。
 ・トイレが水洗化され、衛生的で快適な生活を送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・委託料
 矢村地区の管渠実施設計を行う。
 ・工事請負費
 牧離山地区、牧地区、新屋地区、矢村地区の管渠整備を行う。
 ・負担金
 下水道工事が完了した道路の舗装復旧負担金を道路管理者に支出する。
 ・補償費
 下水道工事の支障となる上水道管の移転補償料を水道事業に支出する。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容		節	金額	主な内容
13	委託料	12,600	管渠実施設計(矢村)及び管渠工事施工監理委託				
15	工事請負費	55,510	管渠工事(牧離山、牧、新屋、矢村)及び占用路面復旧				
19	負担金補助及び交付金	10,500	市道路面復旧建設負担金				
22	補償補填及び賠償金	10,000	下水道工事に伴う上水道管渠移転補償料				
上記の合計		88,610	職員の人件費合計		事業費総合計	88,610	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	20
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103200
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 下水道整備係

予算	款	1	下水道費	総合計 画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	4	流域下水道事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100170	流域下水道事業費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78,403	0	0	75,100	3,303	0
前年度	28,800	0	0	26,900	1,900	0
増減額	49,603	0	0	48,200	1,403	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	公共下水道事業受益者負担金(現年度分)	3,303							
	8	下水道事業債	75,100							
									78,403	

【目的・効果】

長野県が事業主体となり施工する犀川安曇野終末処理場建設工事の建設負担金を支出するもの。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

流域下水道事業費の地方負担額を長野県及び流域下水道構成自治体である安曇野市と松本市で負担する。

流域下水道事業費地方負担額 = 長野県負担分(50%) + 流域下水道構成自治体負担金(松本市、安曇野市)(50%)

流域下水道構成市町村負担金 = 松本市負担分(9.1%) + 安曇野市負担分(90.9%)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	78,403	流域下水道建設負担金				
上記の合計							
		78,403	職員の人件費合計			78,403	事業費総合計

OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計			
		0	左記の特定財源

予算書ページ	20
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	下水道事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	受益者負担金徴収費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100180	受益者負担金徴収費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
55,879	53,314	2,565	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業受益者負担金の公平・公正、的確な賦課及び徴収を図る。

【効果】

・受益者負担の公平性の確保。
 ・下水道事業の早期整備と適正な事業運営を実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・認可区域内整備地区への受益者負担金の賦課及び徴収。
 ・認可区域外流入に対応した受益者負担金の随時賦課及び徴収。
 ・農地等徴収猶予該当地の現地確認。
 ・徹底した滞納処分の執行。
 ・高齢者等に配慮し、収納員による集金を実施します。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	4,288	収納員及び非常勤職員賃金	23	償還金、利子及び割引料	320	受益者負担金過誤納還付金及び加算金
8	報償費	6,430	受益者負担金前納報奨金				
11	需用費	353	納付書及び封筒印刷				
12	役務費	100	負担金、使用料口座振替手数料				
13	委託料	260	受益者負担金システム保守委託料				
14	使用料及び賃借料	674	受益者負担金システム使用料				
19	負担金補助及び交付金	3,678	退職手当負担金等				
上記の合計		16,103	職員の人件費合計	39,776	事業費総合計	55,879	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	22
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	3	下水道維持管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	下水道維持管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100240	下水道維持管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	758,723	国支出金	県支出金	市債	その他	25,000
前年度	737,493				712,493	25,000
増減額	21,230	0	0	0	21,230	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
2	7	公共下水道使用料 (現年度分)	733,689							733,723
		流域下水道事業関連事務 費負担金	34							

【目的・効果】

【目的】

・衛生的で快適な生活環境の実現のため、下水道施設の適正な維持管理を行う。

【効果】

・流域関連の汚水処理を行う長野県に対し、維持管理経費を負担することで下水道施設の適正な維持管理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・長野県が管理する犀川流域下水道の維持管理費の一部を負担する。(年6回払い)
- ・単独公共下水道明科浄化センターの汚泥運搬処理を委託する。
- ・管路施設等の維持補修を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	200	維持管理特殊消耗品等				
12	役務費	52	電信電話料(携帯電話使用料)				
13	委託料	6,973	水質検査及び汚泥処分委託料				
14	使用料及び賃借料	55	借地料(JR東日本用地)				
15	工事請負費	9,450	管路等維持工事(陥没補修等)				
16	原材料費	513	補修用資材原材料				
19	負担金及び交付金	741,480	犀川安曇野流域下水道維持管理負担金				
上記の合計		758,723	職員の人件費合計	事業費総合計		758,723	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	1	下水道費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	3	下水道維持管理費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	合併浄化槽維持管理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100290	合併浄化槽維持管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,029				1,281	748
前年度	1,917				1,281	636
増減額	112	0	0	0	0	112

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	合併浄化槽使用料(現年度分)	1,280							
	2	合併浄化槽使用料(滞納繰越分)	1							

【目的・効果】
【目的】
 ・豊科大口沢地区の特定地域生活排水処理施設(合併処理浄化槽)の適正な維持管理を図る。
【効果】
 ・生活環境の向上及び公共水域の水質改善が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設の適正な維持管理を図るため、保守点検・法定検査を行う。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需要費	377	浄化槽放流水滅菌剤及び合併浄化槽等修繕費						
12	役務費	819	合併浄化槽法定検査料外						
13	委託料	485	合併浄化槽保守点検料						
19	負担金補助及び交付金	348	合併浄化槽ブローア等電気料負担金						
上記の合計		2,029	職員の人件費合計		事業費総合計		2,029	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	24
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	元金		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100300	下水道事業債償還元金		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
	1,975,808				125,047	1,850,761
	1,914,231				124,086	1,790,145
増減額	61,577	0	0	0	961	60,616

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	1	公共下水道事業受益者負担金(現年度分)	97,197	1	区域外流入負担金(滞納繰越分)	1,000				125,047
	1	公共下水道事業受益者負担金(滞納繰越分)	22,650							
	1	区域外流入負担金(現年度分)	4,200							

【目的・効果】
【目的】
 ・下水道事業計画に基づき整備した、施設の建設に充当した下水道事業債の元金の償還をする。
【効果】
 ・下水道事業の健全な財政運営が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・下水道施設整備の円滑な推進を図るため、財源の一部に下水道事業債として、政府資金・金融公庫資金等を充当している。
 ・過年度に施設整備のために借り入れした下水道事業債の元金の償還をする。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	1,975,808	公共下水道整備に伴う起債元金の償還				

上記の合計	1,975,808	職員の人件費合計		事業費総合計	1,975,808	OK
-------	-----------	----------	--	--------	-----------	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	24
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100320	下水道事業債償還利子		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	737,950				715,654	22,296
前年度	777,023				614,186	162,837
増減額	39,073	0	0	0	101,468	140,541

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	公共下水道使用料(現年度分)	708,656	2	指定工事店指定手数料	400	5	下水道建設基金利子	1,307	715,654
	2	公共下水道使用料(滞納繰越分)	4,500	2	受益者負担金督促手数料	100	7	延滞金	10	
	2	排水設備等確認申請手数料	200	4	下水道使用料督促手数料	480	7	受益者協力金	1	

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業計画に基づき整備した施設の建設に充当した下水道事業債の利子の償還をする。

【効果】

・下水道事業の健全な財政運営が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・下水道施設整備の円滑な推進を図るため、財源の一部に下水道事業債として、政府資金・金融公庫資金等を充当している。
 ・過年度に施設整備のために借り入れした下水道事業債の利子の償還をする。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	737,950	公共下水道整備に伴う起債利子の償還				
上記の合計		737,950	職員の人件費合計		事業費総合計	737,950	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	24
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4100340	一時借入金利子		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	600				600	0
前年度	600				600	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	2	排水設備等確認申請手数料	金額	600	合計金額	600

【目的・効果】
 【目的】
 ・下水道事業の健全な財政運営を図る。
 【効果】
 ・下水道事業の適正な事業運営が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・下水道事業運営のため一時借入した資金の利子

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	600	一時借入資金の利子				

上記の合計	600	職員の人件費合計		事業費総合計	600	OK
-------	-----	----------	--	--------	-----	----

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	24
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当
予算	款	3	予備費
	項	1	予備費
	目	1	予備費
	事業	4100350	予備費
		総合計画	基本方針 環境に優しいまちの形成 主要施策 環境への責任を果たすまち 基本施策 水環境の保全活用 具体的な施策 下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
3,000	4,500	1,500	0	0	0	0
						3,000
						4,500
						1,500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・下水道事業の健全な財政運営を図る。

【効果】

・下水道事業の適正な事業運営が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・下水道事業運営のための予備費に前年度繰越金を充てる。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	3,000	予備費				
上記の合計				事業費総合計			
3,000				3,000 OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

農業集落排水事業特別会計

予算書ページ	12
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	1	農業集落排水事業費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	農業集落排水事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	農業集落排水事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4200010	施設維持管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
53,418	50,379	3,039	0	0	0	45,770
						7,648
						2,805
						4,843

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	下水道使用料(現年度分)	45,639	2	排水設備確認審査手数料	10				45,770
	2	下水道使用料(滞納繰越分)	100	5	延滞金	1				
	2	督促手数料	20							

【目的・効果】

【目的】

・農業集落排水事業計画に基づき、明科地域で整備した処理施設等の適正な維持管理を図る。

【効果】

・生活環境の向上及び公共用水域の水質保全が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・農業集落排水施設の維持管理業務を包括的に委託し適正な維持管理を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	172	印刷製本、移動脱水車修繕	27	公課費	33	移動脱水車重量税
12	役務費	254	口座振替振込手数料、移動脱水車車検及び保険料				
13	委託料	52,374	農業集落排水施設維持管理委託、施設広域監視業務委託				
15	工事請負費	505	陥没箇所補修、検満メータ取り換え				
16	原材料費	9	検満メータ購入				
19	負担金補助及び交付金	20	地域資源循環技術センター負担金				
23	償還金、利子及び割引料	51	還付金				
上記の合計		53,418	職員の人件費合計	事業費総合計		53,418	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4		コード	11103100		
			部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当		
予算	款	1	農業集落排水事業費	総合計 画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	農業集落排水事業費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	農業集落排水事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4200020	一般管理費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	762				762	0
前年度	802				802	0
増減額	40	0	0	0	40	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	下水道使用料(現年度分)	701							762
	6	農業集落排水事業建設基金利子	61							

【目的・効果】
【目的】
・農業集落排水事業建設基金の適正運用を図る。
【効果】
・農業集落排水事業の適正な運営が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・市が管理する他の基金と一括して定期預金や国債等で運用する。
・消費税申告を適正に行い納付する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	積立金	62	農業集落排水事業建設基金利子				
27	公課費	700	消費税簡易課税				
上記の合計		762	職員の人件費合計		事業費総合計	762	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	14
--------	----

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	元金		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4200040	元金		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	106,433	国支出金	県支出金	市債	その他	106,353
前年度	103,716				290	103,426
増減額	2,717	0	0	0	210	2,927

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	受益者分担金(現年度分)	70							80
	1	受益者分担金(滞納繰越分)	10							

【目的・効果】

【目的】

・農業集落排水事業計画に基づき整備した、施設の建設に充当した下水道事業債の元金の償還をする。

【効果】

・農業集落排水事業の健全な財政運営が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・農業集落排水施設整備の円滑な推進を図るため、財源の一部に下水道事業債として、政府資金・金融公庫資金等を充当している。

・過年度に施設整備のために借り入れた下水道事業債の元金の償還をする。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	106,433	農業集落排水整備に伴う起債元金の償還				
上記の合計							
		106,433	職員の人件費合計			106,433	事業費総合計 OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	2	公債費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	利子		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4200030	利子		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	36,134					36,134
前年度	38,851					38,851
増減額	2,717	0	0	0	0	2,717

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・農業集落排水事業計画に基づき整備した、施設の建設に充当した下水道事業債の利子の償還をする。
【効果】
 ・農業集落排水事業の健全な財政運営が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農業集落排水施設整備の円滑な推進を図るため、財源の一部に下水道事業債として、政府資金・金融公庫資金等を充当している。
 ・過年度に施設整備のために借り入れた下水道事業債の利子の償還をする。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	36,134	農業集落排水整備に伴う起債利子の償還								
上記の合計		36,134	職員の人件費合計		事業費総合計	36,134	OK				

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

重点項目番号	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 下水道課 維持管理担当

予算	款	3	予備費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	予備費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	4200050	予備費		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	200					200
前年度	300					300
増減額	100	0	0	0	0	100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

- ・農業集落排水事業計画に基づき、接続に関する広報・啓発に努め、供用区域内の水洗化の普及を促進する。
- ・農業集落排水事業の健全な財政運営を図る。

【効果】

- ・農業集落排水事業の適正な管理運営。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・農業集落排水事業推進のための予備費に前年度繰越金を充てる。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	200	予備費				
上記の合計							
		200	職員の人件費合計			200	事業費総合計

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

安曇野市上川手財産区特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	管理委員会費		基本施策	林業の振興
	事業	5100010	上川手山林財産区 管理委員会費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	145					145
前年度	371					371
増減額	226	0	0	0	0	226

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	246							

【目的・効果】

【目的】

・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老齢化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
- ・安曇野市が開催地となる、松本地区区育樹祭に参加する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	145	管理会の委員報酬 松本地区区育樹祭に係る報酬				
上記の合計		145	職員の人件費合計	0	事業費総合計	145	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5100020	上川手山林財産区一般管理費	画	具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
146	309				17	129
増減額	163	0	0	0	233	70

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	上川手山林財産区基金利子	17							

【目的・効果】

【目的】

・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老齢化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】		特定財源の減額による							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
10	交際費	10	慶弔費						
11	需用費	113	消耗品費、食糧費、印刷製本費						
12	役務費	5	郵便料						
25	積立金	18	基金利子						
上記の合計		146	職員の人件費合計		事業費総合計	146	OK		

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容	
合計		0	左記の特定財源	

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	3	財産管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5100030	上川手山林財産区 財産管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	263					263
前年度	120					120
増減額	143	0	0	0	0	143

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老齢化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・現地踏査及び平成27年度に事業計画されている光城山SAKURAプロジェクト等への出席する。
・平成27年3月31日管理委員の任期満了に伴い、新たな委員への作業着、ヘルメット等の装備。

【一般財源増加理由】 管理委員改選に伴い、装備を整えるための需要費の増額による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	123	現地踏査、SAKURAプロジェクト等への出席謝礼				
11	需要費	140	消耗品費				
上記の合計		263	職員の人件費合計	0	事業費総合計	263	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	2	事業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	林業費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	造林費	基本施策	林業の振興	
	事業	5100040	上川手山林財産区 造林費	具体的な施策	地域材、特用林産物の振興	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	998					998
前年度	998					998
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老齢化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・森林整備 間伐・下刈業務委託
- ・森林の公益的機能を発揮するため、除伐・間伐・下刈等を実施し健全な森林を保全する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	998	除伐・間伐等業務委託				
上記の合計		998	職員の人件費合計	0	事業費総合計	998	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	12
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	3	予備費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5100050	上川手山林財産区予備費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,291					2,291
前年度	138					138
増減額	2,153	0	0	0	0	2,153

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老齢化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・上川手山林財産区特別会計の予備費

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	2,291	予備費				
上記の合計 2,291 職員の人件費合計 0 事業費総合計 2,291 OK							

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

安曇野市北の沢財産区特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5200010	北の沢山林財産区一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	269				229	40
前年度	262					262
増減額	7	0	0	0	229	222

特定財源の内訳	款	01	北の沢山林財産区基金利子	金額	29	合計金額
		02	北の沢山林財産区基金	金額	200	

【目的・効果】

【目的】

・森林面積335haの財産管理を行う。水源林分収に伴う植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議
- ・水源林造林協議会等に係る事業への参加
- ・松本地区区育樹祭への参加

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	113	管理会・松本地区区育樹祭に係る報酬				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	63	消耗品費、食糧費、印刷製本費				
12	役務費	5	郵便料				
19	負担金補助及び交付金	48	水源林造林協議会等負担金				
25	積立金	30	基金積立金利子				
上記の合計		269	職員の人件費合計	事業費総合計		269	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	財産管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5200020	北の沢山林財産区 財産管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
677	413	264	0	0	0	300
						377
						413
						36

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	北の沢山林財産区基金	300							

【目的・効果】

【目的】

・森林面積335haの財産管理を行う。水源林分収に伴う植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・管理会役員が実施する現地踏査(下刈・除伐等の作業)の謝礼及び傷害保険料
- ・山林財産区内の森林整備(つる切り、間伐作業)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	74	現地踏査謝礼				
11	需用費	287	消耗品費、燃料費、食糧費				
12	役務費	316	森林整備(つる切り・間伐等)、役員の傷害保険				
上記の合計		677	職員の人件費合計	0	事業費総合計	677	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・森林の公益的機能を発揮するため、つる切り・間伐等を実施し健全な森林を保全する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	300	森林整備(つる切り・間伐等)
合計		300	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	2	事業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	林業費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	造林費		基本施策	林業の振興
	事業	5200030	北の沢山林財産区 造林費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2				2	0
前年度	2				2	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	森林総合研究所負担金	2							

【目的・効果】

【目的】

・森林面積335haの財産管理を行う。水源林分収に伴う植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・分収造林契約した森林整備に係る間伐・下刈業務委託費

【参考】分収造林契約は、森林所有者(北の沢山林財産区)と独立法人 森林総合研究所の2者で分収林契約を結び、裾枝払・除伐・保育間伐等を行ったのち、成育木を伐採しその収益を分け合う森林業務です。(山林財産区内に3か所・142haの契約)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1	消耗品費				
12	役務費	1	間伐・下刈等の業務委託				
上記の合計		2	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	3	予備費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費	基本施策	林業の振興	
	事業	5200040	北の沢山林財産区予備費	具体的な施策	地域材、特用林産物の振興	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	244					244
前年度	84					84
増減額	160	0	0	0	0	160

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】

【目的】

・森林面積335haの財産管理を行う。水源林分収に伴う植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・北の沢山林財産区特別会計の予備費

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	244	予備費				
上記の合計		244	職員の人件費合計	0	事業費総合計	244	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

安曇野市有明山財産区特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	10802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5300010	有明山林財産区一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
228	258	30	0	0	0	57
						171
						258
						87

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	有明山林財産区区金利息	57							

【目的・効果】

【目的】

・森林面積316haの財産管理を行う。分収造林地を含む人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・管理会を開催し予算及び事業計画の協議
- ・松本地区育樹祭への参加

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	96	管理会・松本地区育樹祭に係る報酬				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	60	消耗品費、食糧費、印刷製本費				
12	役務費	4	郵便料				
25	積立金	58	基金積立金利息				
上記の合計		228	職員の人件費合計	事業費総合計		228	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	10802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	2	財産管理費	基本施策	林業の振興	
	事業	5300020	有明山林財産区 財産管理費	具体的な施策	地域材、特用林産物の振興	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	579					579
前年度	430					430
増減額	149	0	0	0	0	149

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積316haの財産管理を行う。分収造林地を含む人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会役員が実施する現地踏査(下刈・除伐等の作業)の謝礼及び障害保険料
 ・山林財産区内の森林整備(除伐、間伐、つる切り作業)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	94	現地踏査謝礼				
11	需用費	169	消耗品費、食糧費				
12	役務費	316	森林整備(除伐・間伐等)、役員の傷害保険料				
上記の合計		579	職員の人件費合計	0	事業費総合計	579	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】
 ・森林の公益的機能を発揮するため、除伐・間伐等を実施し健全な森林を保全する。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	300	森林整備(除伐・間伐等)
合計		300	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	2	予備費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5200040	有明山林財産区予備費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	535					535
前年度	563					563
増減額	28	0	0	0	0	28

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・森林面積316haの財産管理を行う。分収造林地を含む人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・有明山林財産区特別会計の予備費

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	535	予備費				
上記の合計		535	職員の人件費合計	0	事業費総合計	535	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

安曇野市富士尾沢財産区特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	10802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5400010	富士尾沢山林財産区一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
177	148	29	0	0	0	4
						173
						148
						25

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	富士尾沢山林財産区基金利子	4							

【目的・効果】

【目的】

・森林面積119haの財産管理を行う。人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・管理会を開催し予算及び事業計画の協議
- ・松本地区育樹祭への参加

【一般財源増加理由】 消耗品費及び基金積立金利子の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	96	管理会・育樹祭に係る報酬				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	62	消耗品費、食糧費、印刷製本費				
12	役務費	4	郵便料				
25	積立金	5	基金積立金利子				
上記の合計		177	職員の人件費合計	事業費総合計		177	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	10802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	財産管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5400020	富士尾沢山林財産区 財産管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	679					679
前年度	533					533
増減額	146	0	0	0	0	146

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・森林面積119haの財産管理を行う。人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・管理会役員が実施する現地踏査(下刈・除伐等の作業)の謝礼及び障害保険料
- ・山林財産区内の森林整備(除伐、間伐、つる切り作業)業務委託

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	94	現地踏査謝礼				
11	需用費	169	消耗品費、燃料費、食糧費				
12	役務費	416	森林整備(除伐・間伐等)、役員の傷害保険				
上記の合計		679	職員の人件費合計	0	事業費総合計	679	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	2	予備費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5400030	富士尾沢山林財産区予備費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	652						652
前年度	748						748
増減額	96	0	0	0	0		96

特定財源の内訳	款	詳細名称		金額	款	詳細名称		金額	款	詳細名称		金額	合計金額
													0

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積119haの財産管理を行う。人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・富士尾沢山林財産区特別会計の予備費

【一般財源増加理由】													
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容			
29	予備費	652	予備費										
上記の合計		652	職員の人件費合計		0	事業費総合計		652		OK			

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容										
合計		0	左記の特定財源										

安曇野市穂高山林財産区特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	10802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5500010	穂高山林財産区一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	176				3	173
前年度	146					146
増減額	30	0	0	0	3	27

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	穂高山林財産区基金利子	3							

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。分収造林地を含む人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画の協議
 ・安曇野市が開催地となる、松本地区育樹祭への参加

【一般財源増加理由】 松本地区育樹祭参加人数の増による報酬の増額による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	96	管理会・松本地区育樹祭に係る報酬				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	62	消耗品費、食糧費、印刷製本費				
12	役務費	4	郵便料				
25	積立金	4	基金積立金利子				
上記の合計		176	職員の人件費合計		事業費総合計	176	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	10802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	財産管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5500020	穂高山林財産区 財産管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	634					634
前年度	485					485
増減額	149	0	0	0	0	149

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・森林面積2haの財産管理を行う。分収造林地を含む人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・管理会役員が実施する現地踏査(下刈・除伐等の作業)の謝礼及び傷害保険料
- ・山林財産区内の森林整備(除伐、間伐、つる切り作業)
- ・平成27年12月26日管理委員の任期満了に伴い、新たな委員への作業着、ヘルメット等の装備。

【一般財源増加理由】 管理委員改選に伴い、装備を整えるための需要費の増額による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	49	現地踏査謝礼				
11	需用費	169	消耗品費、食糧費				
12	役務費	416	森林整備(除伐・間伐等)、役員の傷害保険料				
上記の合計		634	職員の人件費合計	0	事業費総合計	634	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	4-4	コード	1082200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	2	予備費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5500030	穂高山林財産区予備費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	569					569
前年度	673					673
増減額	104	0	0	0	0	104

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。分収造林地を含む人工林及び天然林の植林・伐採・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理・整備を進めることで、集中豪雨や台風などによる河川氾濫を防ぐとともに、安曇野のうるわしい風土や固有の文化である豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高山林財産区特別会計の予備費

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	569	予備費				
上記の合計		569	職員の人件費合計	0	事業費総合計	569	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

産業団地造成事業特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	1-2	コード	10901200
		部・課・係等	商工観光部商工労政課工業振興係

予算	款	1	産業団地事業費	総合計	基本方針	5章 豊かな産業のあるまちづくり
	項	1	産業団地事業費		主要施策	2節 活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	産業団地事業費		基本施策	2 工業の振興
	事業	6100010	産業団地建設事業費		具体的な施策	生産基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	84,991				84,991	0
前年度	99,058				99,058	0
増減額	14,067	0	0	0	14,067	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	財産収入	84,350							
2	繰入金	640								
3	繰越金	1								

【目的・効果】

【目的】

・あづみ野産業団地分譲地残り1区画の売却に取り組む。
 ・東京、名古屋、大阪の各長野県事務所や企業を訪問し要望調査や、誘致の可能性のある企業の掘り起こしをし、新産業団地建設に向け、関係部局と検討を行う。

【効果】

企業誘致によって地元雇用が生まれ、若者などの定住や地域の活性化が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当該年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・あづみ野産業団地分譲地残り1区画の売却に取り組む。
 ・東京、名古屋、大阪の各長野県事務所や企業を訪問し、誘致の可能性のある企業の掘り起こしや、新産業団地建設に向けた要望調査を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	58	企業誘致土産 30 分譲企業選考委員会出席謝礼 28	19	負担金補助及び交付金	35	あづみ野産業団地案内看板設置負担金
9	旅費	194	企業誘致関係				
11	需用費	135	事務用品 50 産業団地看板書換 50 決算書・予算書印刷 35				
12	役務費	108	事業用地ナビ掲載広告料				
13	委託料	81	産業団地緑地除草外				
14	使用料及び賃借料	30	都内等駐車場使用料				
17	公有財産購入費	84,350	あづみ野産業団地用地購入費				
上記の合計		84,991	職員の人件費合計 0	事業費総合計		84,991	OK

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

節	節名称	金額(千円)	主な内容
合計		0	左記の特定財源

観光宿泊施設特別会計

予算書ページ	10
--------	----

重点項目番号	1-5	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	1	観光宿泊施設事業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	観光宿泊施設事業費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	観光宿泊施設事業費		基本施策	観光の振興
	事業	7100001	観光宿泊施設管理費		具体的な施策	観光基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	39,099	国支出金	県支出金	市債	その他	0
前年度	28,617				26,682	1,935
増減額	10,482	0	0	0	12,417	1,935

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
1	1	観光宿泊施設維持管理	31,549							39,099
	2	有明荘外施設使用料	7,550							

【目的・効果】

【目的】

・市内を訪れる観光客の受入れ環境を整備するとともに、市民に憩いの場を提供することにより、交流人口の拡大及び市民の福祉の向上を図る。

【効果】

・観光宿泊施設の整備により、来訪者の市内での滞在時間の延長を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・長峰荘、しゃくなげ荘、有明荘、大天荘の維持管理を行なう。
- ・大天荘は民間譲渡に向けて手続きを進め、平成28年度からの民間所有の準備を行なう。

長峰荘 建築(昭和46年)、延床面積(1,452.23㎡)、構造(木造)、施設概要(本館、新館)
 しゃくなげ荘 建築(昭和48年)、延床面積(2,226.00㎡)、構造(鉄筋コンクリート造)、施設概要(本館)
 有明荘 建築(昭和53年)、延床面積(1,732.37㎡)、構造(鉄骨造)、施設概要(本館、新館、入浴棟、貯湯舎、資材庫)
 大天荘 建築(昭和33年)、延床面積(517.57㎡)、構造(木造)、施設概要(本館、新館、冬期小屋)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	30	事務打合せ	18	備品購入費	1,184	有明荘エアコン
11	需用費	2,635	施設小破修繕	19	負担金補助及び交付金	12,492	しゃくなげ荘温泉利用負担金
12	役務費	1,606	大天荘不動産鑑定等	27	公課費	584	消費税等
13	委託料	10,757	建物登記事務、指定管理料	29	予備費	1,000	予備費
14	使用料及び賃借料	4,056	ヘリコプター借上、土地借地料(有明荘、大天荘)等				
15	工事請負費	4,705	有明荘女湯木製浴槽改修等				
16	原材料費	50	駐車場整備用碎石				
上記の合計		39,099	職員の人件費合計 0	事業費総合計	39,099	OK	

【上記のうち、新規事業分(導入経過や概要)】

・大天荘は指定管理施設あり方検討委員会の答申等により、民間譲渡を予定している施設である。平成28年度からの民間所
 有に向けて平成27年度に譲渡者を決定し、法手続きを進める。

節	節名称	金額(千円)	主な内容
12	役務費	1,353	大天荘不動産鑑定
13	委託料	357	大天荘建物登記事務
合計		1,710	左記の特定財源 有明荘外施設使用料(1,710千円)